

男女共同参画に関する 意識調査報告書

平成 28 年 6 月

佐賀県小城市

目 次

I 調査概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査の実施方法	3
3. 報告書利用上の注意	3
II 調査結果	7
1. 回答者の属性	7
2. 結婚や家庭生活について	13
3. 教育・子育てについて	43
4. 働くことについて	63
5. 夫婦や恋人同士などの暴力について	68
6. 男女共同参画社会について	88

I 調査概要

I 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、小城市における男女共同参画に関する意識と実態を把握し、今後の男女共同参画社会の実現に向けた施策の基礎資料とする。

2. 調査の実施方法

(1) 調査方法 調査票による郵送調査

(2) 調査期間 平成 28 年 2 月 2 日～平成 28 年 2 月 22 日

(3) 調査対象者 小城市内に居住する満 19 歳以上の市民

(4) 標本抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出

(5) 回収結果

調査対象者数	有効回答数	有効回答率
2,000 人	707 人	35.35%

(6) 調査項目

1. 回答者の属性
2. 結婚や家庭生活について
3. 教育・子育てについて
4. 働くことについて
5. 夫婦や恋人同士などの暴力について
6. 男女共同参画社会について
7. 自由意見

3. 報告書利用上の注意

- 端数処理の関係上、構成比(%)の計が100%とならないことがあります。
- 図表の構成比(%)は小数第2位以下を四捨五入したものです。
- 複数回答の設問は、すべての構成比(%)を合計すると100%を超える場合があります。
- 図表の「H17」は平成17年度、「H22」は平成22年度、「H27」は平成27年度を表しています。
- 図表の「小城市 H27」は、「男女共同参画に関する意識調査(H28.2 実施)」、「佐賀県 H26」は、「男女共同参画社会づくりのための佐賀県民意識調査(H26.10～11 実施)」、「全国 H24」は、「男女共同参画社会に関する世論調査(H24.10 実施)」の調査結果を用いています。

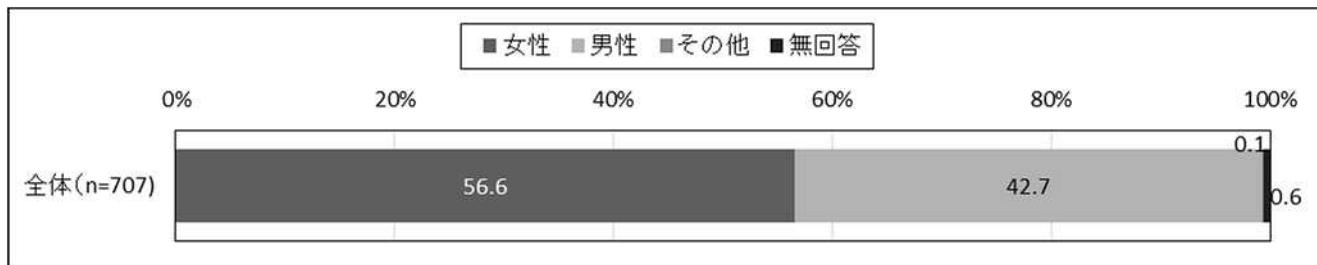
II 調查結果

II 調査結果

1. 回答者の属性

(1) 性別

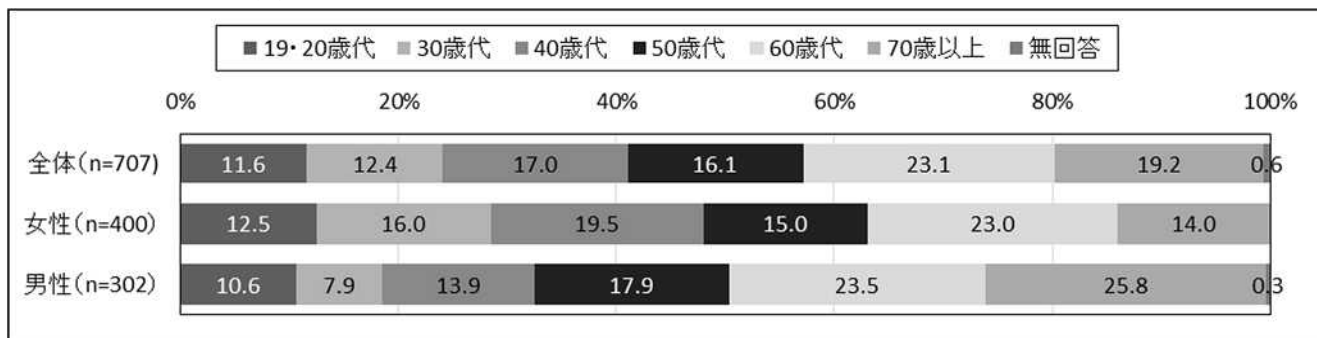
「女性」が56.6%、「男性」が42.7%となっています。



(2) 年代

「60 歳代」が23.1%で最も高く、次いで「70 歳以上」19.2%、「40 歳代」17.0%の順となっています。

性別で見ると、「50 歳代以下」では、女性が男性より回答した割合が高く、「70 歳以上」では、男性（25.8%）が女性（14.0%）より11.8ポイント高くなっています。

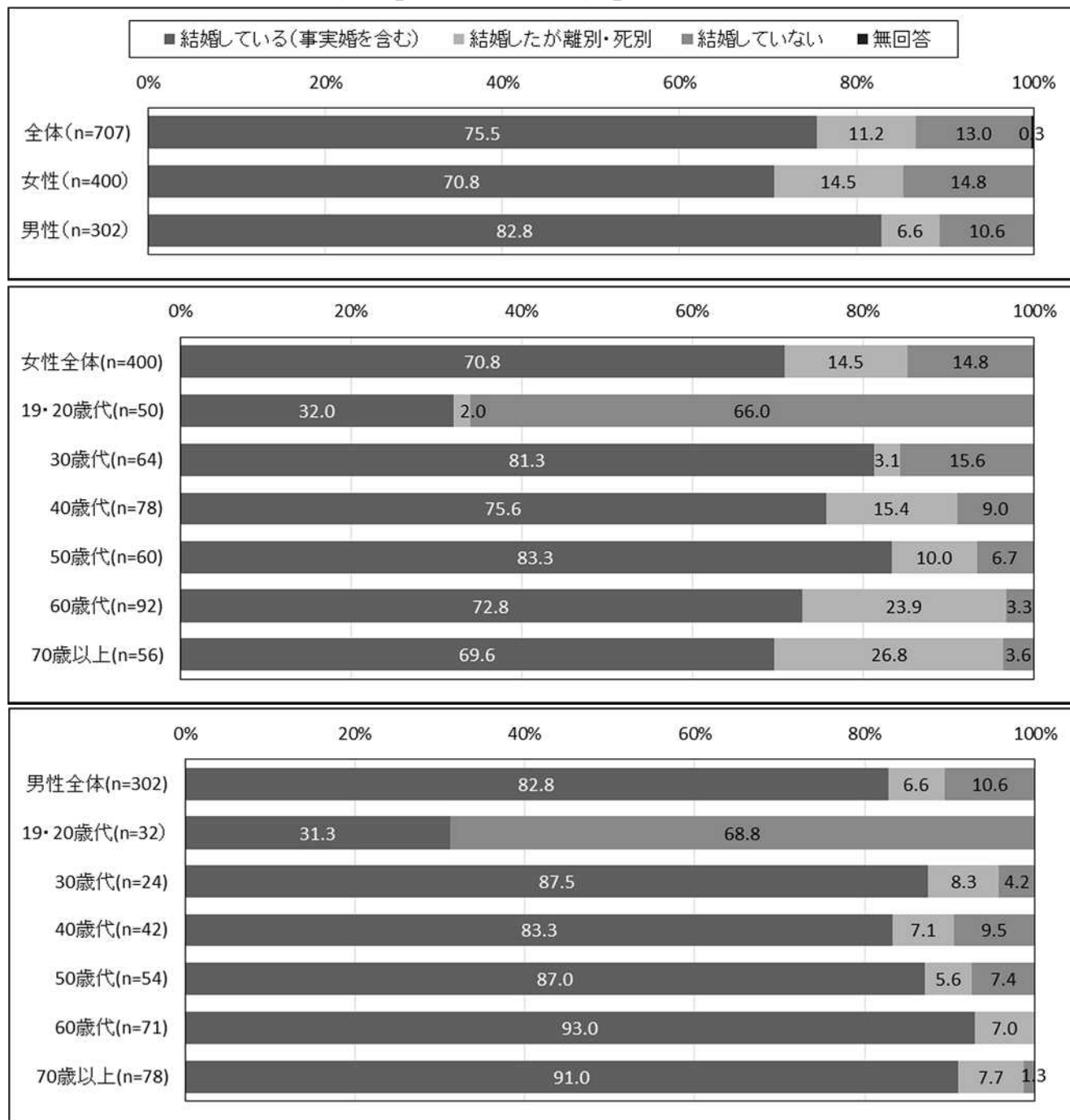


(3) 結婚の状況

「結婚している（事実婚を含む）」が 75.5%で最も高く、次いで「結婚していない」13.0%、「結婚したが離別・死別」11.2%の順となっています。

性別で見ると、「結婚したが離別・死別」と回答した割合は、女性（14.5%）が男性（6.6%）より 7.9 ポイント高く、「結婚している（事実婚を含む）」と回答した割合は、男性（82.8%）が女性（70.8%）より 12 ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「結婚している（事実婚を含む）」と回答した割合は、女性の「50 歳代」83.3%、男性の「60 歳代」93.0%が最も高くなっています。また、「結婚したが離別・死別」と回答した割合は、女性の「70 歳以上」26.8%、「60 歳代」23.9%で高くなっています。



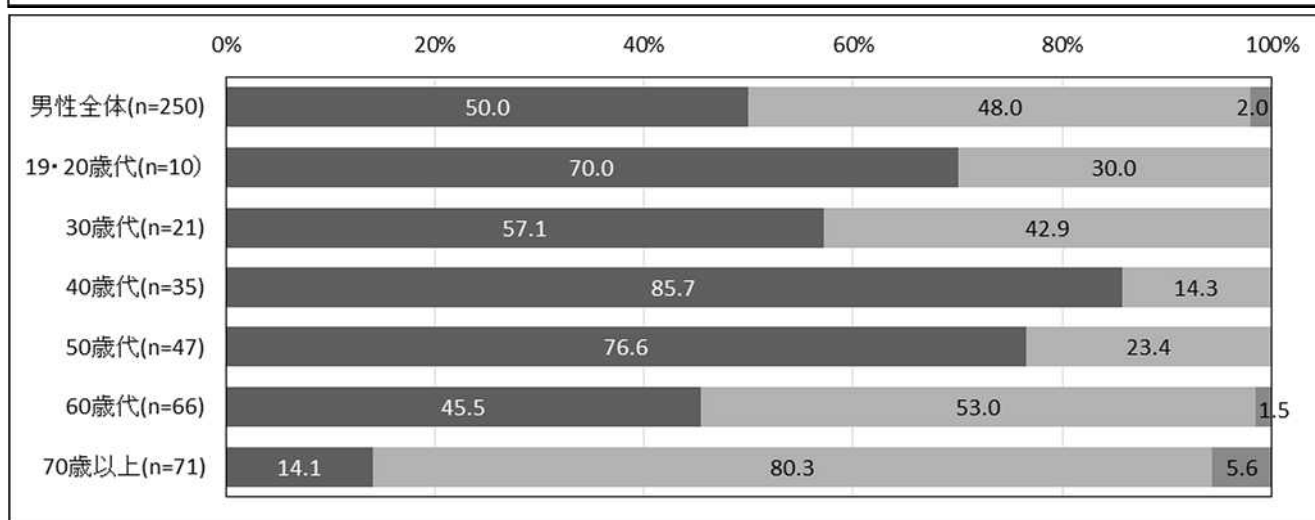
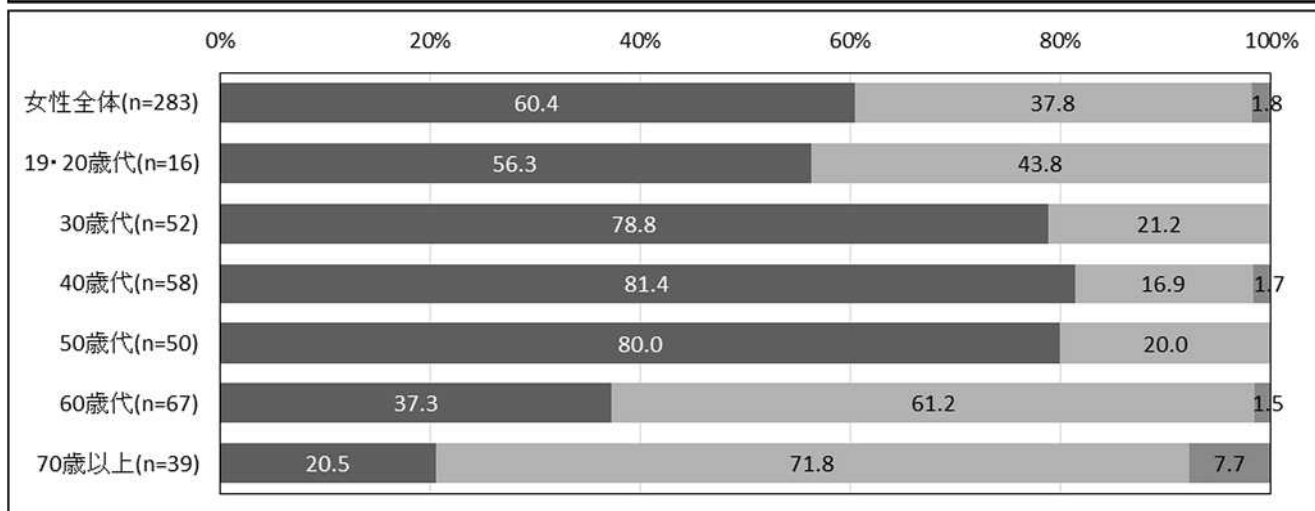
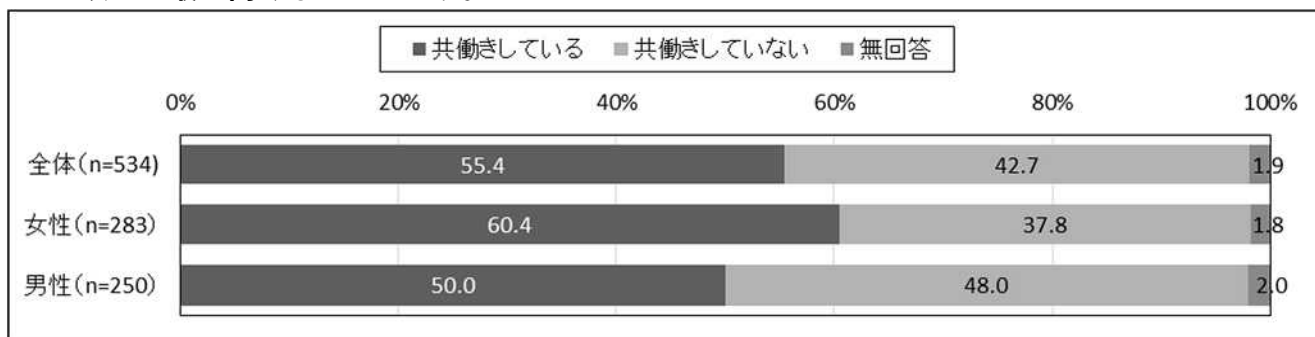
(3) で「結婚している（事実婚を含む）」と回答した方におうかがいします。

(4) 共働きの状況

「共働きしている」が 55.4%、「共働きしていない」42.7%となっています。

性別で見ると、「共働きしている」と回答した割合は、女性（60.4%）が男性（50.0%）より 10.4 ポイント高く、「共働きしていない」と回答した割合は、男性（48.0%）が女性（37.8%）より 10.2 ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「共働きしている」と回答した割合は、女性・男性ともに「40 歳代」が 80%以上で最も高くなっています。

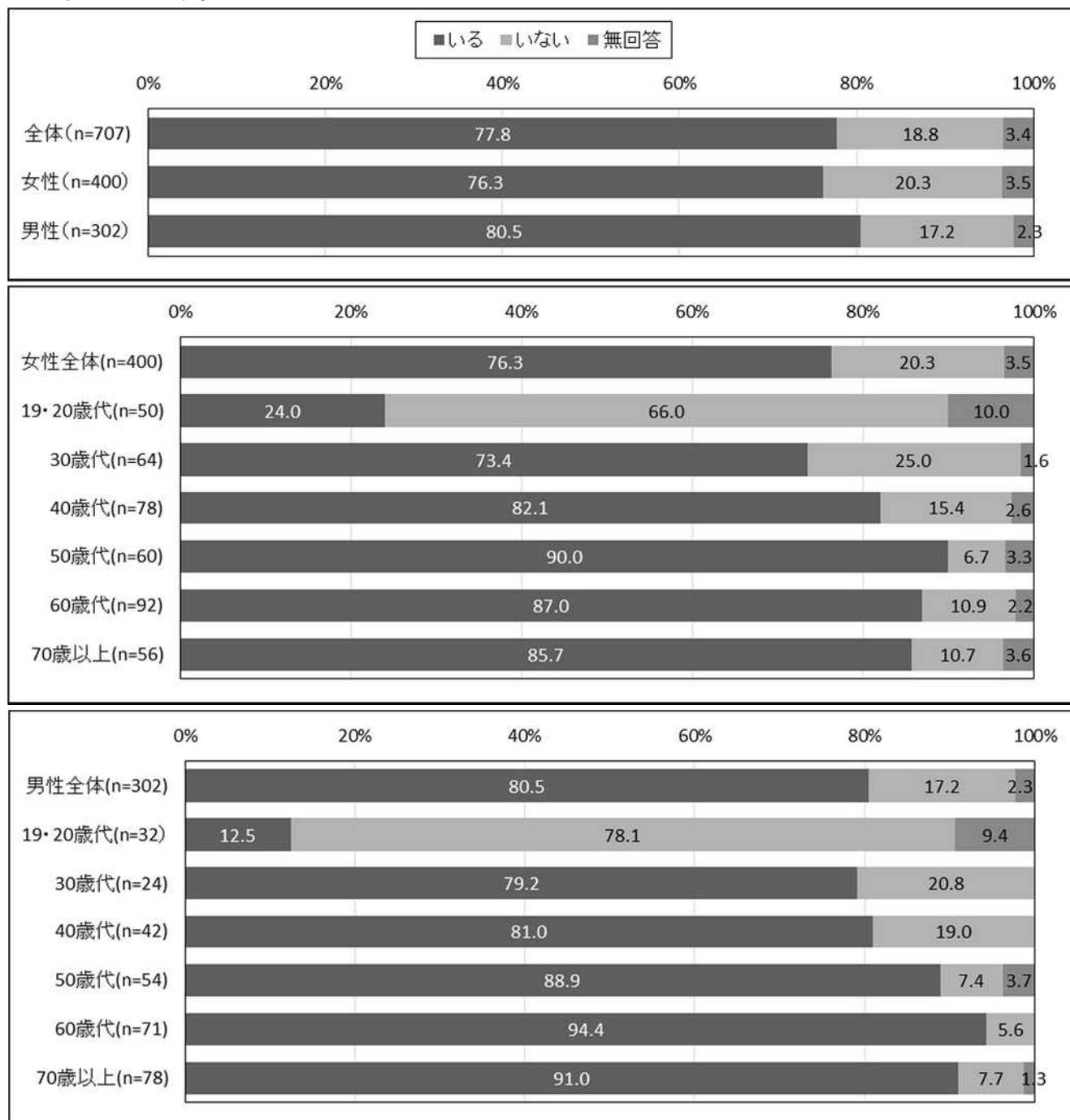


(5) 子どもの状況

「いる」が77.8%、「いない」18.8%となっています。

性別による大きな差異は見られません。

性別・年代別で見ると、「いる」と回答した割合は、女性・男性ともに「30歳以上」で70%以上となっています。

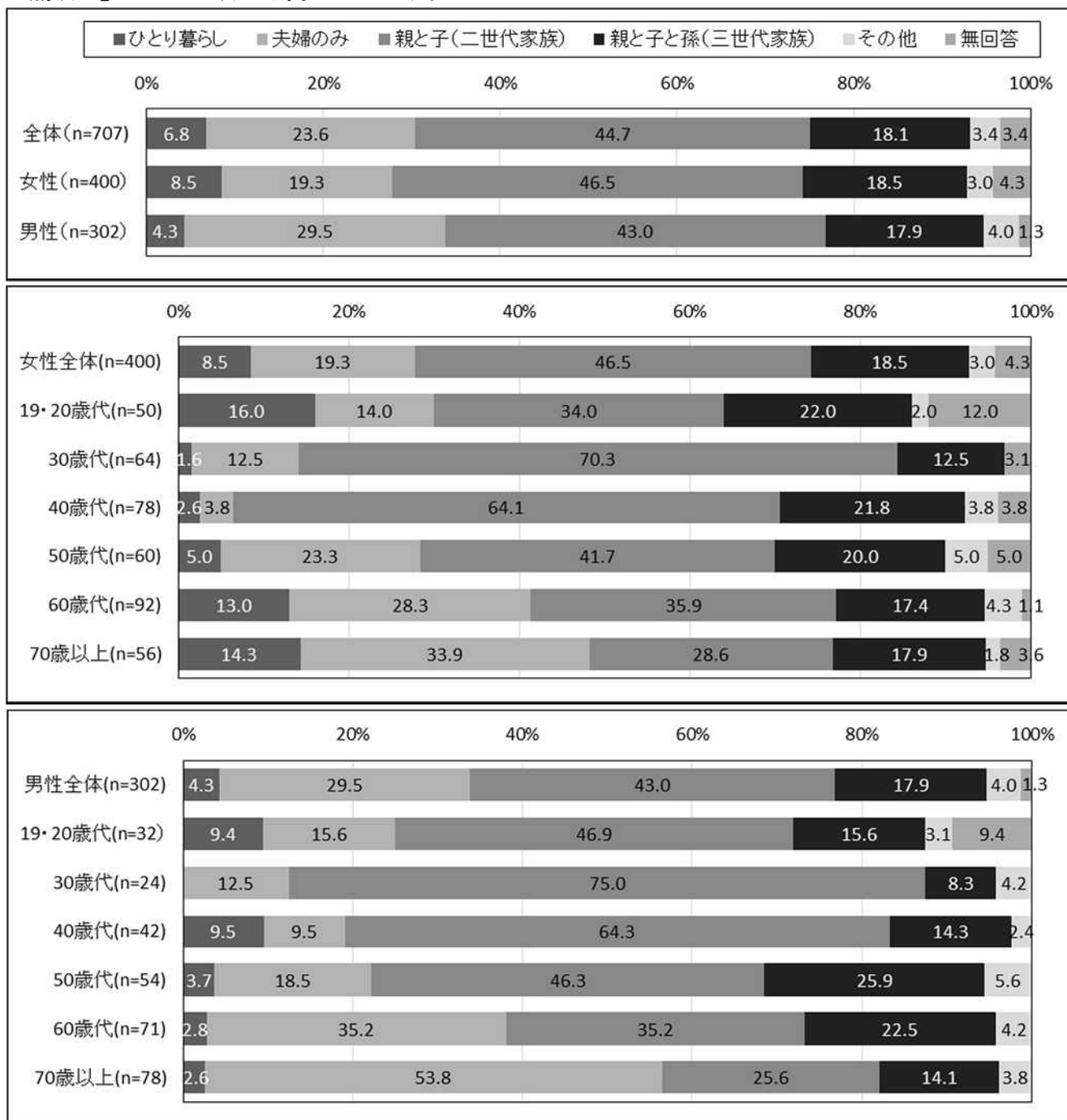


(6) 家族構成

「親と子（二世世代家族）」が44.7%で最も高く、次いで「夫婦のみ」23.6%、「親と子と孫（三世世代家族）」18.1%の順となっています。

性別で見ると、「夫婦のみ」と回答した割合は、男性（29.5%）が女性（19.3%）より10.2ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「親と子（二世世代家族）」と回答した割合は、女性・男性ともに「30歳代」が70%以上で最も高くなっています。また、「夫婦のみ」と回答した割合は、男性の「70歳以上」で50%以上を占めています。

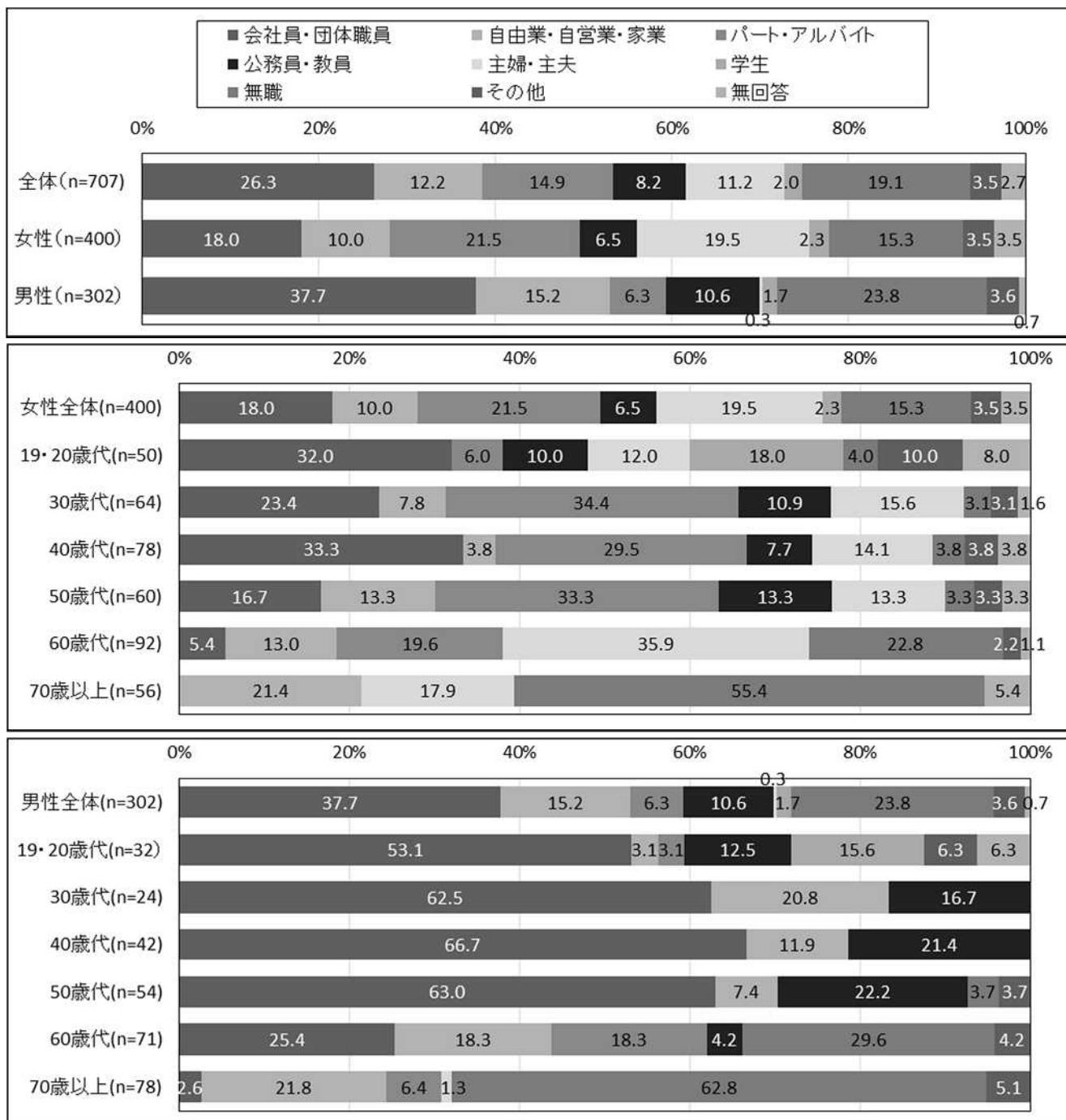


(7) 主な職業

「会社員・団体職員」が26.3%で最も高く、次いで「無職」19.1%、「パート・アルバイト」14.9%の順となっています。

性別で見ると、「会社員・団体職員」と回答した割合は、男性（37.7%）が女性（18.0%）より19.7ポイント高く、「主婦・主夫」と回答した割合は、女性（19.5%）が男性（0.3%）より19.2ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「パート・アルバイト」と回答した割合は、女性の「30歳～50歳代」で30%程度と高くなっており、「会社員・団体職員」と回答した割合は、男性の「30歳～50歳代」で60%以上と高くなっています。



2. 結婚や家庭生活について

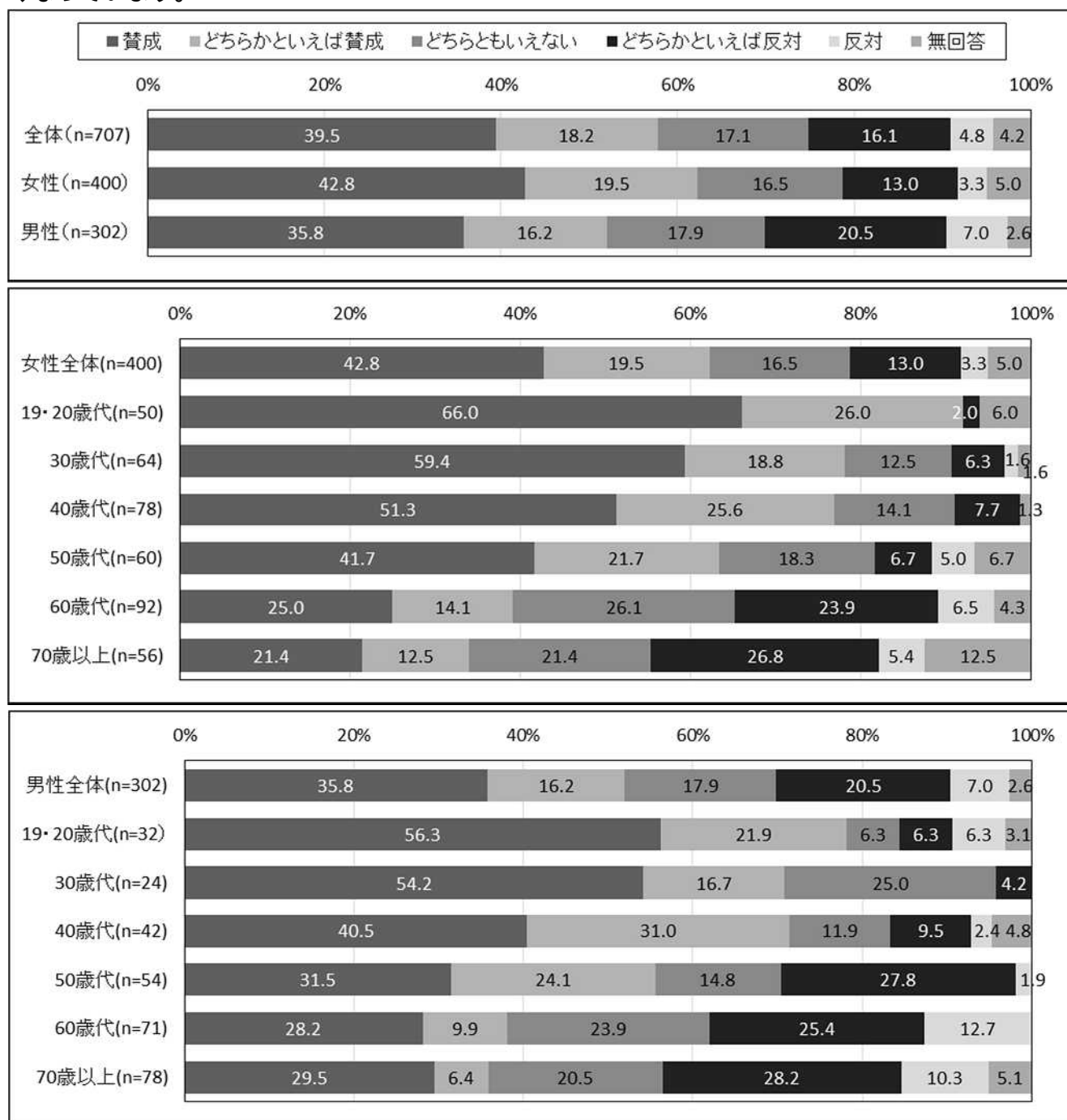
(8) あなたは、結婚・家庭・離婚についてどのように考えますか。

①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

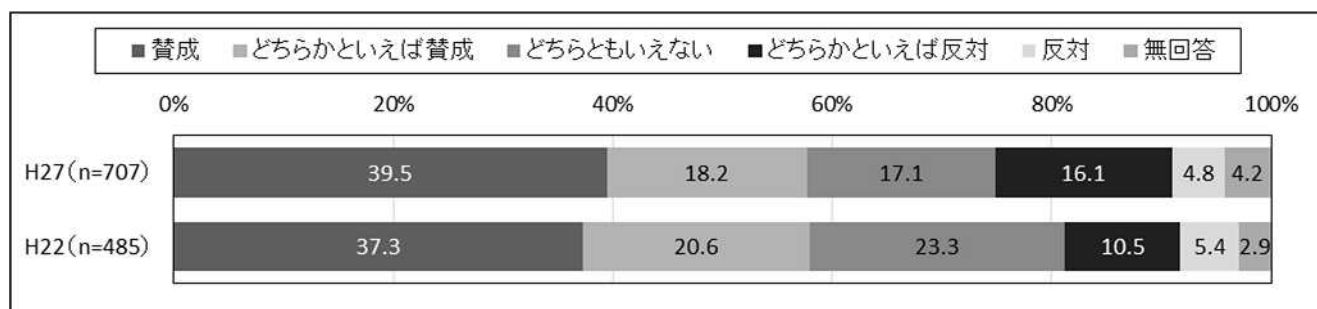
『賛成』（「賛成」＋「どちらかといえば賛成」）が 57.7%、『反対』（「反対」＋「どちらかといえば反対」）20.9%、「どちらともいえない」17.1%となっています。

性別で見ると、「賛成」と回答した割合は、女性・男性ともに最も高くなっており、『賛成』と回答した割合も女性・男性ともに 50%以上を占めています。

性別・年代別で見ると、女性・男性ともに年代が上がるにつれ、『賛成』と回答した割合が、低くなっています。



H22 と H27 の調査を比較すると、『賛成』と回答した割合は、H27 (57.7%) と H22 (57.9%) で大きな差異はありませんが、『反対』と回答した割合は、H27 (20.9%) が H22 (15.9%) より 5 ポイント高くなっています。

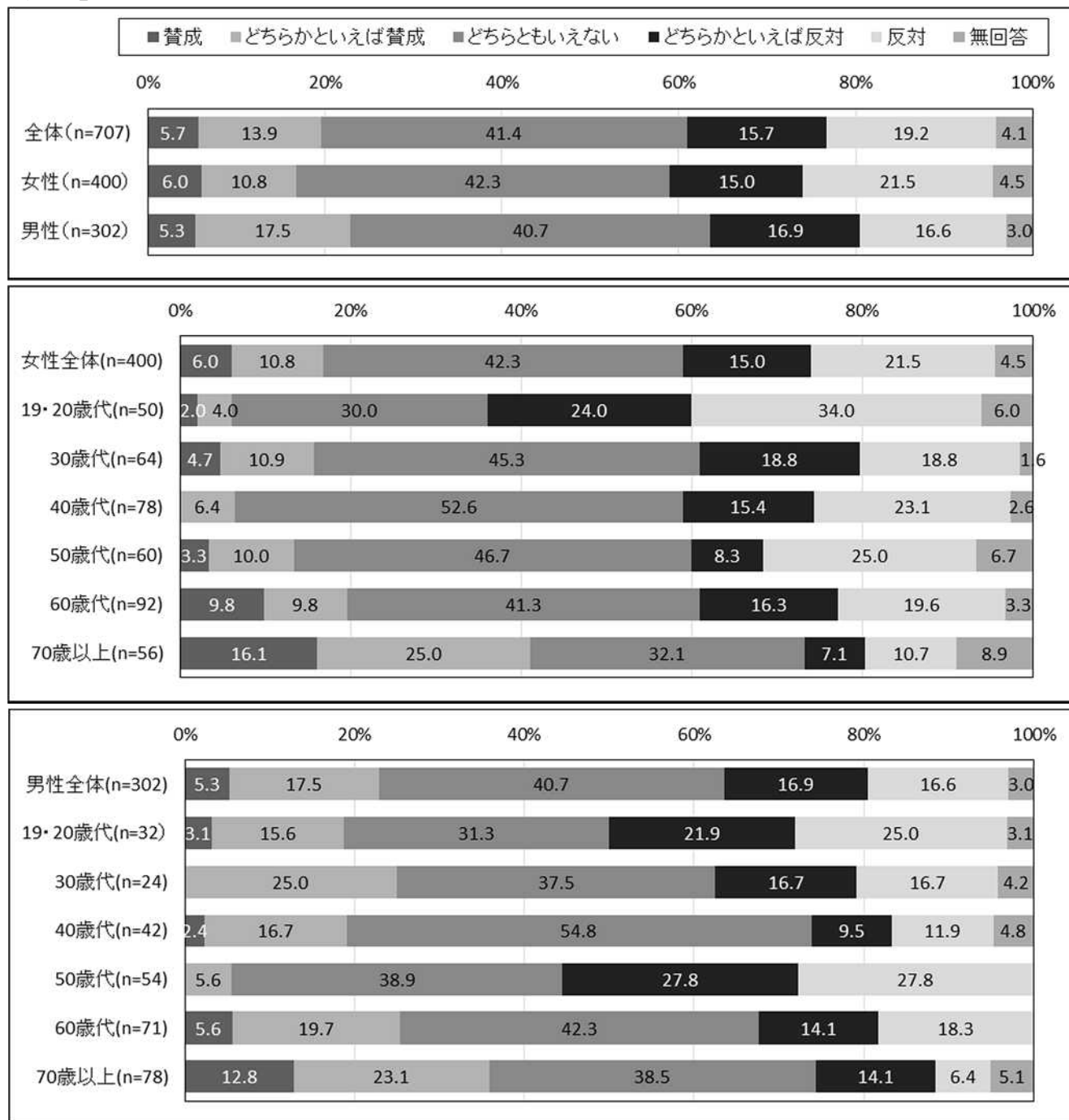


②夫は外で働き、妻は家庭を守るべき

「どちらともいえない」が41.4%で、『反対』34.9%、『賛成』19.6%となっています。

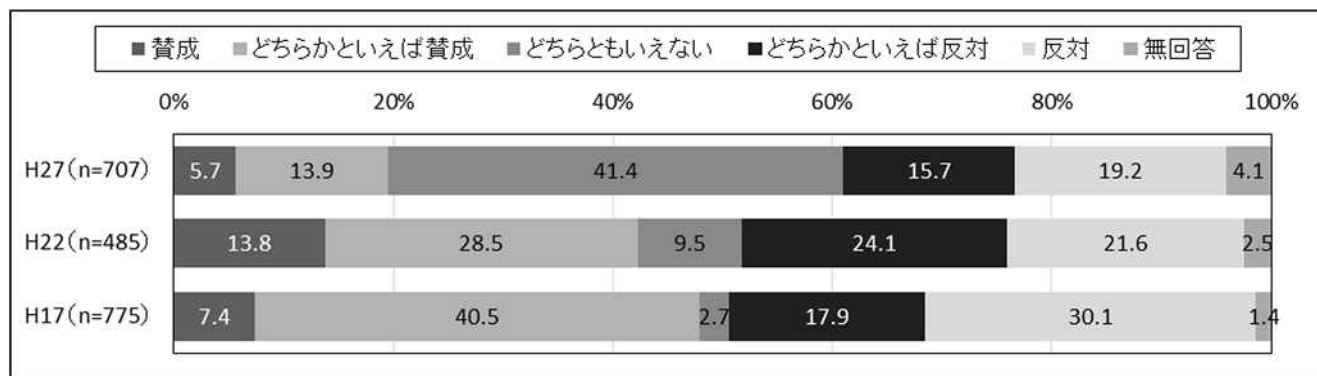
性別で見ると、『賛成』と回答した割合は、男性（22.8%）が女性（16.8%）より6ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、『反対』と回答した割合は、女性の「19・20歳代」58.0%、男性の「50歳代」55.6%で高くなっています。一方、『賛成』と回答した割合は、女性・男性ともに「70歳以上」で35%以上と高くなっています。



H22 と H27 の調査を比較すると、『反対』と回答した割合は、H27 (34.9%) が H22 (45.7%) より 10.8 ポイント低くなっています。

H17 と H27 の調査を比較すると、『反対』と回答した割合は、H27 (34.9%) が H17 (48.0%) より 13.1 ポイント低くなっています。



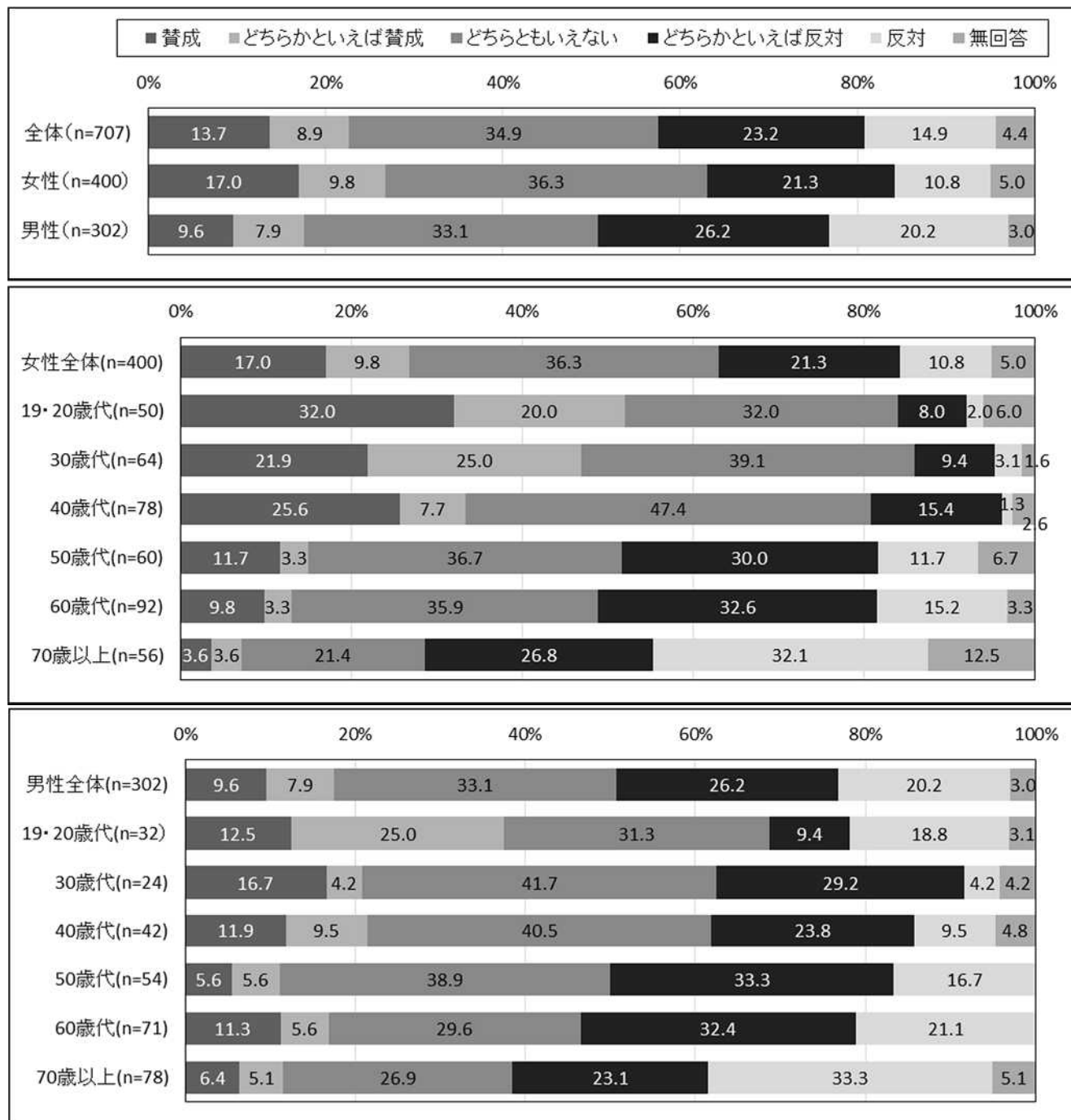
※H17 と H22 の調査では、「どちらともいえない」ではなく「わからない」で集計しているため、グラフ中の「どちらともいえない」の割合は、「わからない」と回答した人の割合を使用しています。

③結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない

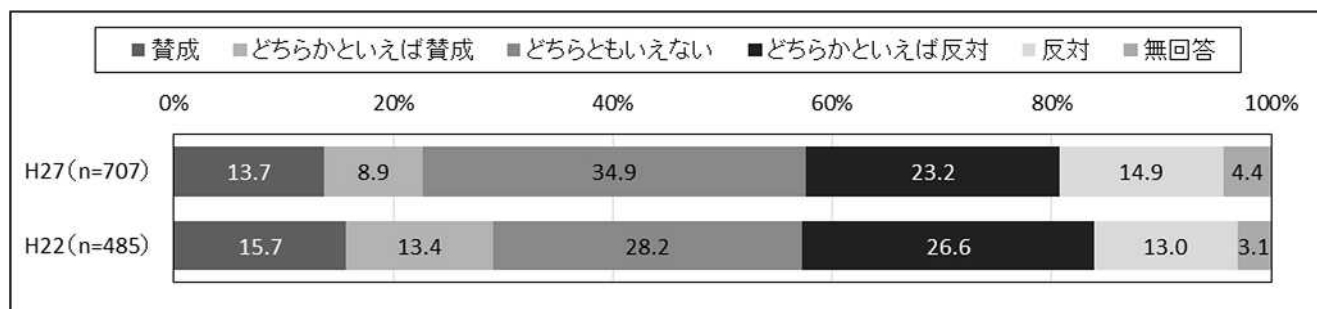
『反対』が38.1%、「どちらともいえない」34.9%、『賛成』22.6%となっています。

性別で見ると、『賛成』と回答した割合は、女性（26.8%）が男性（17.5%）より9.3ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、『反対』と回答した割合は、女性・男性ともに年代が上がるにつれ高くなり、女性では、「19・20歳代」（10.0%）から「70歳以上」（58.9%）と48.9ポイント高くなり、男性でも、「19・20歳代」（28.2%）から「70歳以上」（56.4%）と28.2ポイント高くなっています。



H22 と H27 の調査を比較すると、『賛成』と回答した割合は、H27 (22.6%) が H22 (29.1%) より 6.5 ポイント低くなっています。

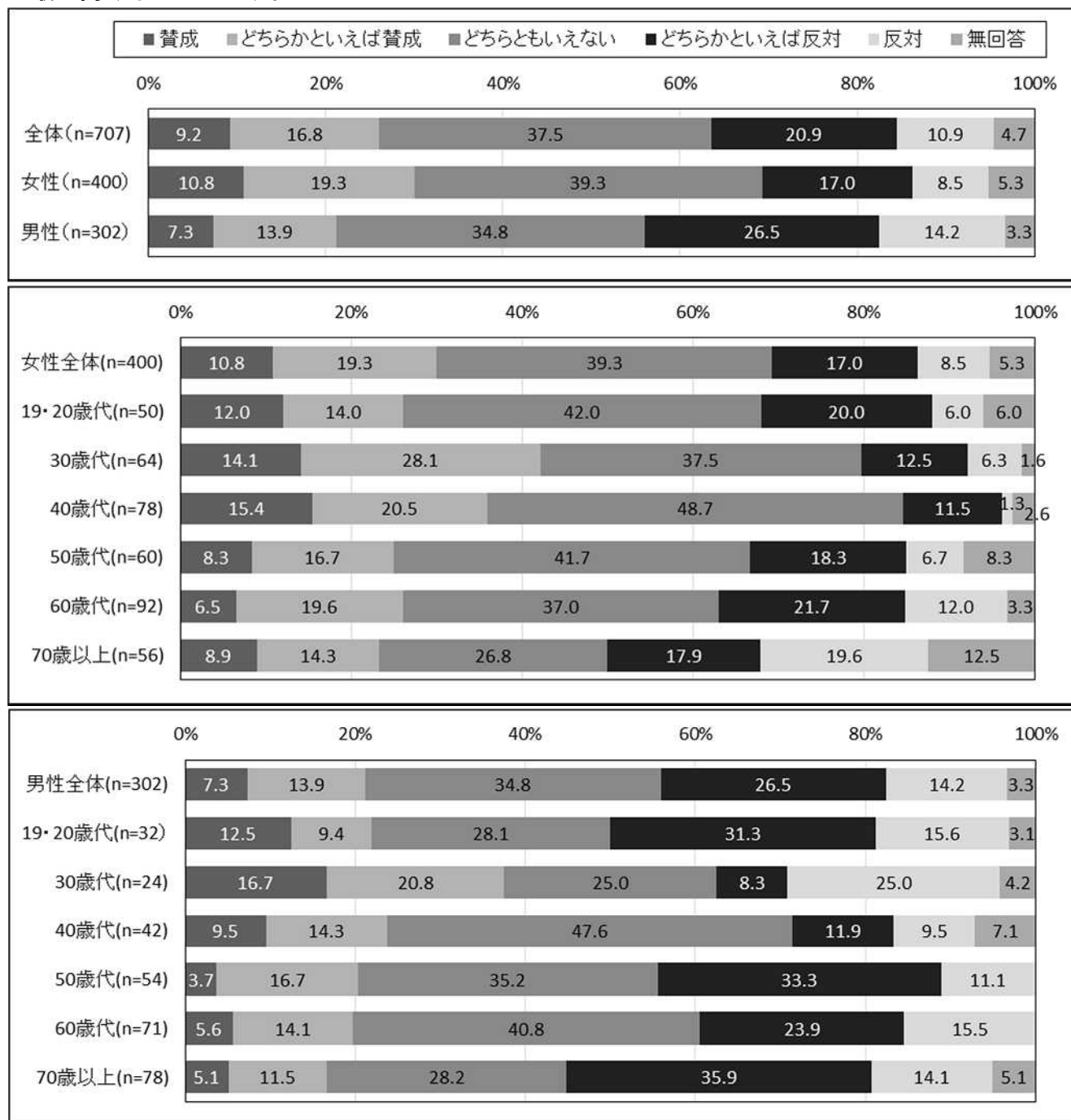


④結婚して相手に満足できないときは離婚すればよい

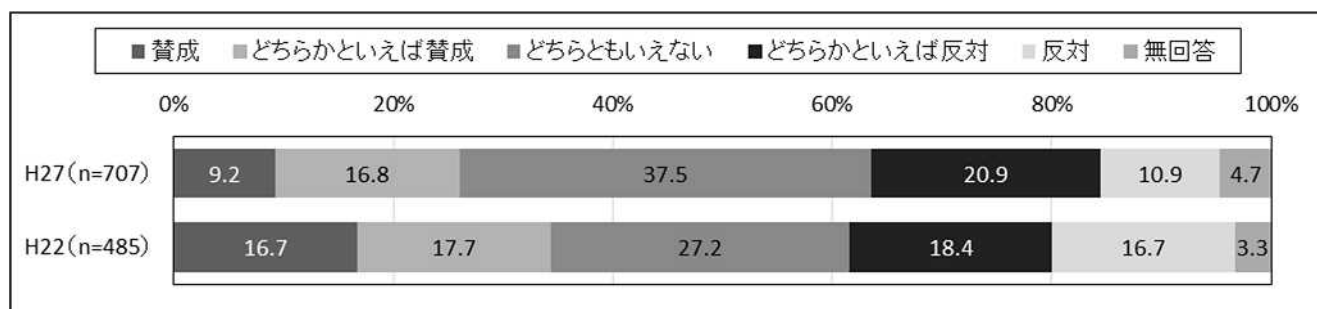
「どちらともいえない」が37.5%、次いで『反対』31.8%、『賛成』26.0%となっています。

性別で見ると、『反対』と回答した割合は、男性（40.7%）が女性（25.5%）より15.2ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、『賛成』と回答した割合は、女性・男性ともに「30歳代」が40%程度と最も高くなっています。



H22 と H27 の調査を比較すると、『賛成』と回答した割合は、H27 (26.0%) が H22 (34.4%) より 8.4 ポイント低くなっており、『反対』と回答した割合も、H27 (31.8%) が H22 (35.1%) より 3.3 ポイント低くなっています。

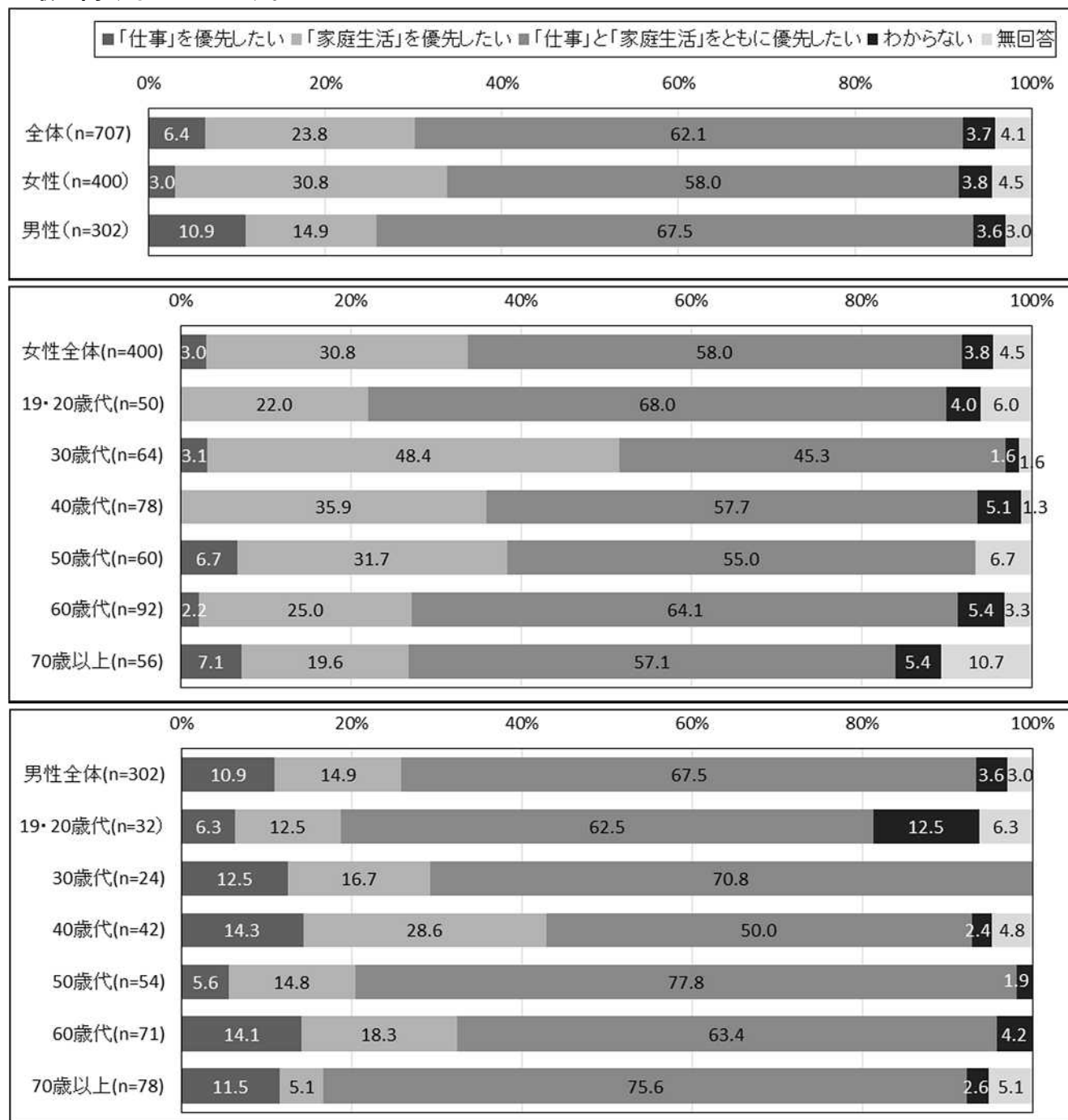


(9) 仕事と生活について、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

「『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」が62.1%で最も高く、次いで「『家庭生活』を優先したい」23.8%、「『仕事』を優先したい」6.4%の順となっています。

性別で見ると、「『家庭生活』を優先したい」と回答した割合は、女性(30.8%)が男性(14.9%)より15.9ポイント高く、「『仕事』と『家庭生活』を優先したい」と回答した割合は、男性(67.5%)が女性(58.0%)より9.5ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「『家庭生活』を優先したい」と回答した割合は、女性の「30歳代」48.4%と最も高くなっています。

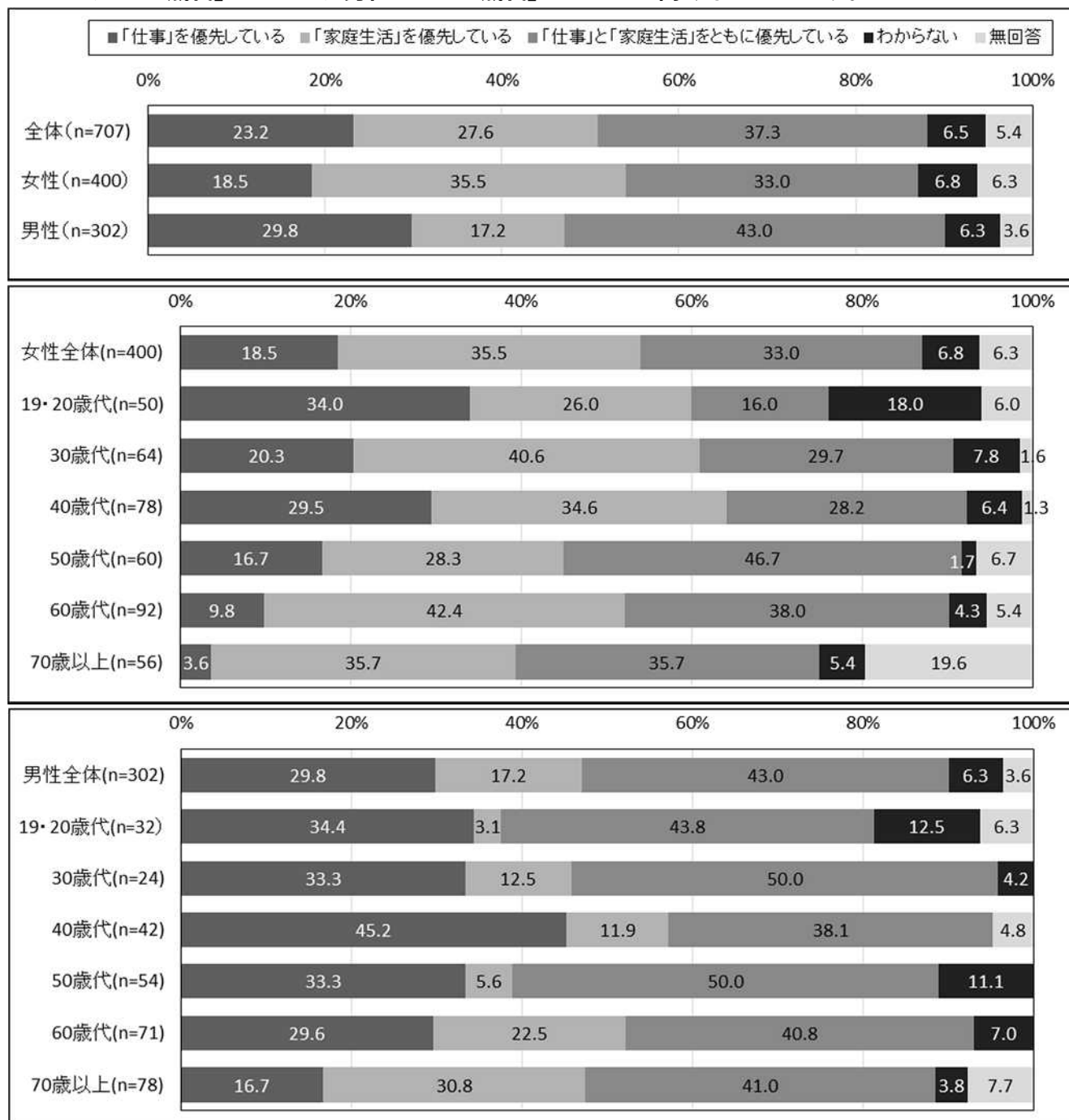


（１０）仕事と生活について、あなたの現実（現状）に近いものを１つ選んでください。

「『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」が 37.3%で最も高く、次いで「『家庭生活』を優先している」 27.6%、「『仕事』を優先している」 23.2%の順となっています。

性別で見ると、「『家庭生活』を優先している」と回答した割合は、女性(35.5%)が男性(17.2%)より 18.3 ポイント高く、「『仕事』を優先している」と回答した割合は、男性(29.8%)が女性(18.5%)より 11.3 ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「『仕事』を優先している」と回答した割合は、女性の「19・20 歳代」 34.0%、「40 歳代」 29.5%、男性の「40 歳代」 45.2%と高くなっています。



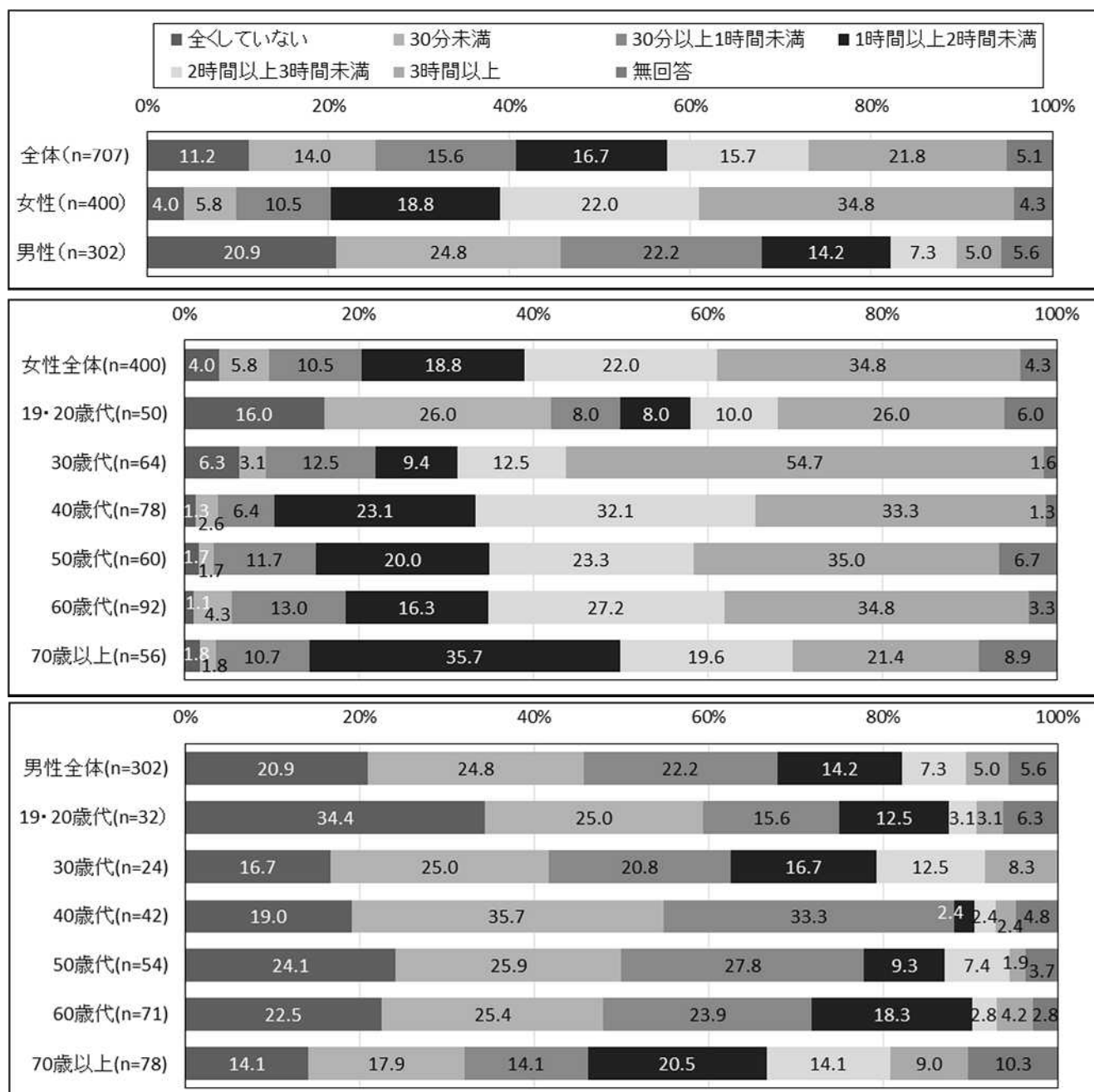
（１１）あなたは、１日に平均してどれくらいの時間を家事（育児・介護を含む）にかけていますか。

①平日

「３時間以上」が２１.８％で最も高く、次いで「１時間以上２時間未満」１６.７％、「２時間以上３時間未満」１５.７％の順となっています。

性別で見ると、「３時間以上」と回答した割合は、女性（３４.８％）が男性（５.０％）より ２９.８ポイント高く、「全くしていない」と回答した割合は、男性（２０.９％）が女性（４.０％）より １６.９ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「３時間以上」と回答した割合は、女性の「３０歳代」５４.７％が最も高くなっています。また、「１時間以上」と回答した割合は、男性の「７０歳以上」４３.６％と高くなっています。

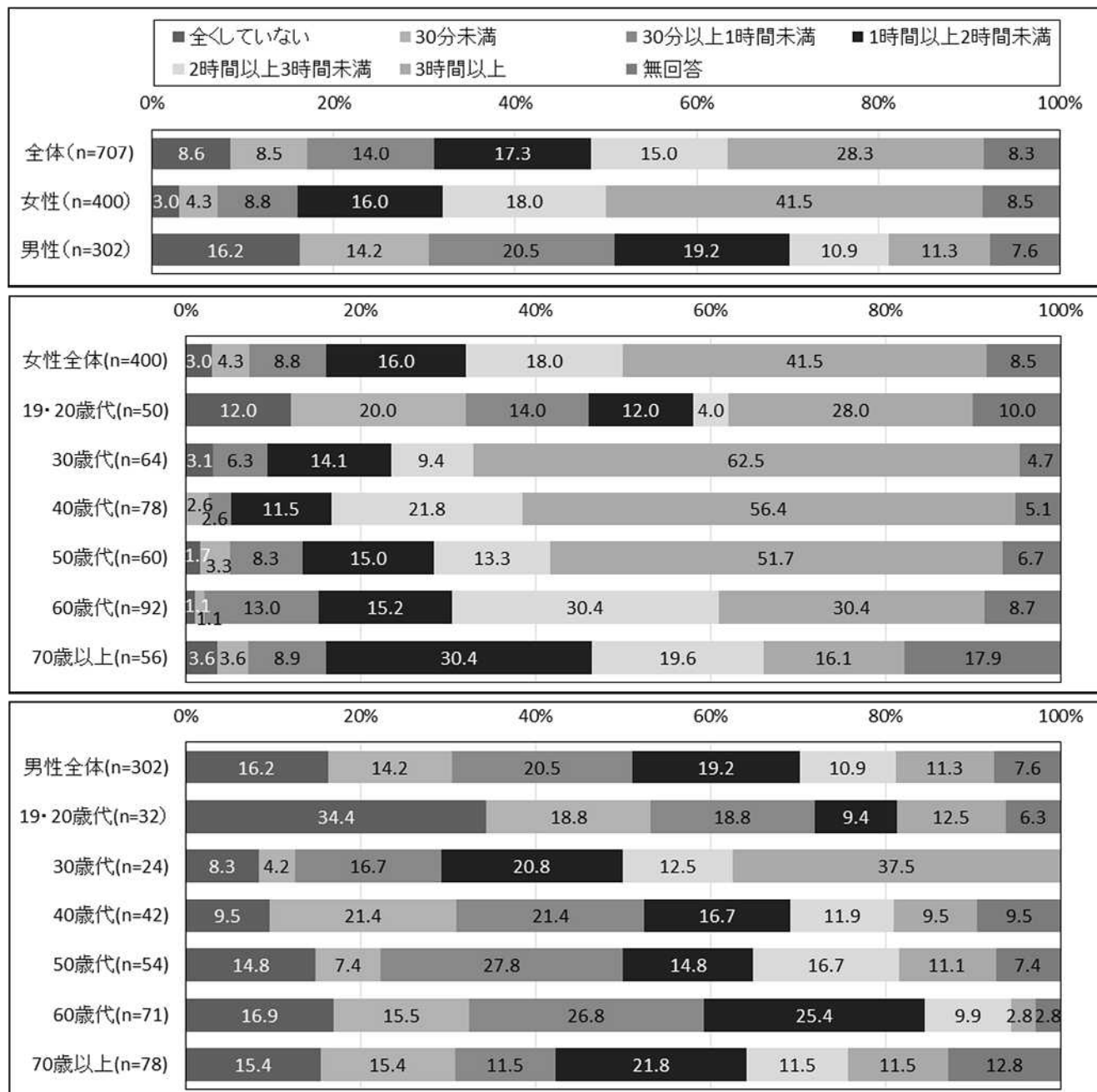


②休日

「3時間以上」が28.3%で最も高く、次いで「1時間以上2時間未満」17.3%、「2時間以上3時間未満」15.0%の順となっています。

性別で見ると、「3時間以上」と回答した割合は、女性（41.5%）が男性（11.3%）より30.2ポイント高く、男性で「1時間未満」と回答した割合は、50.9%と高くなっています。

性別・年代別で見ると、「3時間以上」と回答した割合は、女性の「30～50歳代」で高く、いずれも半数以上を占めています。また、「3時間以上」と回答した割合は、男性の「30歳代」37.5%と高くなっています。



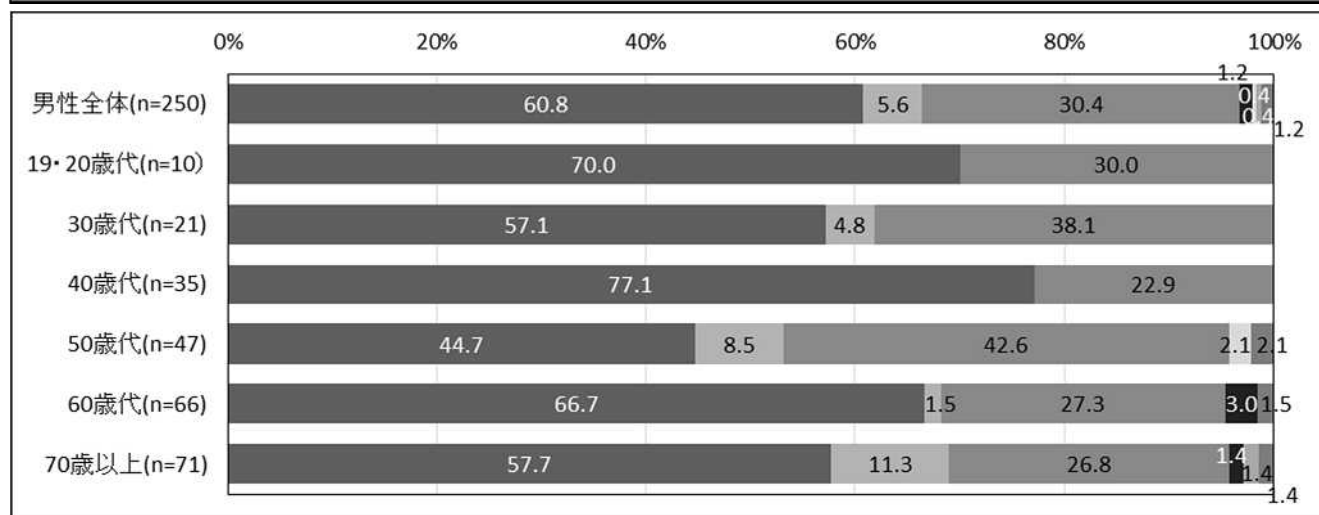
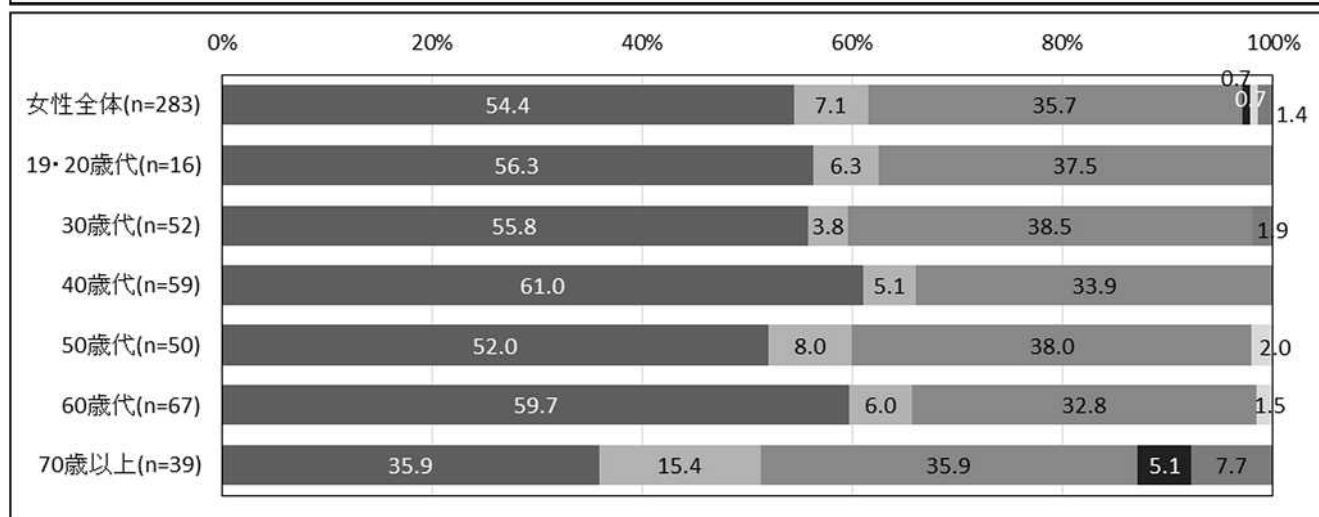
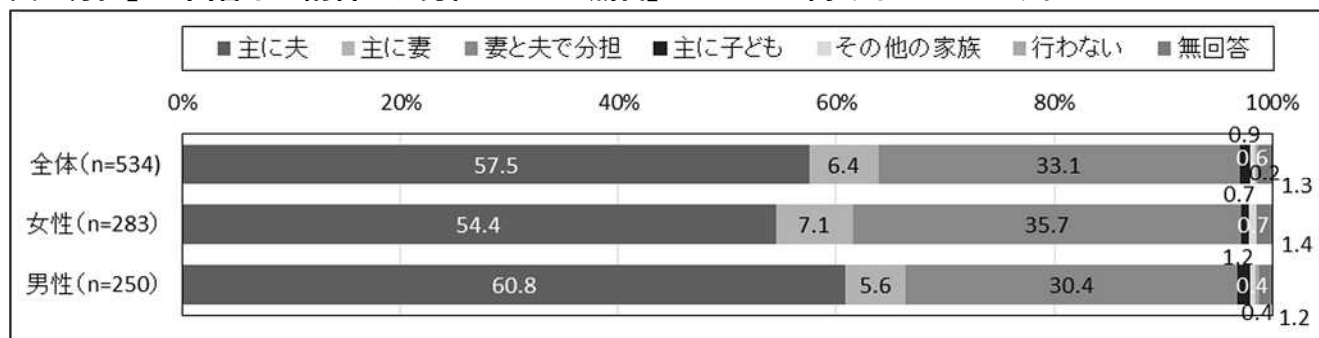
(3) で「結婚している（事実婚を含む）」と回答した方におうかがいします。
 (12) あなたの家庭では、次のことを主に誰が行っていますか。

①家計を支える

「主に夫」が 57.5%で最も高く、次いで「妻と夫で分担」33.1%、「主に妻」6.4%の順となっています。

性別で見ると、「妻と夫で分担」と回答した割合は、女性（35.7%）が男性（30.4%）より 5.3 ポイント高く、「主に夫」と回答した割合は、男性（60.8%）が女性（54.4%）より 6.4 ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「主に夫」と回答した割合は、女性の「40 歳代」61.0%、「60 歳代」59.7%、男性の「40 歳代」77.1%、「19・20 歳代」70.0%と高くなっています。また、「妻と夫で分担」と回答した割合は、男性の「50 歳代」42.6%と高くなっています。

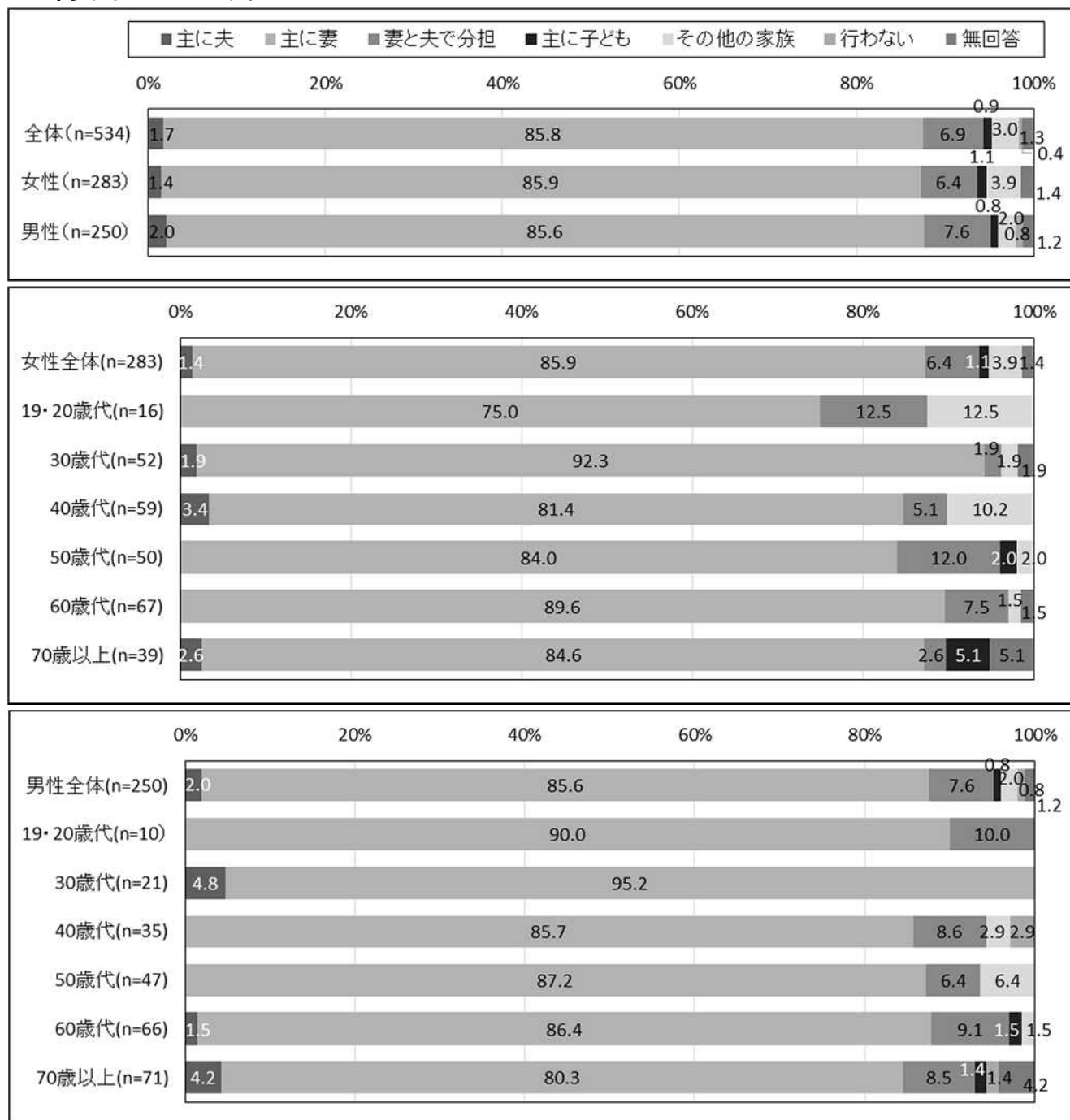


②食事のしたく

「主に妻」が85.8%で最も高く、次いで「妻と夫で分担」6.9%、「その他の家族」3.0%の順となっています。

性別による大きな差異は見られません。

性別・年代別で見ると、「主に妻」と回答した割合は、女性・男性ともに「30歳代」で90%以上と高くなっています。

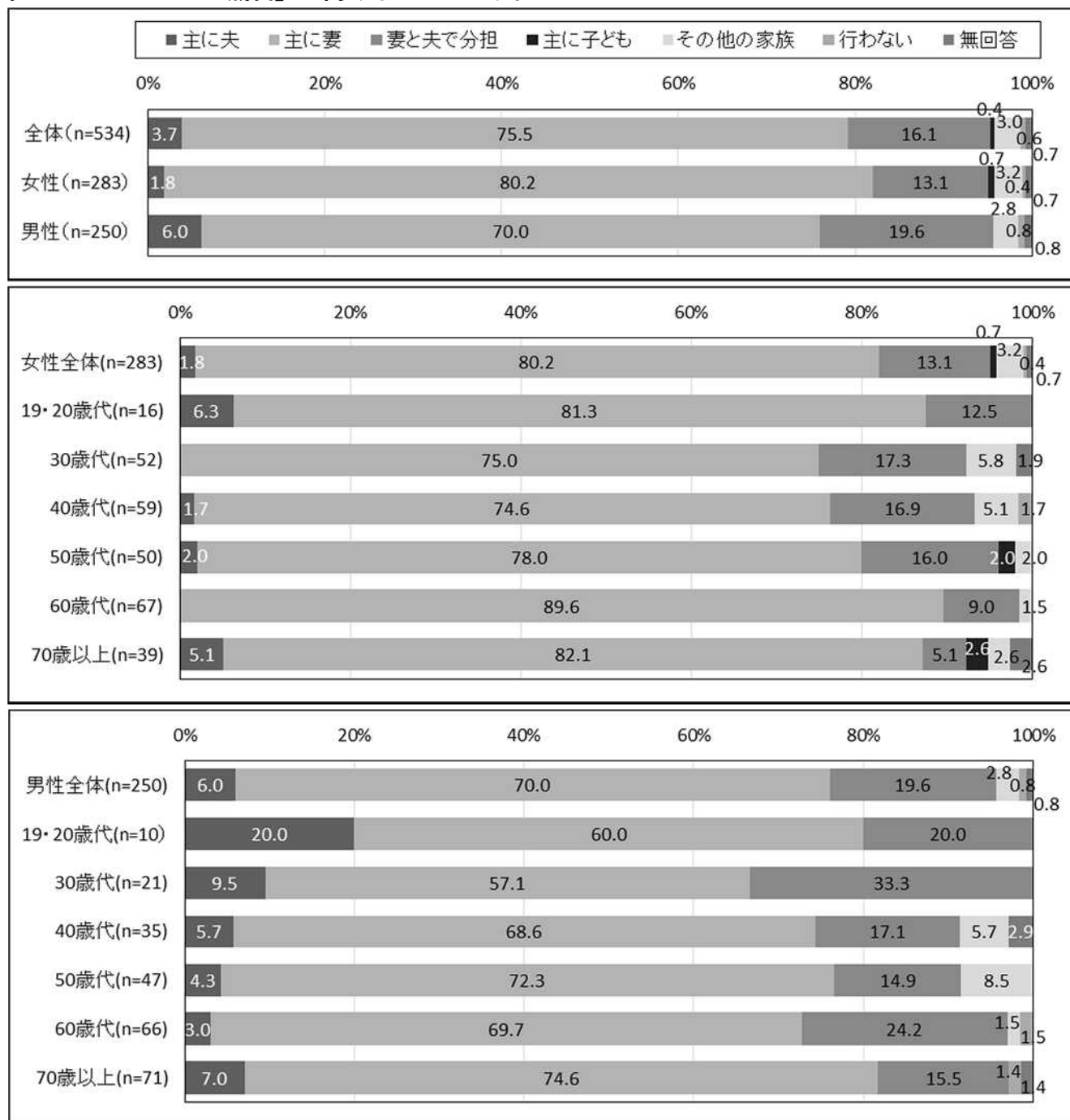


③食事の後片付け、食器洗い

「主に妻」が75.5%で最も高く、次いで「妻と夫で分担」16.1%、「主に夫」3.7%の順となっています。

性別で見ると、「主に妻」と回答した割合は、女性（80.2%）が男性（70.0%）より10.2ポイント高く、「妻と夫で分担」と回答した割合は、男性（19.6%）が女性（13.1%）より6.5ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「妻と夫で分担」と回答した割合は、女性の「30～50歳代」16%以上、男性の「30歳代」30%以上と高くなっています。また、「主に夫」と回答した割合は、女性・男性ともに「19・20歳代」と高くなっています。

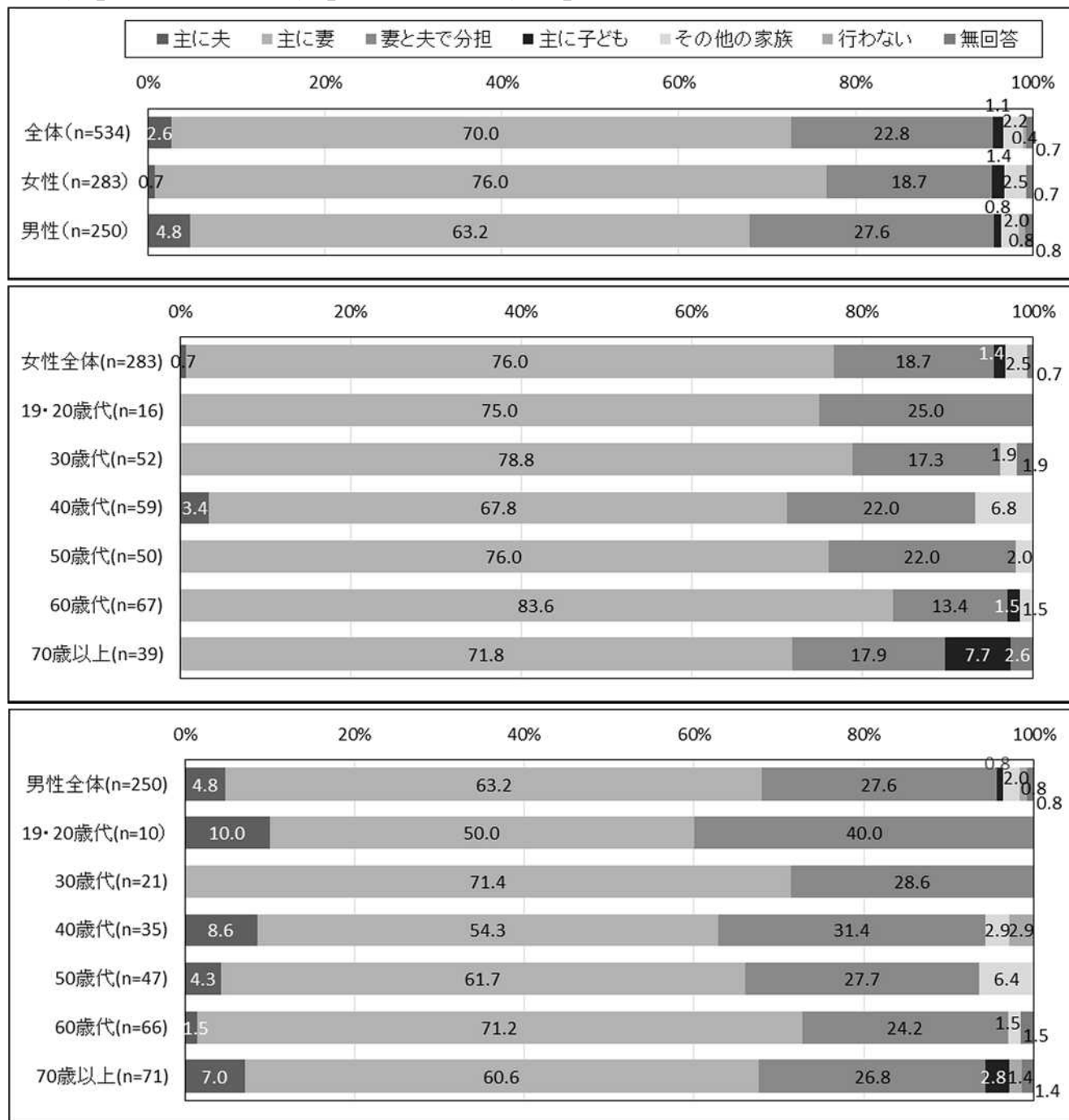


④掃除

「主に妻」が70.0%で最も高く、次いで「妻と夫で分担」22.8%、「主に夫」2.6%の順となっています。

性別で見ると、「主に妻」と回答した割合は、女性（76.0%）が男性（63.2%）より12.8%高く、「妻と夫で分担」と回答した割合は、男性（27.6%）が女性（18.7%）より8.9ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「主に夫」と回答した割合は、女性の「40歳代」3.4%、男性の「19・20歳代」10.0%、「40歳代」8.6%、「70歳以上」7.0%と高くなっています。

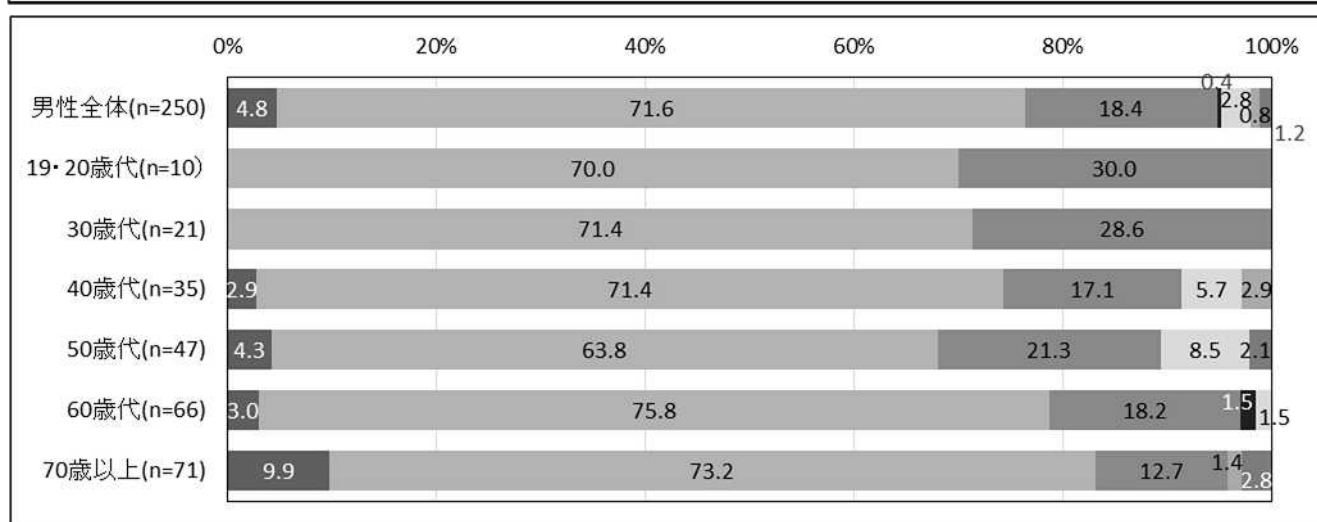
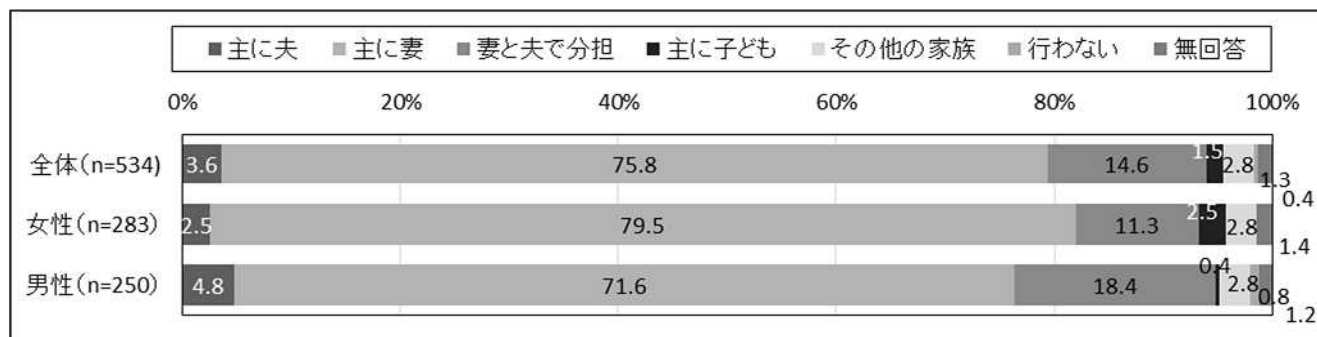


⑤洗濯

「主に妻」が75.8%で最も高く、次いで「妻と夫で分担」14.6%、「主に夫」3.6%の順となっています。

性別で見ると、「主に妻」と回答した割合は、女性（79.5%）が男性（71.6%）より7.9ポイント高く、「妻と夫で分担」と回答した割合は、男性（18.4%）が女性（11.3%）より7.1ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「主に夫」と回答した割合は、女性の「40歳代」8.5%、男性の「70歳以上」9.9%と高くなっています。

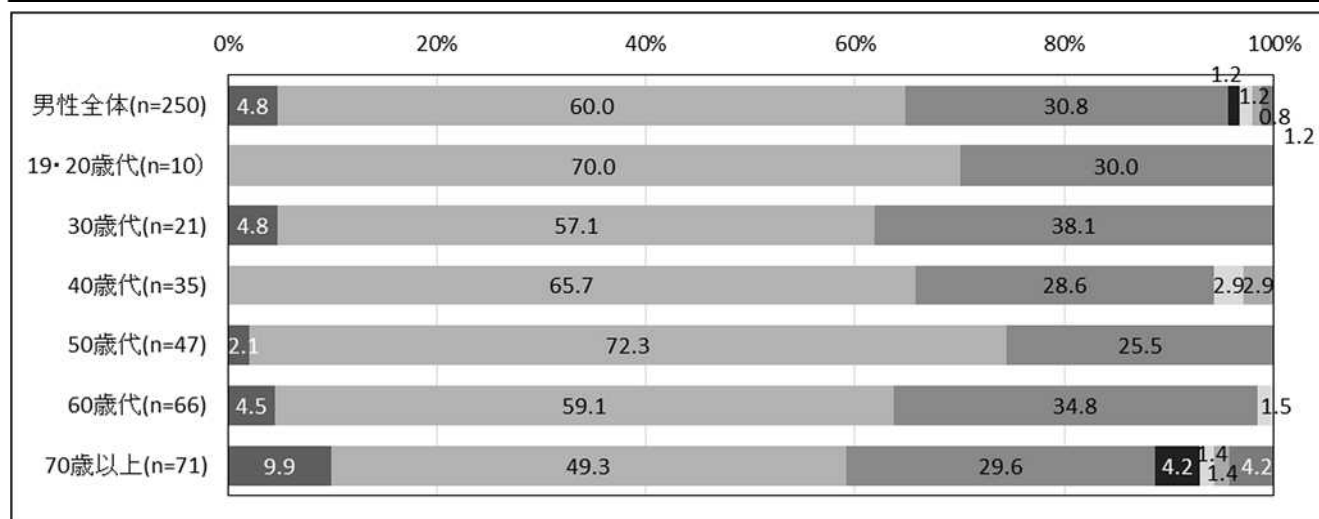
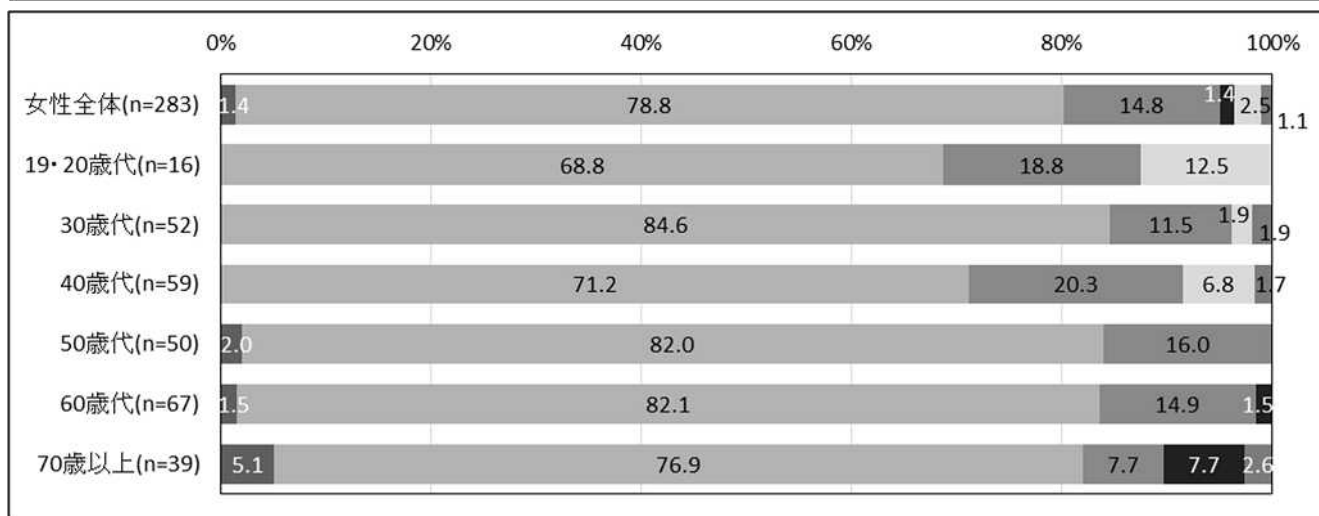
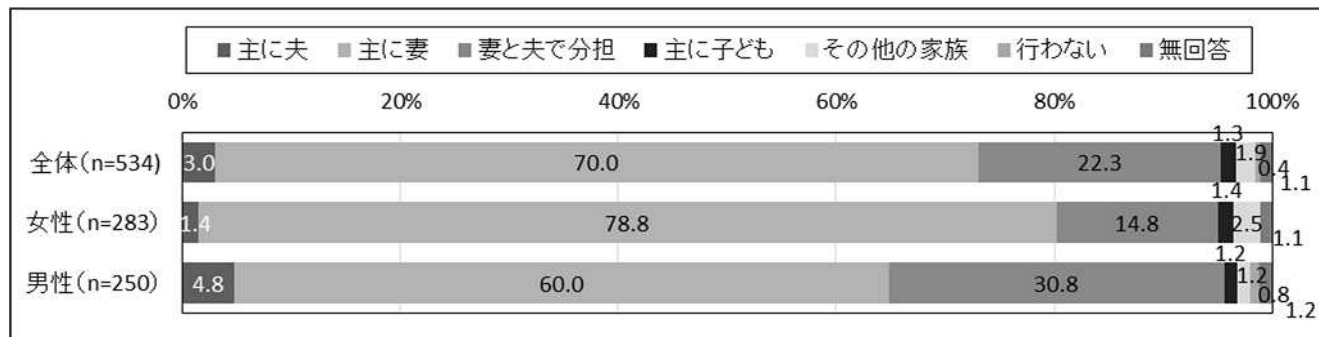


⑥食料品、日用品の買い物

「主に妻」が70.0%で最も高く、次いで「妻と夫で分担」22.3%、「主に夫」3.0%の順となっています。

性別で見ると、「主に妻」と回答した割合は、女性（78.8%）が男性（60.0%）より18.8ポイント高く、「妻と夫で分担」と回答した割合は、男性（30.8%）が女性（14.8%）より16ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「妻と夫で分担」と回答した割合は、女性の「40歳代」20.3%、「19・20歳代」18.8%、男性の「30歳代」38.1%、「60歳代」34.8%と高くなっています。

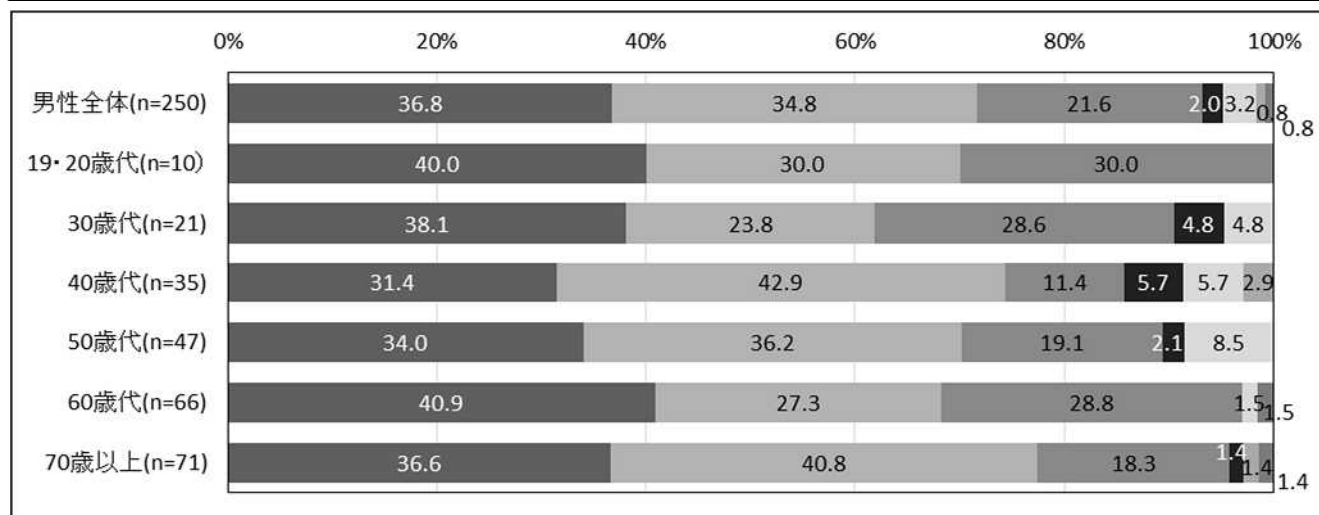
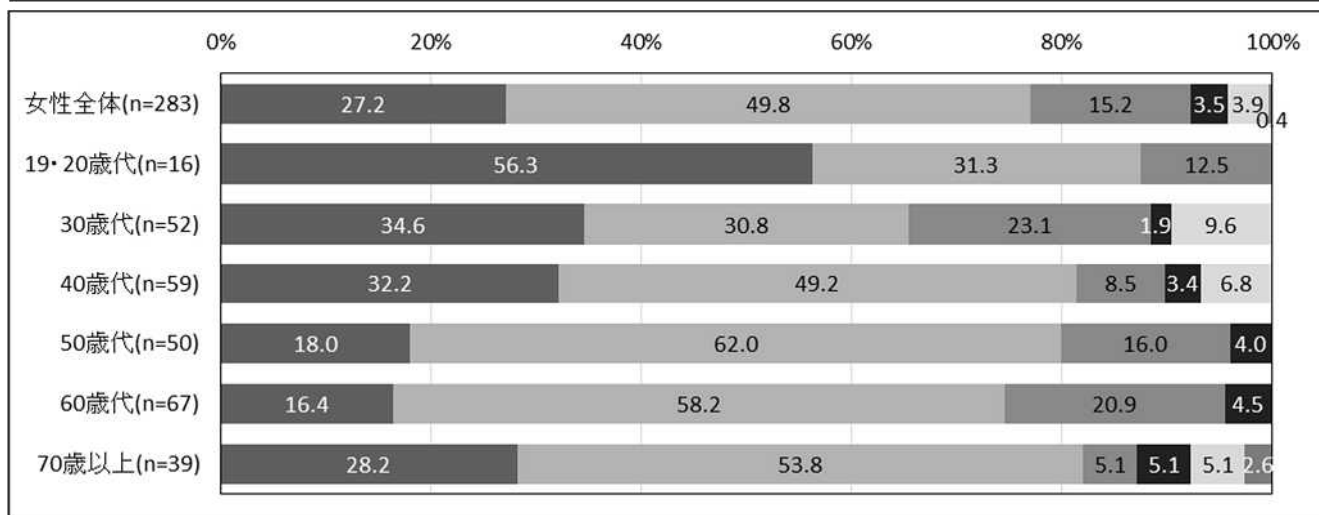
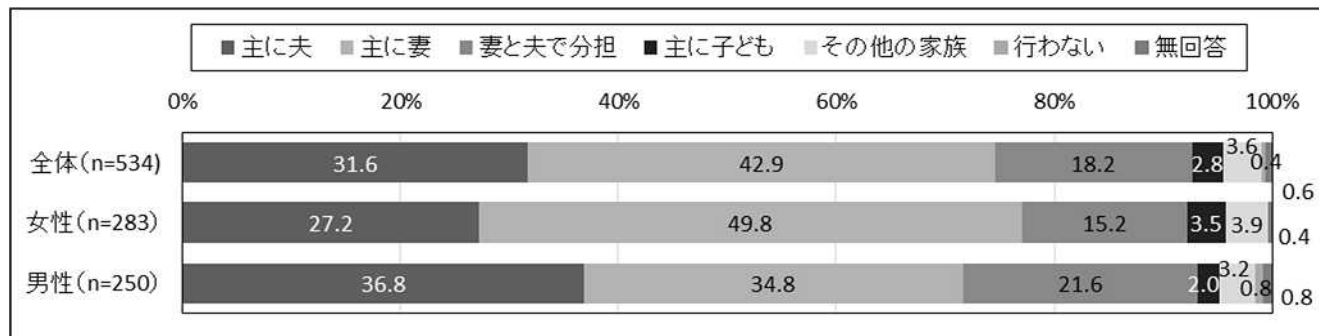


⑦ごみだし

「主に妻」が42.9%で最も高く、次いで「主に夫」31.6%、「妻と夫で分担」18.2%の順となっています。

性別で見ると、「主に妻」と回答した割合は、女性（49.8%）が男性（34.8%）より15ポイント高く、「主に夫」と回答した割合は、男性（36.8%）が女性（27.2%）より9.6ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「主に夫」と回答した割合は、女性の「19・20歳代」56.3%、男性の「19・20歳代」40.0%、「60歳代」40.9%と高くなっています。また、「妻と夫で分担」と回答した割合は、女性の「30歳代」23.1%、「60歳代」20.9%、男性の「19・20歳代」30.0%、「60歳代」28.8%、「30歳代」28.6%と高くなっています。

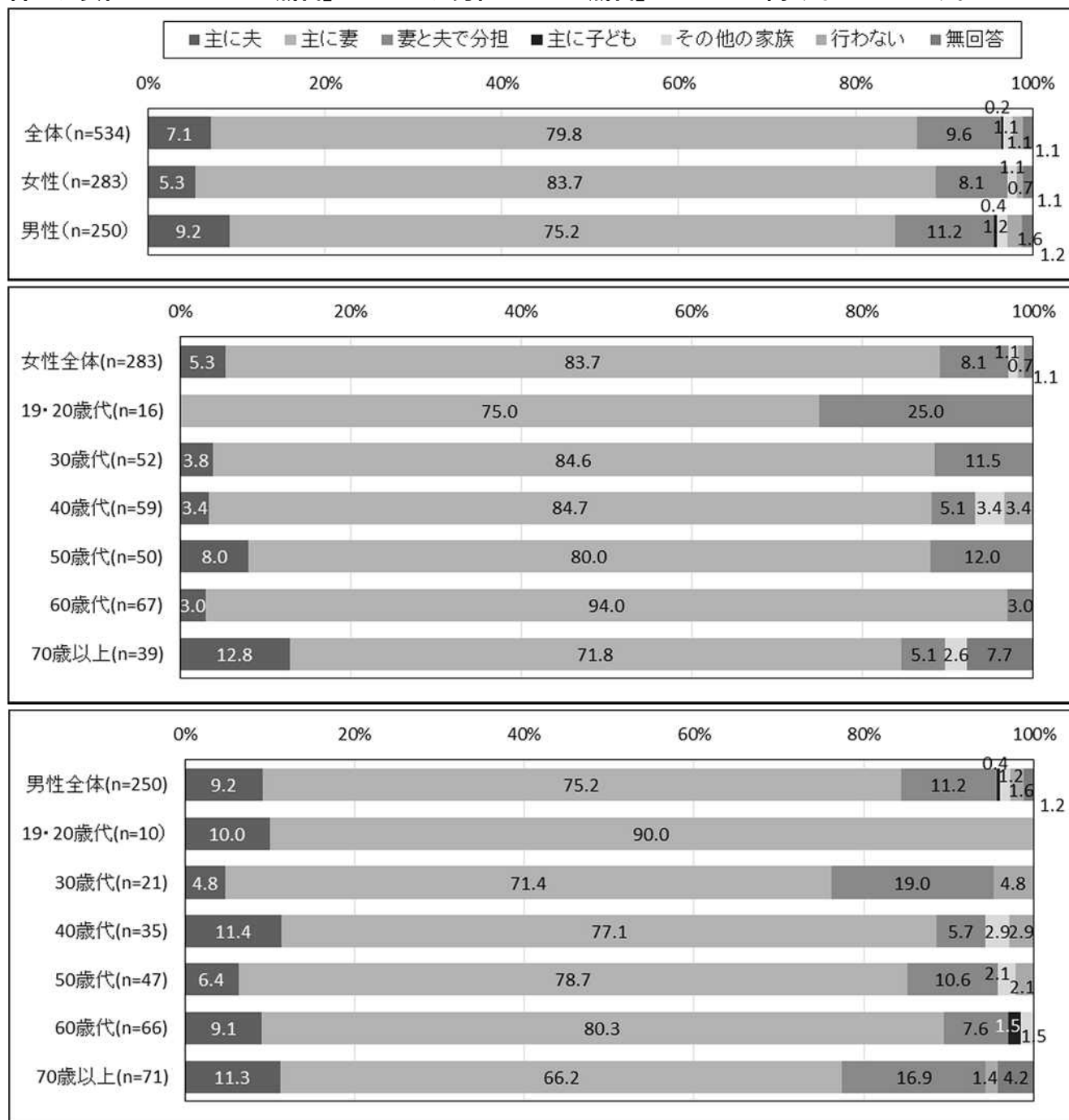


⑧日々の家計管理

「主に妻」が79.8%で最も高く、次いで「妻と夫で分担」9.6%、「主に夫」7.1%の順となっています。

性別で見ると、「主に妻」と回答した割合は、女性（83.7%）が男性（75.2%）より8.5ポイント高く、「主に夫」と回答した割合は、男性（9.2%）が女性（5.3%）より3.9ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「主に夫」と回答した割合は、女性の「70歳以上」12.8%、男性の「40歳代」11.4%、「70歳以上」11.3%と高くなっています。また、「妻と夫で分担」と回答した割合は、女性の「19・20歳代」25.0%、男性の「30歳代」19.0%と高くなっています。

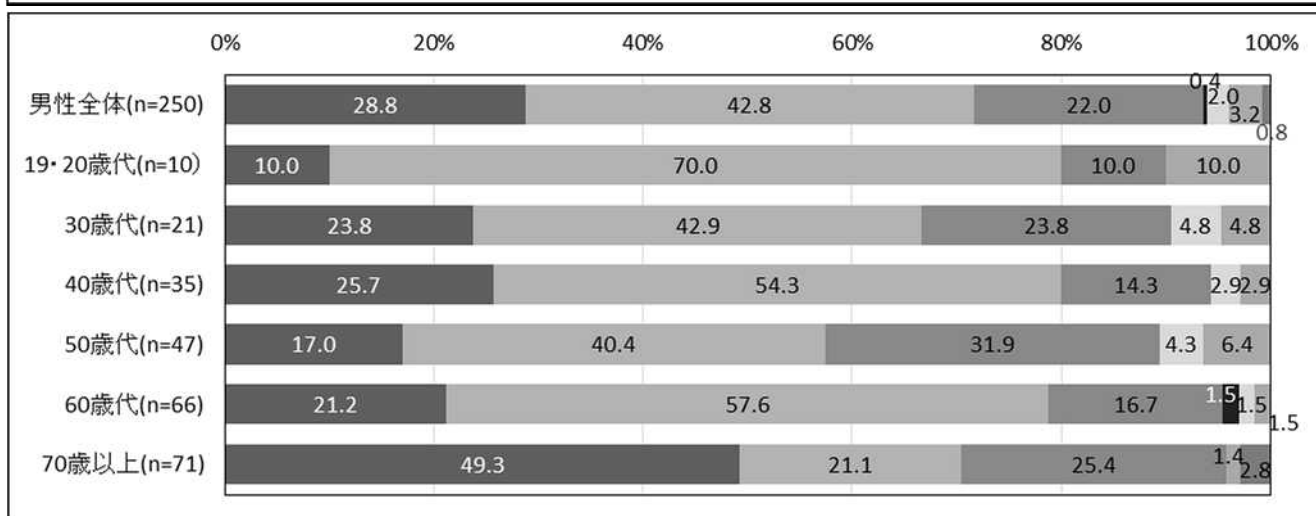
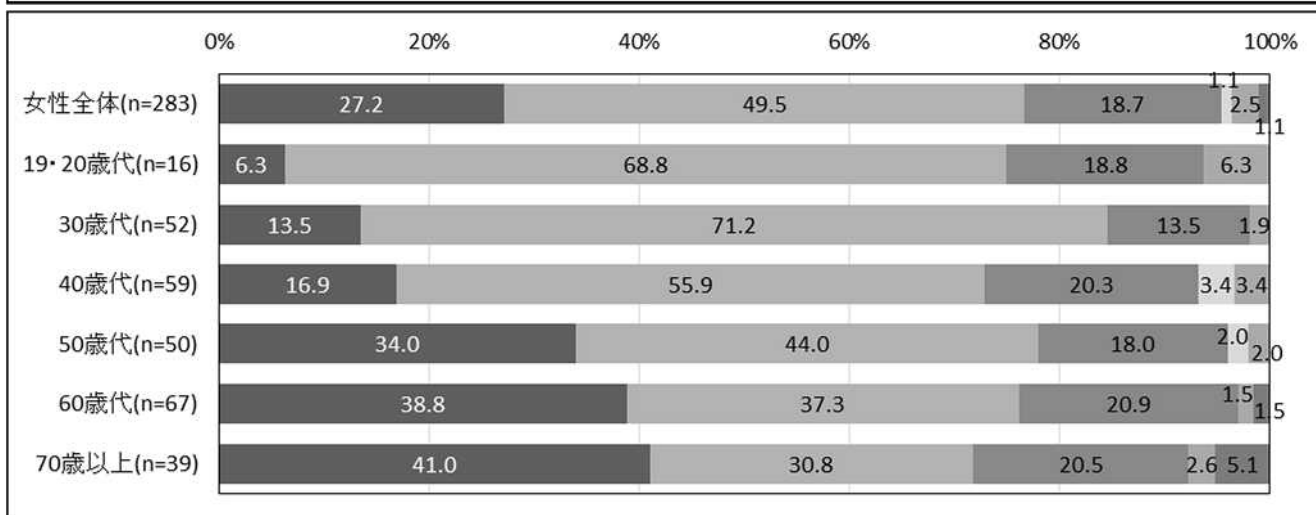
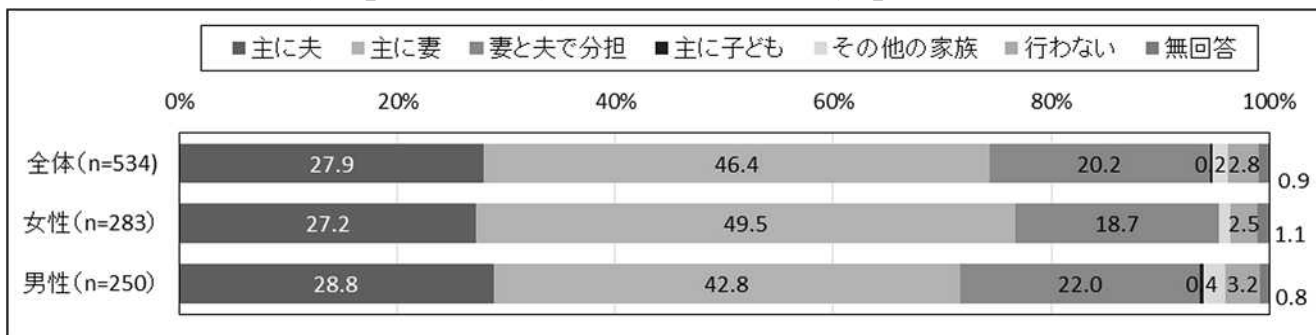


⑨財産の管理、運用

「主に妻」が46.4%で最も高く、次いで「主に夫」27.9%、「妻と夫で分担」20.2%の順となっています。

性別で見ると、「主に妻」と回答した割合は、女性（49.5%）が男性（42.8%）より6.7ポイント高く、「妻と夫で分担」と回答した割合は、男性（22.0%）が女性（18.7%）より3.3ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「主に夫」と回答した割合は、女性の年代が上がるにつれ高くなっています。また、「妻と夫で分担」と回答した割合は、男性の「50歳代」31.9%と高くなっています。

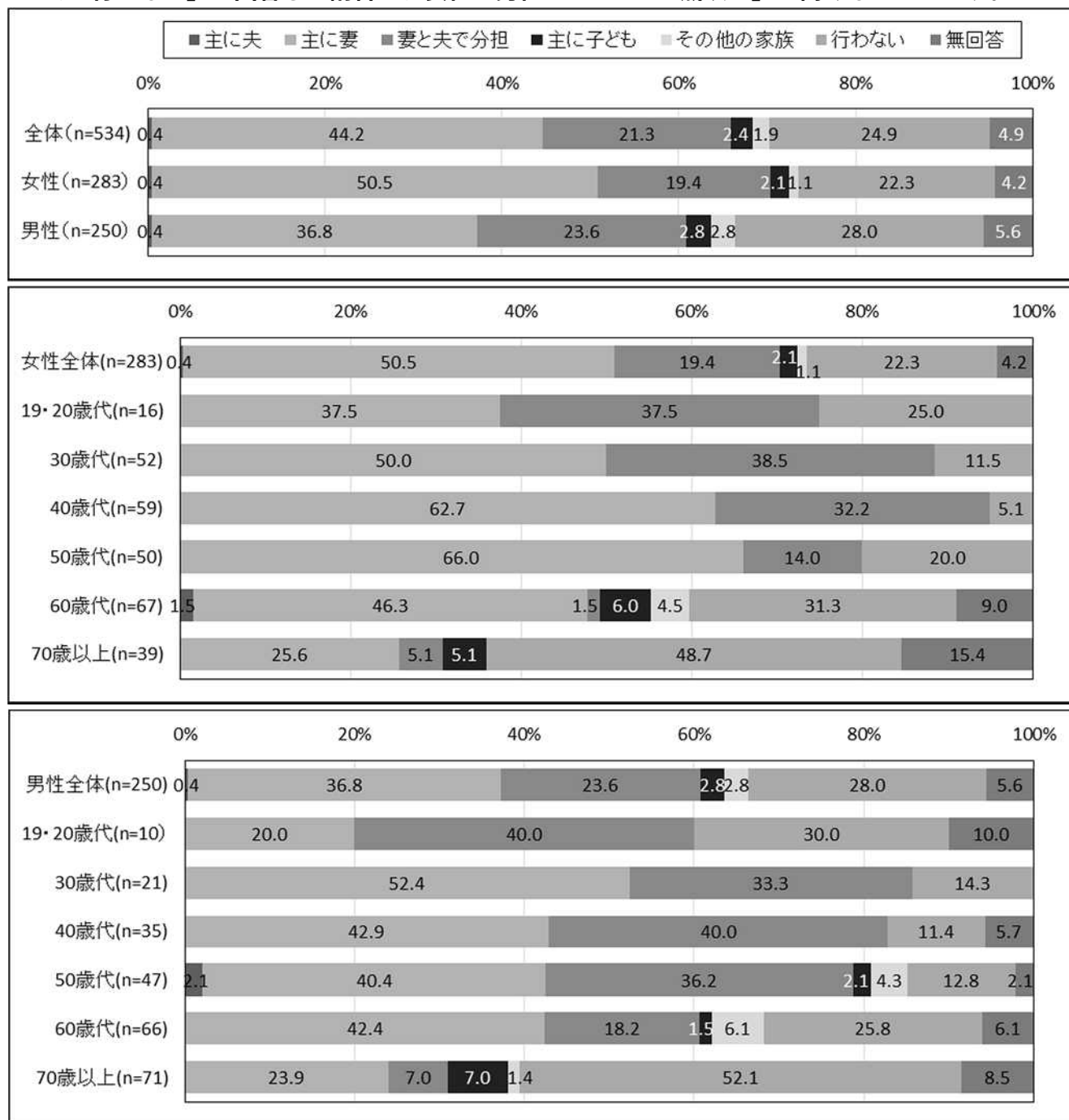


⑩育児、子どもの世話

「主に妻」が44.2%で最も高く、次いで「行わない」24.9%、「妻と夫で分担」21.3%の順となっています。

性別で見ると、「主に妻」と回答した割合は、女性（50.5%）が男性（36.8%）より13.7ポイント高く、「妻と夫で分担」と回答した割合は、男性（23.6%）が女性（19.4%）より4.2ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「妻と夫で分担」と回答した割合は、女性の「19・20歳代」37.5%、「30歳代」38.5%、男性の「19・20歳代」「40歳代」がいずれも40%と高くなっています。また、「行わない」と回答した割合は、女性・男性ともに「60歳以上」で高くなっています。

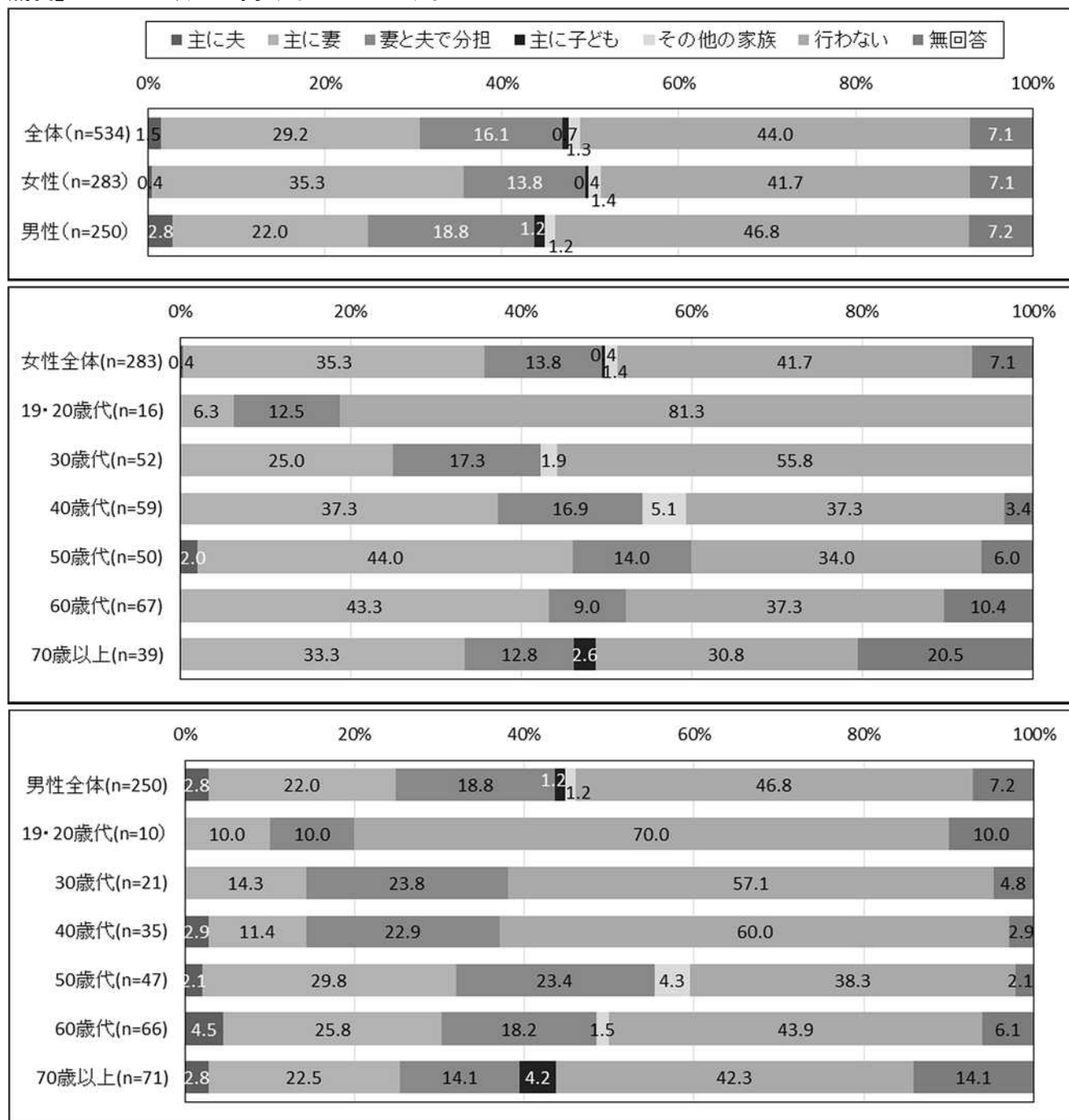


⑪家族の世話（介護）

「行わない」が44.0%で最も高く、次いで「主に妻」29.2%、「妻と夫で分担」16.1%の順となっています。

性別で見ると、「主に妻」と回答した割合は、女性（35.3%）が男性（22.0%）より13.3ポイント高く、「妻と夫で分担」と回答した割合は、男性（18.8%）が女性（13.8%）より5.0ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「主に妻」と回答した割合は、女性・男性ともに「50歳代」から「60歳代」で高くなっています。また、「行わない」と回答した割合は、女性・男性ともに「19・20歳代」で70%以上と高くなっています。

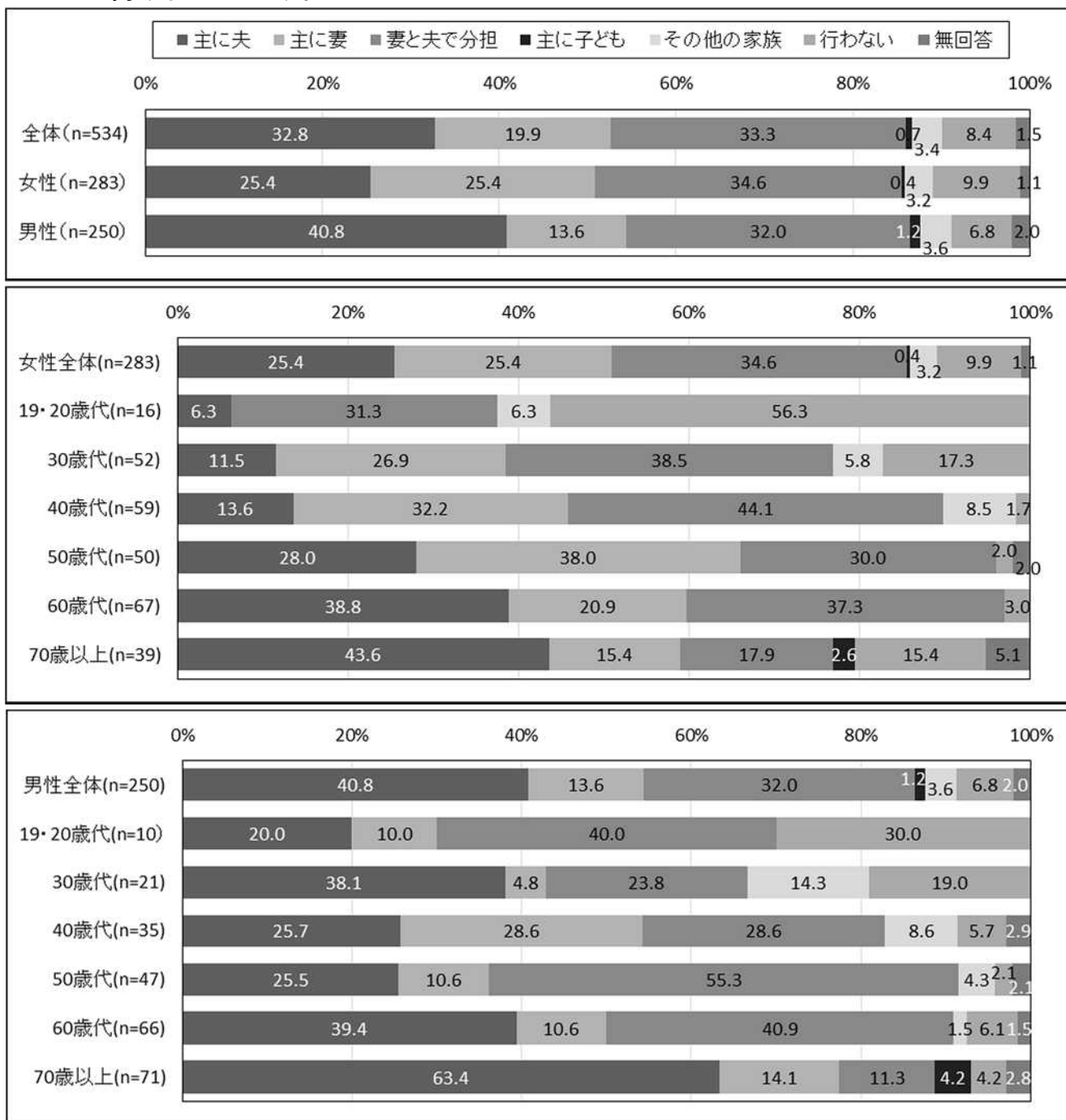


⑫地域における活動（町内会、区役など）

「妻と夫で分担」が33.3%で最も高く、次いで「主に夫」32.8%、「主に妻」19.9%の順となっています。

性別で見ると、「主に妻」と回答した割合は、女性（25.4%）が男性（13.6%）より11.8ポイント高く、「主に夫」と回答した割合は、男性（40.8%）が女性（25.4%）より15.4ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「主に夫」と回答した割合は、女性の年代が上がるにつれ高くなっています。また、「妻と夫で分担」と回答した割合は、女性の「40歳代」44.1%、男性の「50歳代」55.3%と高くなっています。

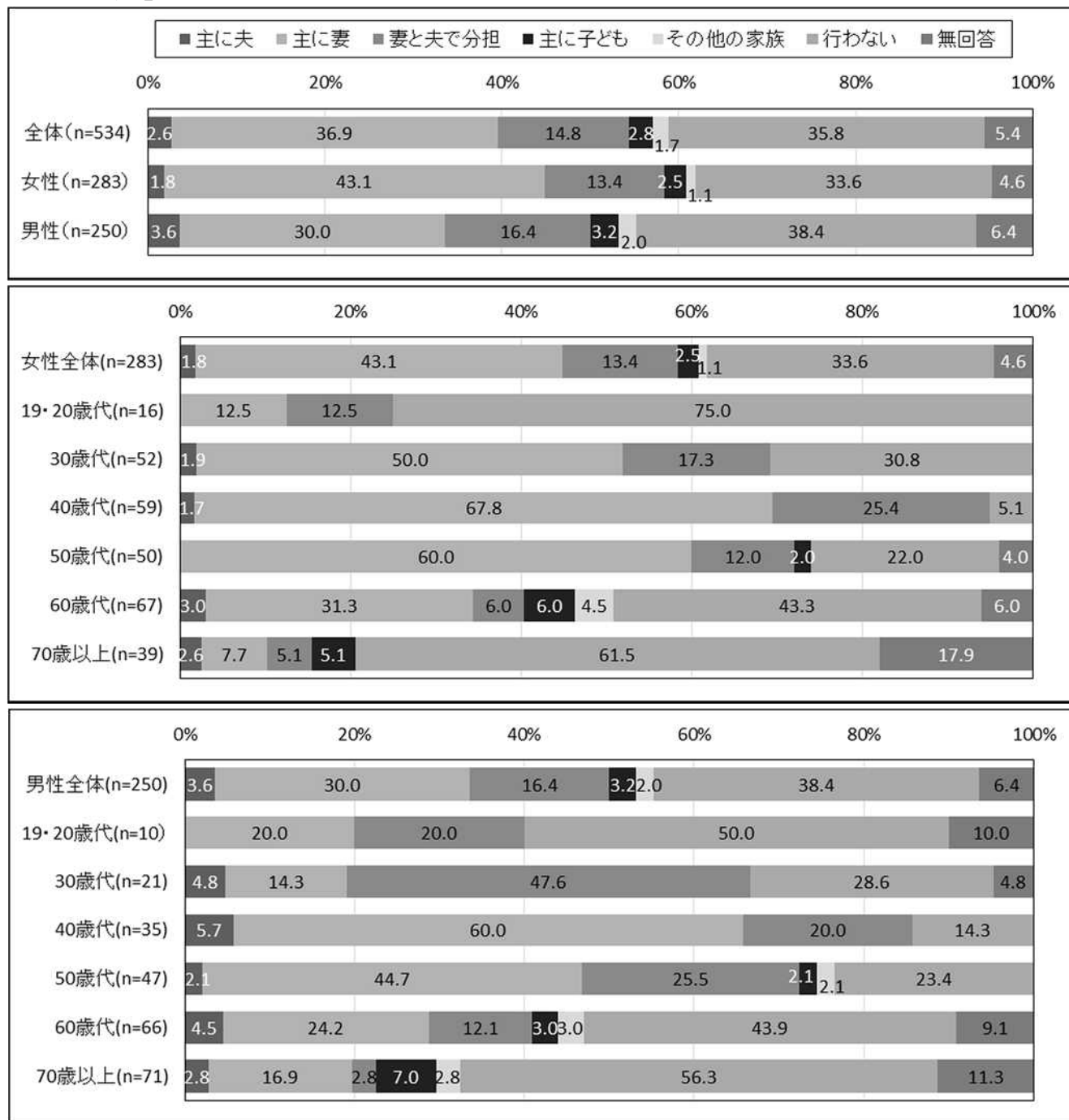


⑬ P T A など学校行事への参加

「主に妻」が 36.9% で最も高く、次いで「行わない」 35.8%、「妻と夫で分担」 14.8% の順となっています。

性別で見ると、「主に妻」と回答した割合は、女性（43.1%）が男性（30.0%）より 13.1 ポイント高く、「妻と夫で分担」と回答した割合は、男性（16.4%）が女性（13.4%）より 3.0 ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「妻と夫で分担」と回答した割合は、女性の「40 歳代」 25.4%、男性の「30 歳代」 47.6% と高くなっています。

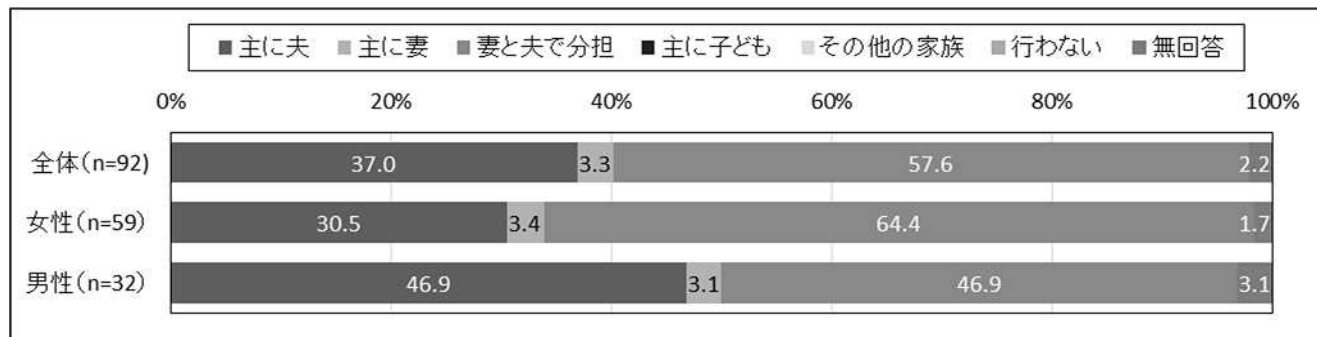


(3) で「結婚していない」と回答された方におうかがいします。
 (13) あなたは、「もし、結婚したら」次のようなことを主に誰がした方がよいと思いますか。

①家計を支える

「妻と夫で分担」が57.6%で最も高く、次いで「主に夫」37.0%、「主に妻」3.3%の順となっています。

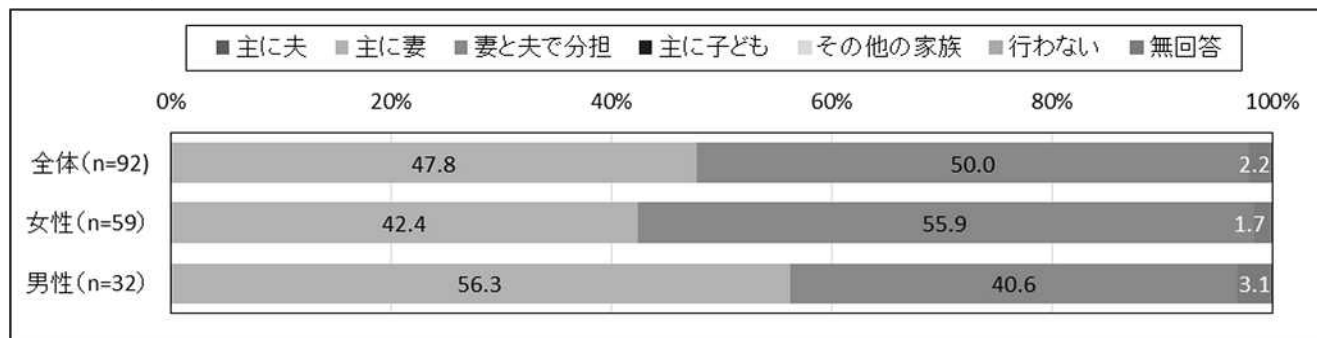
性別で見ると、「妻と夫で分担」と回答した割合は、男性より女性が高く、「主に夫」と回答した割合は、女性より男性が高くなっています。



②食事のしたく

「妻と夫で分担」が50.0%、「主に妻」47.8%となっています。

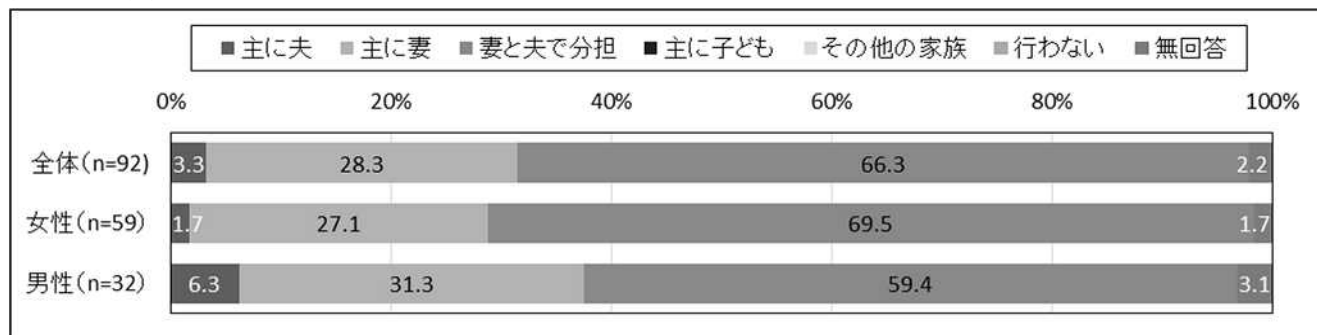
性別で見ると、「妻と夫で分担」と回答した割合は、男性より女性が高く、「主に妻」と回答した割合は、女性より男性が高くなっています。



③食事の後片付け、食器洗い

「妻と夫で分担」が66.3%で最も高く、次いで「主に妻」28.3%、「主に夫」3.3%の順となっています。

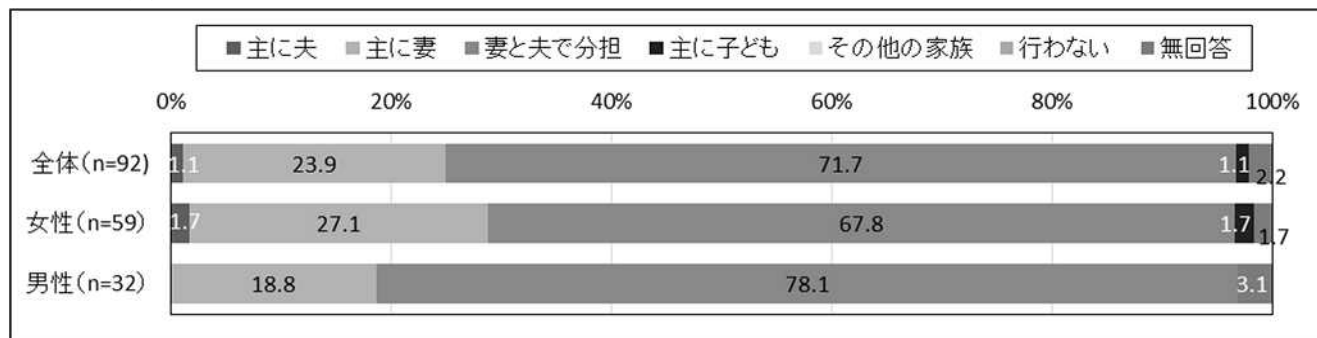
性別で見ると、「妻と夫で分担」と回答した割合は、男性より女性が高く、「主に夫」と回答した割合は、女性より男性が高くなっています。



④掃除

「妻と夫で分担」が71.7%で最も高く、次いで「主に妻」23.9%、「主に夫」「主に子ども」1.1%の順となっています。

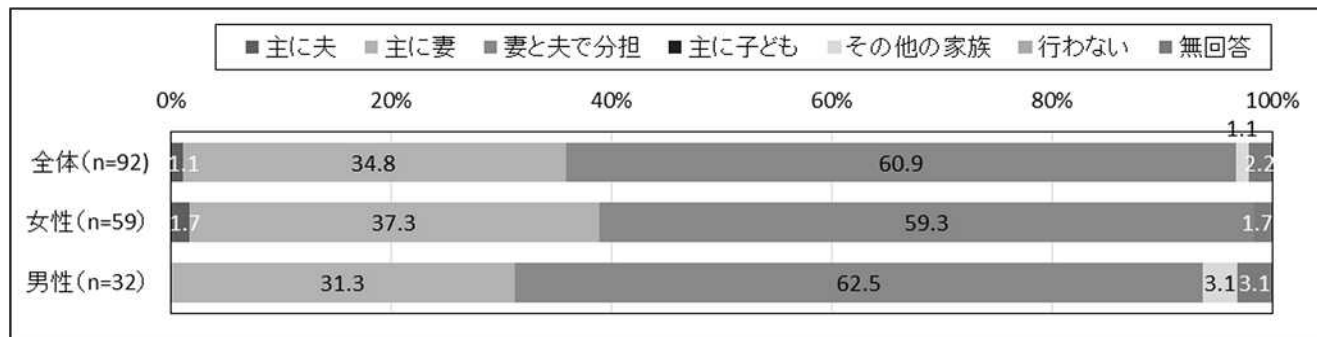
性別で見ると、「主に妻」と回答した割合は、男性より女性が高く、「妻と夫で分担」と回答した割合は、女性より男性が高くなっています。



⑤洗濯

「妻と夫で分担」が60.9%で最も高く、次いで「主に妻」34.8%、「主に夫」「その他の家族」1.1%の順となっています。

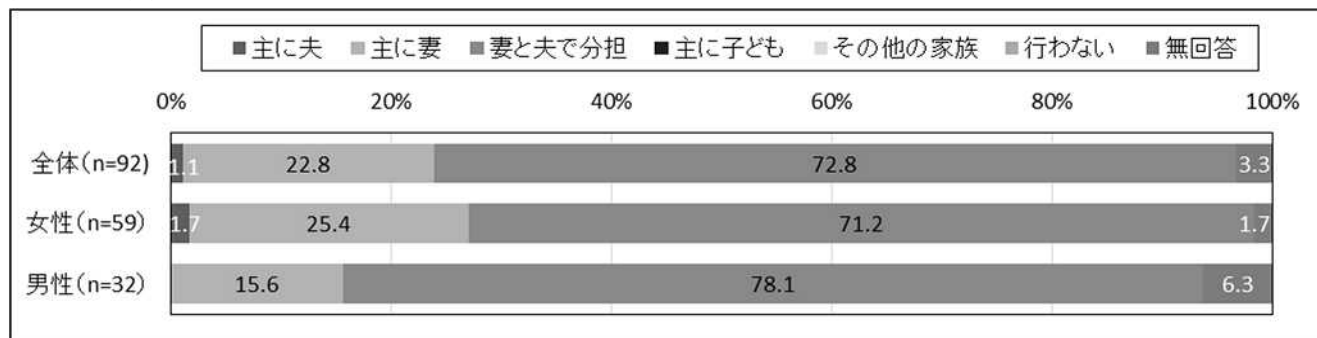
性別で見ると、「主に妻」と回答した割合は、男性より女性が高く、「妻と夫で分担」と回答した割合は、女性より男性が高くなっています。



⑥食料品、日用品の買い物

「妻と夫で分担」が72.8%で最も高く、次いで「主に妻」22.8%、「主に夫」1.1%の順となっています。

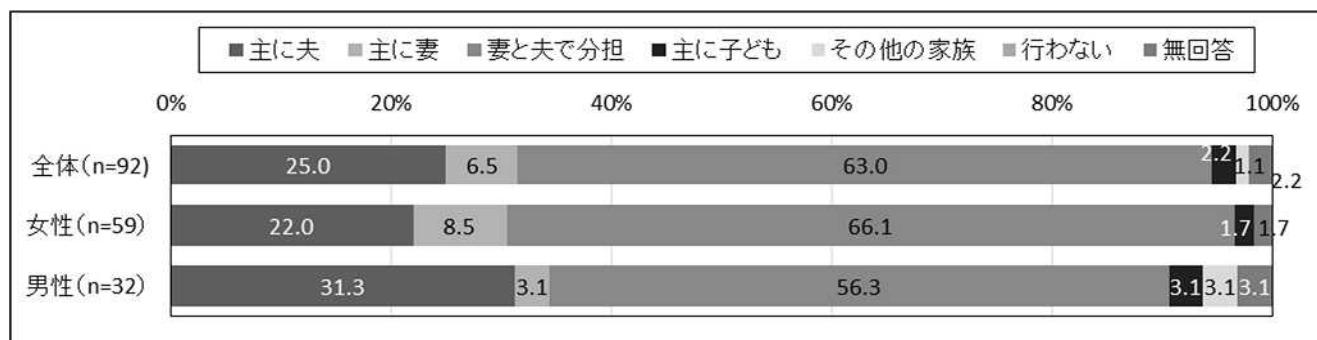
性別で見ると、「主に妻」と回答した割合は、男性より女性が高く、「妻と夫で分担」と回答した割合は、女性より男性が高くなっています。



⑦ごみだし

「妻と夫で分担」が63.0%で最も高く、次いで「主に夫」25.0%、「主に妻」6.5%の順となっています。

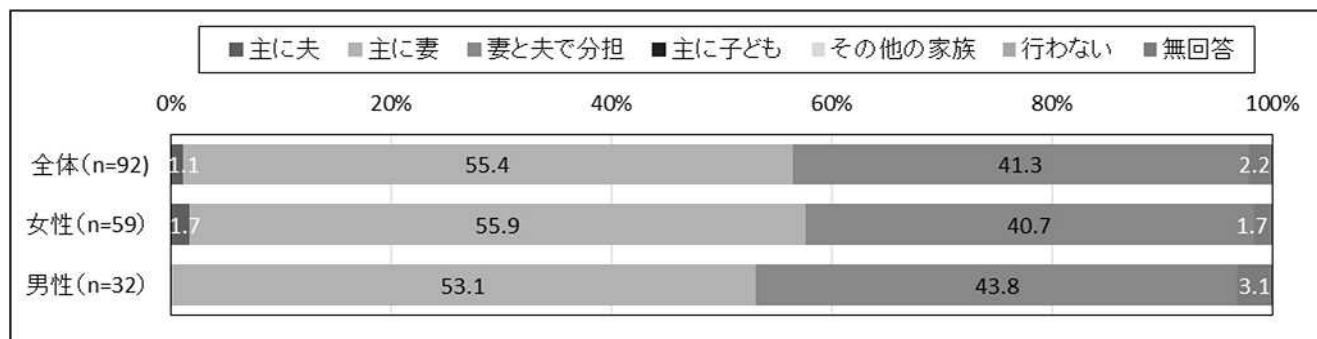
性別で見ると、「妻と夫で分担」と回答した割合は、男性より女性が高く、「主に夫」と回答した割合は、女性より男性が高くなっています。



⑧日々の家計管理

「主に妻」が55.4%で最も高く、次いで「妻と夫で分担」41.3%、「主に夫」1.1%の順となっています。

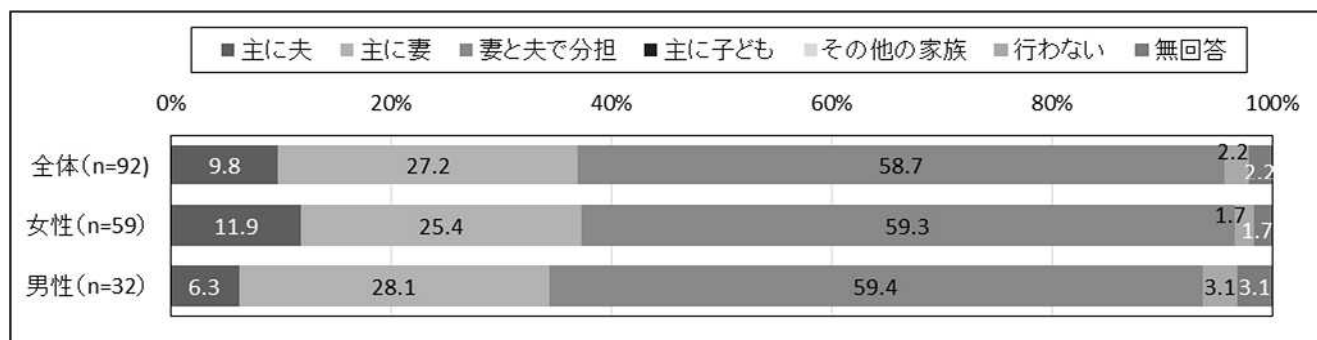
性別による大きな差異は見られません。



⑨財産の管理、運用

「妻と夫で分担」が58.7%で最も高く、次いで「主に妻」27.2%、「主に夫」9.8%の順となっています。

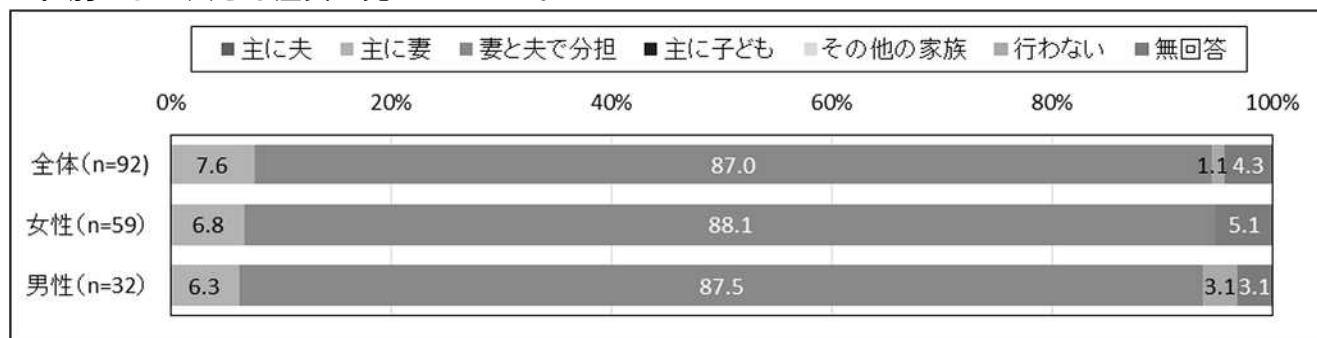
性別で見ると、「主に夫」と回答した割合は、男性より女性が高く、「主に妻」と回答した割合は、女性より男性が高くなっています。



⑩育児、子どもの世話

「妻と夫で分担」が87.0%で最も高く、次いで「主に妻」7.6%、「行わない」1.1%の順となっています。

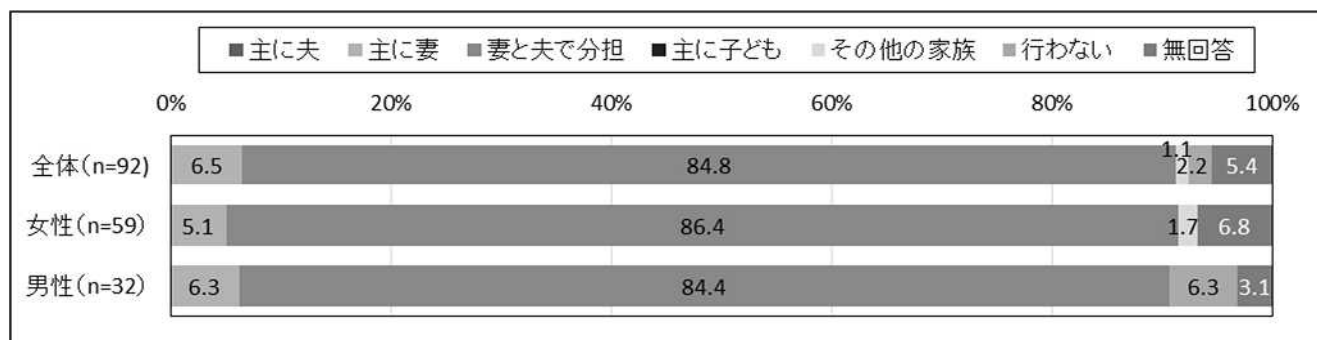
性別による大きな差異は見られません。



⑪家族の世話（介護）

「妻と夫で分担」が84.8%で最も高く、次いで「主に妻」6.5%、「行わない」2.2%の順となっています。

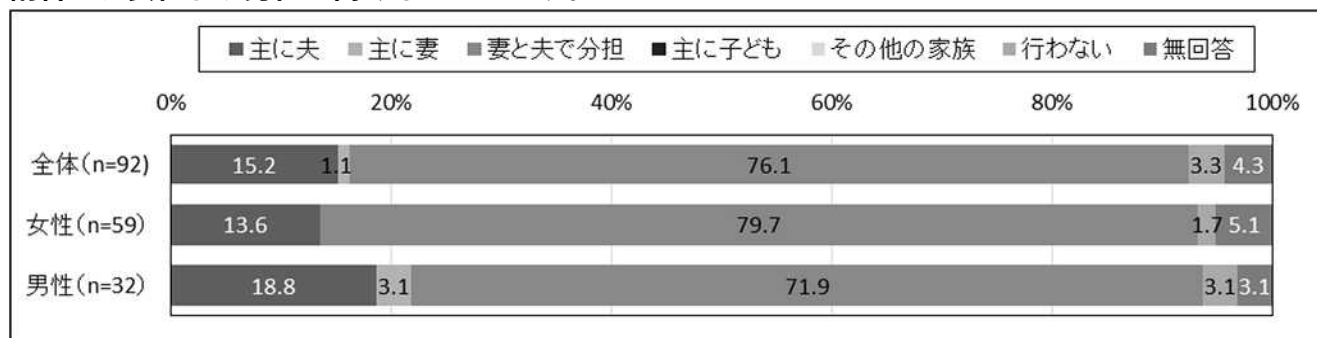
性別による大きな差異は見られません。



⑫地域における活動（町内会、区役など）

「妻と夫で分担」が76.1%で最も高く、次いで「主に夫」15.2%、「行わない」3.3%の順となっています。

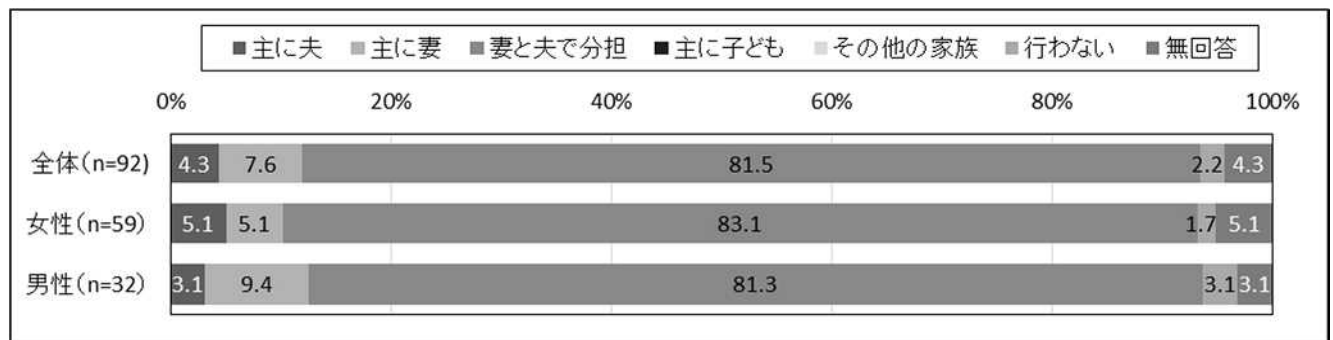
性別で見ると、「妻と夫で分担」と回答した割合は、男性より女性が高く、「主に夫」と回答した割合は、女性より男性が高くなっています。



⑬ P T A など学校行事への参加

「妻と夫で分担」が 81.5% で最も高く、次いで「主に妻」7.6%、「主に夫」4.3% の順となっています。

性別で見ると、「主に夫」と回答した割合は、男性より女性が高く、「主に妻」と回答した割合は、女性より男性が高くなっています。



3. 教育・子育てについて

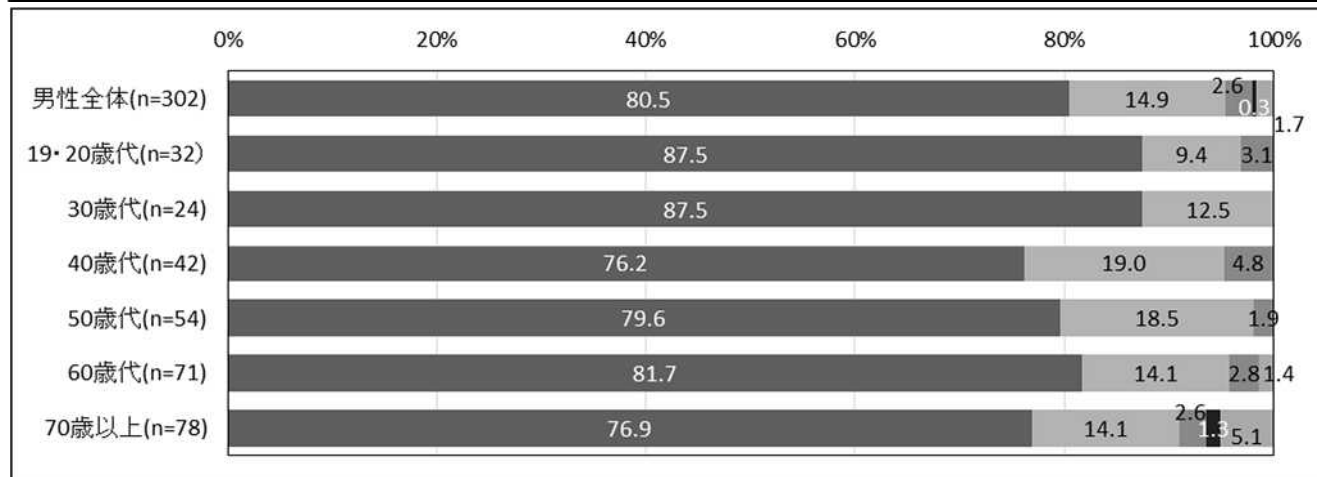
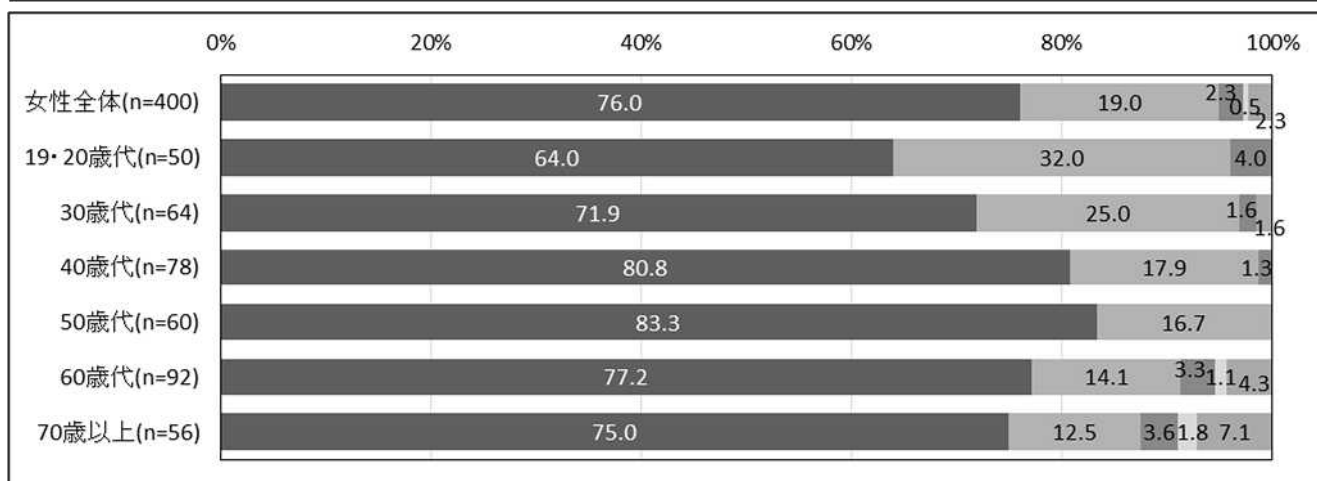
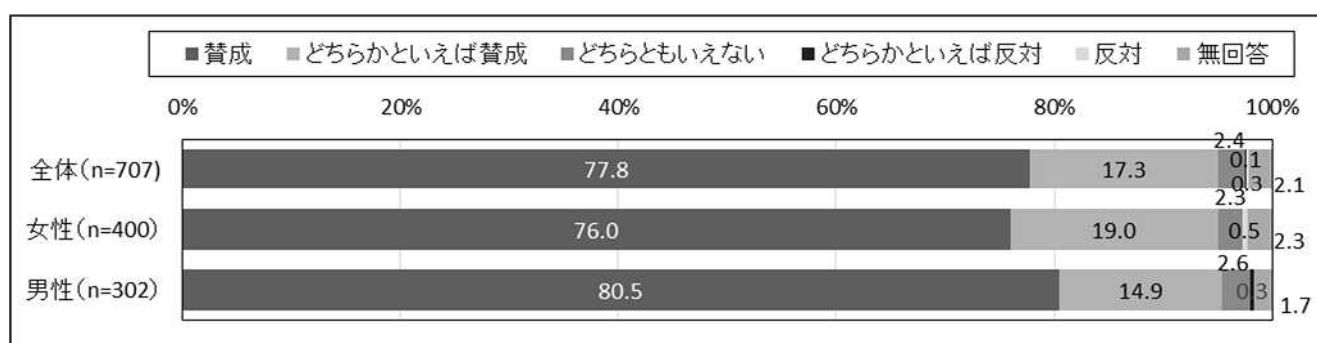
(14) あなたは、子どもの育て方について、どのように考えますか。

①男女を問わず、経済的に自立できるように育てた方がよい

『賛成』（「賛成」＋「どちらかといえば賛成」）が95.1%、「どちらともいえない」2.4%、『反対』（「反対」＋「どちらかといえば反対」）0.4%となっています。

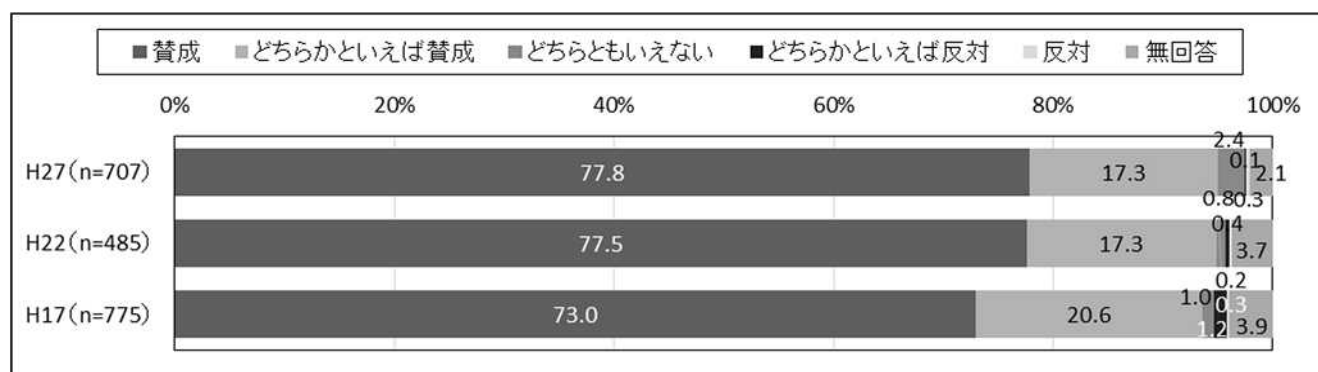
性別で見ると、『賛成』と回答した割合は、女性・男性ともに95%以上となり、性別による大きな差異は見られません。

性別・年代別で見ると、『賛成』と回答した割合は、女性・男性ともにほとんどの年代において95%以上と高くなっていますが、女性の「60歳以上」と男性の「70歳以上」で若干低くなっています。



H22 と H27 の調査の比較による大きな差異は見られません。

H17 と H27 を比較すると、『賛成』と回答した割合は、H27（95.1%）が H17（93.6%）より 1.5 ポイント高くなっています。

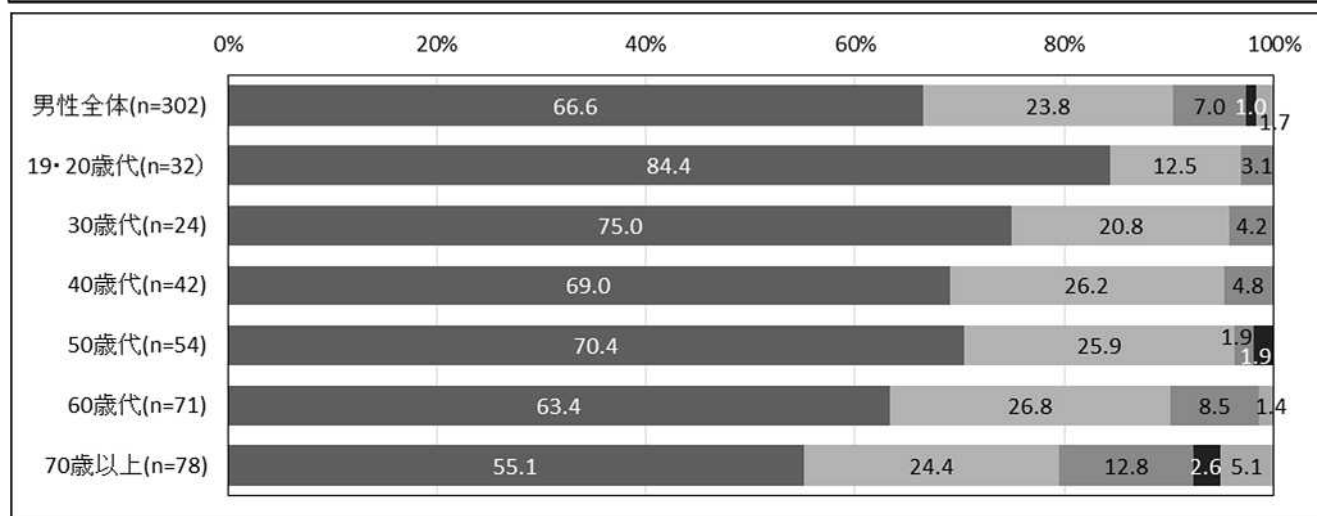
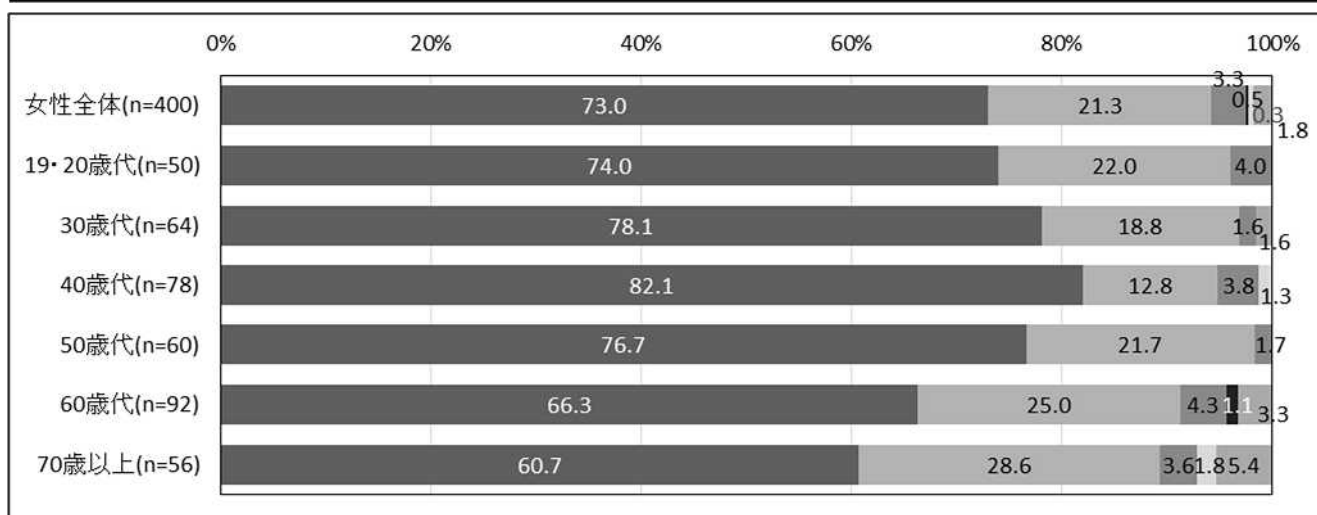
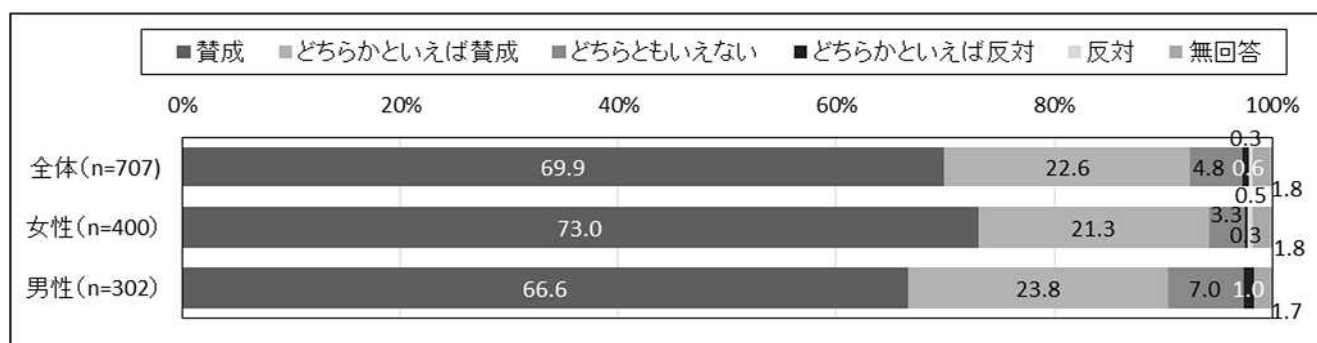


②男女を問わず、炊事・掃除・洗濯など、生活していくために必要な技術を身につけるよう育てた方がよい

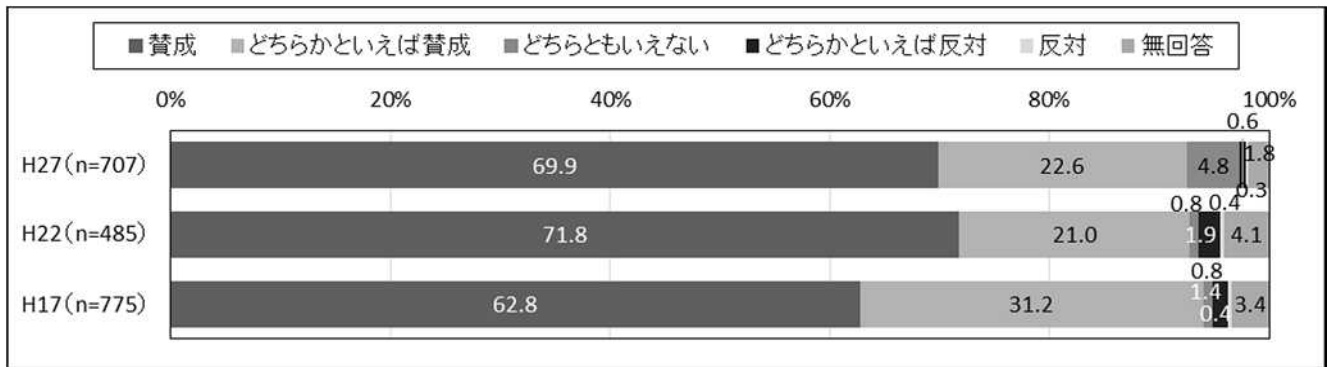
『賛成』が92.5%、「どちらともいえない」4.8%、『反対』0.9%となっています。

性別で見ると、『賛成』と回答した割合は、女性・男性ともに90%以上となり、女性（94.3%）が男性（90.4%）より3.9ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、『賛成』と回答した割合は、女性・男性ともにほとんどの年代において90%以上と高くなっていますが、女性・男性ともに「60歳以上」で若干低くなっています。



H17 と H22、H27 の調査を比較すると、『賛成』と回答した割合はあまり変わらないものの、H27（92.5%）が H22（92.8%）より 0.3 ポイント低く、H17（94.0%）より 1.5 ポイント低くなっています。

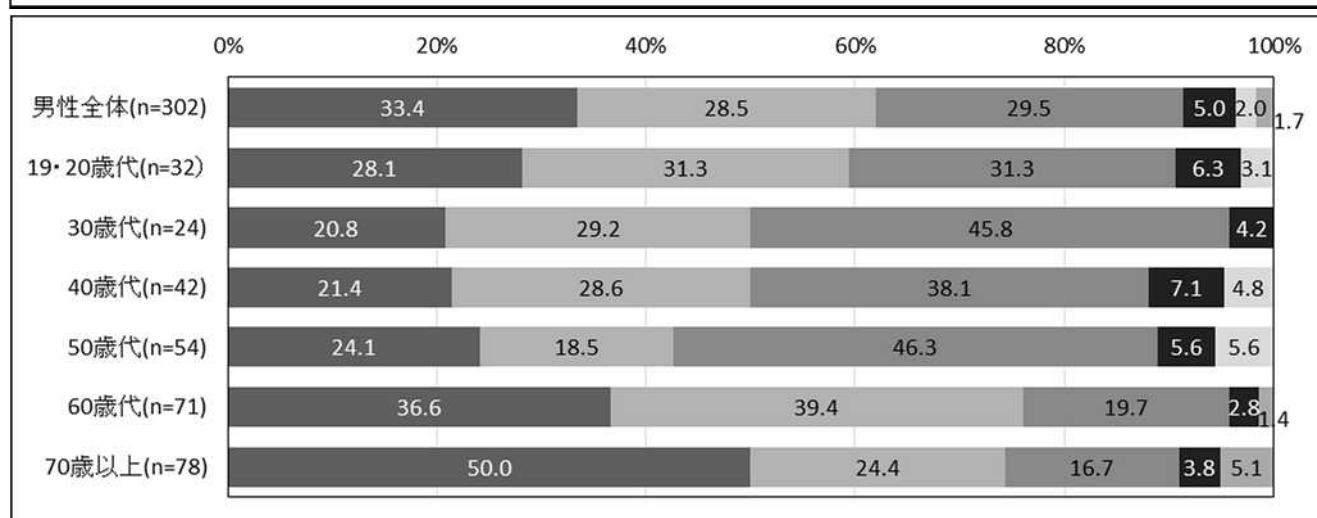
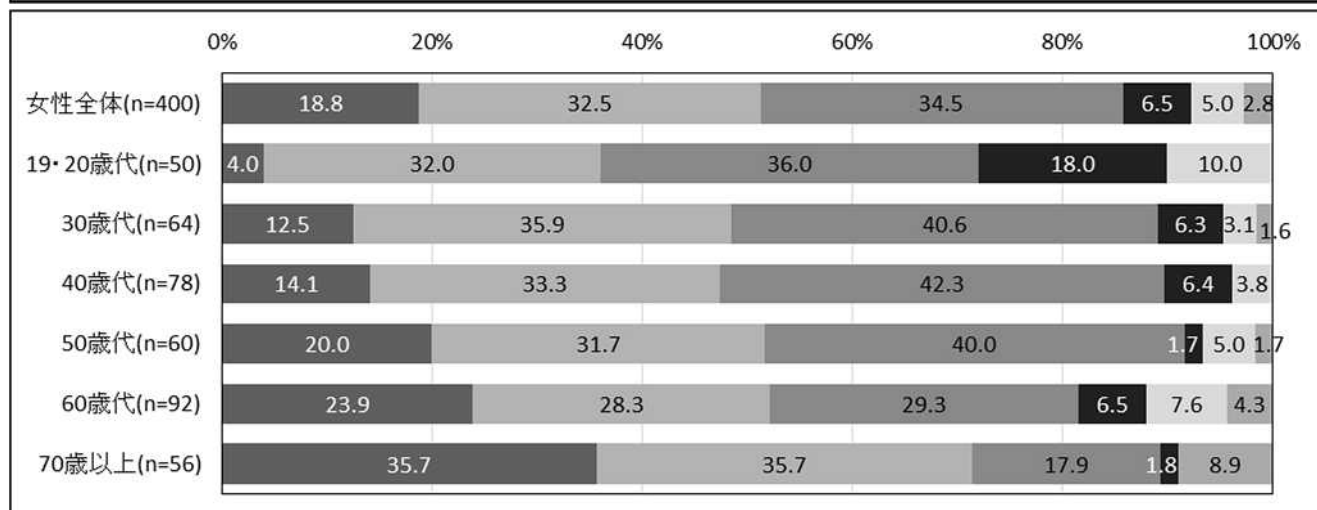
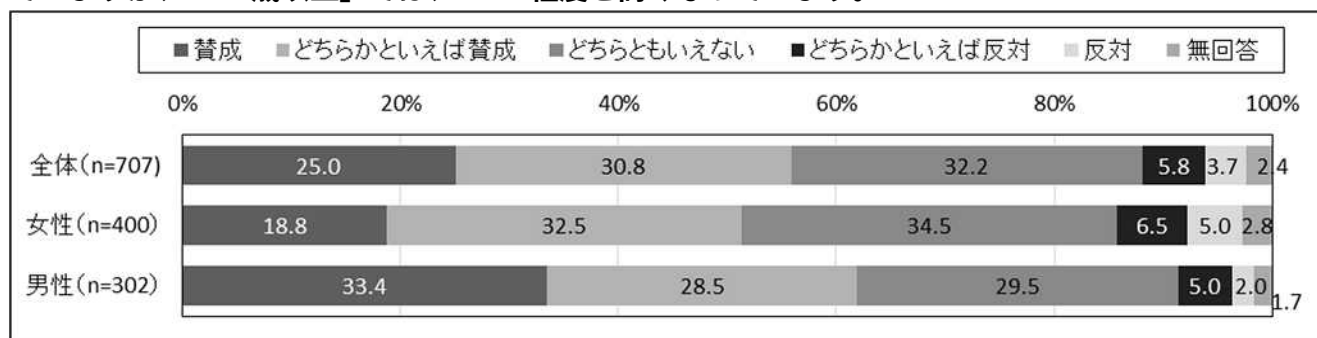


③女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てた方がよい

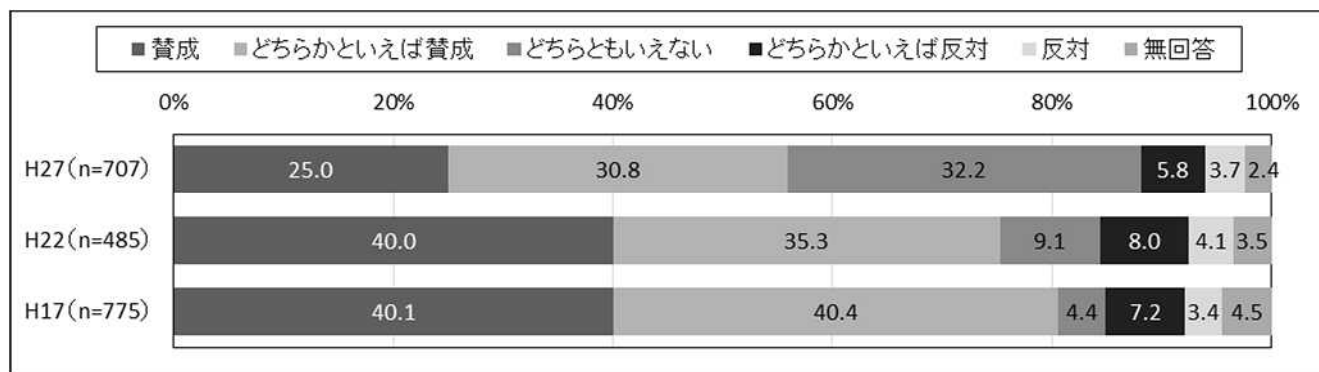
『賛成』が55.8%、「どちらともいえない」が32.2%、『反対』9.5%となっています。

性別で見ると、『賛成』と回答した割合は、男性（61.9%）が女性（51.3%）より10.6%高くなっています。

性別・年代別で見ると、『賛成』と回答した割合は、女性では年代が上がるにつれ高くなっています。一方、『賛成』と回答した割合は、男性の「50歳代」までは、年代が上がるにつれ低くなっていますが、「60歳以上」では、75%程度と高くなっています。



H17 と H22、H27 の調査を比較すると、『賛成』と回答した割合は、H27（55.8%）が H22（75.3%）より 19.5 ポイント低く、H17（80.5%）より、24.7 ポイント低くなっています。

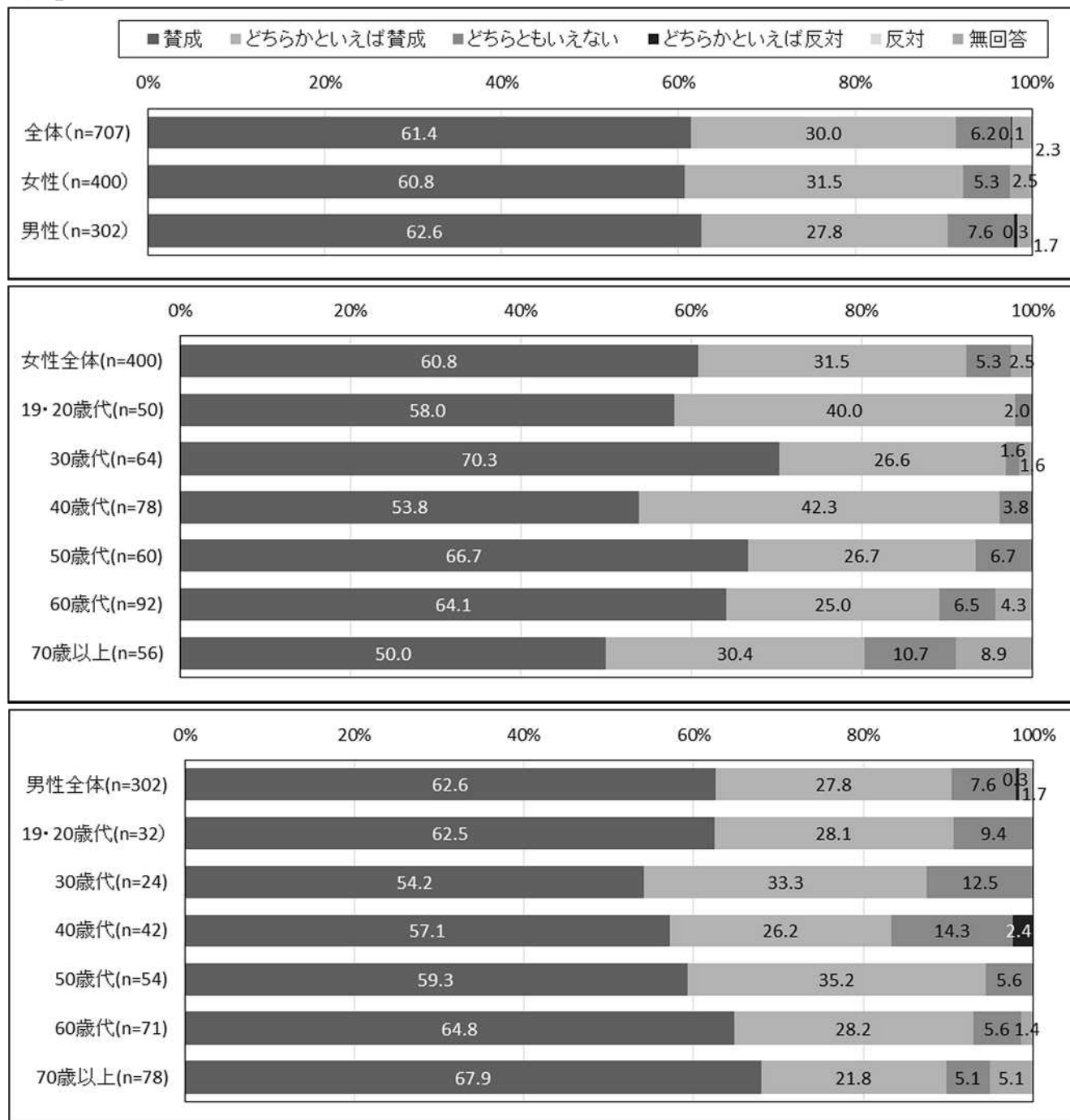


④男女を問わず、生まれ持った個性・才能を可能な限り活かして育てた方がよい

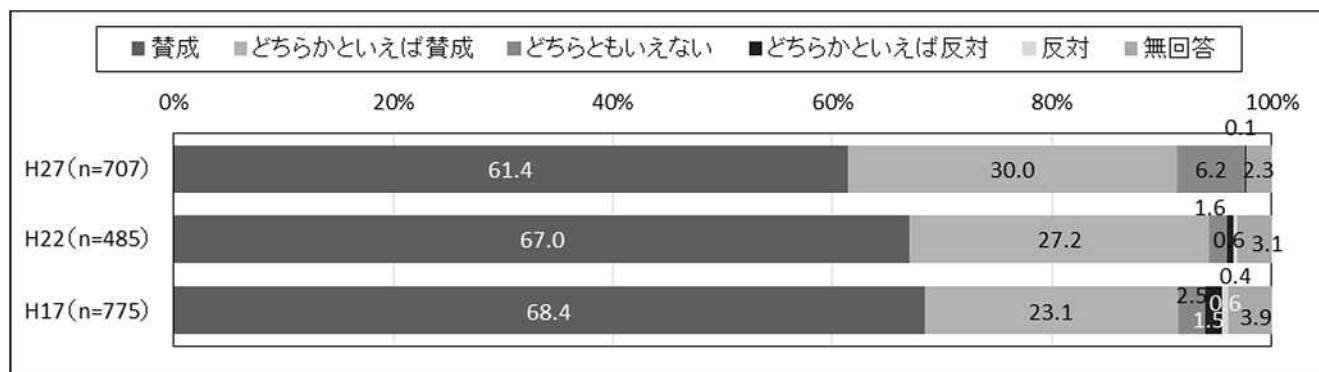
『賛成』が91.4%、「どちらともいえない」6.2%、『反対』0.1%となっています。

性別で見ると、『賛成』と回答した割合は、女性・男性ともに90%以上を占め、性別による大きな差異は見られません。

性別・年代別で見ると、『賛成』と回答した割合は、女性・男性ともにほとんどの年代において90%以上と高くなっていますが、女性の「70歳以上」80.4%、男性の「40歳代」83.3%、「30歳代」87.5%と若干低くなっています。



H17 と H22、H27 の調査を比較すると、『賛成』と回答した割合は、H27（91.4%）が H22（94.2%）より 2.8 ポイント低く、H17（91.5%）より 0.1 ポイント低くなっています。

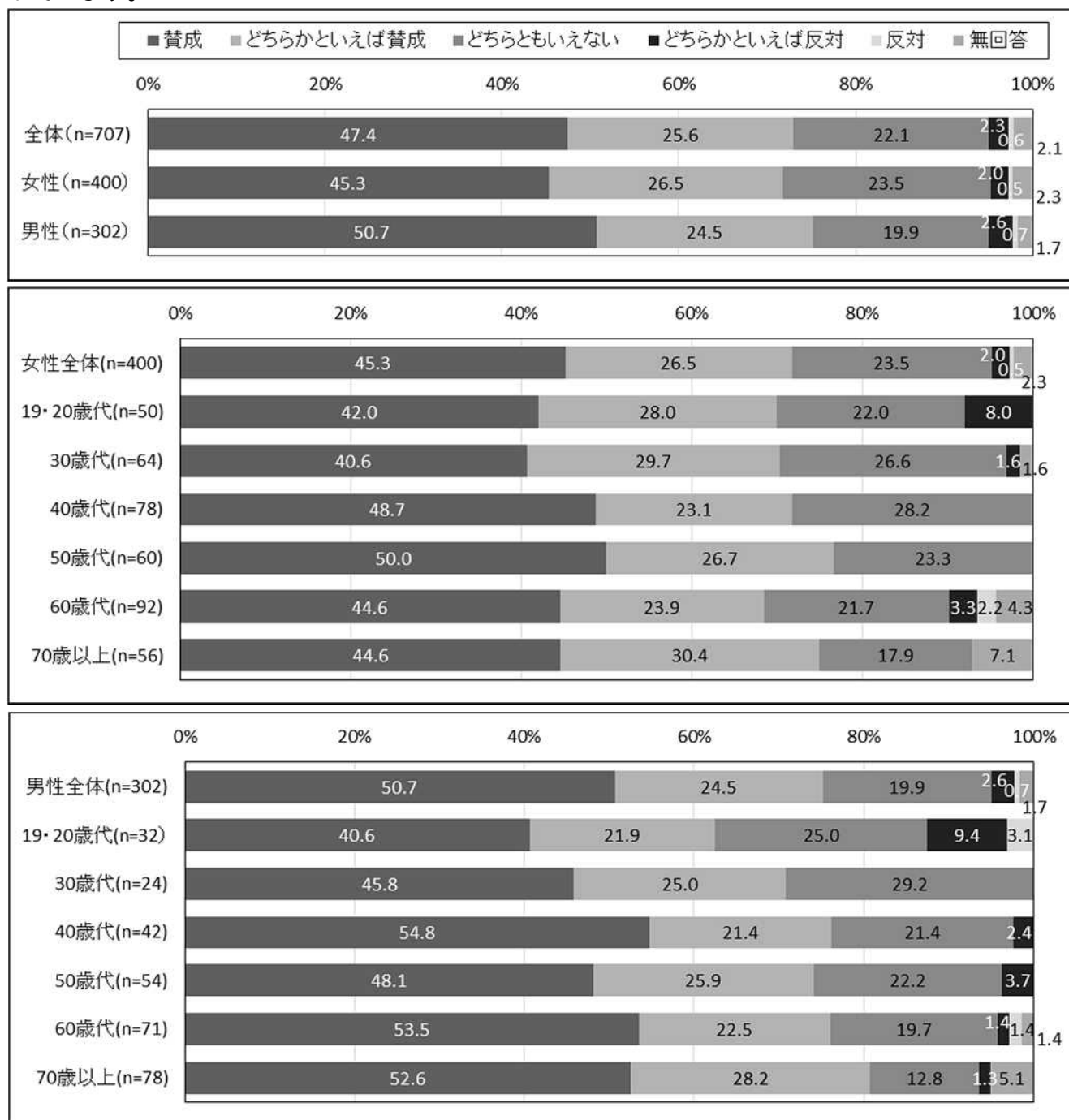


⑤女の子も男の子も同じ程度の学歴を持たせた方がよい

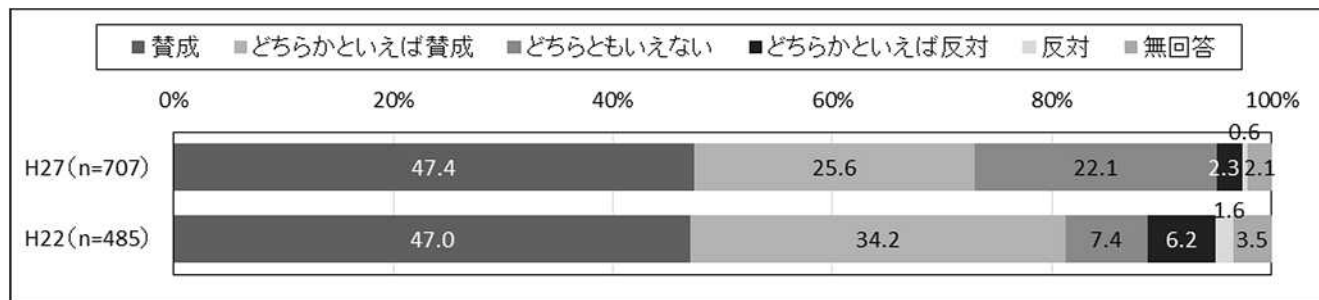
『賛成』が73.0%、「どちらともいえない」22.1%、『反対』2.9%となっています。

性別で見ると、『賛成』と回答した割合は、男性（75.2%）が女性（71.8%）より3.4ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、『賛成』と回答した割合は、女性・男性ともにほとんどの年代で70%以上となっていますが、女性の「60歳代」68.5%、男性の「19・20歳代」62.5%で若干低くなっています。



H22 と H27 の調査を比較すると、『賛成』と回答した割合は、H27 (73.0%) が H22 (81.2%) より 8.2 ポイント低くなっています。

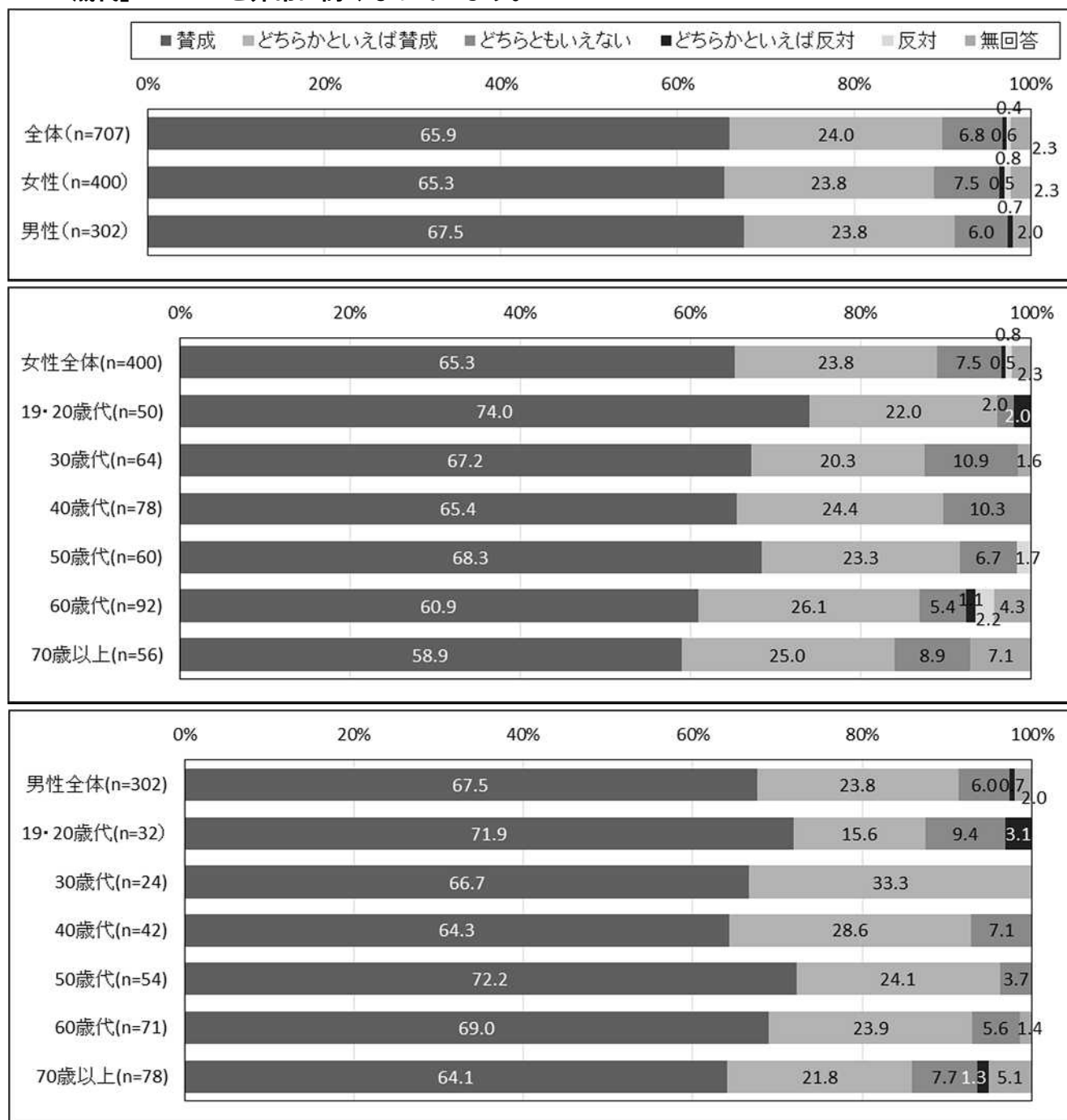


⑥男女を問わず、好きな仕事を選ばせた方がよい

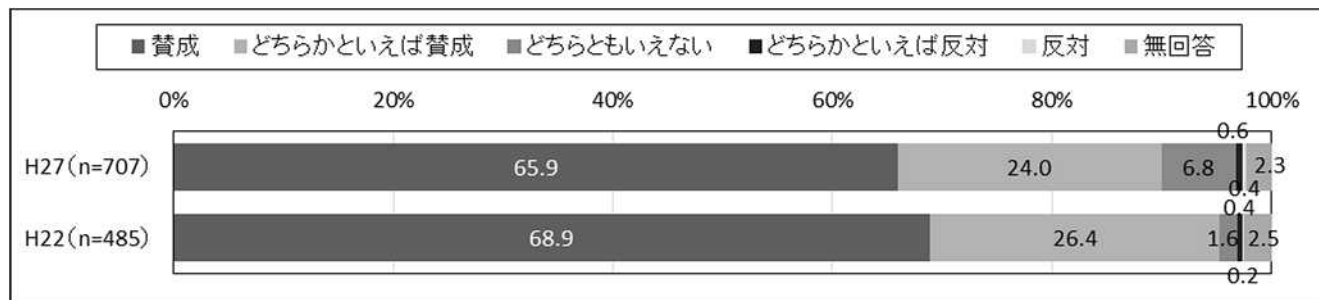
『賛成』が89.9%、「どちらともいえない」6.8%、『反対』1.0%となっています。

性別で見ると、『賛成』と回答した割合は、女性・男性ともに90%程度となり、男性（91.3%）が女性（89.1%）より2.2ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、『賛成』と回答した割合は、女性・男性ともにほとんどの年代において90%程度と高くなっており、特に女性の「19・20歳代」96.0%、男性の「30歳代」100%、「50歳代」96.3%と非常に高くなっています。



H22 と H27 の調査を比較すると、『賛成』と回答した割合は、H27 (89.9%) が H22 (95.3%) より 5.4 ポイント低くなっています。

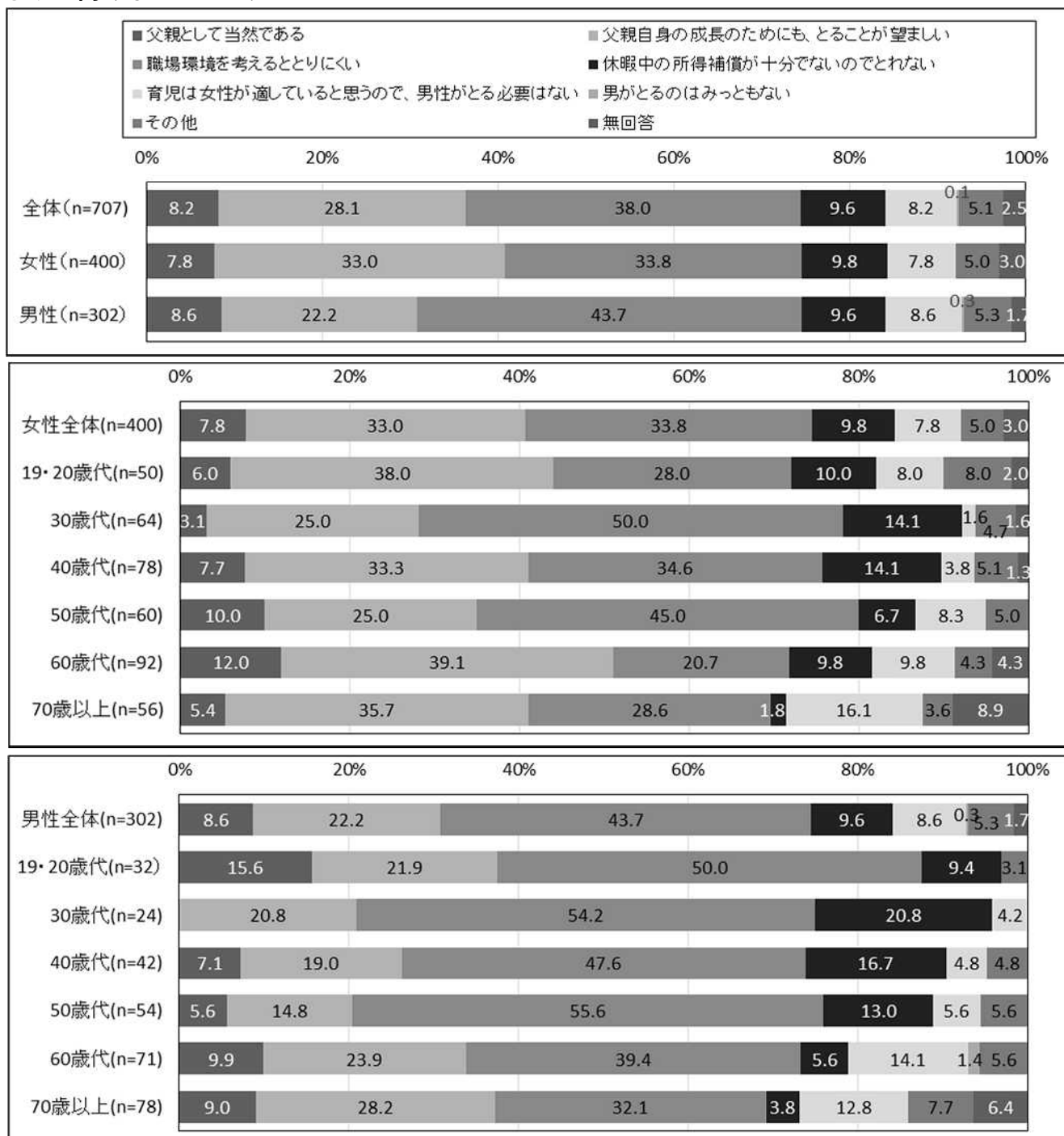


(15) あなたは、男性が「育児休暇」をとることについてどう思いますか。

「職場環境を考えるととりにくい」が38.0%で最も高く、次いで「父親自身の成長のためにも、とることが望ましい」28.1%、「休暇中の所得補償が十分でないのとれない」9.6%の順となっています。

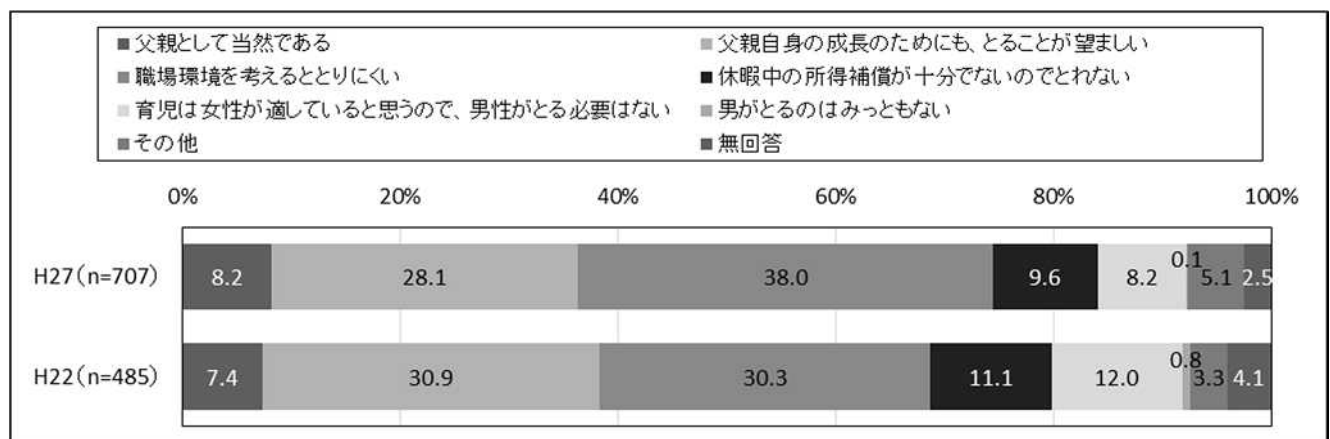
性別で見ると、女性で「父親自身の成長のためにも、とることが望ましい」と回答した割合は、女性(33.0%)が男性(22.2%)より10.8ポイント高く、「職場環境を考えるととりにくい」と回答した割合は、男性(43.7%)が女性(33.8%)より9.9ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「職場環境を考えるととりにくい」と回答した割合は、女性・男性ともに「30歳代」「50歳代」で50%程度と高くなっています。また、「休暇中の所得補償が十分でないのとれない」と回答した割合は、女性・男性ともに「30歳代」から「40歳代」が他の年代よりも高くなっています



性別	年代	その他
女性	19・20 歳代	男性・女性関係なく取れる人がとる方がよい
女性	19・20 歳代	とても良い事であると思うが、詳しくはその家庭の事情によると思う。
女性	30 歳代	休暇ではなく短時間勤務などによる育児参加
女性	30 歳代	それぞれの家庭による。母親が育児休暇が十分にとれない時は、父親が育児のために休みをとることは当然であると思うが、同時にとる必要があるか疑問です。どちらが育児休暇をとるかは家族で話し合っ決めてほしいと思います。
女性	40 歳代	母親に育児能力が低ければ父親も育児休暇を取る必要がある
女性	40 歳代	男性が家事なども出来るのであれば積極的にとってもらおうと女性も助かる
女性	40 歳代	必要ならば取得した方がよいと思う
女性	40 歳代	仕事に支障がなくとれるかどうかで、とれればとても良いと思う。とる必要がある状況にある人はとても良いと思う。
女性	60 歳代	妻と夫の仕事次第
女性	60 歳代	環境に応じて
女性	70 歳以上	2 人目の時は父親も必要と思う
男性	40 歳代	取りたければとればよい
男性	60 歳代	父・母の都合で考えてよい
男性	60 歳代	ケースバイケースで当事者同士の相談で決めるべき問題
男性	60 歳代	育児休暇がとれる職場ばかりではありません。とれない職場だってあるんですよ。
男性	70 歳以上	とる必要性の判断
男性	70 歳以上	父親・母親ともに育児すべきである。
男性	70 歳以上	共働きをしなければ結婚生活が成立しない。社会・賃金制度を見直す社会にすべきだ。育児については、夫婦で話し合い出来る人がやれば良い。

H22 と H27 の調査を比較すると、「職場環境を考えるととりにくい」と回答した割合は、H27（38.0%）が H22（30.3%）より 7.7 ポイント高くなっており、「育児は女性が適していると思うので、男性がとる必要はない」と回答した割合は、H27（8.2%）が H22（12.0%）より 3.8 ポイント低くなっています。

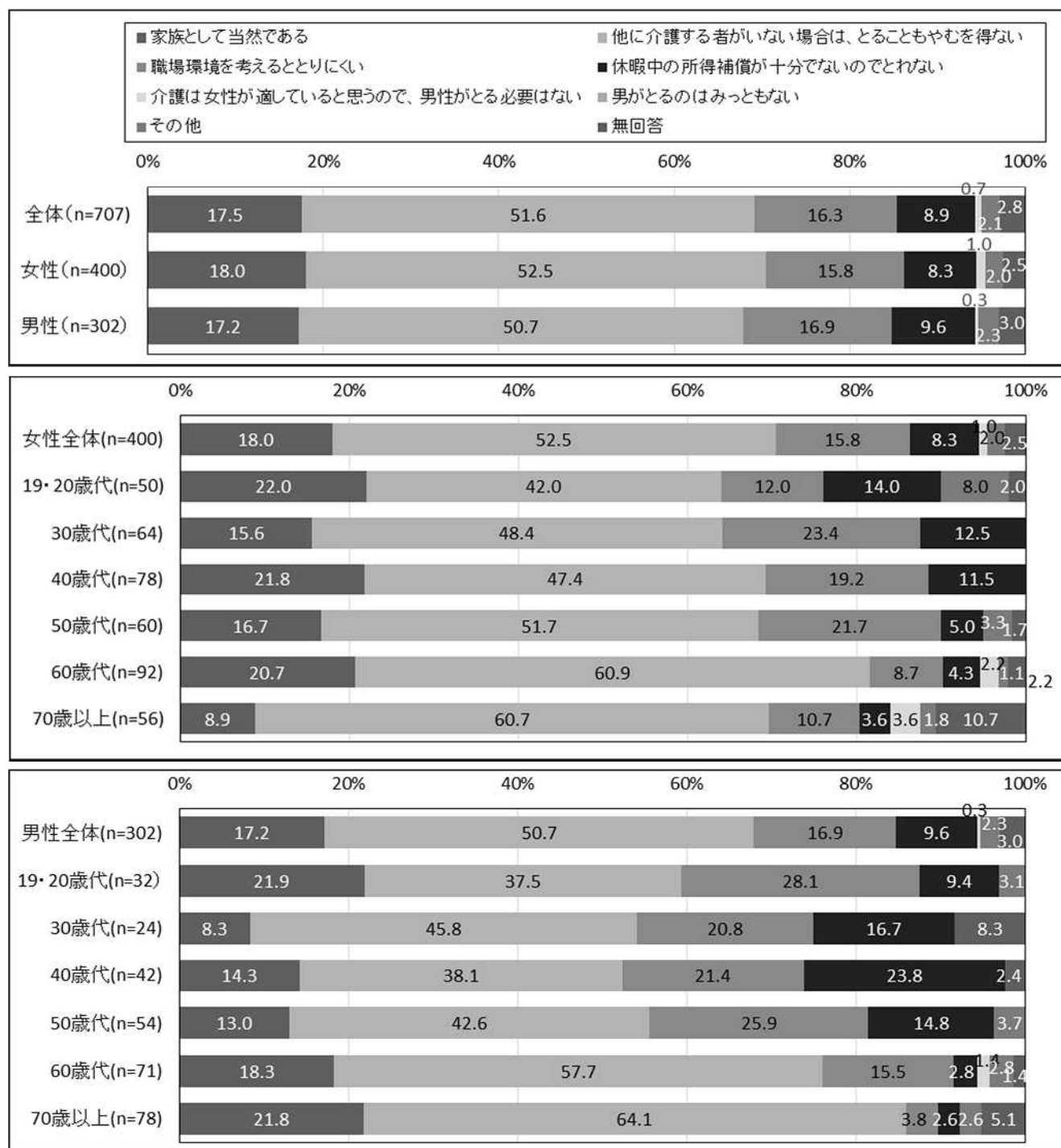


(16) あなたは、男性が「介護休暇」をとることについてどう思いますか。

「他に介護する者がいない場合は、とることもやむを得ない」が51.6%で最も高く、次いで「家族として当然である」17.5%、「職場環境を考えるととりにくい」16.3%の順となっています。

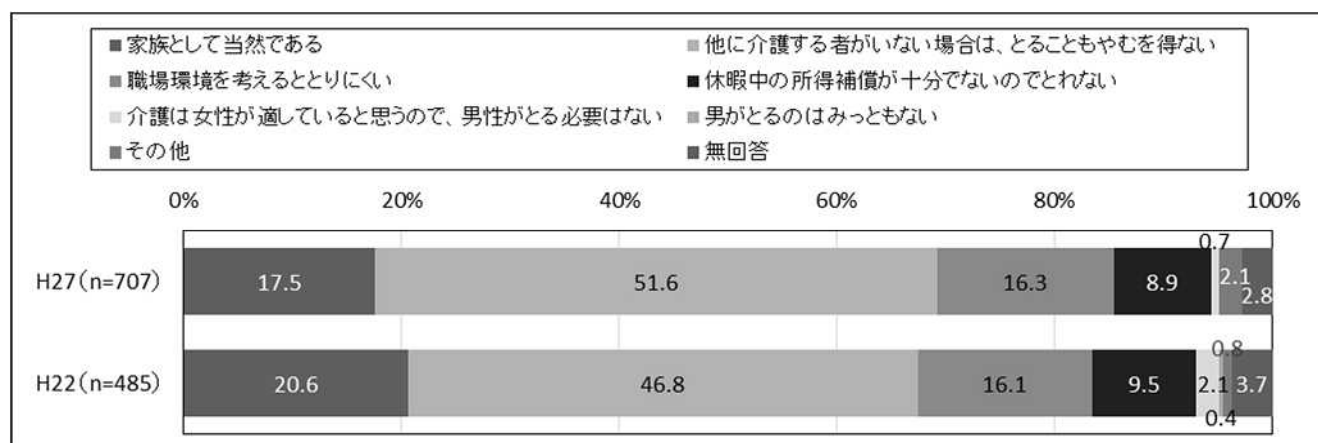
性別による大きな差異は見られません。

性別・年代別で見ると、「職場環境を考えるととりにくい」と回答した割合は、女性の「30歳代」23.4%、「50歳代」21.7%、男性の「19・20歳代」28.1%、「50歳代」25.9%で高くなっています。また、「休暇中の所得補償が十分でないのとれない」と回答した割合は、女性の「19・20歳代」14.0%、男性の「40歳代」23.8%、「30歳代」16.7%と高くなっています。



性別	年代	その他
女性	19・20 歳代	男性・女性関係なくとれてしかるべき
女性	19・20 歳代	とても良い事であると思うが、詳しくはその家庭の事情によると思う。
女性	50 歳代	家族で協力する。休むまでもない。
女性	50 歳代	その家庭状況で違うので答えにくい
男性	60 歳代	とれない職場なので考えられない
男性	70 歳以上	とる必要性の判断しだい

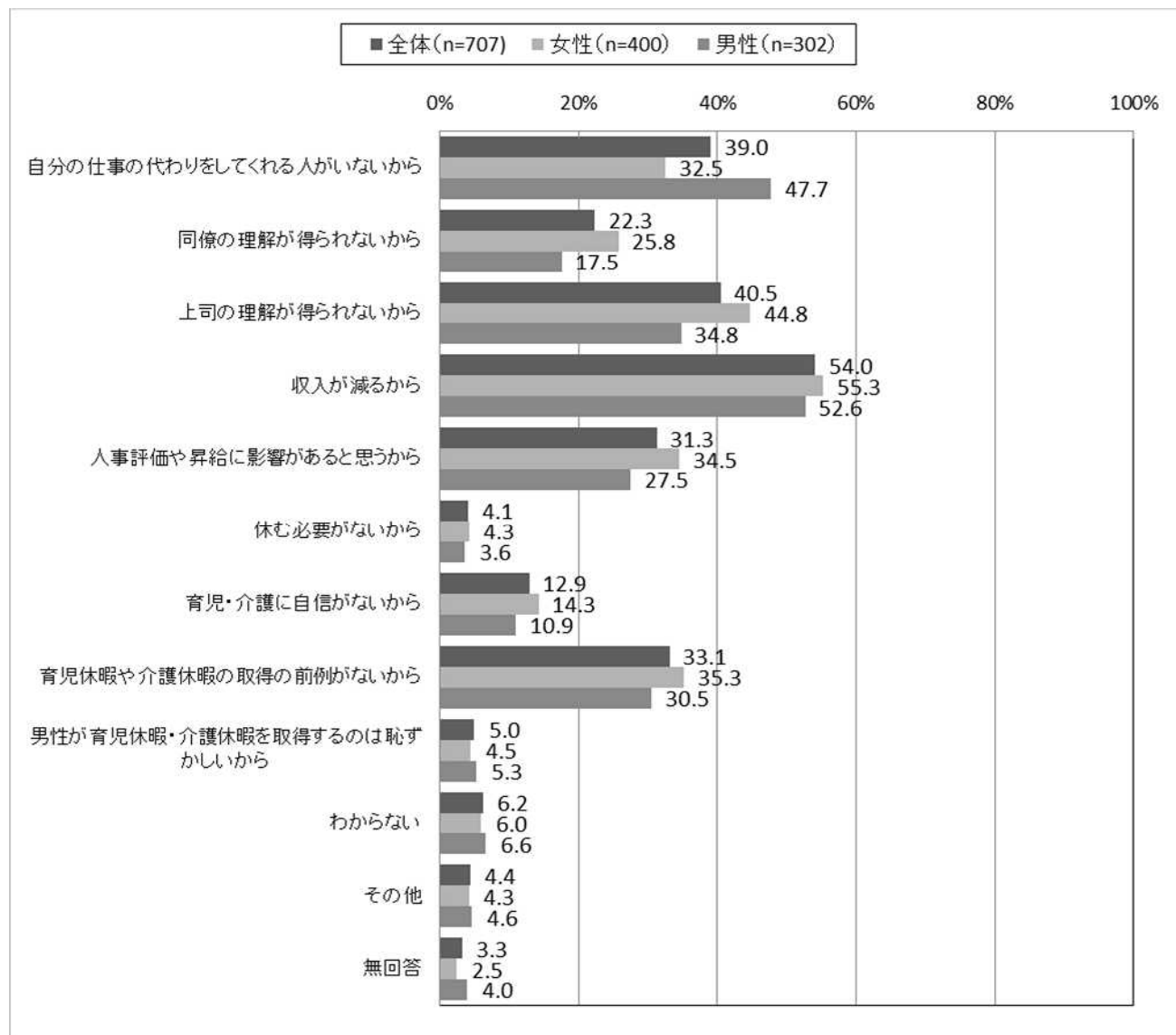
H22 と H27 の調査を比較すると、「他に介護する者がいない場合は、とることもやむを得ない」と回答した割合は、H27（51.6%）が H22（46.8%）より 4.8 ポイント高く、「家族として当然である」と回答した割合は、H27（17.5%）が H22（20.6%）より 3.1 ポイント低くなっています。また、H27 は、「男がとるのはみっともない」と回答した人はいません。



(17) あなたは、男性の「育児休暇」や「介護休暇」の取得が進まない理由は何だと思いますか。(〇は3つまで)

「収入が減るから」が54.0%で最も高く、次いで「上司の理解が得られないから」40.5%、「自分の仕事の代わりをしてくれる人がいないから」39.0%の順となっています。

性別で見ると、「上司の理解が得られないから」や「同僚の理解が得られないから」と回答した割合は、女性が男性より約10%高く、「自分の仕事の代わりをしてくれる人がいないから」と回答した割合は、男性(47.7%)が女性(32.5%)より15.2ポイント高くなっています。



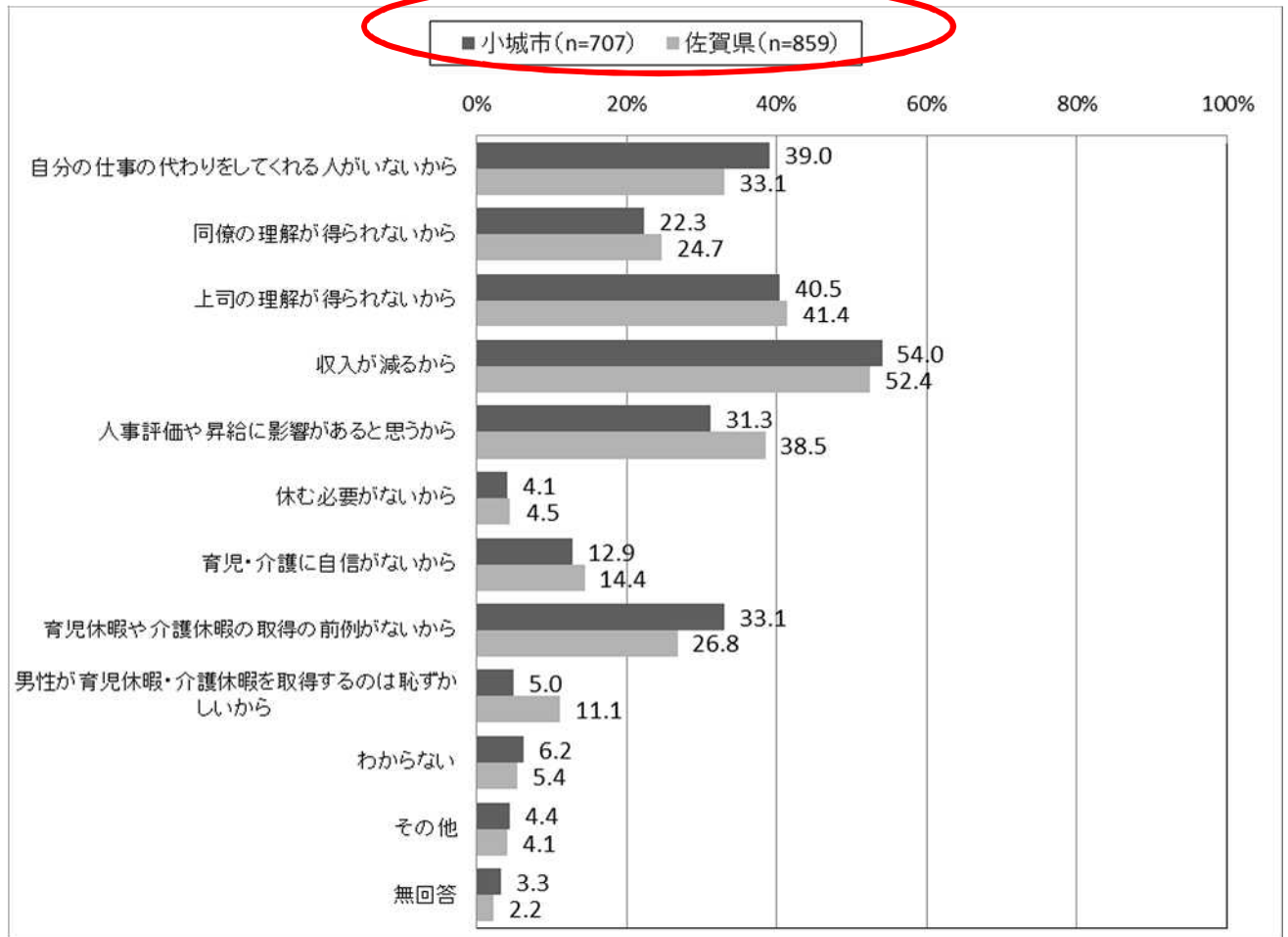
性別	年代	その他
女性	19・20 歳代	すべてあてはまる
女性	19・20 歳代	女性しか子どもを産めない
女性	19・20 歳代	そもそも育児・介護に対する興味が薄いから
女性	30 歳代	環境がそれを許さないから
女性	30 歳代	取得しにくい環境がある
女性	40 歳代	社則等で義務化されていないから
女性	40 歳代	必要にせまられてとる休暇とは違い同僚に負担をかけてまでは…という責任感があるのでは。
女性	40 歳代	男性自身に取得する意義が見い出せないのでは。極端に言えばとる必要がないと思っているからでは。
女性	50 歳代	職場環境
女性	50 歳代	育も介護もあたりまえ、〇〇休暇とせんでもいい
女性	50 歳代	もっと社会や地域の助けが欲しい
女性	70 歳以上	育児休暇は 2 人目の時は必要と思いますが、介護休暇は話合、助け合いのため取得かと思う
男性	19・20 歳代	会社の育児休暇・介護休暇という理解がない
男性	19・20 歳代	社会的にあまり認識されていないから
男性	30 歳代	休暇制度はあっても取りやすいような配慮がない。
男性	30 歳代	保育園の空きがなく共働きすることができない。
男性	40 歳代	一般化するためには、企業はその分社員を増やさなければならず非現実的と思う。男性の育児休暇を言うのはたやすいが、経営者からすれば大変なことである。
男性	40 歳代	ハラスメントが認識されるようになったように育児休暇・介護休暇を取ることが認識されるように行政・マスコミが社会に働きかけるべき。
男性	50 歳代	周りの理解が得られない
男性	50 歳代	会社の理解がない
男性	60 歳代	現状会社にあてはまる休暇規定がないから
男性	60 歳代	職場にそのような制度がない
男性	70 歳以上	とる必要性の判断
男性	70 歳以上	病気休暇と同等に

性別・年代別で見ると、「収入が減るから」と回答した割合は、女性・男性ともにほとんどの年代で高くなっていますが、女性の「60歳代以上」や男性の「70歳以上」で他の年代より15%程度低くなっています。また、「育児休暇や介護休暇の取得の前例がないから」と回答した割合は、女性の「30歳代」46.9%、男性の「19・20歳代」46.9%で高くなっています。

選択項目	女性全体 (n=400)	19・20歳代 (n=50)	30歳代 (n=64)	40歳代 (n=78)	50歳代 (n=60)	60歳代 (n=92)	70歳以上 (n=56)
自分の仕事の代わりをしてくれる人がいないから	32.5	32.0	32.8	34.6	38.3	34.8	19.6
同僚の理解が得られないから	25.8	20.0	26.6	23.1	23.3	27.2	33.9
上司の理解が得られないから	44.8	42.0	46.9	52.6	45.0	50.0	25.0
収入が減るから	55.3	62.0	65.6	59.0	70.0	45.7	32.1
人事評価や昇給に影響があると思うから	34.5	36.0	37.5	41.0	26.7	32.6	32.1
休む必要がないから	4.3	4.0	6.3	6.4	1.7	2.2	5.4
育児・介護に自信がないから	14.3	22.0	9.4	15.4	16.7	10.9	14.3
育児休暇や介護休暇の取得の前例がないから	35.3	28.0	46.9	38.5	40.0	31.5	25.0
男性が育児休暇・介護休暇を取得するのは恥ずかしいから	4.5	6.0	1.6	3.8	3.3	6.5	5.4
わからない	6.0	6.0	1.6	0.0	3.3	9.8	16.1
その他	4.3	8.0	3.1	3.8	6.7	1.1	5.4
無回答	2.5	0.0	0.0	1.3	0.0	3.3	10.7

選択項目	男性全体 (n=302)	19・20歳代 (n=32)	30歳代 (n=24)	40歳代 (n=42)	50歳代 (n=54)	60歳代 (n=71)	70歳以上 (n=78)
自分の仕事の代わりをしてくれる人がいないから	47.7	43.8	58.3	61.9	42.6	43.7	46.2
同僚の理解が得られないから	17.5	21.9	16.7	4.8	18.5	21.1	19.2
上司の理解が得られないから	34.8	40.6	25.0	23.8	33.3	38.0	39.7
収入が減るから	52.6	53.1	58.3	69.0	59.3	53.5	37.2
人事評価や昇給に影響があると思うから	27.5	21.9	29.2	38.1	20.4	28.2	28.2
休む必要がないから	3.6	3.1	4.2	0.0	0.0	2.8	9.0
育児・介護に自信がないから	10.9	6.3	4.2	7.1	11.1	11.3	16.7
育児休暇や介護休暇の取得の前例がないから	30.5	46.9	29.2	38.1	38.9	25.4	19.2
男性が育児休暇・介護休暇を取得するのは恥ずかしいから	5.3	6.3	0.0	0.0	7.4	5.6	7.7
わからない	6.6	3.1	8.3	2.4	9.3	7.0	7.7
その他	4.6	6.3	8.3	4.8	5.6	4.2	2.6
無回答	4.0	3.1	4.2	2.4	1.9	2.8	6.4

H26 佐賀県の調査との比較では、「育児休暇や介護休暇の取得の前例がないから」や「自分の仕事の代わりをしてくれる人がいないから」と回答した割合は、小城市が佐賀県より6ポイント程度高く、「人事評価や昇給に影響があると思うから」や「男性が育児休暇・介護休暇を取得するのは恥ずかしいから」と回答した割合は、小城市が佐賀県より6ポイント以上低くなっています。



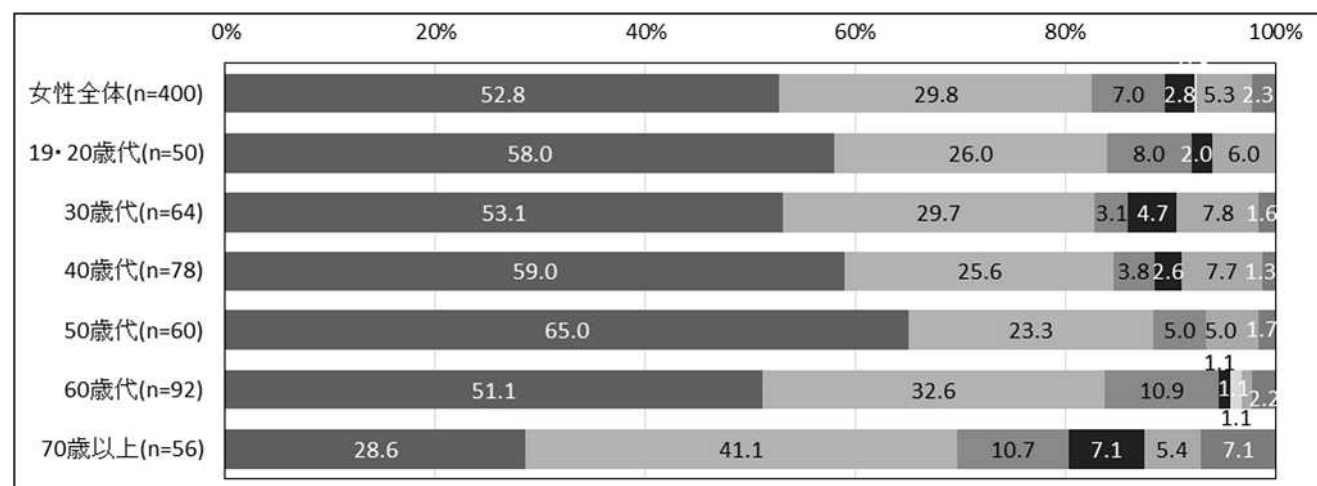
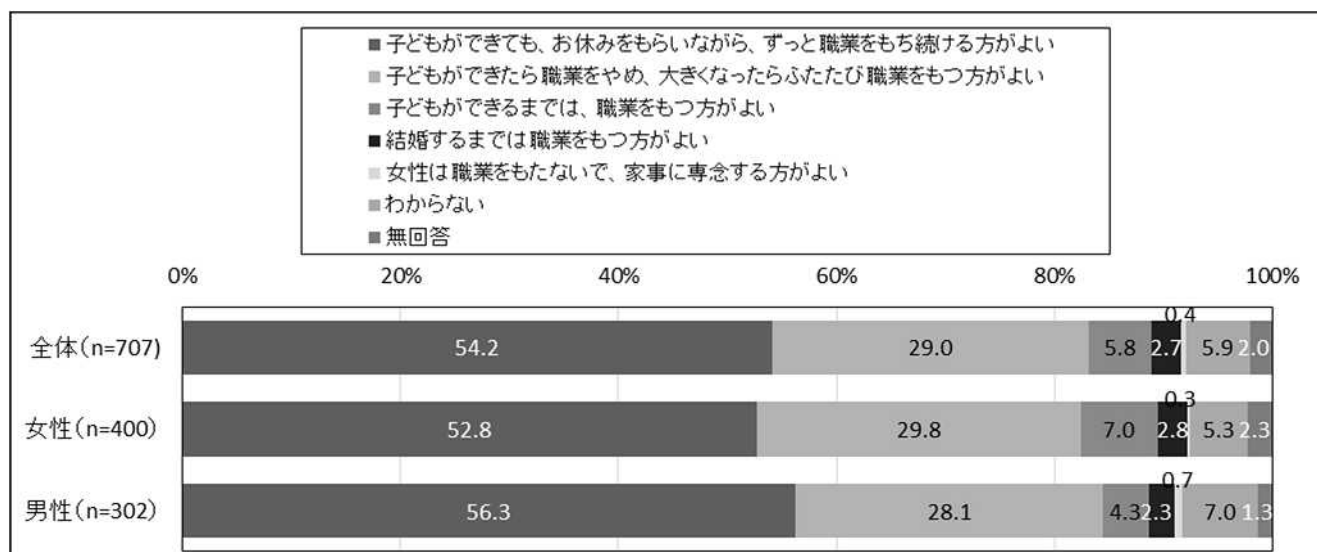
4. 働くことについて

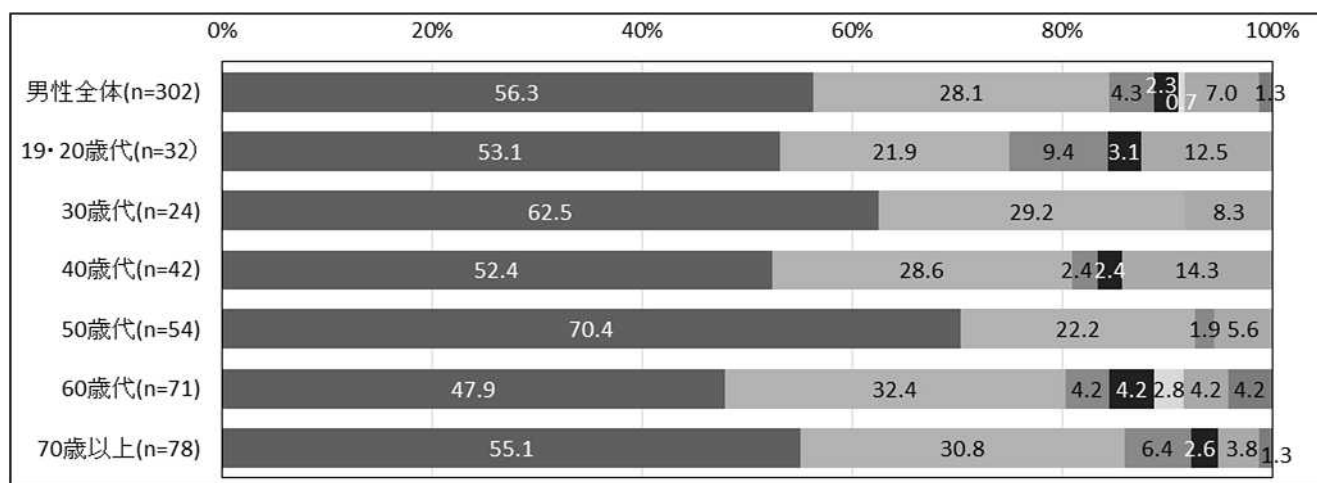
(18) あなたは、女性が職業を持つことについて、どのように考えますか。

「子どもができて、お休みをもらいながら、ずっと職業をもち続ける方がよい」が54.2%で最も高く、次いで「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったらふたたび職業をもつ方がよい」29.0%、「わからない」5.8%の順となっています。

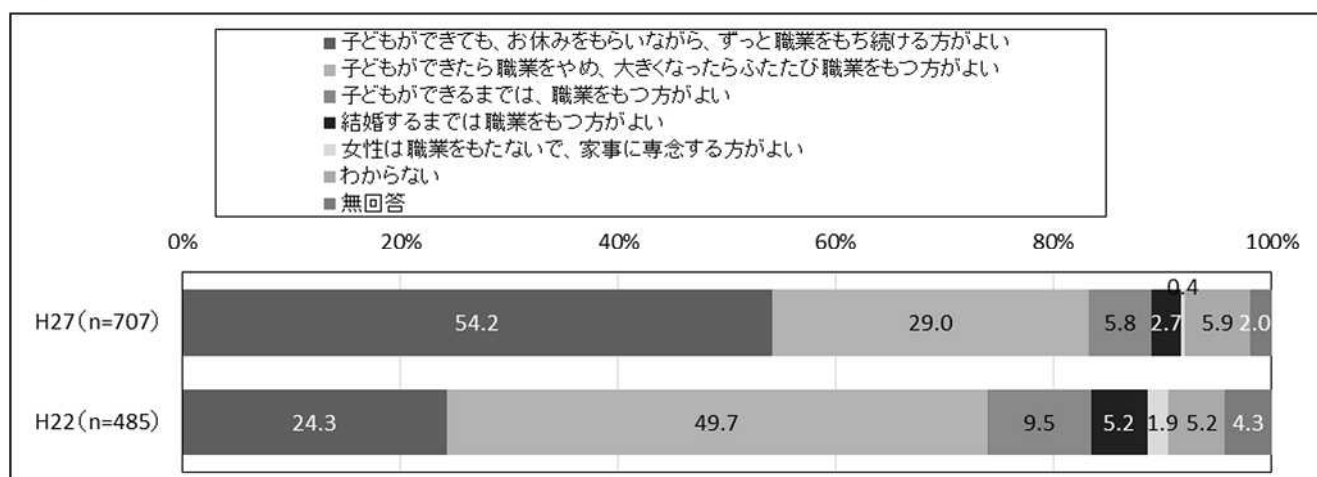
性別で見ると、「子どもができて、お休みをもらいながら、ずっと職業をもち続ける方がよい」と回答した割合は、男性（56.3%）が女性（52.8%）より3.5ポイント高く、「子どもができるまでは、職業をもつ方がよい」と回答した割合は、女性（7.0%）が男性（4.3%）より2.7ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「子どもができて、お休みをもらいながら、ずっと職業をもち続ける方がよい」と回答した割合は、女性・男性ともに「50歳代」で65%以上と最も高くなっています。また、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」と回答した割合は、女性の「70歳以上」が他の性別・年代よりも高くなっています。





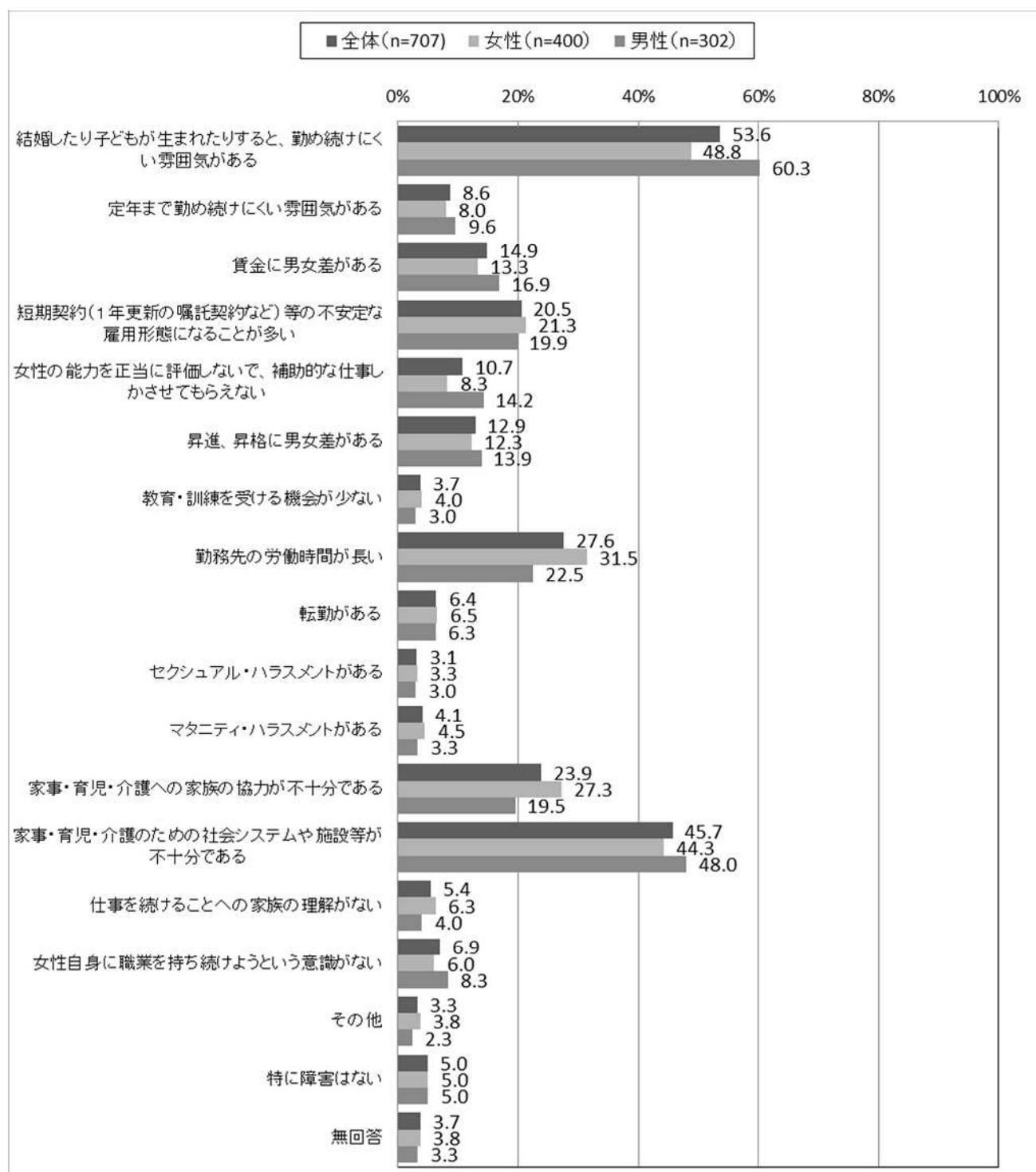
H22 と H27 の調査を比較すると、「子どもができて、お休みをもらいながら、ずっと職業をもち続ける方がよい」と回答した割合は、H27（54.2%）が H22（24.3%）より 29.9 ポイント高く、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったらふたたび職業をもつ方がよい」と回答した割合は、H27（29.0%）が H22（49.7%）より 20.7 ポイント低くなっています。



(19) あなたは、女性が仕事を続けていくうえで、特に障害になっていることは何だと思えますか。(〇は3つまで)

「結婚したり子どもが生まれたりすると、勤め続けにくい雰囲気がある」が53.6%で最も高く、次いで「家事・育児・介護のための社会システムや施設等が不十分である」45.7%、「勤務先の労働時間が長い」27.6%の順となっています。

性別で見ると、「勤務先の労働時間が長い」と回答した割合は、女性(31.5%)が男性(22.5%)より9ポイント高く、「家事・育児・介護への家族の協力が不十分である」と回答した割合は、女性(27.3%)が男性(19.5%)より7.8ポイント高くなっています。一方、「結婚したり子どもが生まれたりすると、勤め続けにくい雰囲気がある」と回答した割合は、男性(60.3%)が女性(48.8%)より11.5ポイント高くなっています。



性別	年代	その他
女性	19・20 歳代	子どもの病院などで休む回数が増えるのが休みにくい。
女性	30 歳代	子どもの病気・行事等お休みがとりづらい。また、急なお休み（台風等）になった時に預ける場所がない。
女性	30 歳代	保育料が高い
女性	30 歳代	中小企業では子育てとの両立が難しく（産休などもないところもあり）子どもを持った人にしか分からない現実があり、仕事をあきらめるしかない
女性	30 歳代	仕事と家庭の両立が難しい
女性	30 歳代	保育料または託児料が高い
女性	40 歳代	子どもが病気になった時、早退した時に仕事を休みづらい。
女性	50 歳代	育児・介護の施設が少なくまた入所出来ても病気・ケガ・入院に対処してくれない為、仕事を持っていても休みがとりづらく、また家族に小児・高齢者がいると就職・面接の際の妨げになることもある
女性	50 歳代	あまえ
女性	50 歳代	家庭・子どもがいる状況等での会社の理解及び助けが欲しい
女性	60 歳代	個々に障害になる理由は違うと思う
女性	60 歳代	女性が男性と同等になるべきではない方が望ましいと思う一人です。
男性	19・20 歳代	家事の比重がどうしても女性の方が高い
男性	50 歳代	民間企業には、行政にある産休等の温かい職務規定がない。
男性	60 歳代	法整備や会社経営者の意識の改革の遅れ

性別・年代別で見ると、「結婚したり子どもが生まれたりすると、勤め続けにくい雰囲気がある」と回答した割合は、女性・男性ともにほとんどの年代で高く、特に、女性の「19・20 歳代」66.0%、男性の「40 歳代」66.7%と高くなっています。また、「短期契約（1年更新の嘱託契約など）等の不安定な雇用形態になることが多い」と回答した割合は、女性の「50 歳代」33.3%、男性の「60 歳代」28.2%で高くなっています。

選択項目	女性全体 (n=400)	19・20歳代 (n=50)	30歳代 (n=64)	40歳代 (n=78)	50歳代 (n=60)	60歳代 (n=92)	70歳以上 (n=56)
結婚したり子どもが生まれたりすると、勤め続けにくい雰囲気がある	48.8	66.0	54.7	47.4	50.0	45.7	32.1
定年まで勤め続けにくい雰囲気がある	8.0	0.0	9.4	3.8	3.3	8.7	23.2
賃金に男女差がある	13.3	20.0	12.5	15.4	10.0	13.0	8.9
短期契約（1年更新の嘱託契約など）等の不安定な雇用形態になることが多い	21.3	14.0	23.4	21.8	33.3	19.6	14.3
女性の能力を正當に評価しないで、補助的な仕事しかさせてもらえない	8.3	8.0	3.1	5.1	8.3	15.2	7.1
昇進、昇格に男女差がある	12.3	16.0	4.7	16.7	10.0	13.0	12.5
教育・訓練を受ける機会が少ない	4.0	4.0	3.1	0.0	1.7	7.6	7.1
勤務先の労働時間が長い	31.5	30.0	29.7	30.8	41.7	32.6	23.2
転勤がある	6.5	6.0	4.7	3.8	8.3	7.6	8.9
セクシュアル・ハラスメントがある	3.3	2.0	4.7	6.4	3.3	2.2	0.0
マタニティ・ハラスメントがある	4.5	2.0	7.8	7.7	3.3	4.3	0.0
家事・育児・介護への家族の協力が不十分である	27.3	30.0	29.7	34.6	26.7	19.6	25.0
家事・育児・介護のための社会システムや施設等が不十分である	44.3	40.0	50.0	47.4	48.3	42.4	35.7
仕事を続けることへの家族の理解がない	6.3	2.0	6.3	9.0	6.7	4.3	8.9
女性自身に職業を持ち続けようという意識がない	6.0	8.0	6.3	5.1	3.3	7.6	5.4
その他	3.8	2.0	7.8	1.3	5.0	3.3	3.6
特に障害はない	5.0	6.0	3.1	5.1	8.3	4.3	3.6
無回答	3.8	0.0	0.0	1.3	0.0	4.3	17.9

選択項目	男性全体 (n=302)	19・20歳代 (n=32)	30歳代 (n=24)	40歳代 (n=42)	50歳代 (n=54)	60歳代 (n=71)	70歳以上 (n=78)
結婚したり子どもが生まれたりすると、 勤め続けにくい雰囲気がある	60.3	53.1	62.5	66.7	55.6	59.2	62.8
定年まで勤め続けにくい雰囲気がある	9.6	3.1	0.0	7.1	9.3	11.3	14.1
賃金に男女差がある	16.9	18.8	12.5	19.0	22.2	15.5	14.1
短期契約(1年更新の嘱託契約など) 等の不安定な雇用形態になることが多い	19.9	18.8	25.0	11.9	13.0	28.2	20.5
女性の能力を正當に評価しないで、補 助的な仕事しかさせてもらえない	14.2	6.3	4.2	11.9	11.1	22.5	16.7
昇進、昇格に男女差がある	13.9	15.6	4.2	11.9	22.2	9.9	14.1
教育・訓練を受ける機会が少ない	3.0	6.3	0.0	0.0	1.9	2.8	5.1
勤務先の労働時間が長い	22.5	28.1	25.0	16.7	29.6	25.4	15.4
転勤がある	6.3	9.4	4.2	9.5	5.6	2.8	7.7
セクシュアル・ハラスメントがある	3.0	12.5	0.0	2.4	1.9	2.8	1.3
マタニティ・ハラスメントがある	3.3	6.3	4.2	0.0	3.7	2.8	2.6
家事・育児・介護への家族の協力が 不十分である	19.5	18.8	37.5	21.4	22.2	12.7	17.9
家事・育児・介護のための社会システ ムや施設等が不十分である	48.0	34.4	41.7	57.1	50.0	47.9	50.0
仕事を続けることへの家族の理解が ない	4.0	0.0	0.0	4.8	3.7	8.5	2.6
女性自身に職業を持ち続けようという 意識がない	8.3	15.6	12.5	7.1	9.3	5.6	6.4
その他	2.3	6.3	0.0	0.0	1.9	4.2	1.3
特に障害はない	5.0	3.1	8.3	0.0	5.6	2.8	9.0
無回答	3.3	0.0	0.0	2.4	1.9	4.2	6.4

5. 夫婦や恋人同士などの暴力について

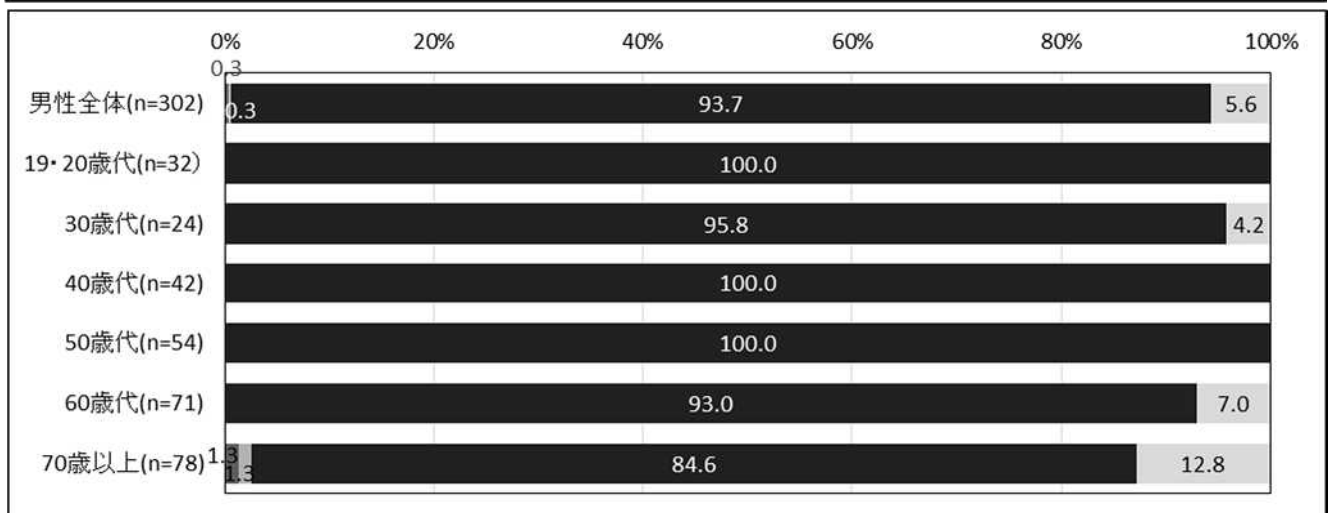
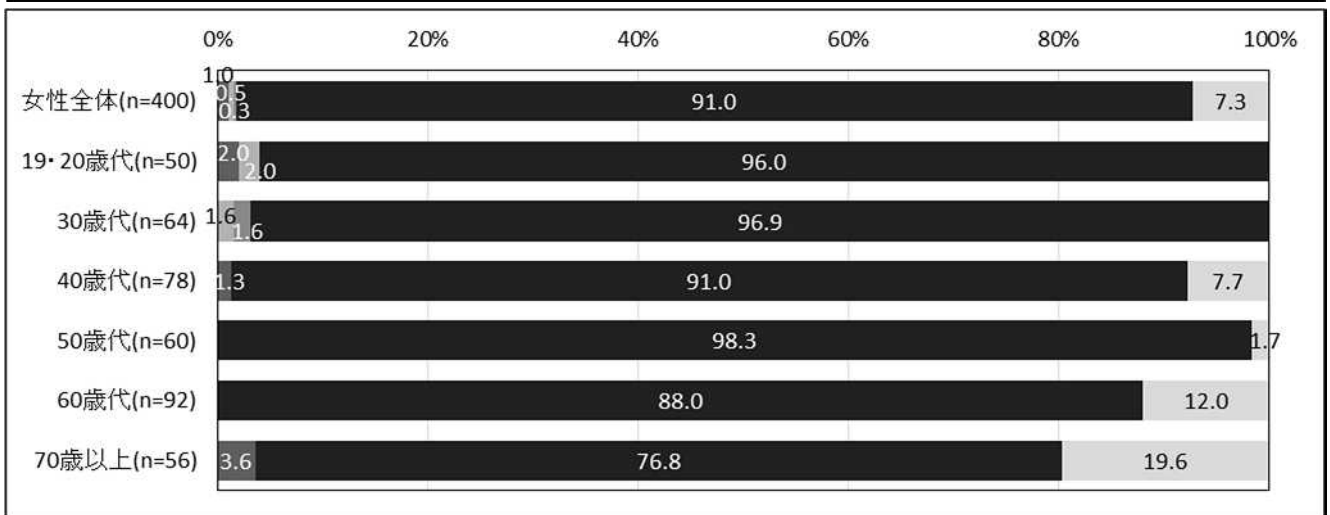
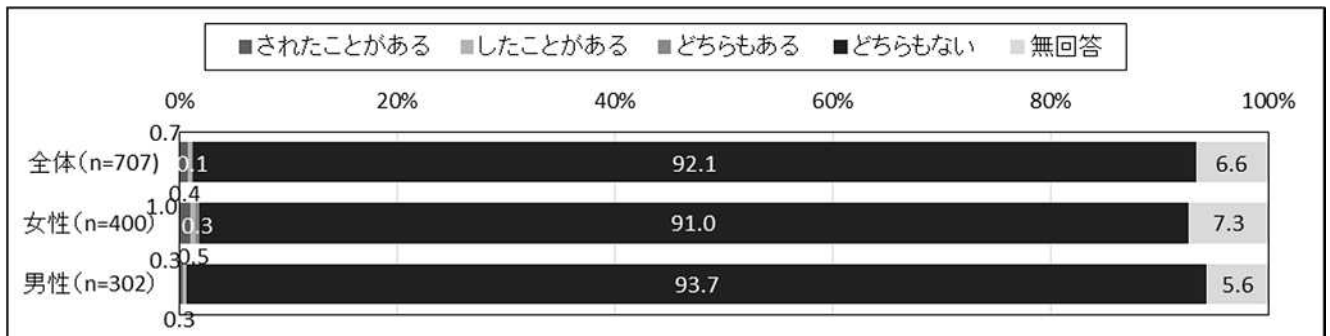
(20) あなたは、5年以内に次のようなことをしたりされたりしたことがありますか。

①生命の危機を感じるほどの暴力

「どちらもない」が92.1%で最も高く、次いで「されたことがある」0.7%、「したことがある」0.4%の順となっています。

性別による大きな差異は見られません。

性別・年代別で見ると、「されたことがある」と回答した割合は、女性の「19・20歳代」「40歳代」「70歳以上」、男性の「70歳以上」で高く、「どちらもある」と回答した割合は、女性の「30歳代」で若干高くなっています。

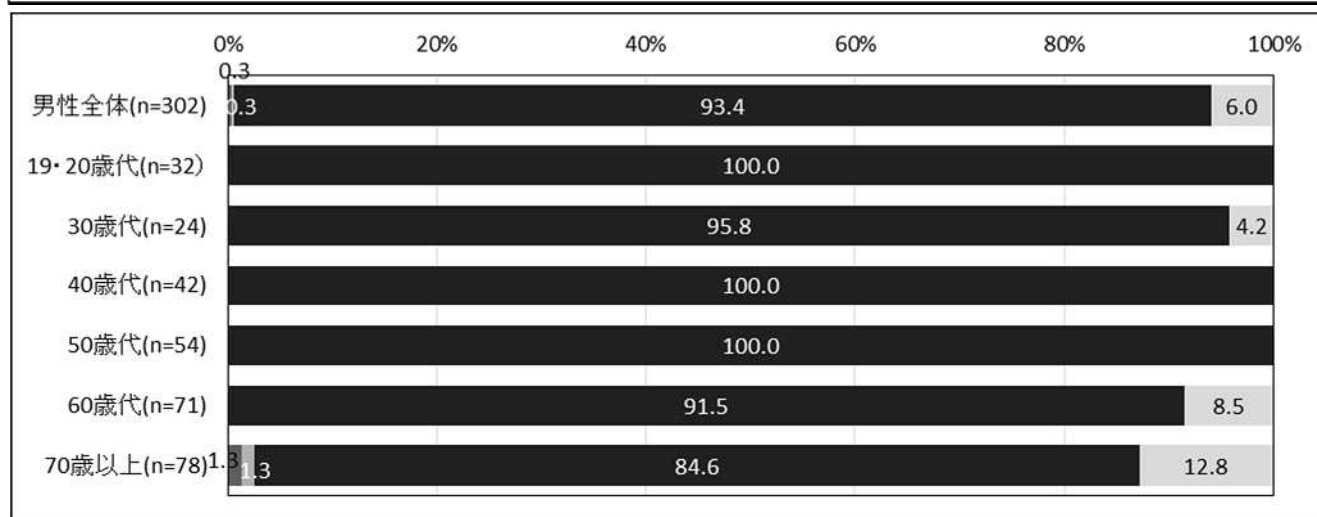
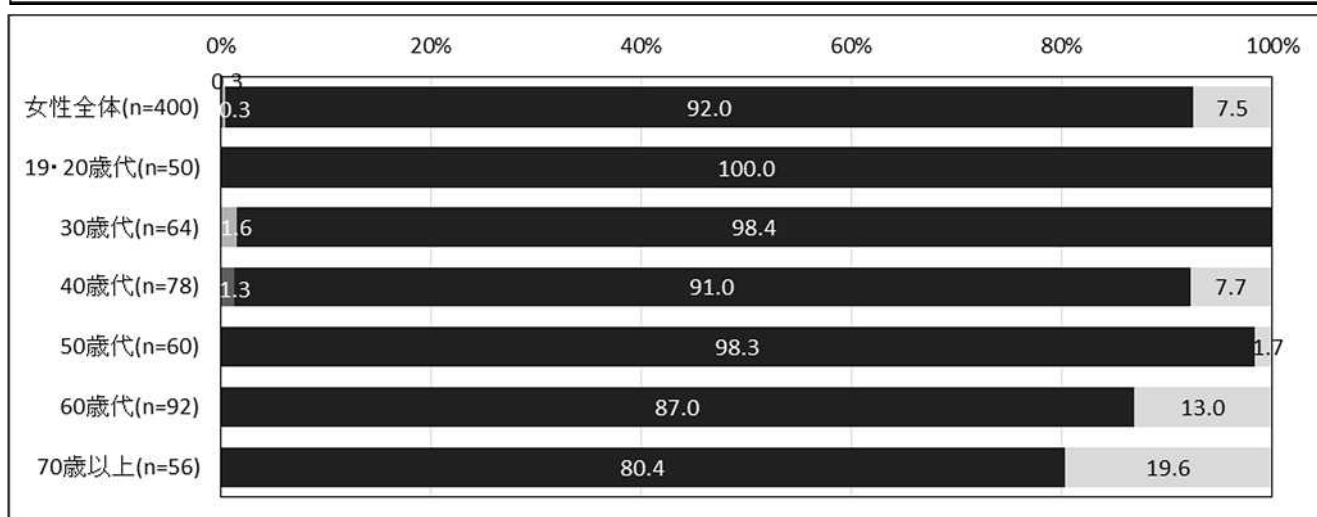
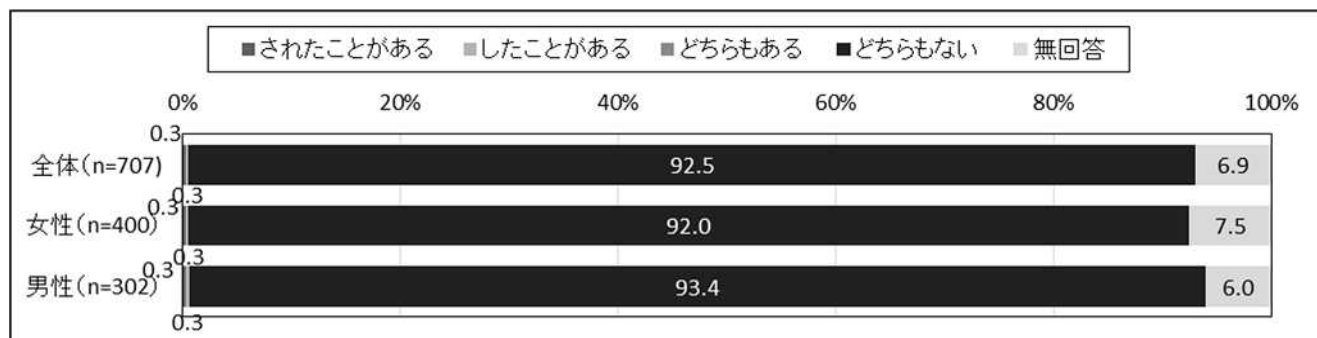


②医師の治療が必要となるほどの暴力

「どちらもない」が92.5%で最も高く、次いで「されたことがある」「したことがある」0.3%の順となっています。

性別による大きな差異は見られません。

性別・年代別で見ると、「されたことがある」と回答した割合は、女性の「40歳代」、男性の「70歳以上」で若干高くなっています。

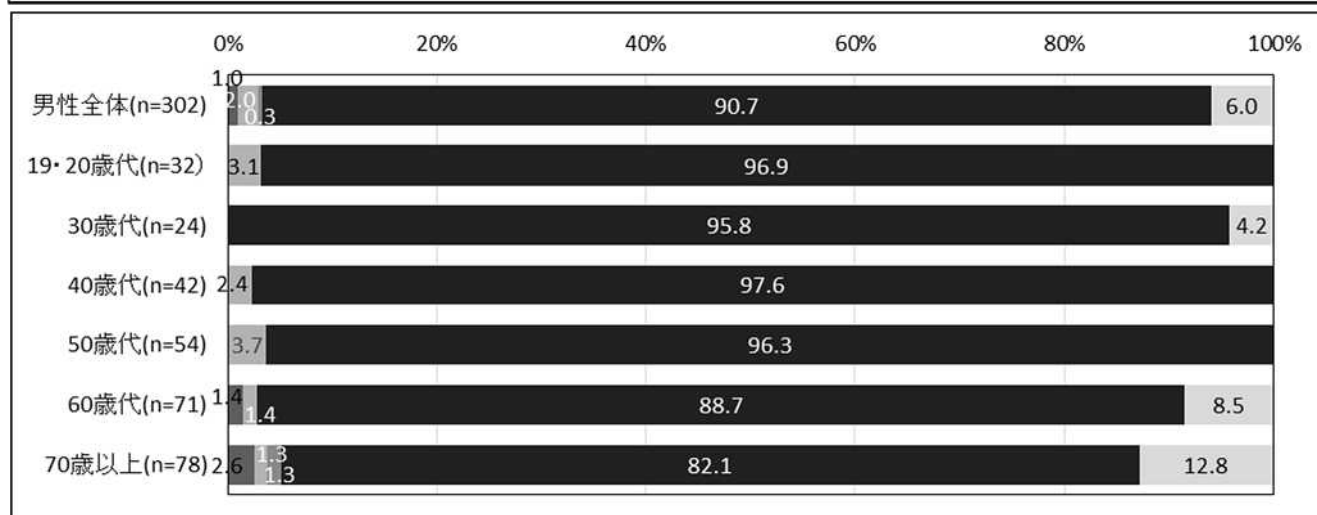
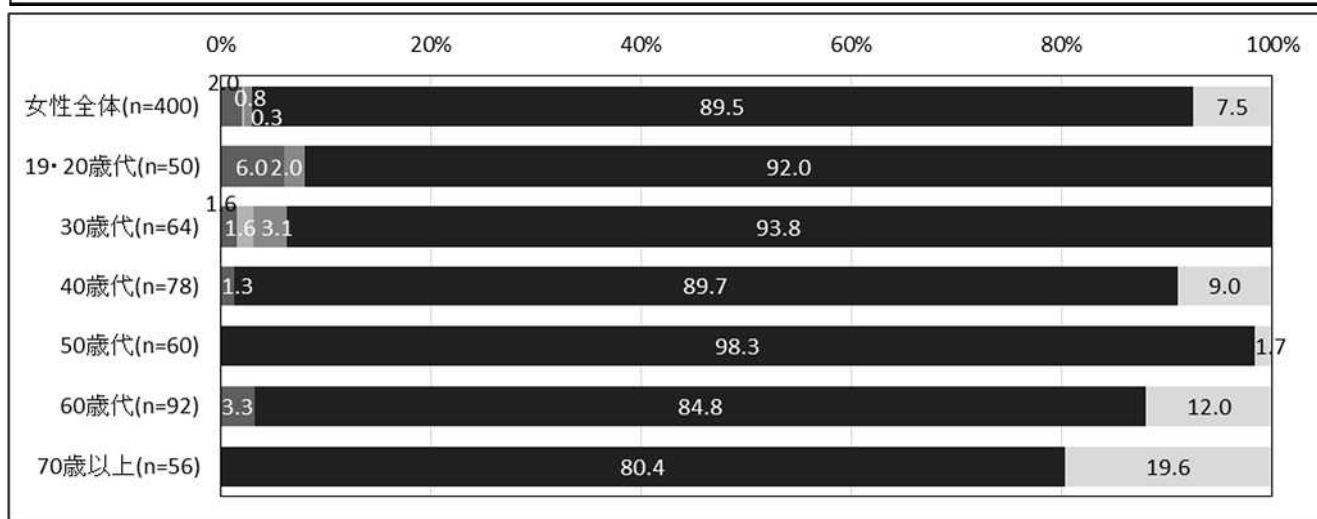
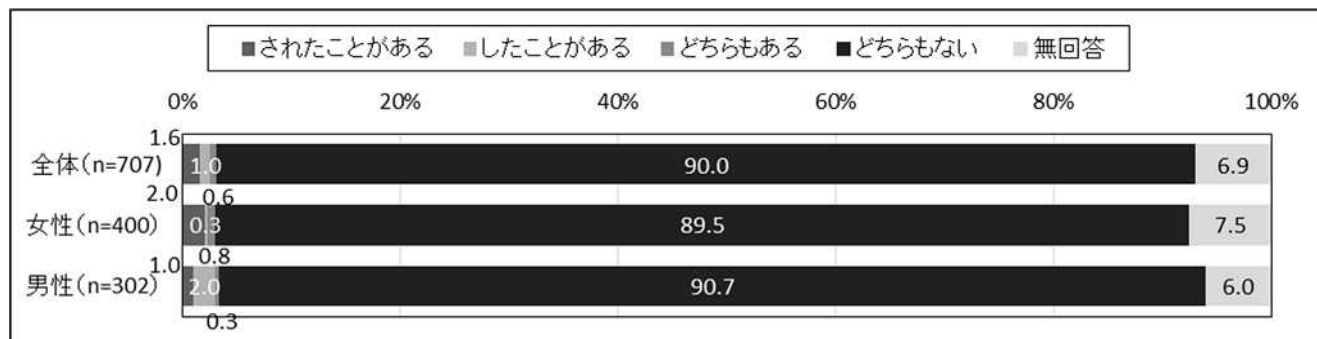


③医師の治療までは必要がない程度の暴力

「どちらもない」が90.0%で最も高く、次いで「されたことがある」1.6%、「したことがある」1.0%の順となっています。

性別で見ると、「されたことがある」と回答した割合は、女性（2.0%）が男性（1.0%）より若干高く、「したことがある」と回答した割合は、男性（2.0%）が女性（0.3%）より若干高くなっています。

性別・年代別で見ると、「されたことがある」と回答した割合は、女性の「19・20 歳代」6.0%、「60 歳代」3.3%、男性の「70 歳以上」2.6%と高くなっています。また、「したことがある」と回答した割合は、男性の「19・20 歳代」3.1%、「50 歳代」3.7%と高くなっています。

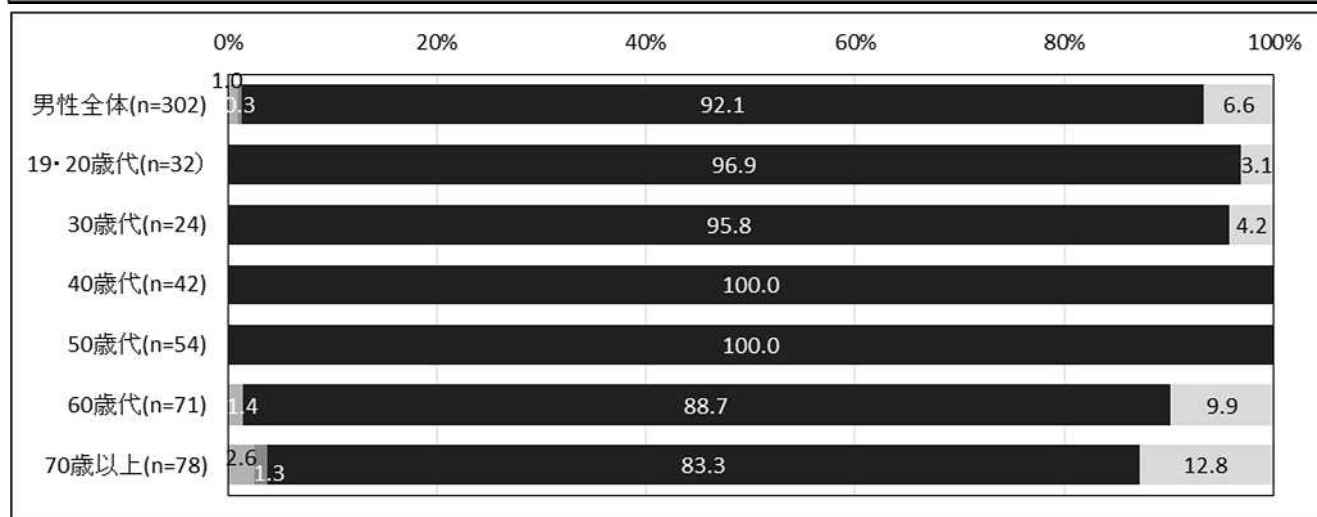
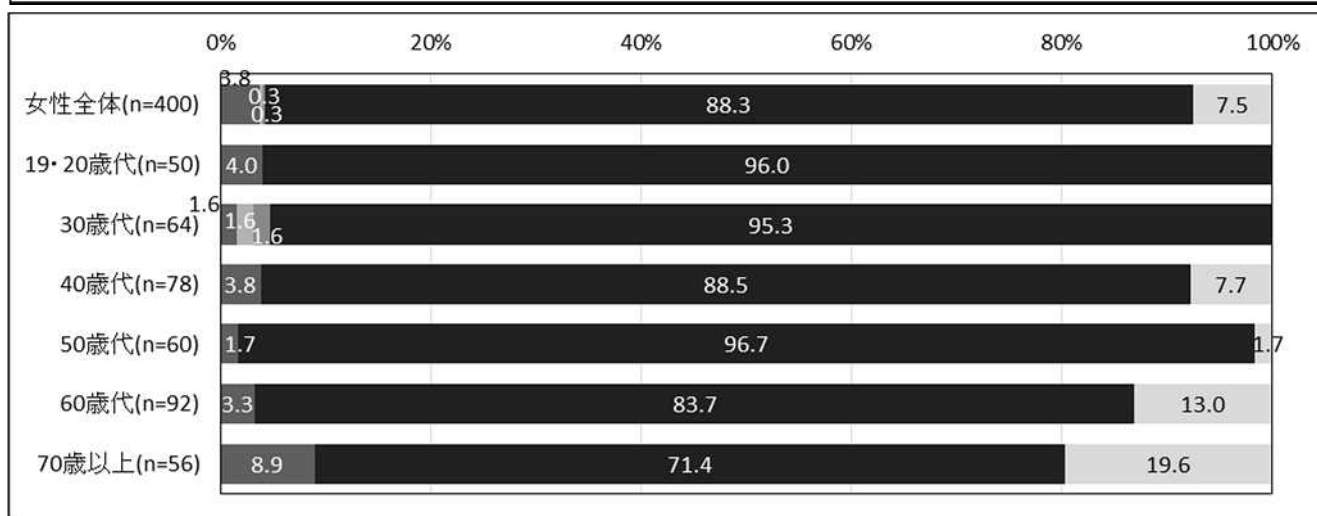
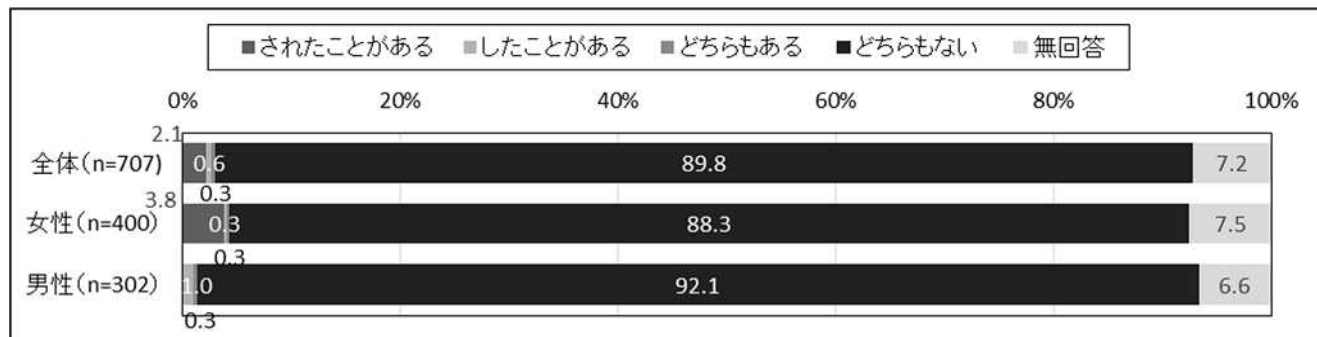


④嫌がっているのに性的行為を強要

「どちらもない」が89.8%で最も高く、次いで「されたことがある」2.1%、「したことがある」0.6%の順となっています。

性別で見ると、「されたことがある」と回答した割合は、女性（3.8%）が男性（0.0%）より高くなっています。

性別・年代別で見ると、「されたことがある」と回答した割合は、女性の「70歳以上」8.9%と高くなっています。また、「したことがある」と回答した割合は、男性の「60歳以上」で若干高くなっています。

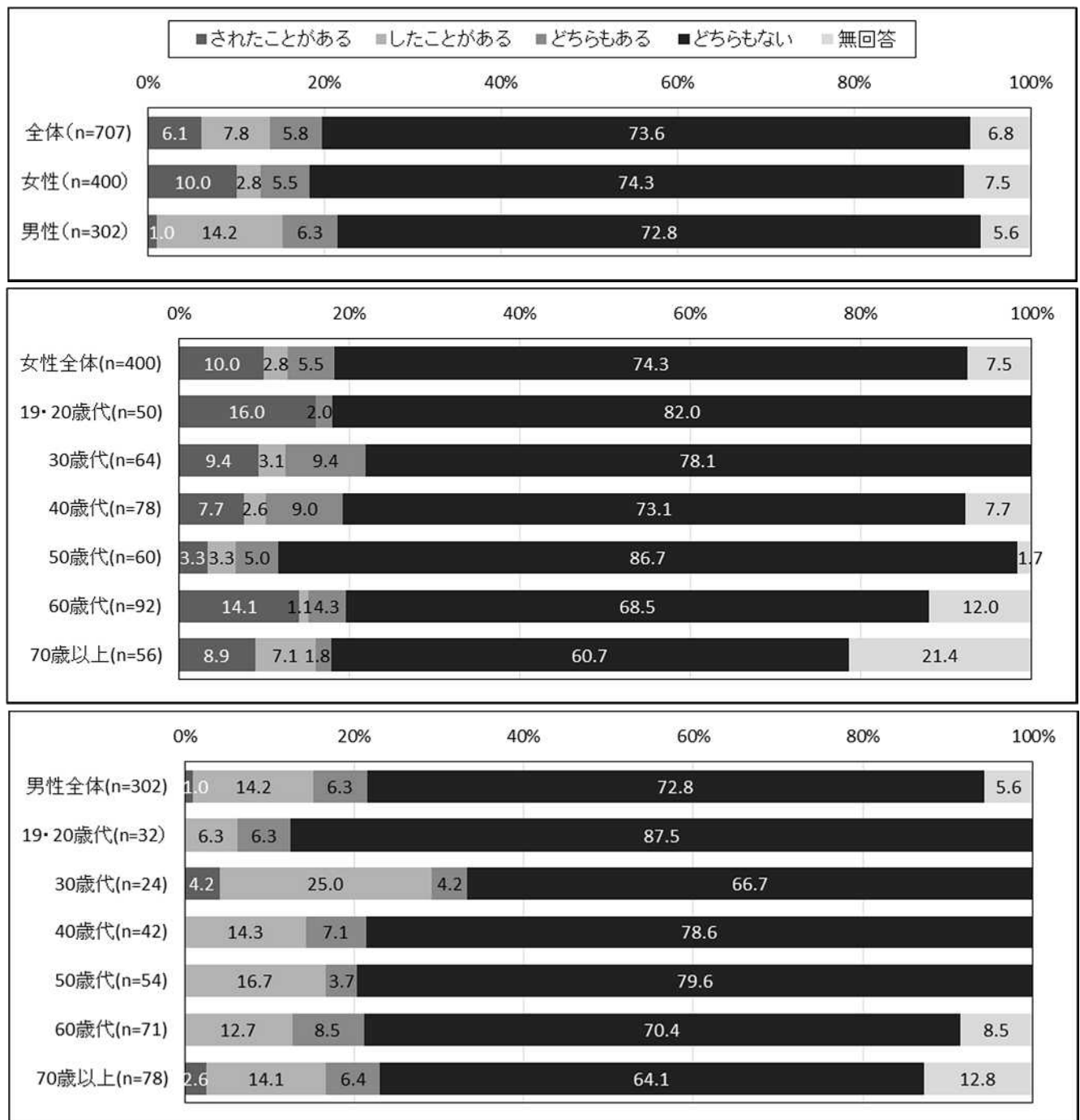


⑤大声でどなったり、暴言を吐く

「どちらもない」が73.6%で最も高く、次いで「したことがある」7.8%、「されたことがある」6.1%の順となっています。

性別で見ると、「されたことがある」と回答した割合は、女性（10.0%）が男性（1.0%）より9.0ポイント高く、「したことがある」と回答した割合は、男性（14.2%）が女性（2.8%）より11.4ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「されたことがある」と回答した割合は、女性の「19・20歳以上」16.0%、「60歳代」14.1%と高くなっています。また、「したことがある」と回答した割合は、女性の「70歳以上」7.1%、男性の「30歳代」25.0%と高くなっています。

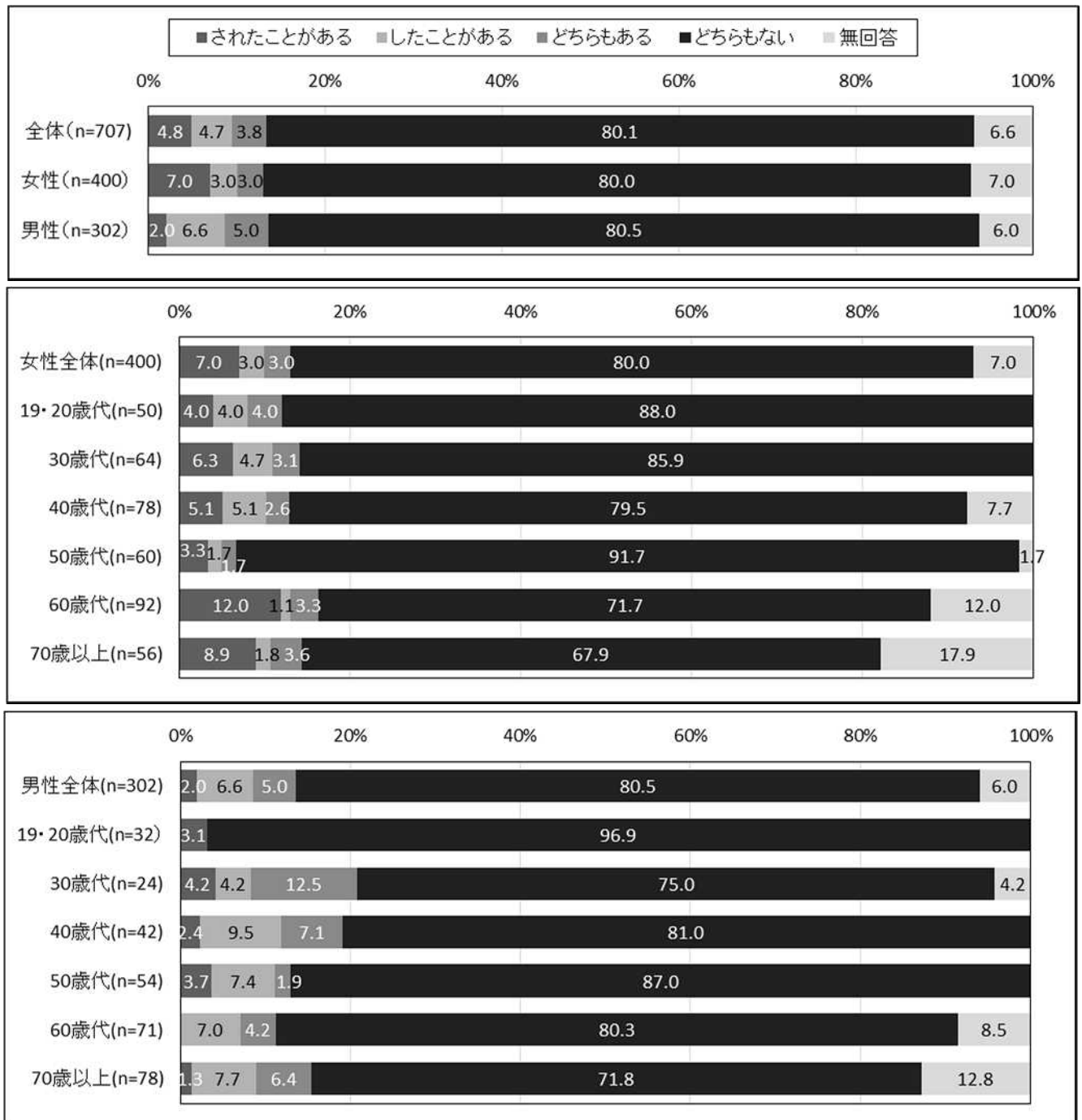


⑥ 「女（男）のくせに・・・」、「女（男）だから・・・」と差別する

「どちらもない」が80.1%で最も高く、次いで「されたことがある」4.8%、「したことがある」4.7%の順となっています。

性別で見ると、「されたことがある」と回答した割合は、女性（7.0%）が男性（2.0%）より5.0ポイント高く、「したことがある」と回答した割合は、男性（6.6%）が女性（3.0%）より3.6ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「されたことがある」と回答した割合は、女性の「60歳代」12.0%と高くなっています。また、「どちらもある」と回答した割合は、男性の「30歳代」12.5%と高くなっています。

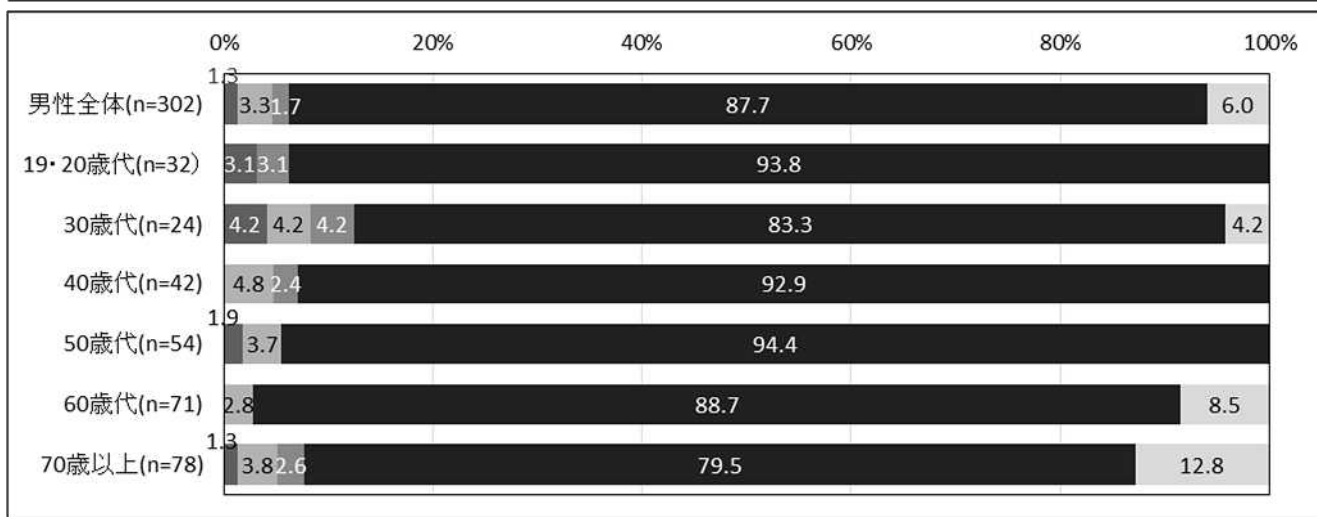
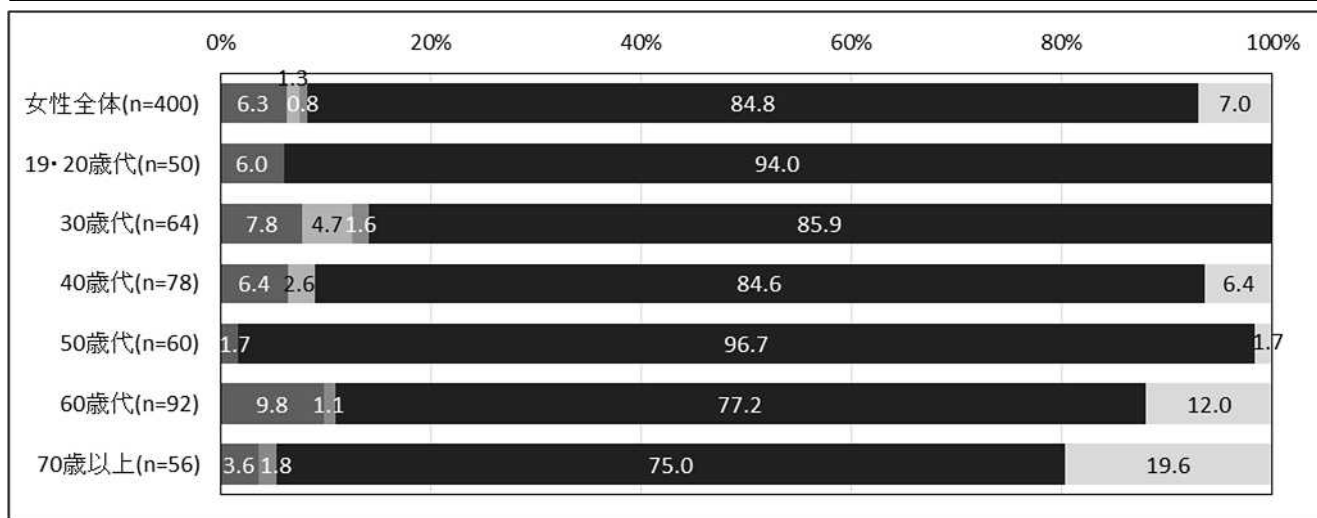
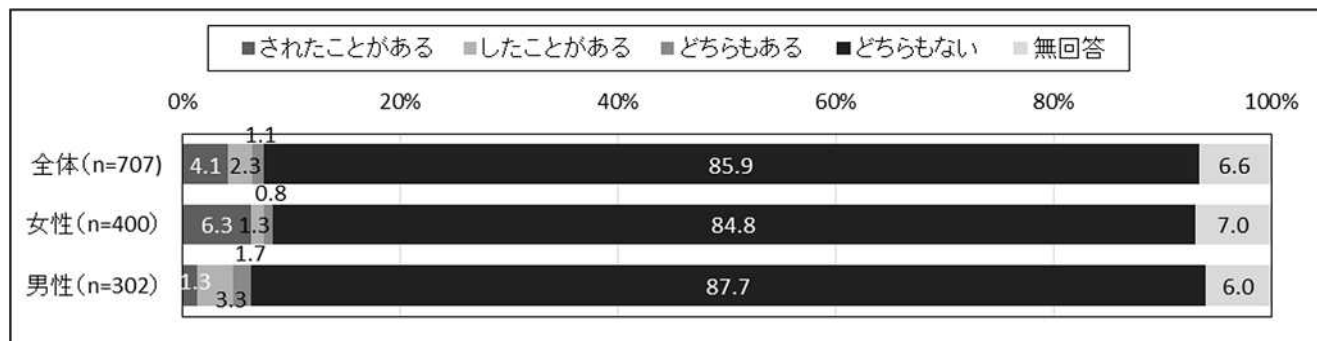


⑦ 「誰のおかげで生活できるんだ」とか「甲斐性なし」とののしる

「どちらもない」が 85.9%で最も高く、次いで「されたことがある」4.1%、「したことがある」2.3%の順となっています。

性別で見ると、「されたことがある」と回答した割合は、女性（6.3%）が男性（1.3%）より 5.0 ポイント高く、「したことがある」と回答した割合は、男性（3.3%）が女性（1.3%）より 2.0 ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「されたことがある」と回答した割合は、女性の「30 歳代」7.8%、「60 歳代」9.8%、男性は「30 歳代」4.2%と高くなっています。また、「したことがある」と回答した割合は、女性・男性ともに「30 歳代」から「40 歳代」で高くなっています。

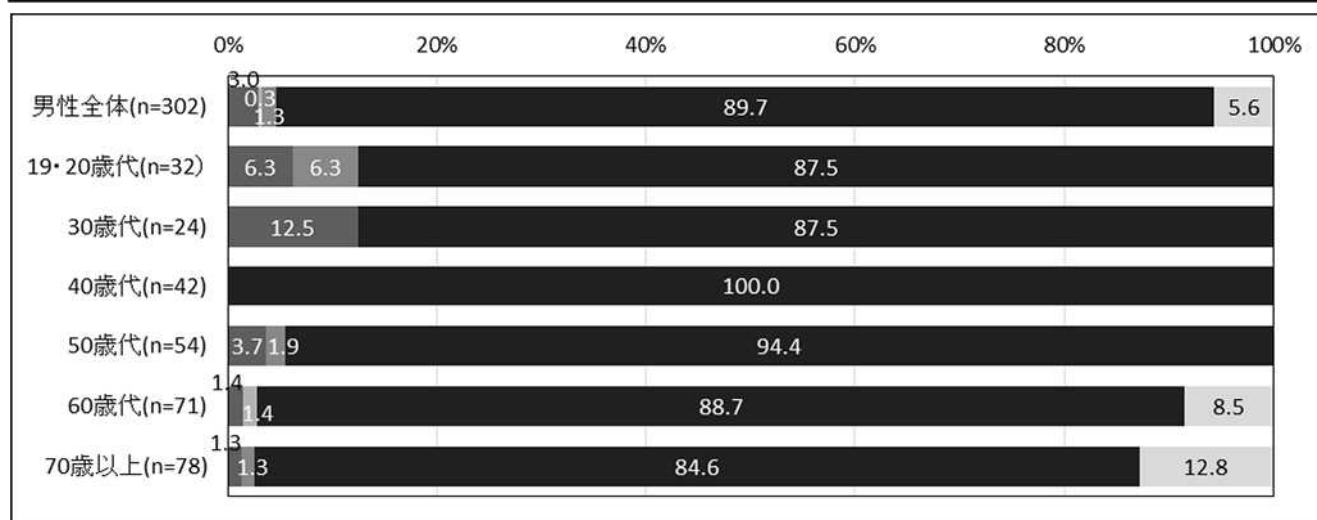
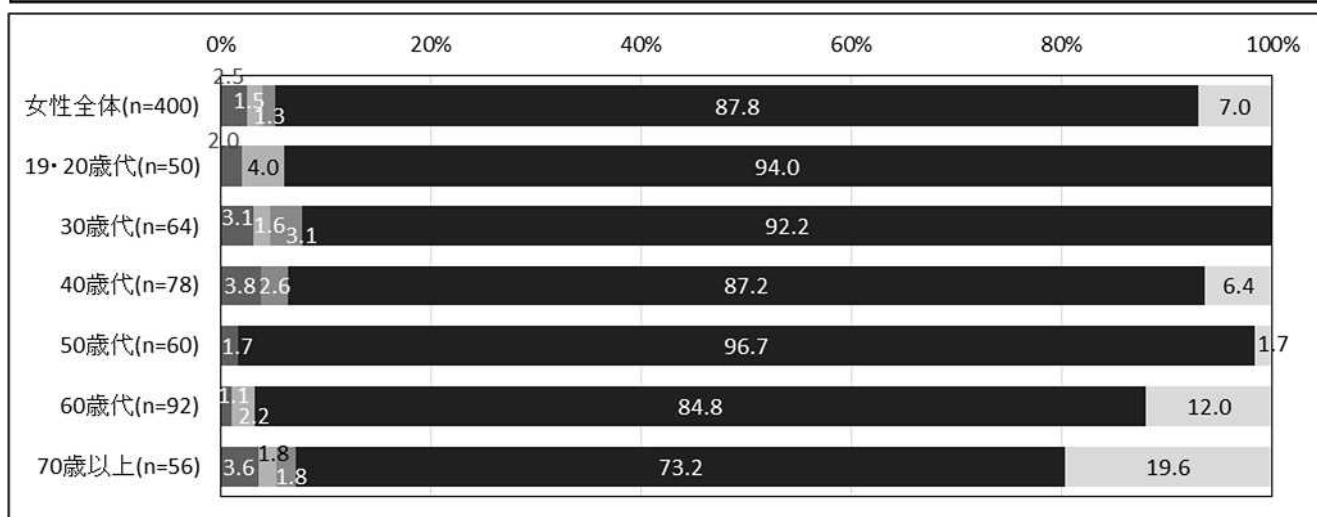
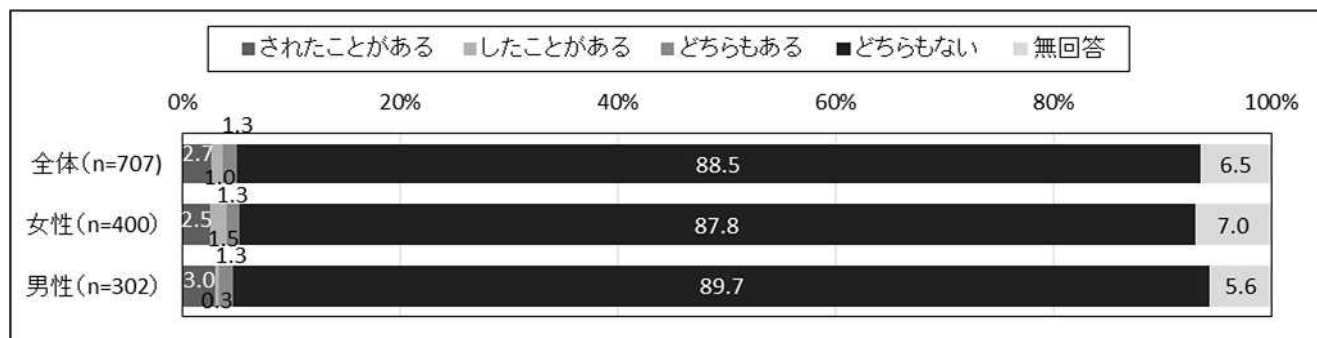


⑧交友関係や電話、メール、お金の使い道などを細かく監視する

「どちらもない」が88.5%で最も高く、次いで「されたことがある」2.7%、「どちらもある」1.3%の順となっています。

性別による大きな差異は見られません。

性別・年代別で見ると、「したことがある」と回答した割合は、女性の「19・20歳代」4.0%で高く、「されたことがある」と回答した割合は、男性の「30歳代」12.5%と高くなっています。

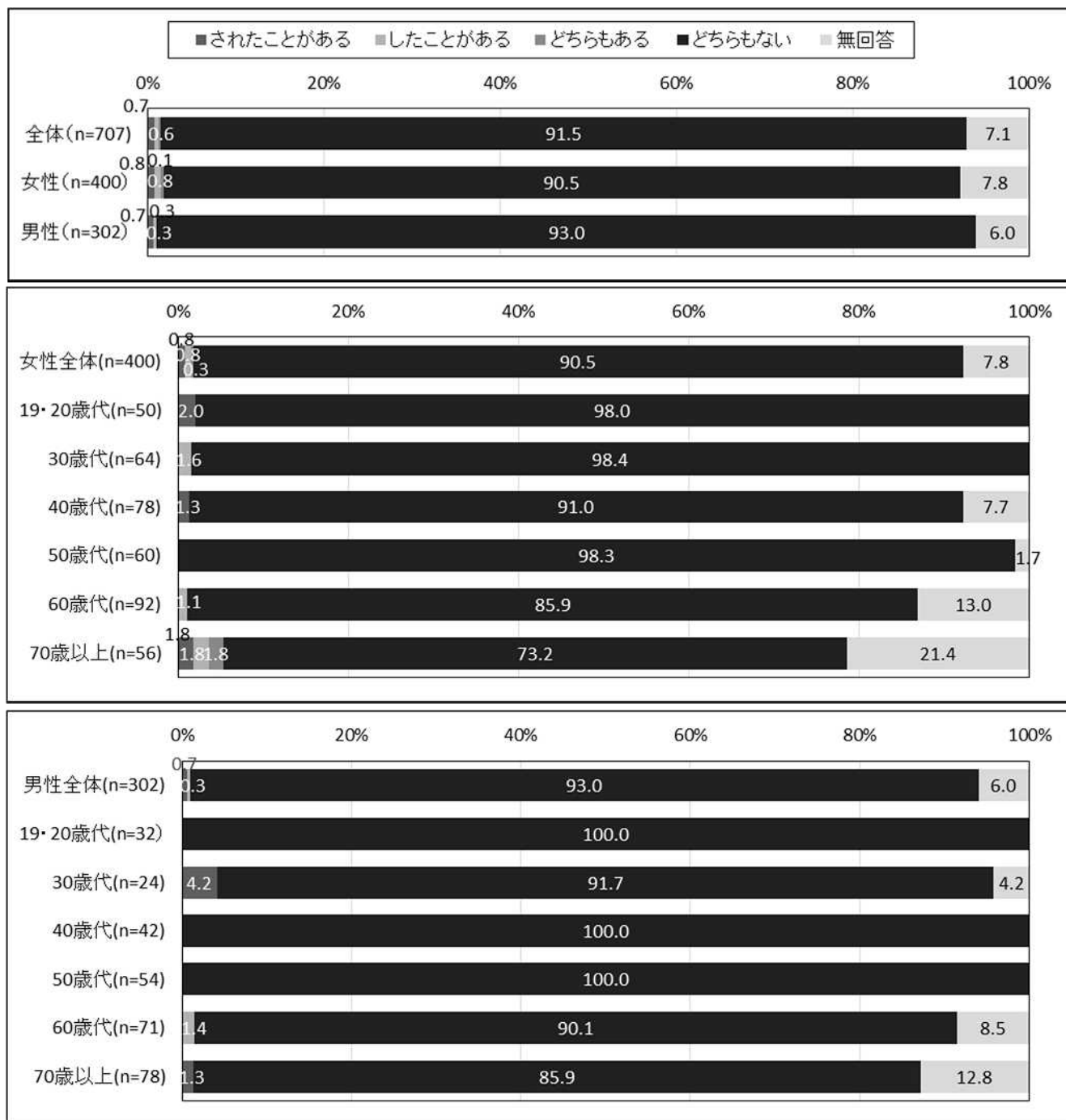


⑨社会活動や就職を許さない

「どちらもない」が91.5%で最も高く、次いで「されたことがある」0.7%、「したことがある」0.6%の順となっています。

性別による大きな差異は見られません。

性別・年代別で見ると、「されたことがある」と回答した割合は、男性の「30歳代」4.2%と高くなっています。

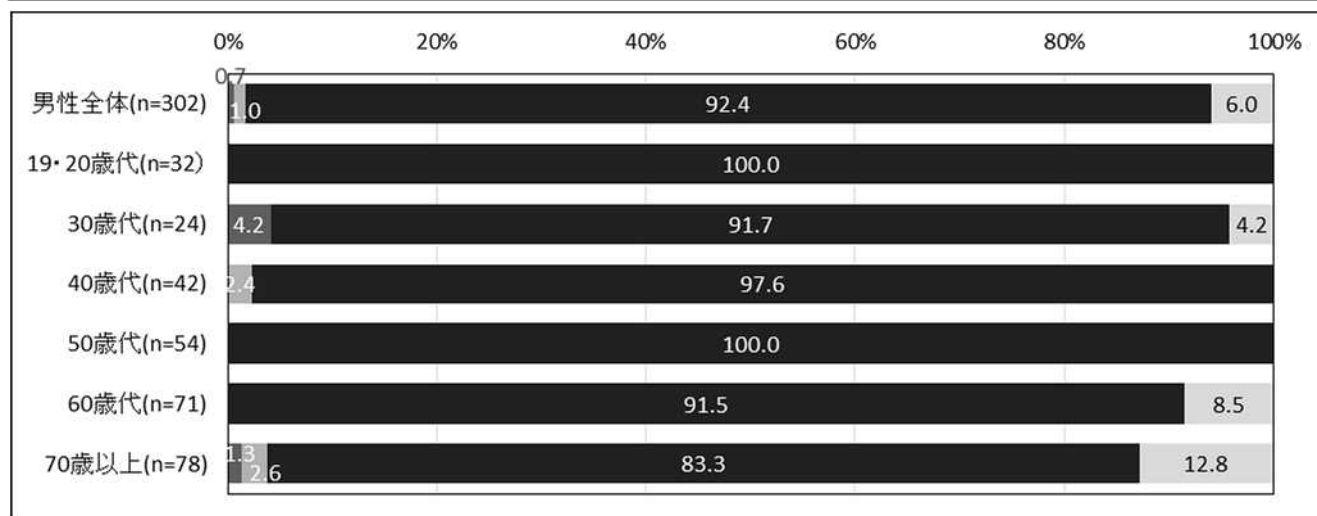
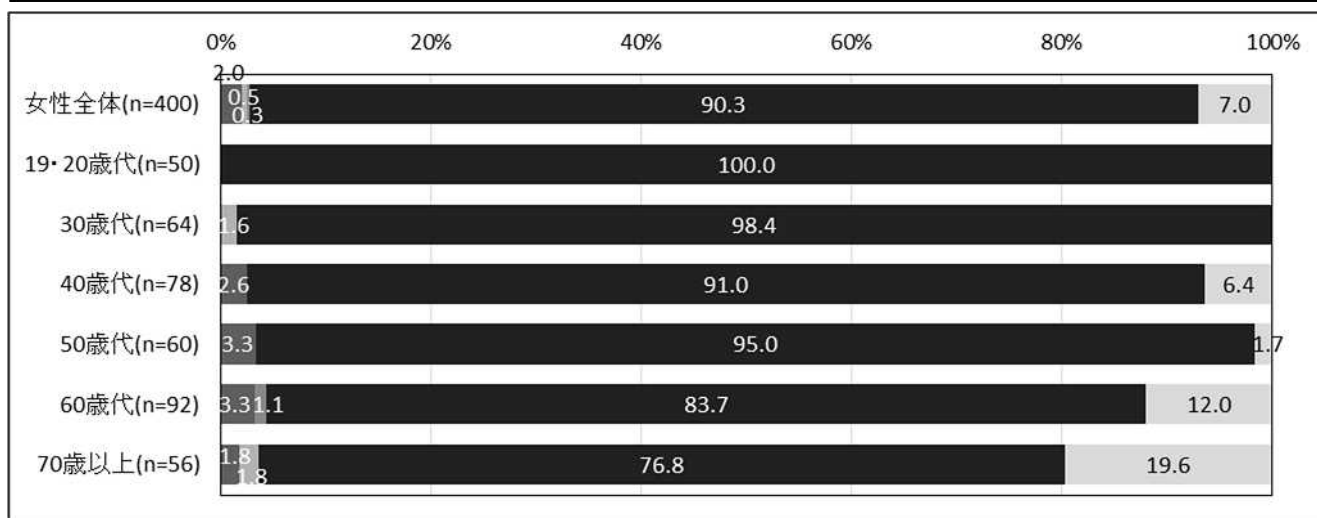
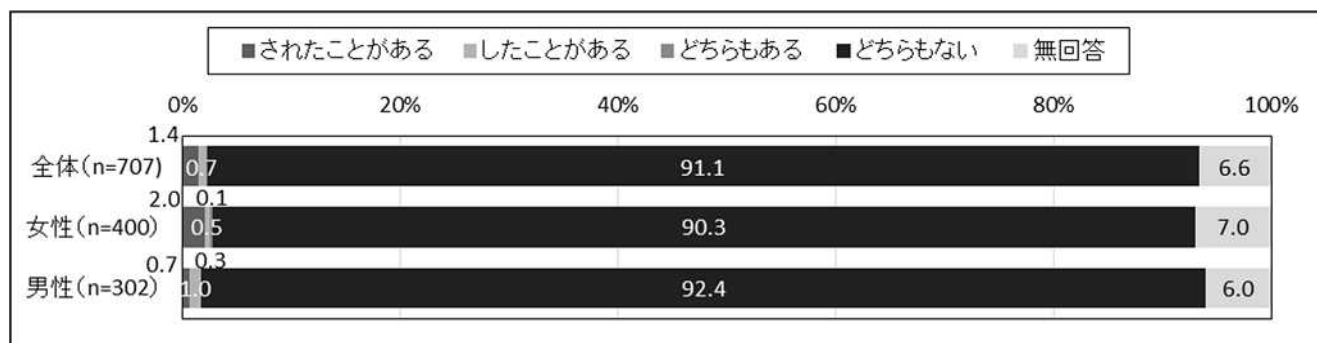


⑩生活費を渡さないなど、経済的に押さえつける

「どちらもない」が91.1%で最も高く、次いで「されたことがある」1.4%、「したことがある」0.7%の順となっています。

性別による大きな差異は見られません。

性別・年代別で見ると、「どちらもない」と回答した割合は、女性の「19・20 歳代」、男性の「19・20 歳代」「50 歳代」で100%になっています。「されたことがある」と回答した割合は、女性の「40 歳代」から「60 歳代」、男性の「30 歳代」で若干高くなっています。

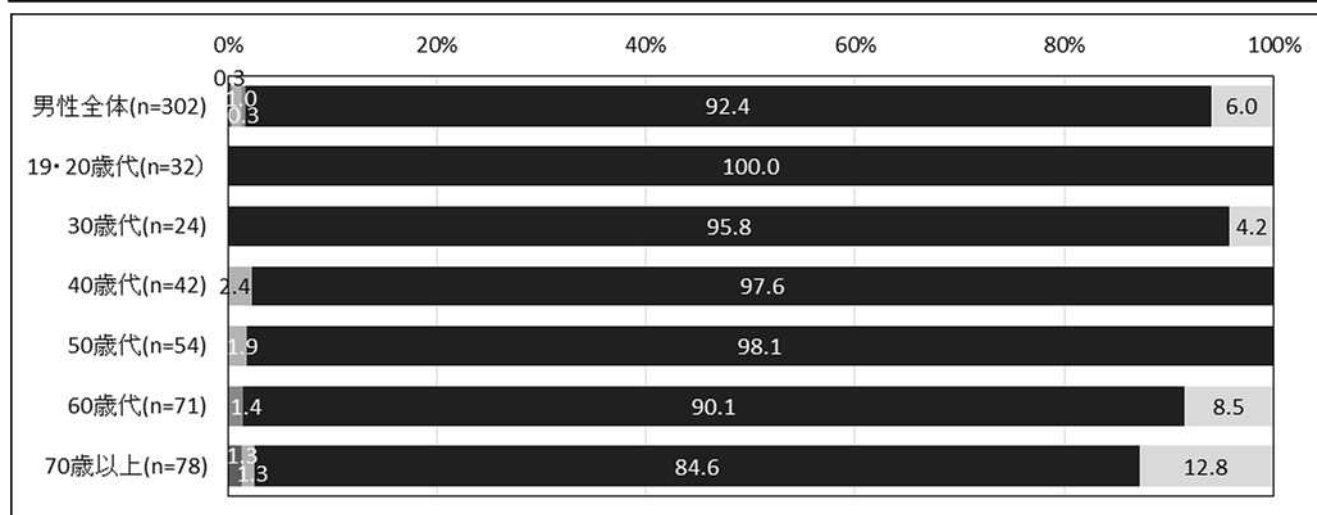
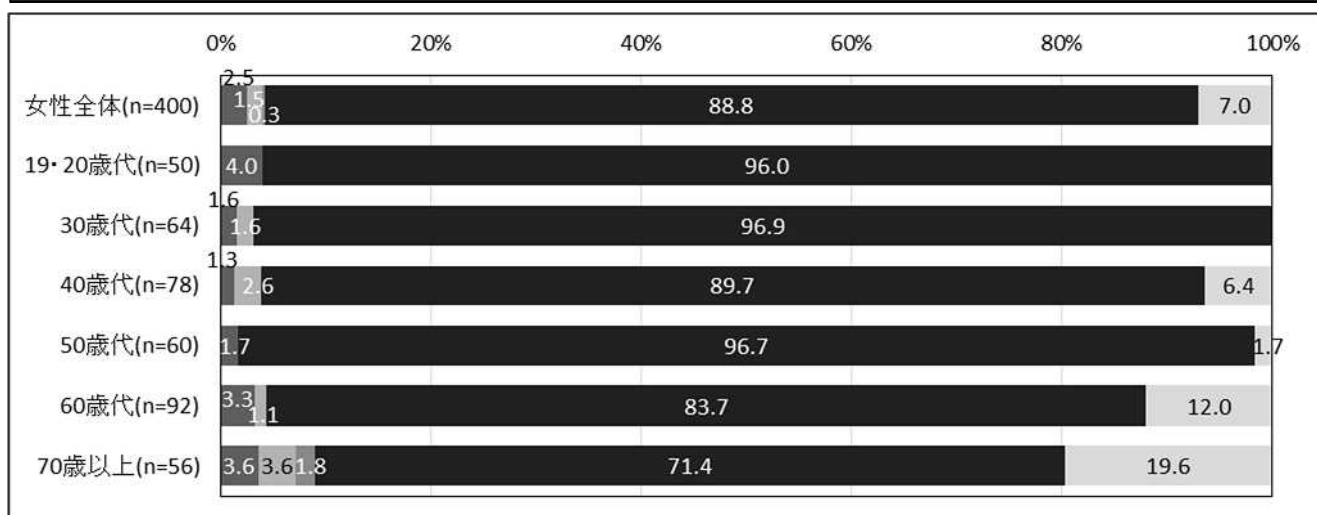
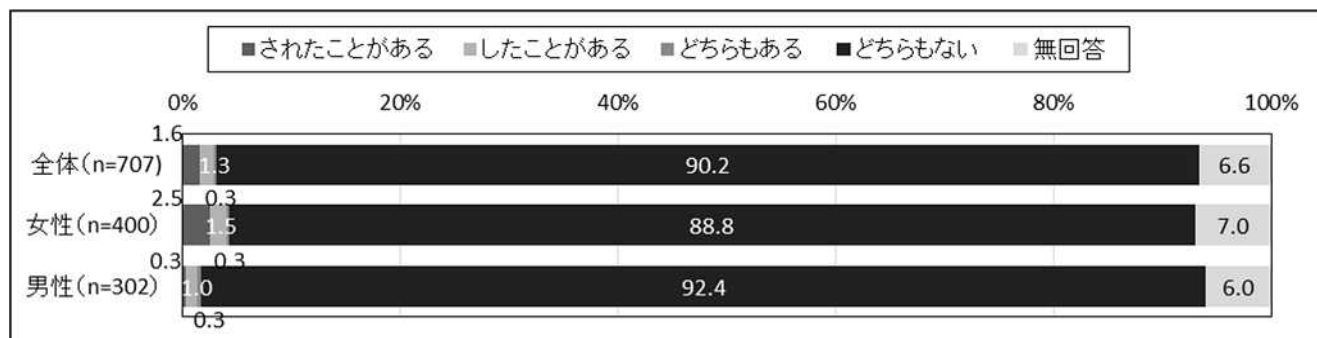


⑪病気などで身体が動かせない時なども、食事のしたくをさせる

「どちらもない」が90.2%で最も高く、次いで「されたことがある」1.6%、「したことがある」1.3%の順となっています。

性別による大きな差異は見られません。

性別・年代別で見ると、「されたことがある」と回答した割合は、女性の「19・20歳代」「60歳以上」で高くなっています。

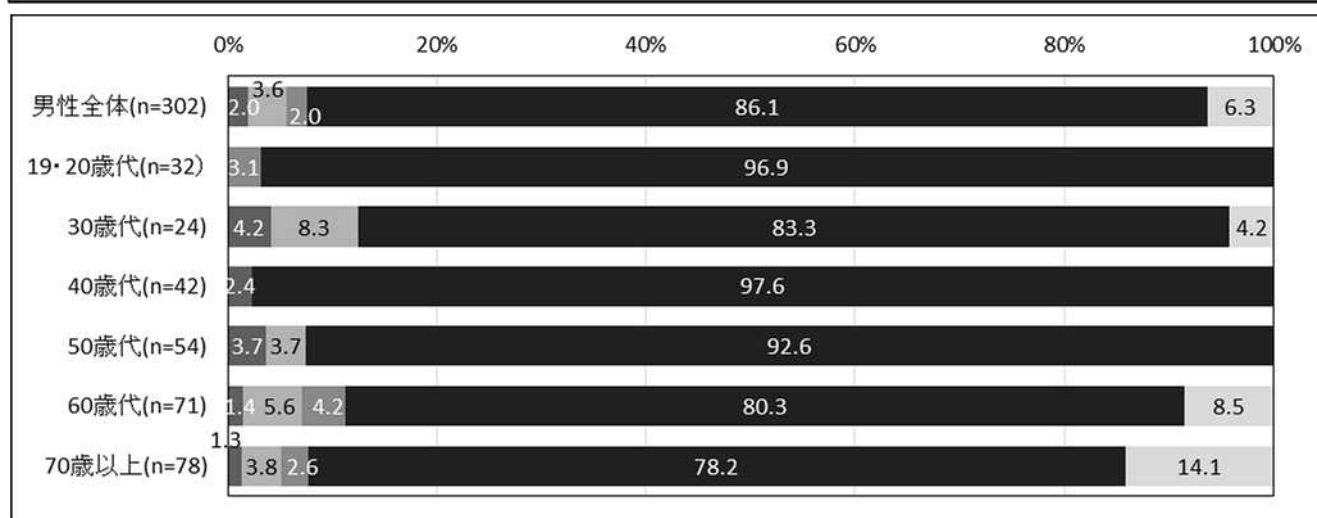
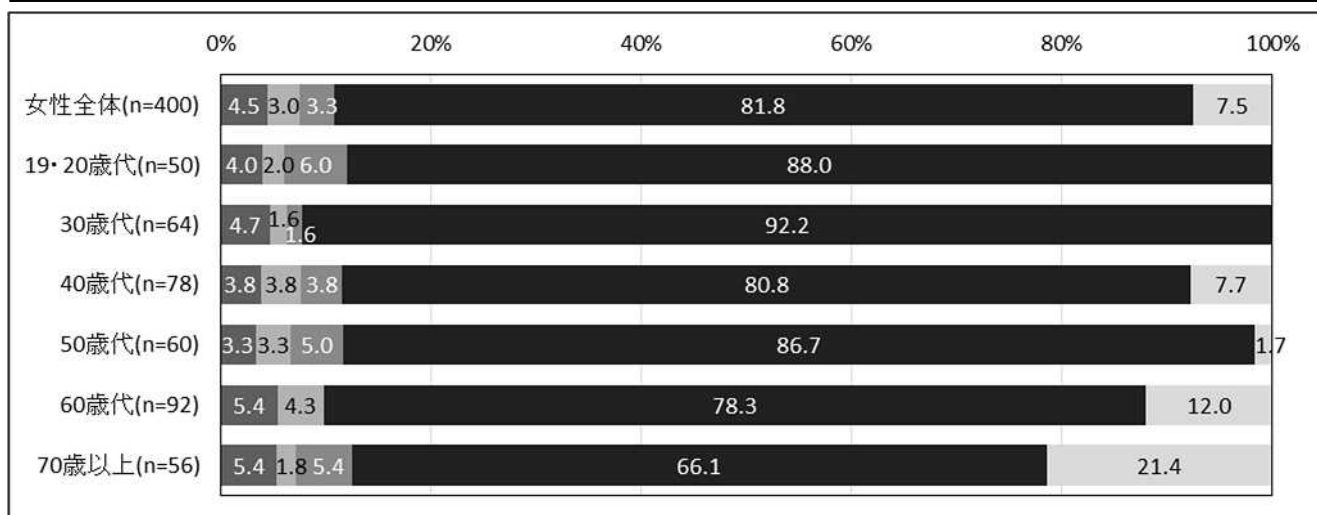
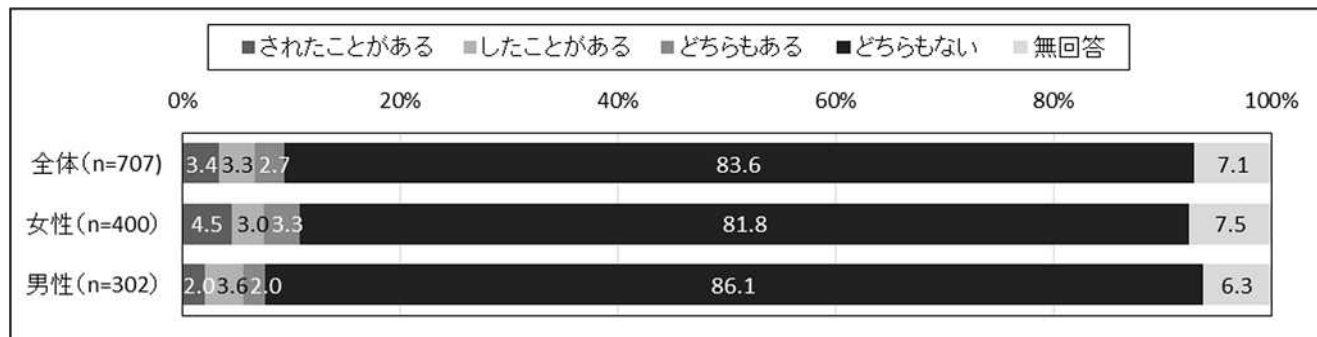


⑫何を言っても、無視し続ける

「どちらもない」が83.6%で最も高く、次いで「されたことがある」3.4%、「したことがある」3.3%の順となっています。

性別で見ると、女性で「されたことがある」「どちらもある」と回答した割合が若干高くなっています。

性別・年代別で見ると、「どちらもある」と回答した割合は、女性の「19・20歳代」6.0%、「70歳以上」5.4%で若干高くなっています。また、「したことがある」と回答した割合は、男性の「30歳代」8.3%と高くなっています。

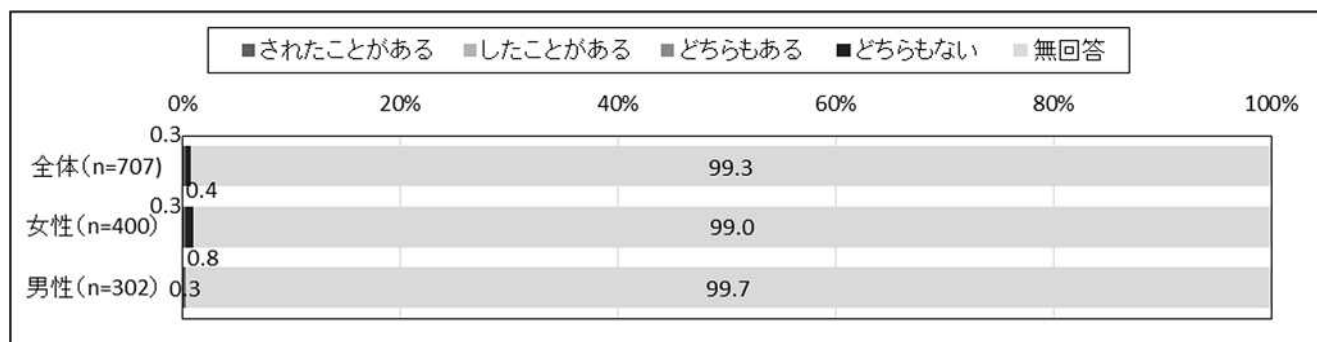


⑬その他

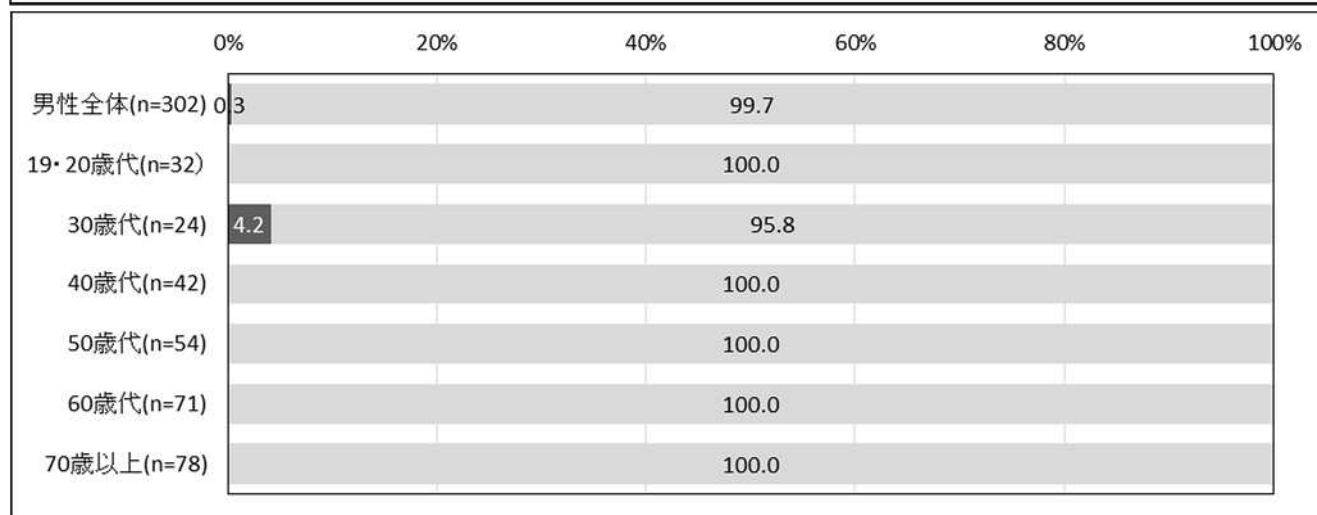
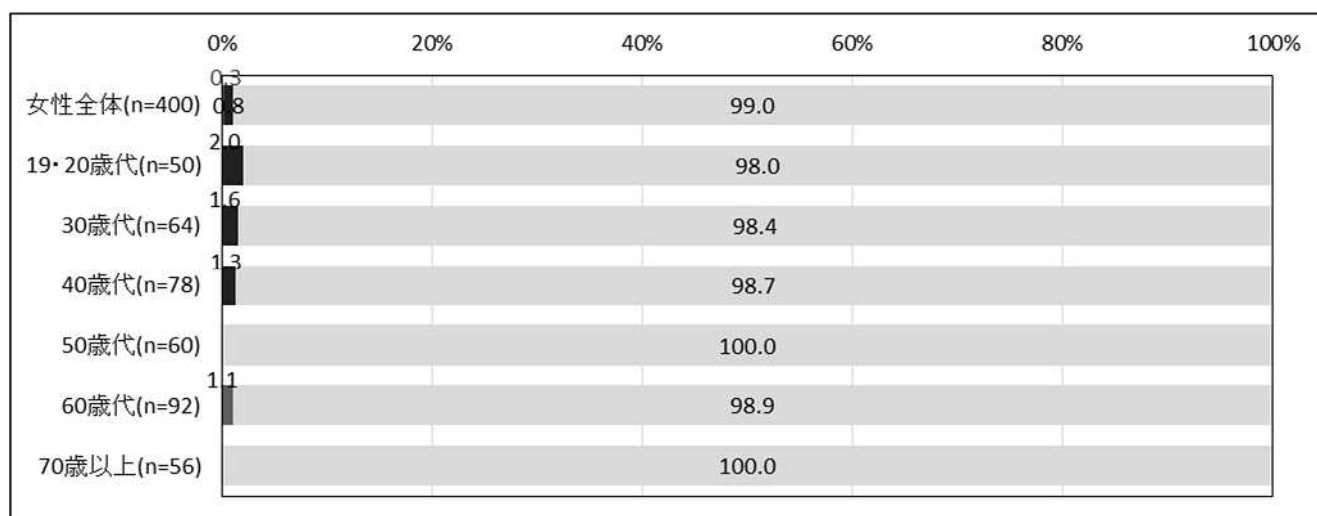
「されたことがある」が0.3%、「どちらもない」0.4%となっているものの、ほとんど回答がありません。

性別による大きな差異は見られません。

性別・年代別で見ても、ほとんど回答がないため、大きな差異は見られません。



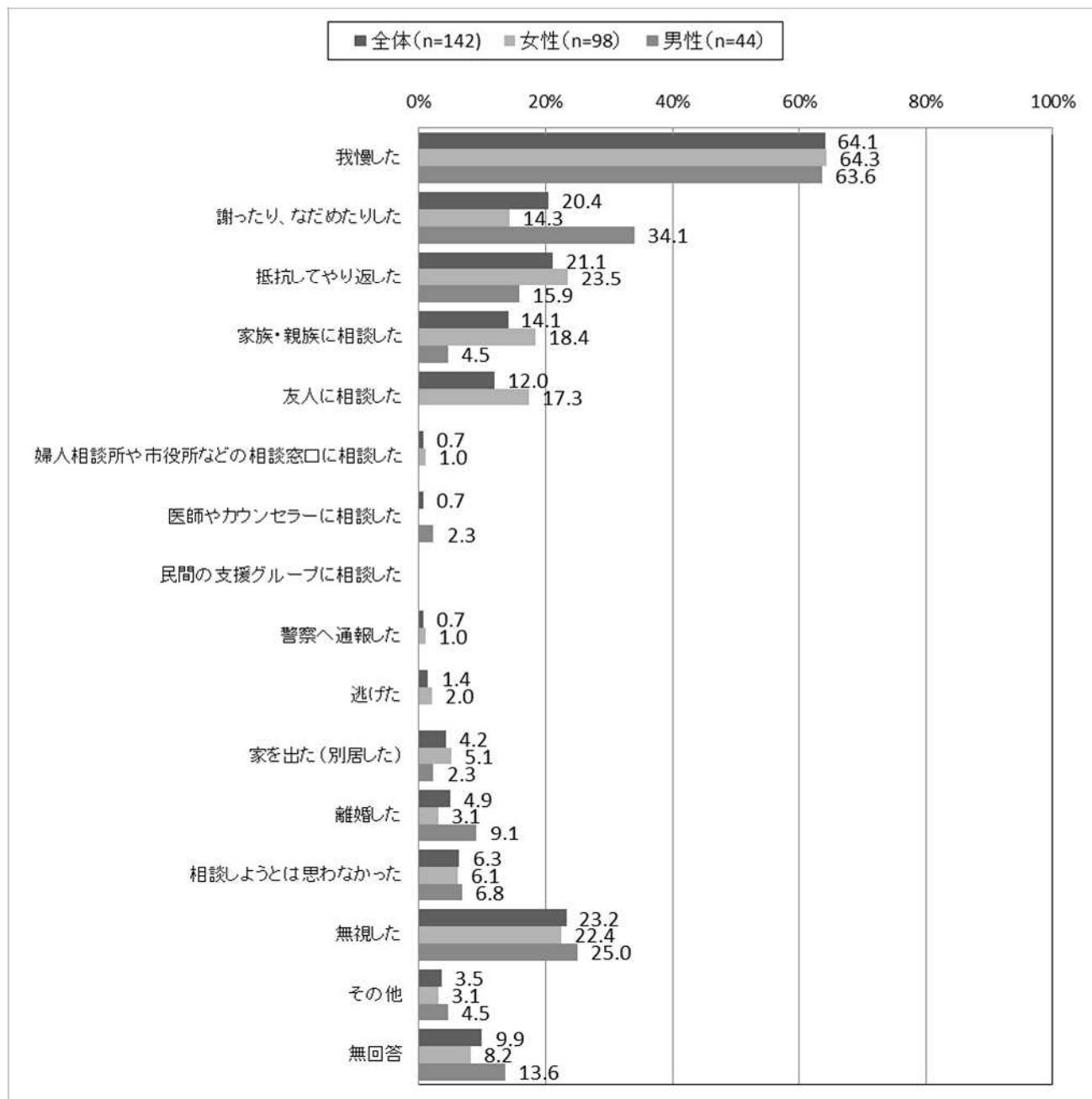
性別	年代	その他
男性	30 歳代	落ち着いた環境を崩される



(20)で「されたことがある」「どちらもある」を1つでも回答された方におうかがいします。
(21) あなたは、そのような行為を受けた時、どうしましたか。(複数回答)

「我慢した」が64.1%で最も高く、次いで「無視した」23.2%、「抵抗してやり返した」21.1%の順となっています。

性別で見ると、「友人に相談した」や「家族・親族に相談した」と回答した割合は、女性が男性より10ポイント以上高く、「謝ったり、なだめたりした」と回答した割合は、男性(34.1%)が女性(14.3%)より19.8ポイント高くなっています。



性別	年代	その他
女性	30 歳代	「それは私は嫌だ」とか「嫌な気分になった」と伝えた
女性	40 歳代	離婚の問題に何度もなった
女性	40 歳代	自分の考えを話した
男性	30 歳代	物にあたった
男性	60 歳代	他の話題へ転換、冷却期間をつくる

性別・年代別で見ると、「我慢した」と回答した割合は、性別・年代を問わず一番高くなっています。「抵抗してやり返した」や「家族・親族に相談した」と回答した割合は、女性の「40歳代」から「50歳代」で高く、「友人に相談した」と回答した割合は、女性の「40歳代」で高くなっています。また、「謝ったり、なだめたりした」と回答した割合は、男性の「19・20歳代」「40歳代」で高くなっています。

選択項目	女性全体 (n=98)	19・20歳代 (n=12)	30歳代 (n=18)	40歳代 (n=20)	50歳代 (n=7)	60歳代 (n=26)	70歳以上 (n=15)
我慢した	64.3	75.0	66.7	55.0	57.1	76.9	46.7
謝ったり、なだめたりした	14.3	25.0	27.8	5.0	0.0	11.5	13.3
抵抗してやり返した	23.5	25.0	27.8	40.0	57.1	3.8	13.3
家族・親族に相談した	18.4	16.7	16.7	30.0	28.6	15.4	6.7
友人に相談した	17.3	25.0	11.1	35.0	28.6	7.7	6.7
婦人相談所や市役所などの相談窓口 に相談した	1.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0
医師やカウンセラーに相談した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
民間の支援グループに相談した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
警察へ通報した	1.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
逃げた	2.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7
家を出た（別居した）	5.1	8.3	0.0	10.0	0.0	3.8	6.7
離婚した	3.1	0.0	0.0	5.0	14.3	0.0	6.7
相談しようとは思わなかった	6.1	8.3	11.1	0.0	0.0	3.8	13.3
無視した	22.4	33.3	11.1	15.0	42.9	30.8	13.3
その他	3.1	0.0	5.6	10.0	0.0	0.0	0.0
無回答	8.2	0.0	5.6	10.0	0.0	3.8	26.7

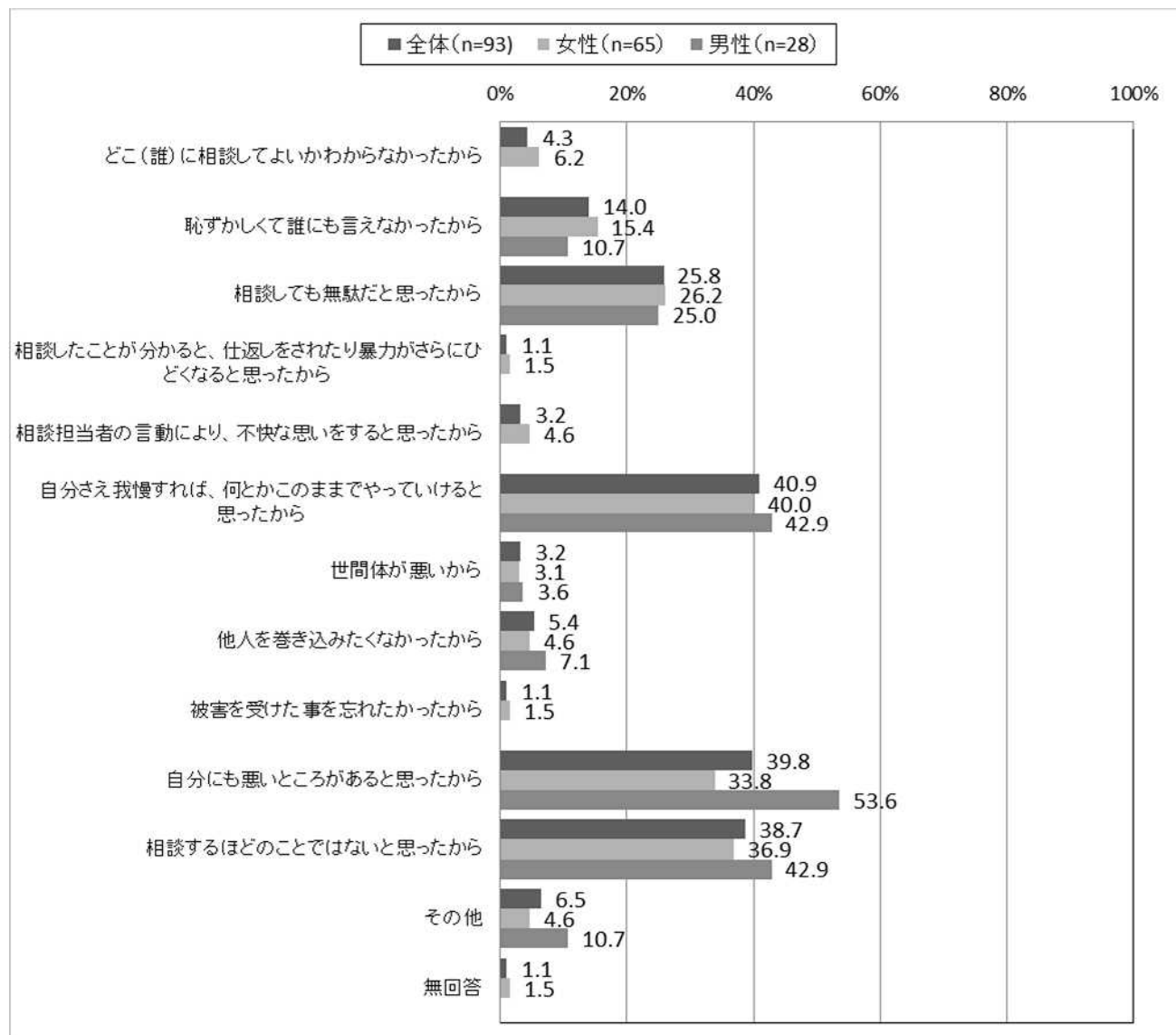
選択項目	男性全体 (n=44)	19・20歳代 (n=6)	30歳代 (n=7)	40歳代 (n=4)	50歳代 (n=6)	60歳代 (n=9)	70歳以上 (n=12)
我慢した	63.6	50.0	71.4	50.0	83.3	66.7	58.3
謝ったり、なだめたりした	34.1	50.0	42.9	50.0	0.0	33.3	33.3
抵抗してやり返した	15.9	33.3	14.3	25.0	0.0	22.2	8.3
家族・親族に相談した	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0
友人に相談した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
婦人相談所や市役所などの相談窓口 に相談した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医師やカウンセラーに相談した	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
民間の支援グループに相談した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
警察へ通報した	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
逃げた	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家を出た（別居した）	2.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
離婚した	9.1	0.0	28.6	0.0	16.7	11.1	0.0
相談しようとは思わなかった	6.8	0.0	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0
無視した	25.0	0.0	28.6	0.0	33.3	44.4	25.0
その他	4.5	0.0	14.3	0.0	0.0	11.1	0.0
無回答	13.6	0.0	14.3	25.0	16.7	0.0	25.0

(21)で「1.我慢した」「13.相談しようとは思わなかった」と回答された方におうかがいします。

(22)それはなぜですか。(複数回答)

「自分さえ我慢すれば、何とかこのままでやっていけると思ったから」が40.9%で最も高く、次いで「自分にも悪いところがあると思ったから」39.8%、「相談するほどのことではないと思ったから」38.7%の順となっています。

性別で見ると、「自分にも悪いところがあると思ったから」と回答した割合は、男性(53.6%)が女性(33.8%)より19.8ポイント高く、「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」と回答した割合は、女性(15.4%)が男性(10.7%)より4.7ポイント高くなっています。



性別	年代	その他
女性	30歳以上	やりすぎた
女性	50歳代	色々な事があり最初は我慢していたが、生活の事もあり親族に相談して離婚した。
女性	70歳以上	親に心配させたくないから
男性	19・20歳代	わたしにとっては小さな事なので
男性	30歳代	めんどくさかった
男性	60歳代	夫婦間のたわごと・ガス抜き!

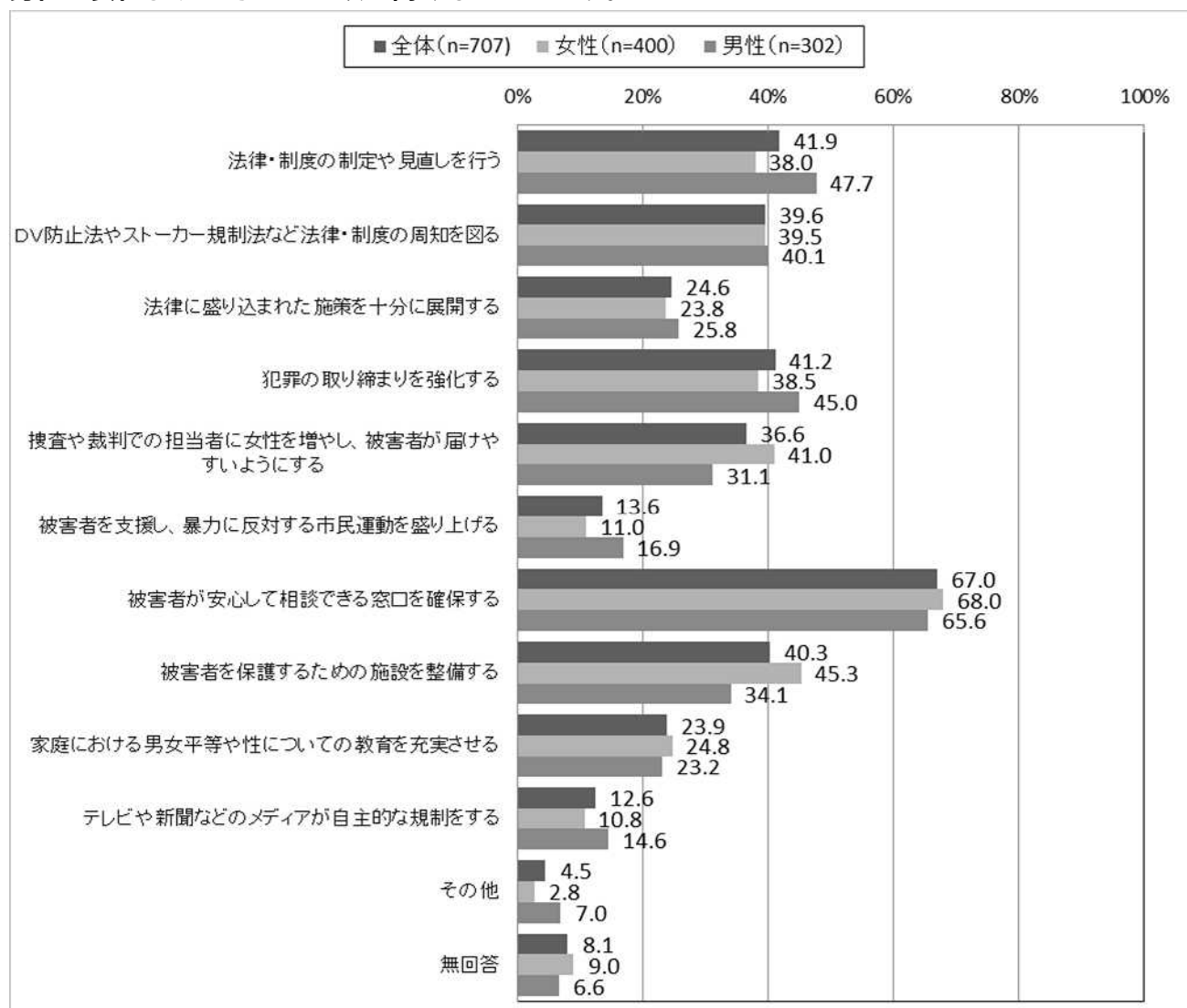
選択項目	女性全体 (n=65)	19・20歳代 (n=9)	30歳代 (n=12)	40歳代 (n=11)	50歳代 (n=4)	60歳代 (n=21)	70歳以上 (n=8)
どこ(誰)に相談してよいかわからなかったから	6.2	0.0	16.7	18.2	0.0	0.0	0.0
恥ずかしくて誰にも言えなかったから	15.4	22.2	8.3	0.0	0.0	33.3	0.0
相談しても無駄だと思ったから	26.2	55.6	8.3	0.0	25.0	38.1	25.0
相談したことが分かった、仕返しをされたり暴力がさらにひどくなると思ったから	1.5	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0
相談担当者の言動により、不快な思いをすと思ったから	4.6	11.1	0.0	0.0	0.0	4.8	12.5
自分さえ我慢すれば、何とかこのままでやっていけると思ったから	40.0	55.6	25.0	36.4	25.0	52.4	25.0
世間体が悪いから	3.1	0.0	8.3	0.0	0.0	4.8	0.0
他人を巻き込みたくなかったから	4.6	11.1	0.0	0.0	0.0	4.8	12.5
被害を受けた事を忘れたかったから	1.5	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自分にも悪いところがあると思ったから	33.8	44.4	41.7	45.5	50.0	28.6	0.0
相談するほどのことではないと思ったから	36.9	11.1	33.3	72.7	25.0	23.8	62.5
その他	4.6	0.0	8.3	0.0	25.0	0.0	12.5
無回答	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0

選択項目	男性全体 (n=28)	19・20歳代 (n=3)	30歳代 (n=5)	40歳代 (n=2)	50歳代 (n=5)	60歳代 (n=6)	70歳以上 (n=7)
どこ(誰)に相談してよいかわからなかったから	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
恥ずかしくて誰にも言えなかったから	10.7	0.0	20.0	0.0	0.0	33.3	0.0
相談しても無駄だと思ったから	25.0	0.0	20.0	0.0	0.0	50.0	42.9
相談したことが分かった、仕返しをされたり暴力がさらにひどくなると思ったから	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
相談担当者の言動により、不快な思いをすと思ったから	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自分さえ我慢すれば、何とかこのままでやっていけると思ったから	42.9	33.3	40.0	0.0	20.0	100.0	28.6
世間体が悪いから	3.6	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
他人を巻き込みたくなかったから	7.1	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
被害を受けた事を忘れたかったから	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自分にも悪いところがあると思ったから	53.6	66.7	60.0	50.0	40.0	66.7	42.9
相談するほどのことではないと思ったから	42.9	0.0	40.0	100.0	40.0	66.7	28.6
その他	10.7	33.3	20.0	0.0	0.0	16.7	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

**(23) あなたは、DVや性犯罪などをなくすためには、どうしたらよいと思いますか。
(複数回答)**

「被害者が安心して相談できる窓口を確保する」が67.0%で最も高く、次いで「法律・制度の制定や見直しを行う」41.9%、「犯罪の取り締まりを強化する」41.2%の順となっています。

性別で見ると、「被害者を保護するための施設を整備する」や「捜査や裁判での担当者に女性を増やし、被害者が届けやすいようにする」と回答した割合は、女性が男性より10ポイント程度高く、「法律・制度の制定や見直しを行う」や「犯罪の取り締まりを強化する」と回答した割合は、男性が女性より6ポイント以上高くなっています。



性別	年代	その他
女性	19・20 歳代	小学校高学年、中学生の教育の場などで正しい知識を身につけさせる
女性	19・20 歳代	教育の中で取り扱う
女性	19・20 歳代	学生の時までにもっとしっかり性について、法・制度などを学習させる
女性	19・20 歳代	子どもの時から親が愛情をもって育てる。
女性	30 歳代	受ける側が勇気を出す
女性	30 歳代	D Vを行っている人は、自分が加害者だとは気付いてないことが多いと思う。注意しているだけ、叱っているだけ、教育しているだけと思っている。D Vとは何か…と。ういうことか…など、今の子どもたちの方が学校などで教えてもらっていると思うが、20 歳以上の人は、なかなか知る機会がないと思う。
女性	30 歳代	子どもへの教育の充実を図る。※父母の暴力を目の当たりにしている子どもは対処方法が分からないと思うため
女性	40 歳代	子どもの時からの教育
女性	50 歳代	D Vや性犯罪については相手から逃げられない（経済的・身体的・精神的など）場合が多く、またD V等家庭内で起こる事もある為他者の目に止まりにくいので大変難しいと思います。また、報復を考えて声を挙げにくかったりする為、第三者が介入し、一定の期間離すような制度があれば良いのではと思います。
女性	50 歳代	家庭・地域・社会・学校等小さい頃から安心して生活できる環境を整え、正しい性教育をする
女性	60 歳代	犯罪の起こりやすい環境を変える→明るい灯火の街通り。ゴミなどの少ないキレイな通りや路地等。
女性	60 歳代	ストレスに強い人間に育てる
男性	19・20 歳代	警察がすぐ動いてくれば悲しい事件は減らせると思います
男性	19・20 歳代	女性の自衛意識を向上させる教育を行う
男性	19・20 歳代	D Vや性犯罪をしている人、自身にひどいこと、悪いことをしていると気づかせることが必要だと思う。
男性	30 歳代	D Vは言葉もあることを理解する
男性	30 歳代	周囲の人たちが気づいてあげて早めに専門機関に連絡・報告を行う。
男性	30 歳代	お金に困らない。時間に困らない。裕福な家庭・社会になる事。
男性	30 歳代	個人の意識を高め相手を思いやれば良い結果が出せると思う。
男性	40 歳代	厳罰を受けることを学校で教育。社会にP Rする
男性	40 歳代	実感がないので分からない
男性	40 歳代	金銭の援助
男性	40 歳代	性犯罪の厳罰化（死刑）
男性	50 歳代	相談窓口の正確な対応が必要
男性	60 歳代	警察官の意識改革、教育が必要！
男性	60 歳代	三従などの誤った考えをもたないよう教育の徹底。子どもに対し暴力などのT Vなどからの影響を与えないようにすること。
男性	60 歳代	人間として基本的な事を小さい時から教育する。法律などは後追い。
男性	70 歳以上	家庭に限らず幼少期からの教育が必要
男性	70 歳以上	わからない
男性	70 歳以上	犯罪者の刑が軽すぎる重くすべき
女性	19・20 歳代	小学校高学年、中学生の教育の場などで正しい知識を身につけさせる
女性	19・20 歳代	教育の中で取り扱う

性別・年代別で見ると、「被害者が安心して相談できる窓口を確保する」と回答した割合は、女性のすべての年代で最も高くなっています。また、「犯罪の取り締まりを強化する」と回答した割合は、男性の「30歳代」54.2%と高くなっています。

選択項目	女性全体 (n=400)	19・20歳代 (n=50)	30歳代 (n=64)	40歳代 (n=78)	50歳代 (n=60)	60歳代 (n=92)	70歳以上 (n=56)
法律・制度の制定や見直しを行う	38.0	48.0	40.6	44.9	40.0	27.2	32.1
DV防止法やストーカー規制法など法律・制度の周知を図る	39.5	36.0	39.1	38.5	43.3	39.1	41.1
法律に盛り込まれた施策を十分に展開する	23.8	22.0	23.4	26.9	30.0	17.4	25.0
犯罪の取り締まりを強化する	38.5	56.0	45.3	34.6	31.7	33.7	35.7
捜査や裁判での担当者に女性を増やし、被害者が届けやすいようにする	41.0	56.0	34.4	46.2	30.0	42.4	37.5
被害者を支援し、暴力に反対する市民運動を盛り上げる	11.0	6.0	6.3	9.0	18.3	9.8	17.9
被害者が安心して相談できる窓口を確保する	68.0	72.0	59.4	69.2	75.0	69.6	62.5
被害者を保護するための施設を整備する	45.3	56.0	51.6	53.8	51.7	38.0	21.4
家庭における男女平等や性についての教育を充実させる	24.8	24.0	25.0	26.9	26.7	25.0	19.6
テレビや新聞などのメディアが自主的な規制をする	10.8	6.0	9.4	6.4	13.3	17.4	8.9
その他	2.8	8.0	4.7	1.3	1.7	2.2	0.0
無回答	9.0	0.0	3.1	5.1	15.0	10.9	19.6

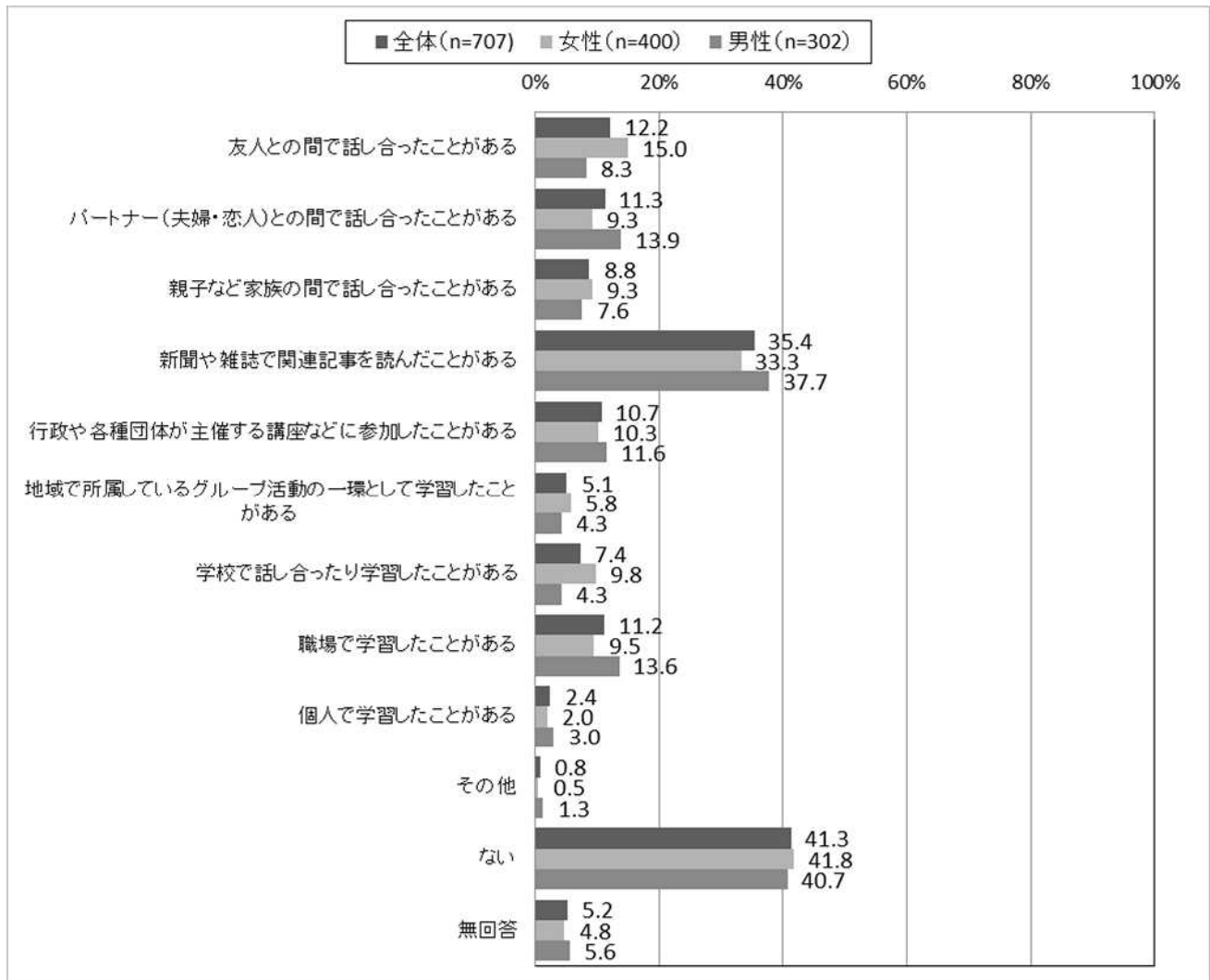
選択項目	男性全体 (n=302)	19・20歳代 (n=32)	30歳代 (n=24)	40歳代 (n=42)	50歳代 (n=54)	60歳代 (n=71)	70歳以上 (n=78)
法律・制度の制定や見直しを行う	47.7	53.1	50.0	57.1	53.7	40.8	42.3
DV防止法やストーカー規制法など法律・制度の周知を図る	40.1	31.3	41.7	40.5	46.3	42.3	37.2
法律に盛り込まれた施策を十分に展開する	25.8	21.9	20.8	26.2	31.5	31.0	20.5
犯罪の取り締まりを強化する	45.0	43.8	54.2	47.6	44.4	47.9	39.7
捜査や裁判での担当者に女性を増やし、被害者が届けやすいようにする	31.1	34.4	33.3	26.2	51.9	23.9	24.4
被害者を支援し、暴力に反対する市民運動を盛り上げる	7.2	3.7	6.8	8.3	13.0	8.0	8.8
被害者が安心して相談できる窓口を確保する	28.0	23.2	17.0	20.8	34.2	29.4	38.2
被害者を保護するための施設を整備する	14.6	8.5	9.1	10.8	21.1	16.6	17.6
家庭における男女平等や性についての教育を充実させる	9.9	6.1	9.1	8.3	13.2	8.6	13.2
テレビや新聞などのメディアが自主的な規制をする	6.2	2.4	4.5	3.3	9.6	9.2	5.9
その他	3.0	4.9	4.5	3.3	1.8	1.8	2.9
無回答	2.8	0.0	1.1	1.7	1.8	1.8	8.1

6. 男女共同参画社会について

(24) あなたは、これまでに男女共同参画について話し合ったり学習したりしたことがありますか。(複数回答)

「ない」が41.3%で最も高く、次いで「新聞や雑誌で関連記事を読んだことがある」35.4%、「友人との間で話し合ったことがある」12.2%の順となっています。

性別で見ると、「友人との間で話し合ったことがある」や「学校で話し合ったり学習したことがある」と回答した割合は、女性が男性より6ポイント程度高く、「パートナー（夫婦・恋人）との間で話し合ったことがある」や「新聞や雑誌で関連記事を読んだことがある」、「職場で学習したことがある」と回答した割合は、男性が女性より4ポイント以上高くなっています。



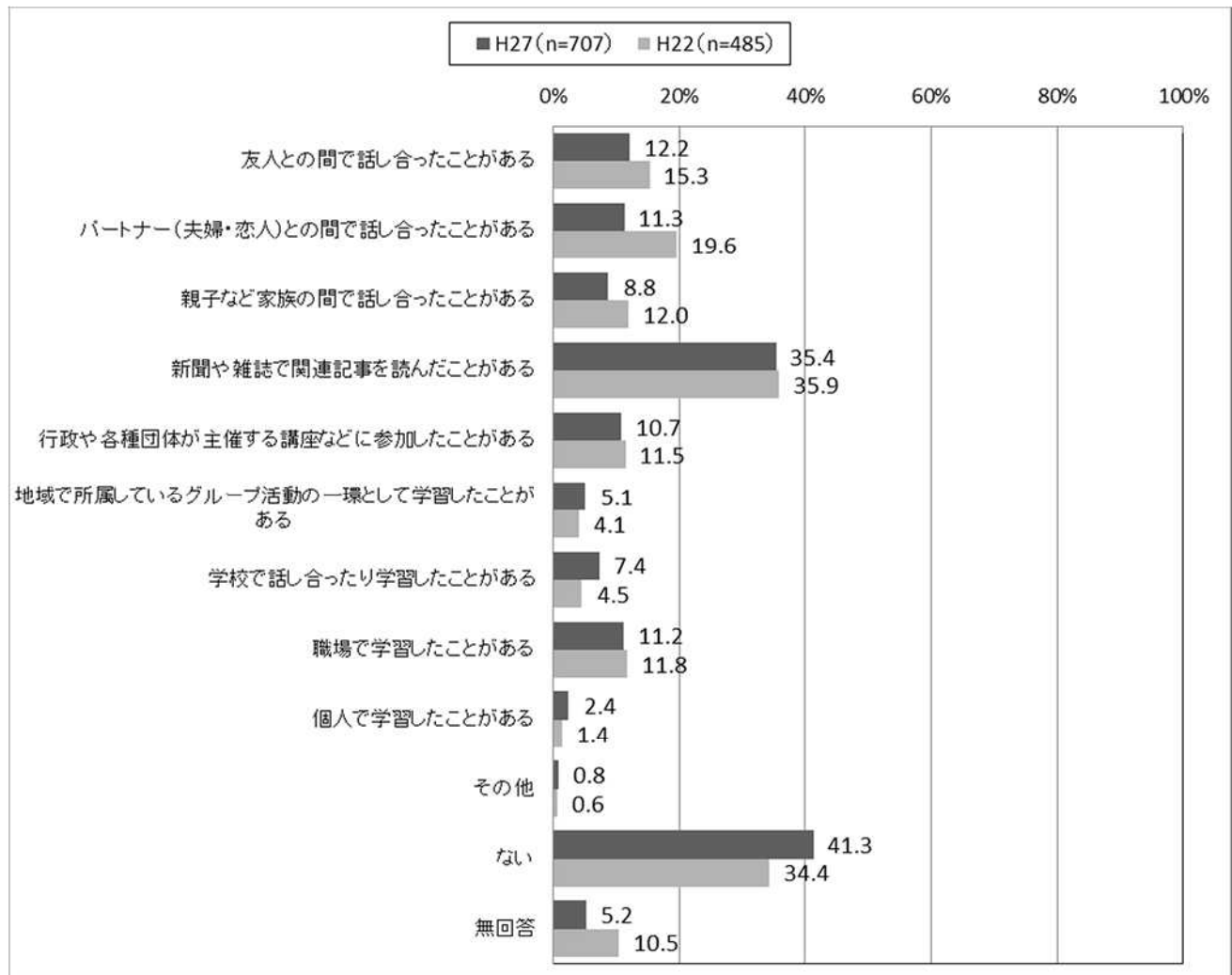
性別	年代	その他
女性	70歳以上	婦人会活動
男性	40歳代	委員会のメンバー
男性	60歳代	会社が子育て応援宣言事業所である

性別・年代別で見ると、「学校で話し合ったり学習したことがある」と回答した割合は、女性の「19・20歳代」（60.0%）が非常に高くなっています。また、「新聞や雑誌で関連記事を読んだことがある」と回答した割合は、女性・男性ともに「60歳以上」で最も高くなっています。

選択項目	女性全体 (n=400)	19・20歳代 (n=50)	30歳代 (n=64)	40歳代 (n=78)	50歳代 (n=60)	60歳代 (n=92)	70歳以上 (n=56)
友人との間で話し合ったことがある	15.0	10.0	7.8	10.3	16.7	21.7	21.4
パートナー（夫婦・恋人）との間で話し合ったことがある	9.3	10.0	7.8	6.4	10.0	13.0	7.1
親子など家族の場で話し合ったことがある	9.3	8.0	3.1	7.7	13.3	12.0	10.7
新聞や雑誌で関連記事を読んだことがある	33.3	16.0	25.0	32.1	40.0	38.0	44.6
行政や各種団体が主催する講座などに参加したことがある	10.3	4.0	3.1	9.0	13.3	14.1	16.1
地域で所属しているグループ活動の一環として学習したことがある	5.8	2.0	1.6	2.6	3.3	9.8	14.3
学校で話し合ったり学習したことがある	9.8	60.0	6.3	1.3	5.0	0.0	1.8
職場で学習したことがある	9.5	4.0	15.6	12.8	10.0	9.8	1.8
個人で学習したことがある	2.0	4.0	0.0	2.6	5.0	1.1	0.0
その他	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6
ない	41.8	26.0	57.8	50.0	45.0	33.7	35.7
無回答	4.8	0.0	1.6	2.6	5.0	8.7	8.9

選択項目	男性全体 (n=302)	19・20歳代 (n=32)	30歳代 (n=24)	40歳代 (n=42)	50歳代 (n=54)	60歳代 (n=71)	70歳以上 (n=78)
友人との間で話し合ったことがある	8.3	6.3	8.3	2.4	5.6	9.9	12.8
パートナー（夫婦・恋人）との間で話し合ったことがある	13.9	6.3	12.5	9.5	9.3	22.5	15.4
親子など家族の場で話し合ったことがある	7.6	3.1	4.2	2.4	1.9	8.5	16.7
新聞や雑誌で関連記事を読んだことがある	37.7	9.4	29.2	19.0	35.2	53.5	48.7
行政や各種団体が主催する講座などに参加したことがある	11.6	0.0	8.3	7.1	14.8	12.7	16.7
地域で所属しているグループ活動の一環として学習したことがある	4.3	0.0	4.2	0.0	1.9	0.0	12.8
学校で話し合ったり学習したことがある	4.3	25.0	0.0	2.4	0.0	1.4	3.8
職場で学習したことがある	13.6	9.4	16.7	16.7	18.5	14.1	9.0
個人で学習したことがある	3.0	0.0	4.2	0.0	1.9	4.2	5.1
その他	1.3	0.0	0.0	2.4	0.0	1.4	2.6
ない	40.7	56.3	54.2	52.4	46.3	32.4	28.2
無回答	5.6	3.1	4.2	7.1	5.6	4.2	7.7

H22 と H27 の調査を比較すると、「パートナー（夫婦・恋人）との間で話し合ったことがある」「親子など家族の間に話し合ったことがある」「友人との間で話し合ったことがある」と回答した割合は、H27 が H22 より 3 ポイント以上低くなっています。また、「学校で話し合ったり学習したことがある」と回答した割合は、H27 が H22 より 2.9 ポイント高くなっていますが、「ない」と回答した割合も 6.9 ポイント高くなっています。



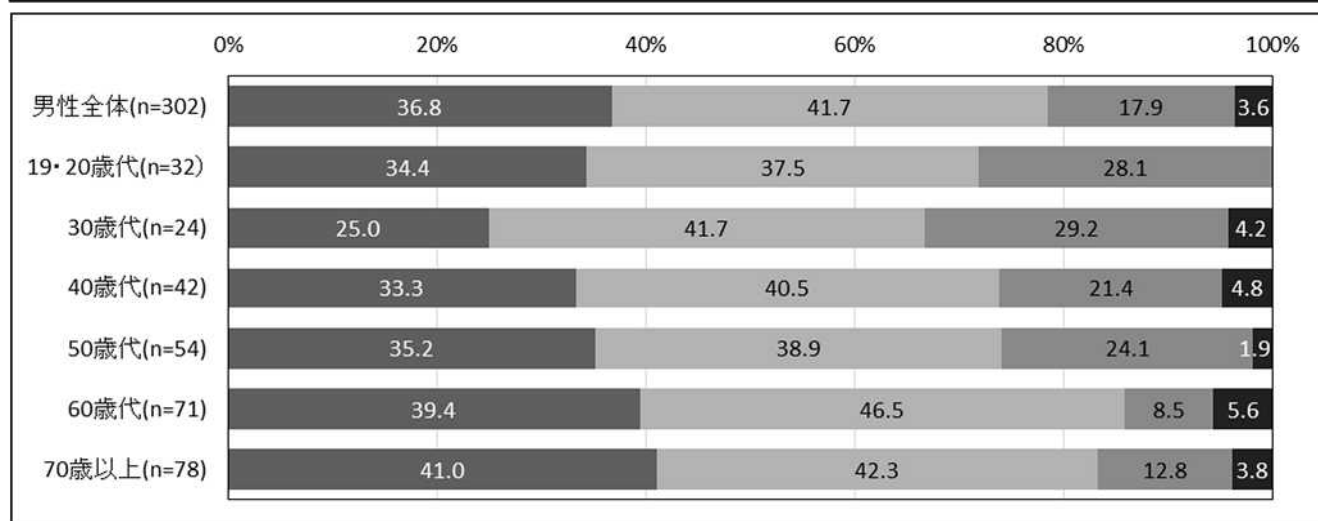
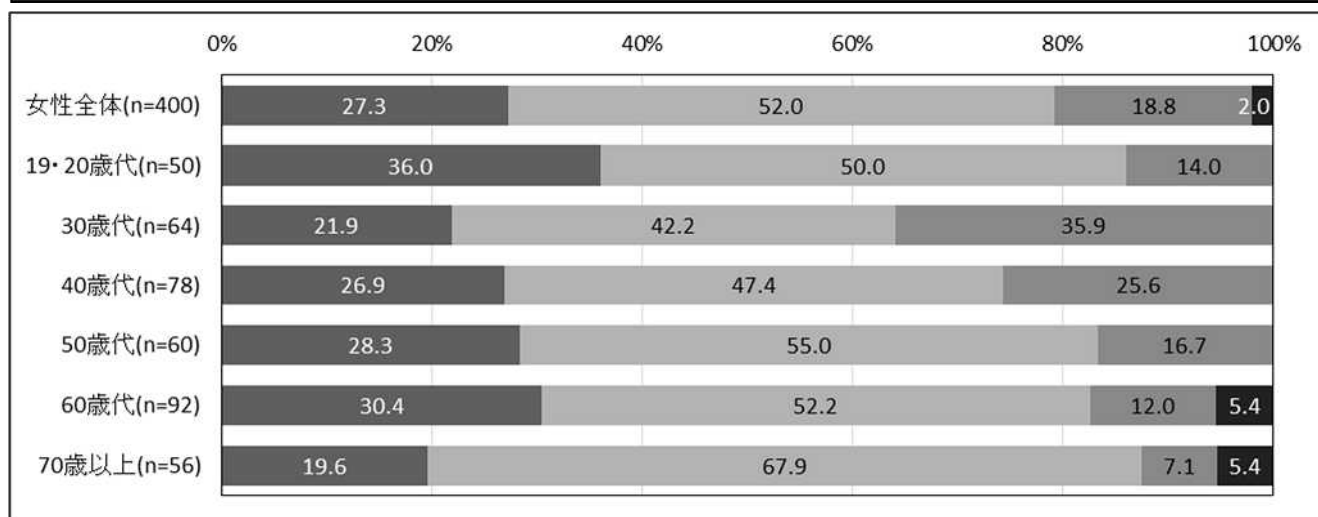
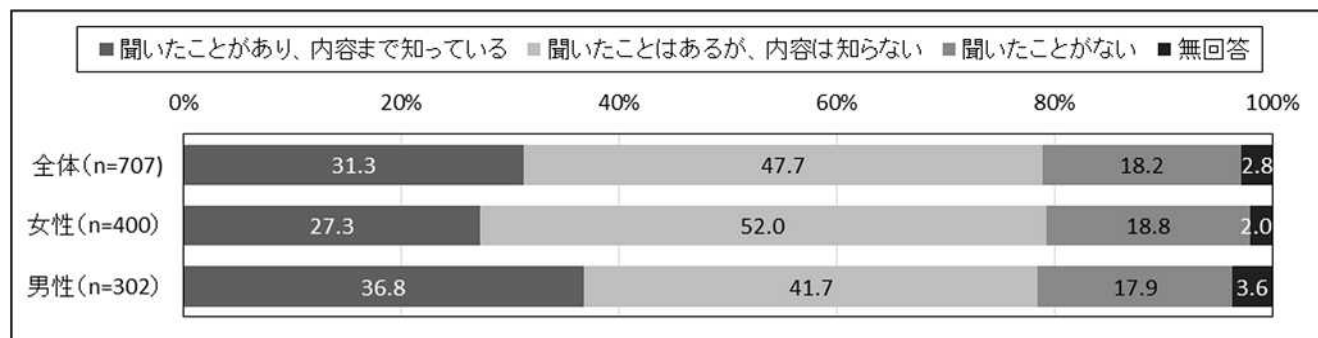
(25) これらの言葉や内容を知っていますか。

①男女共同参画

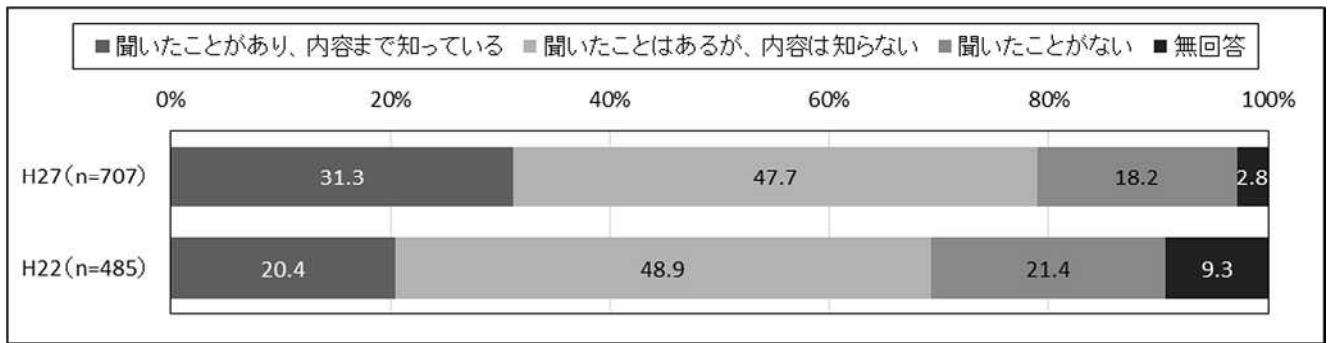
「聞いたことはあるが、内容は知らない」が47.7%で最も高く、次いで「聞いたことがあり、内容まで知っている」31.3%、「聞いたことがない」18.2%の順となっています。

性別で見ると、「聞いたことがあるが、内容は知らない」と回答した割合は、女性（52.0%）が男性（41.7%）より10.3ポイント高く、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、男性（36.8%）女性（27.3%）より9.5ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「聞いたことがない」と回答した割合は、女性の「30歳代」から「40歳代」、男性の「19・20歳代」から「30歳代」で30%程度と高くなっています。



H22 と H27 の調査を比較すると、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、H27（31.3%）が H22（20.4%）より 10.9 ポイント高くなっています。

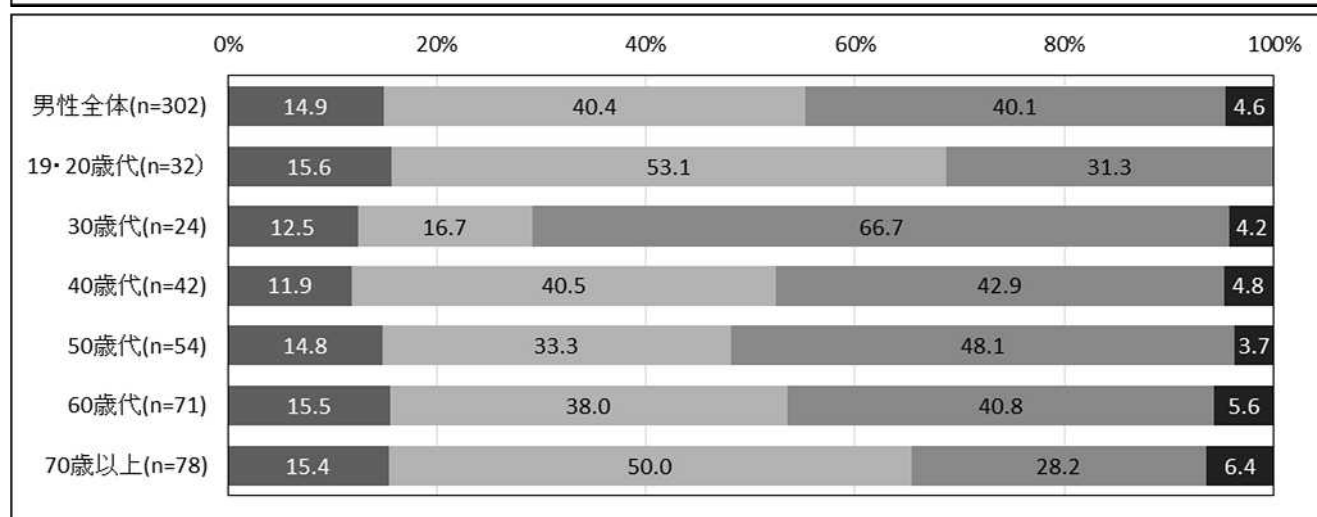
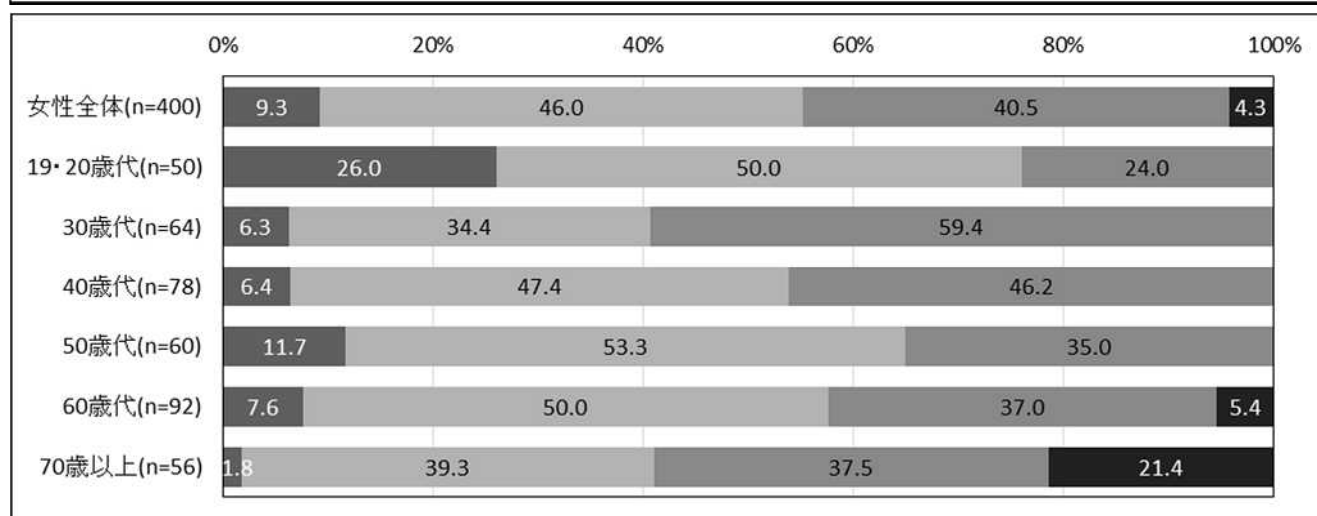
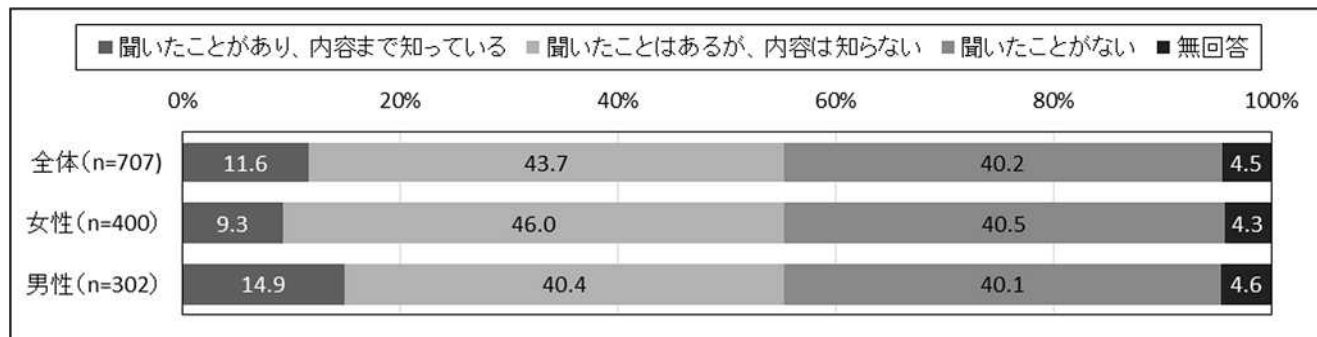


②男女共同参画社会基本法

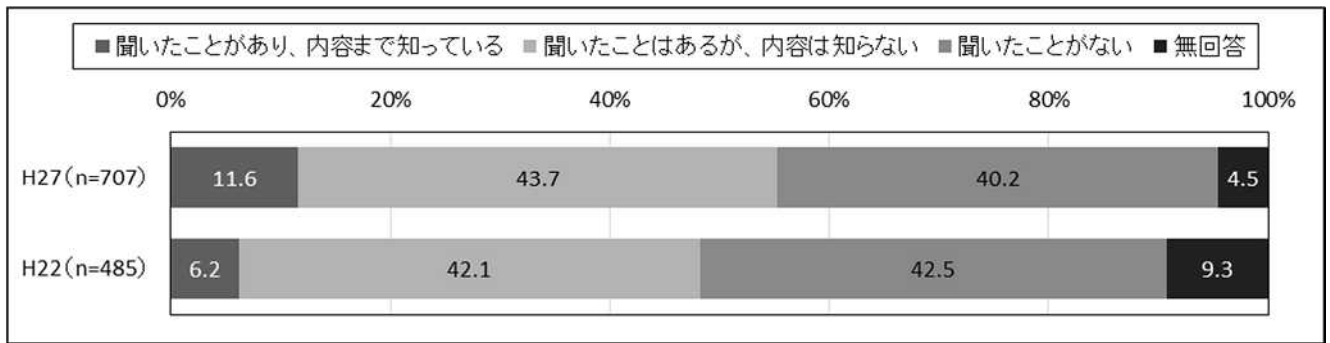
「聞いたことはあるが、内容は知らない」が43.7%で最も高く、次いで「聞いたことがない」40.2%、「聞いたことがあり、内容まで知っている」11.6%の順となっています。

性別で見ると、「聞いたことがあり、内容は知らない」と回答した割合は、女性（46.0%）が男性（40.4%）より5.6ポイント高く、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、男性（14.9%）が女性（9.3%）より5.6ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「聞いたことがない」と回答した割合は、女性、男性ともに「30歳代」で最も高くなっています。



H22 と H27 の調査を比較すると、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、H27（11.6％）が H22（6.2％）より 5.4 ポイント高くなっています。

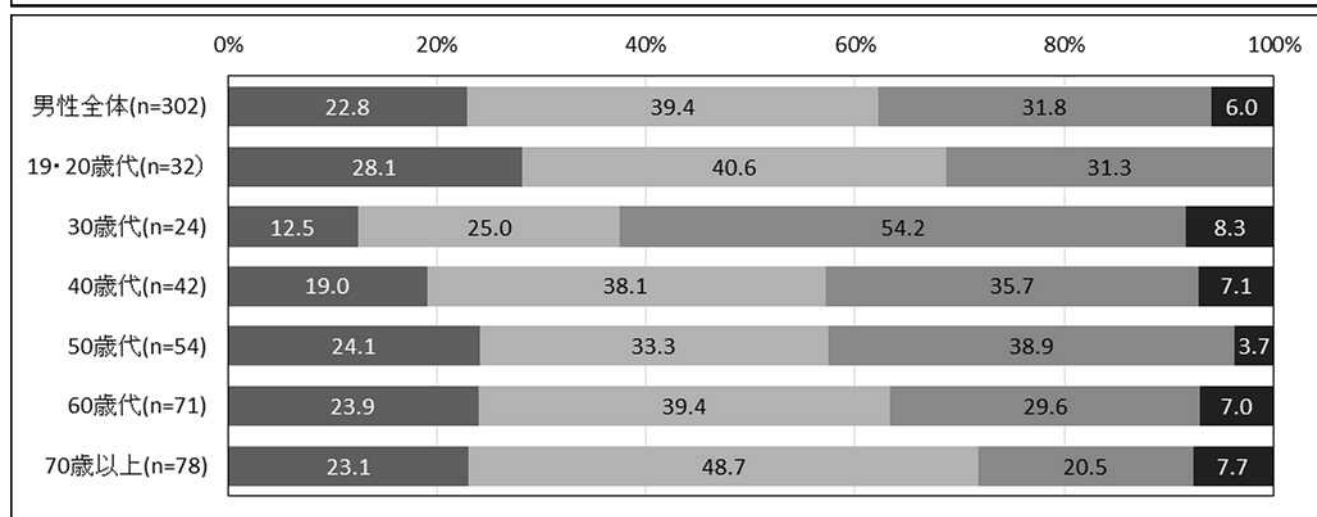
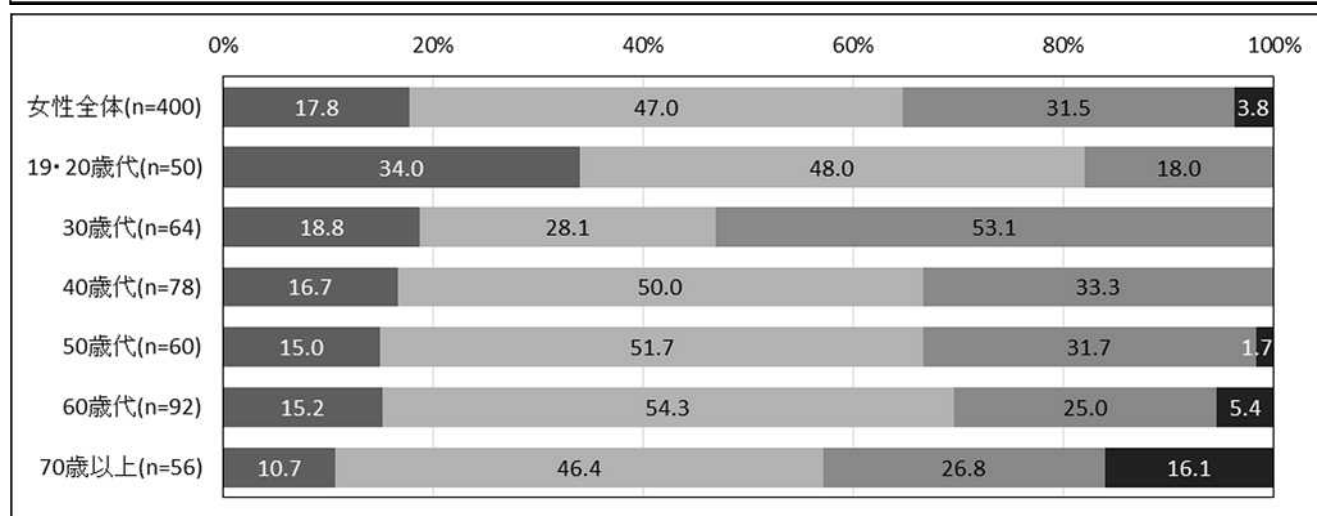
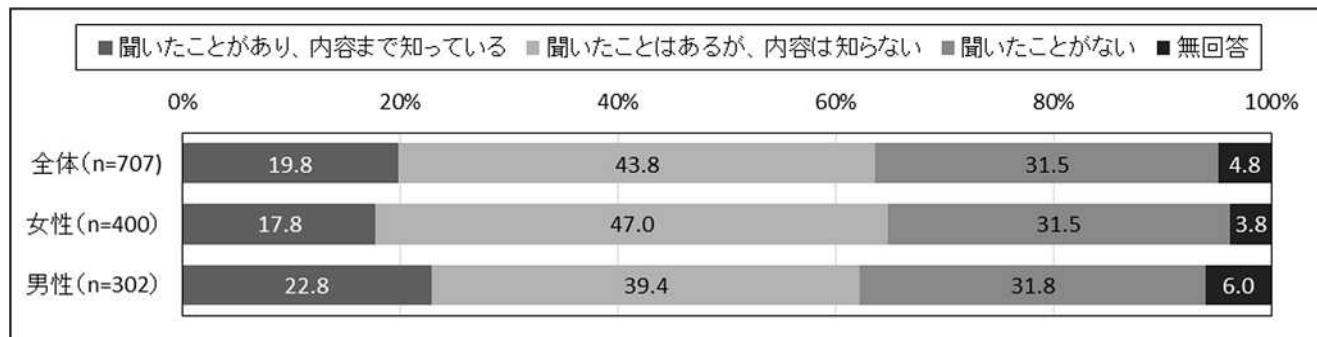


③男女共同参画社会

「聞いたことはあるが、内容は知らない」が43.8%で最も高く、次いで「聞いたことがない」31.5%、「聞いたことがあり、内容まで知っている」19.8%の順となっています。

性別で見ると、「聞いたことがあり、内容は知らない」と回答した割合は、女性（47.0%）が男性（39.4%）より7.6ポイント高く、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、男性（22.8%）が女性（17.8%）より5.0ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「聞いたことがない」と回答した割合は、女性・男性ともに「30歳代」が50%以上と最も高くなっています。

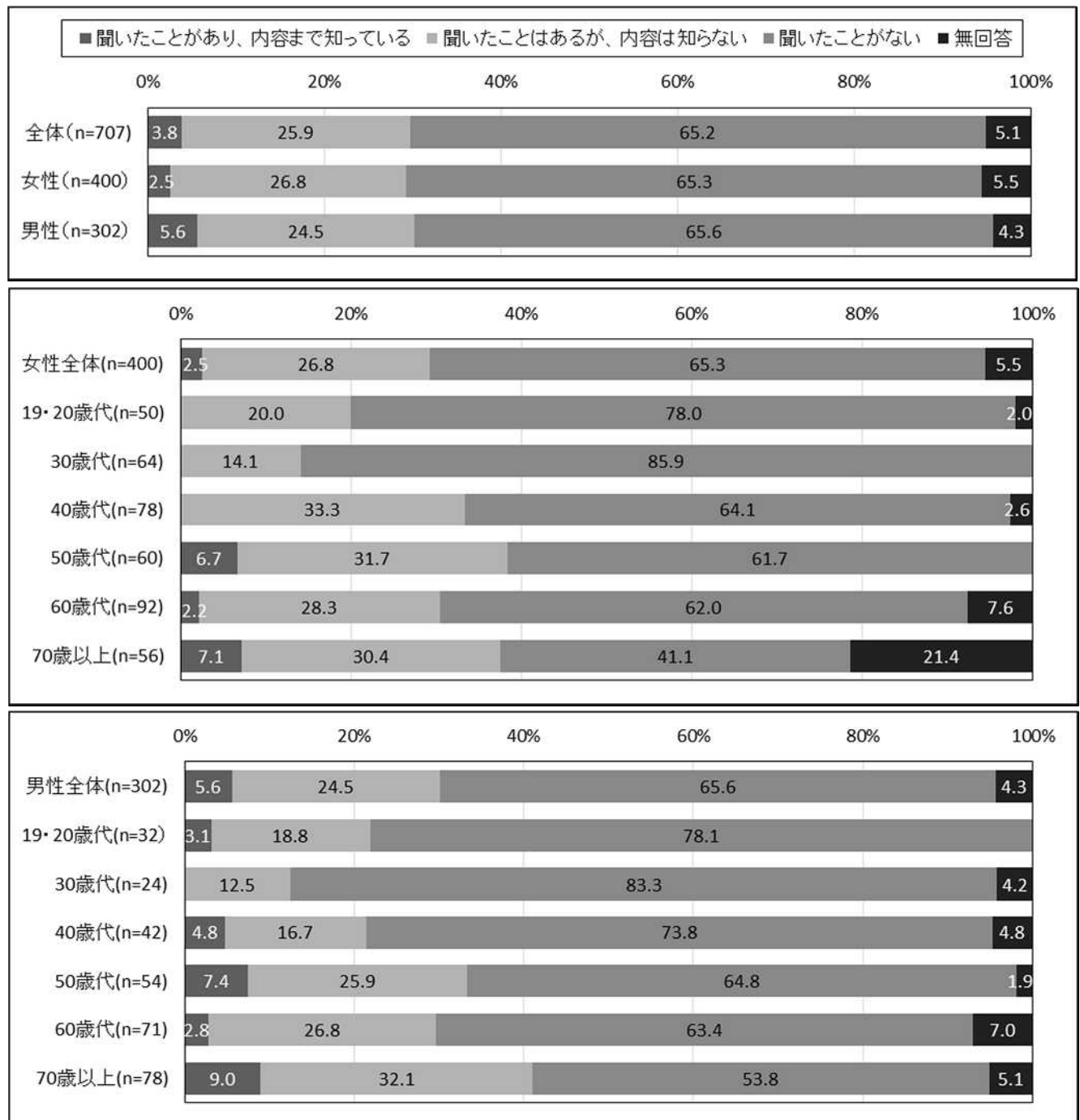


④小城市男女共同参画プラン（さくらプラン）

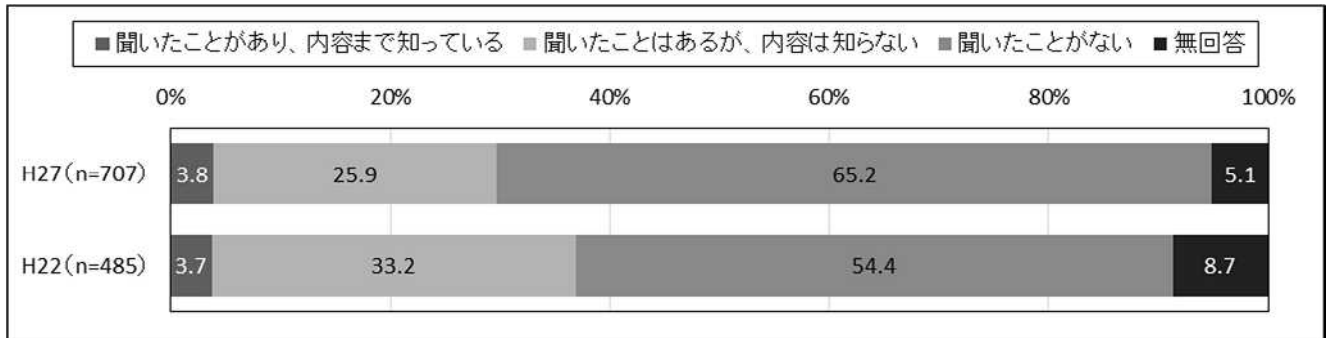
「聞いたことがない」が65.2%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」25.9%、「聞いたことがあり、内容まで知っている」3.8%の順となっています。

性別で見ると、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と回答した割合は、女性（26.8%）が男性（24.5%）より2.3ポイント高く、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、男性（5.6%）が女性（2.5%）より3.1ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「聞いたことがない」と回答した割合は、女性・男性ともに「19・20歳代」から「30歳代」で80%程度と高くなっています。



H22 と H27 の調査を比較すると、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と回答した割合は、H27（25.9%）が H22（33.2%）より 7.3 ポイント低くなり、「聞いたことがない」と回答した割合は、H27（65.2%）が H22（54.4%）より 10.8 ポイント高くなっています。

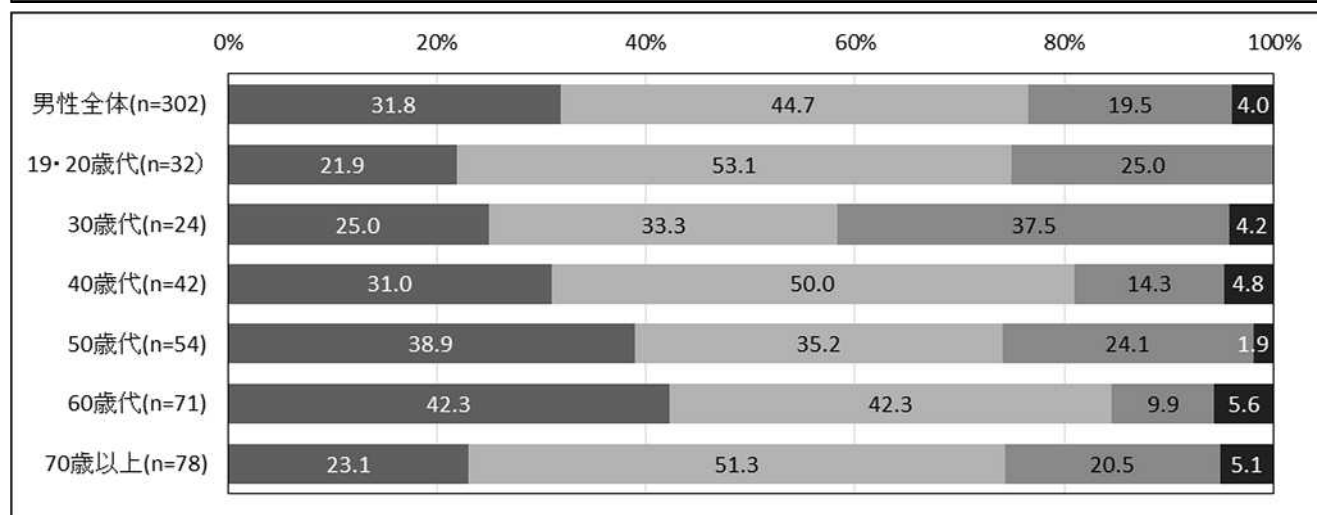
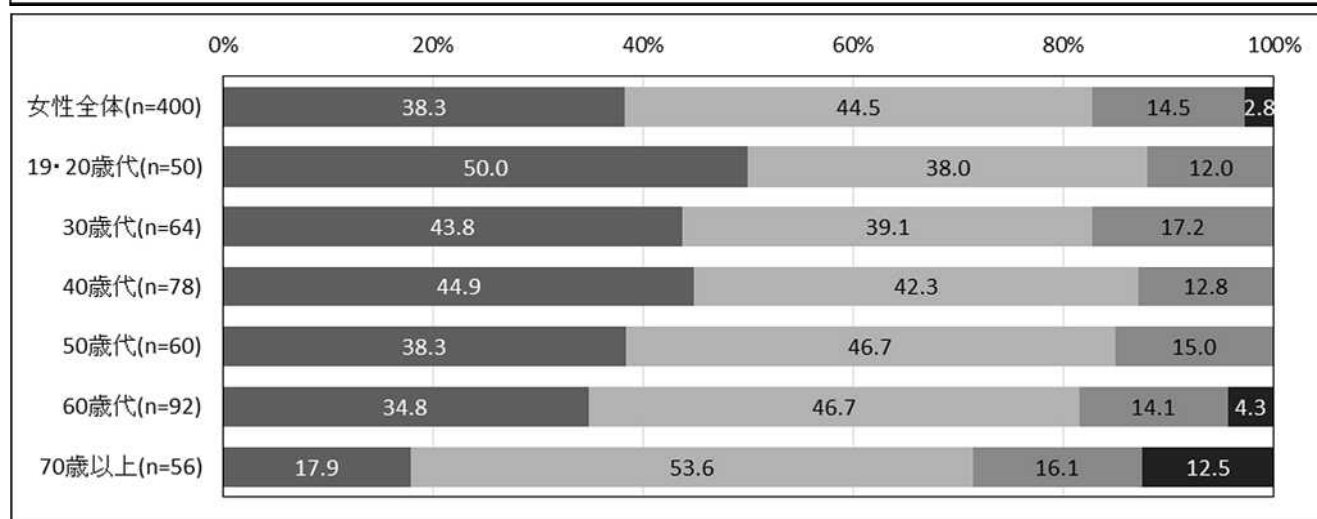
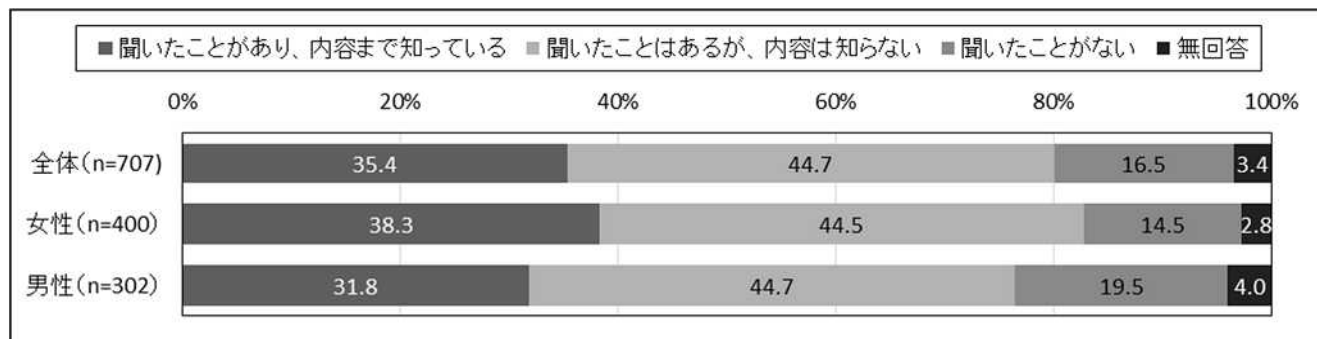


⑤育児・介護休業法

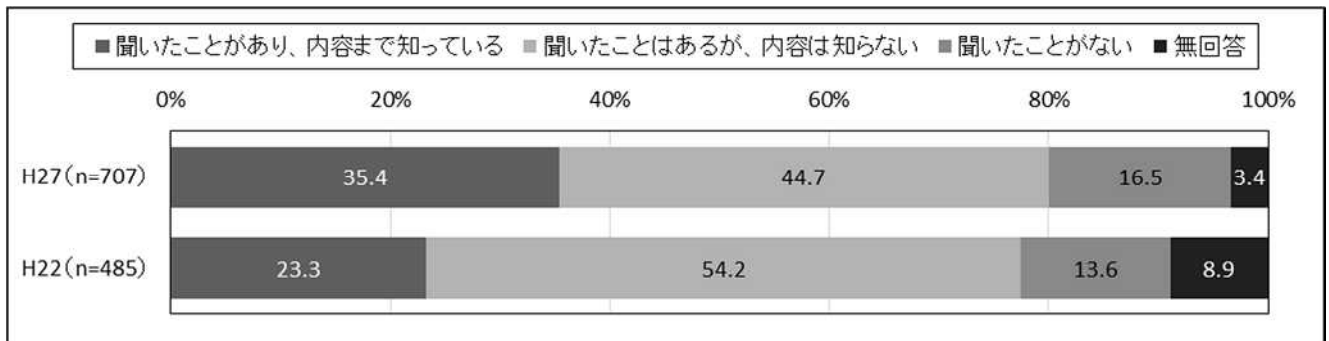
「聞いたことはあるが、内容は知らない」が44.7%で最も高く、次いで「聞いたことがあります、内容まで知っている」35.4%、「聞いたことがない」16.5%の順となっています。

性別で見ると、「聞いたことがない」と回答した割合は、男性（19.5%）が女性（14.5%）より5.0ポイント高く、「聞いたことがあります、内容まで知っている」と回答した割合は、女性（38.3%）が男性（31.8%）より6.5ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「聞いたことがあります、内容まで知っている」と回答した割合は、女性の「19・20歳代」50.0%、男性の「60歳代」42.3%と高くなっています。また、「聞いたことがない」と回答した割合は、男性の「30歳代」37.5%と高くなっています。



H22 と H27 の調査を比較すると、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と回答した割合は、H27（44.7%）が H22（54.2%）より 9.5 ポイント低くなり、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、H27（35.4%）が H22（23.3%）より 12.1 ポイント高くなっています。

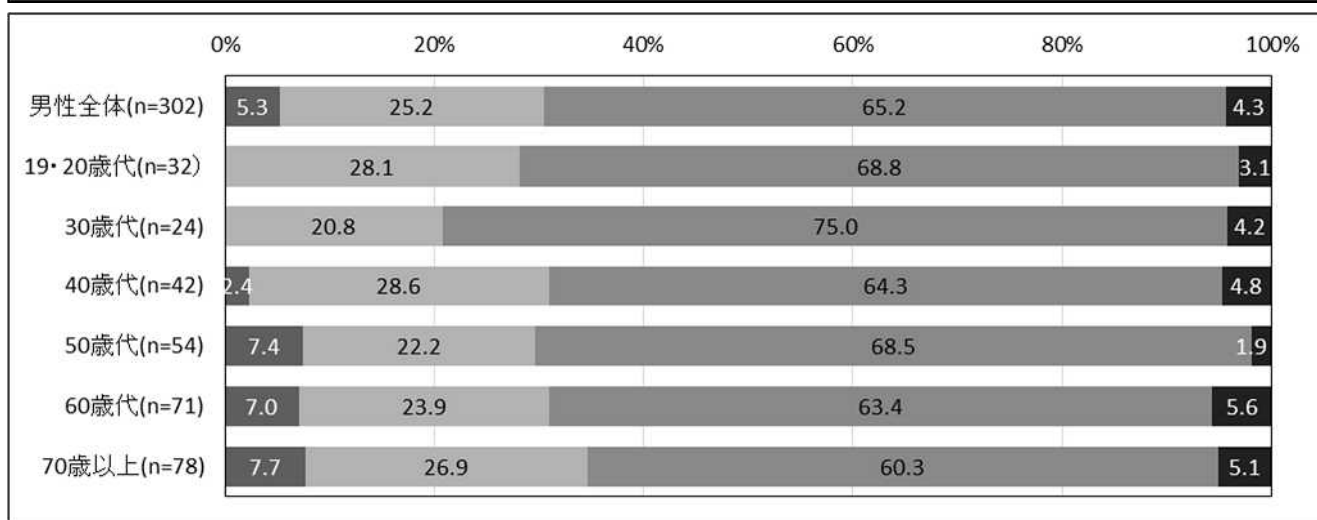
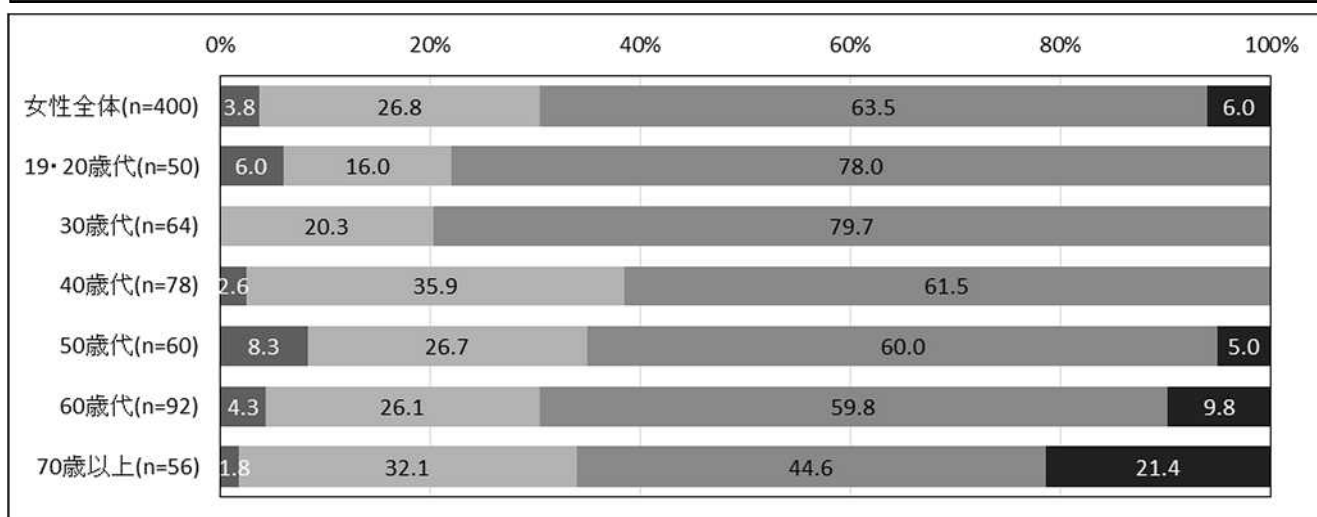
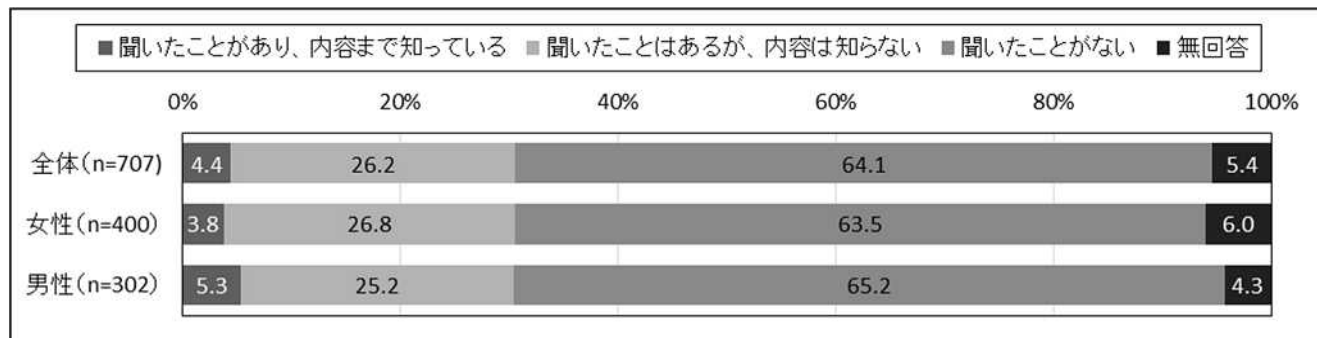


⑥次世代育成支援対策推進法

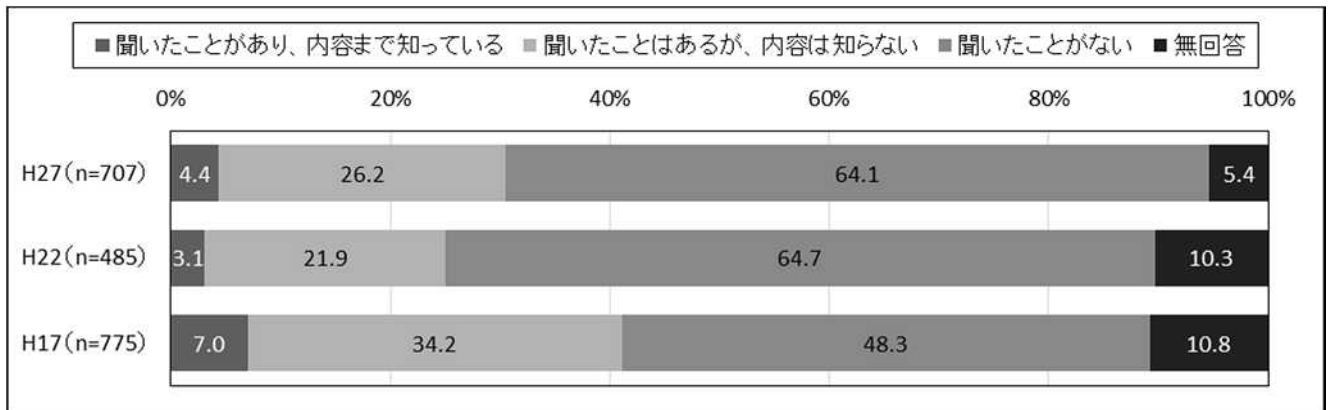
「聞いたことがない」が64.1%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」26.2%、「聞いたことがあり、内容まで知っている」4.4%の順となっています。

性別による大きな差異は見られません。

性別・年代別で見ると、「聞いたことがない」と回答した割合は、女性の「19・20歳代」から「30歳代」、男性の「30歳代」で80%程度と高くなっています。



H17 と H27 の調査を比較すると、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と回答した割合は、H27（26.2%）が H17（34.2%）より 8 ポイント低くなり、「聞いたことがない」と回答した割合は、H27（64.1%）が H17（48.3%）より 15.8 ポイント高くなっています。

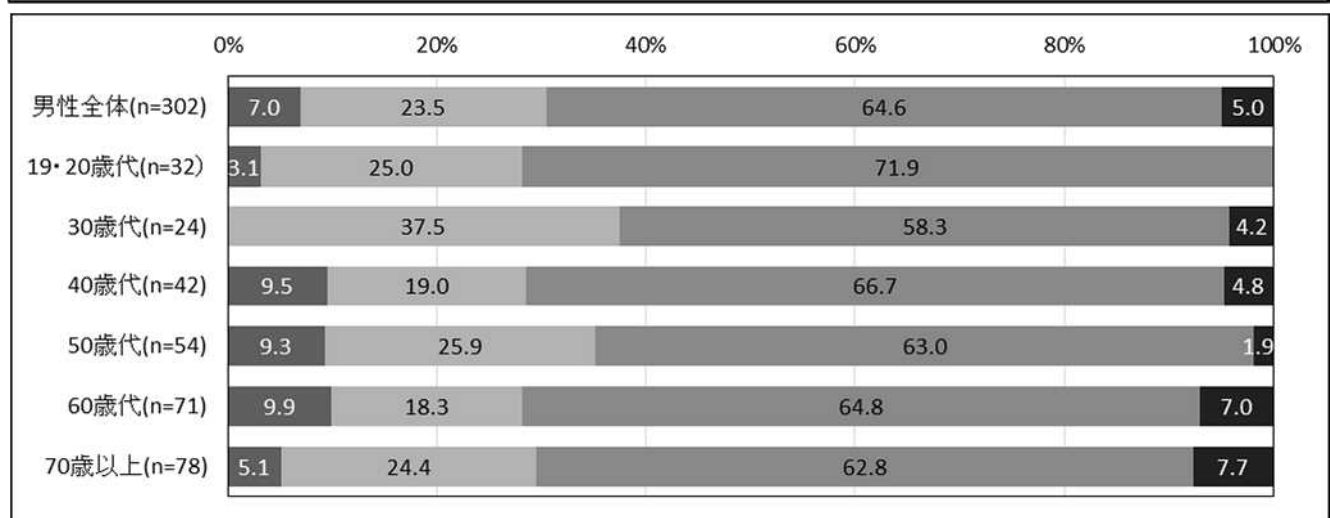
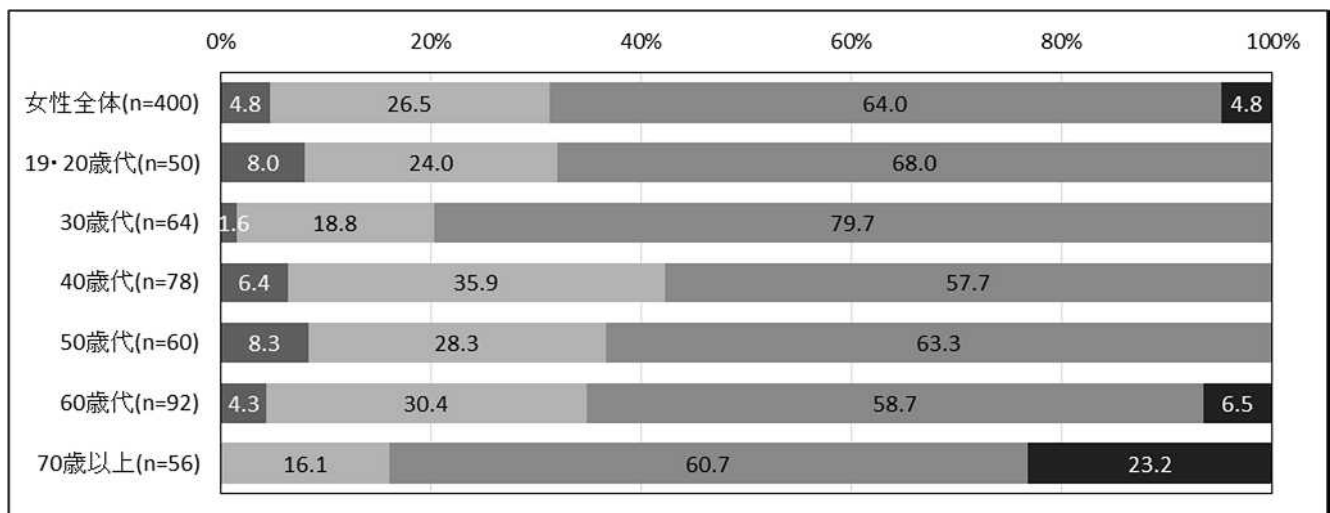
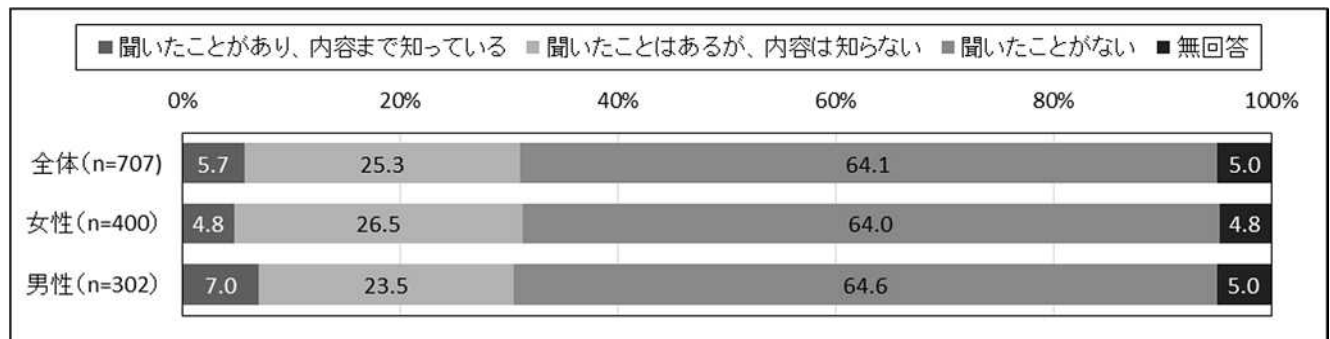


⑦ポジティブ・アクション

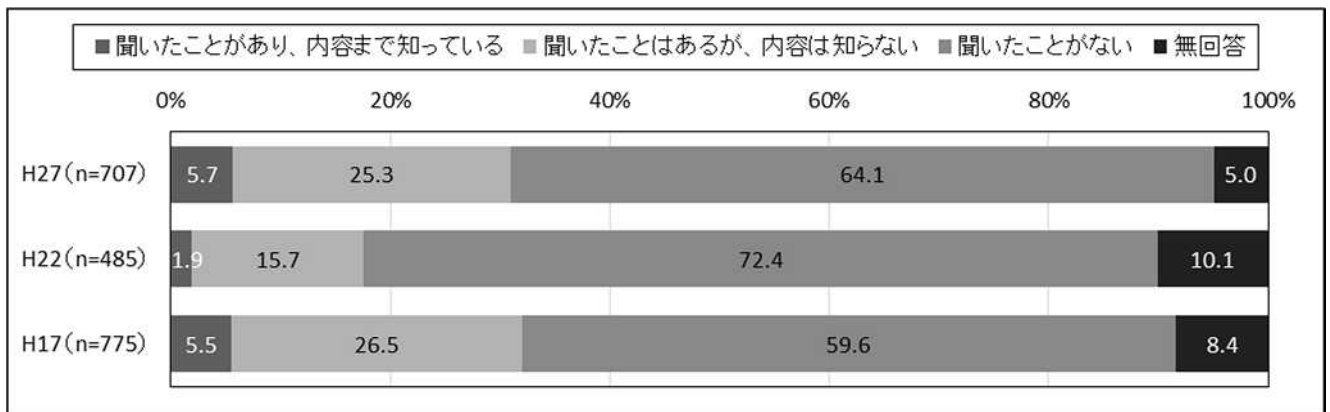
「聞いたことがない」が64.1%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」25.3%、「聞いたことがあり、内容まで知っている」5.7%の順となっています。

性別で見ると、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と回答した割合は、女性（26.5%）が男性（23.5%）より3.0ポイント高く、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、男性（7.0%）が女性（4.8%）より2.2ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「聞いたことがない」と回答した割合は、女性の「30歳代」、男性の「19・20歳代」で70%以上と高くなっています。



H17 と H27 の調査を比較すると、「聞いたことがない」と回答した割合は、H27（64.1%）がH17（59.6%）より 4.5 ポイント低くなっています。

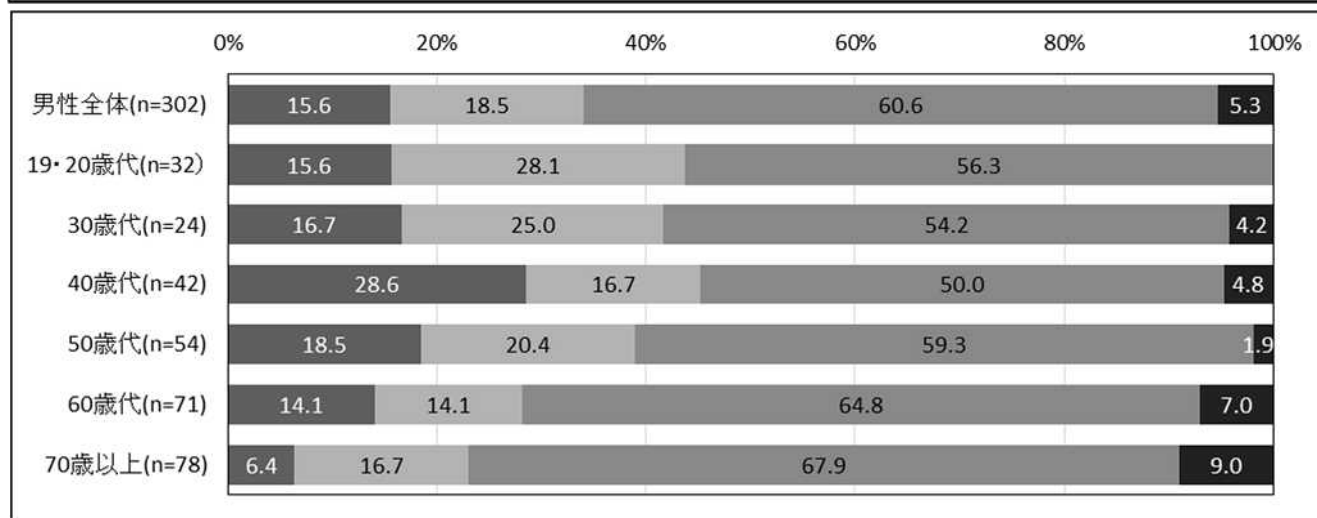
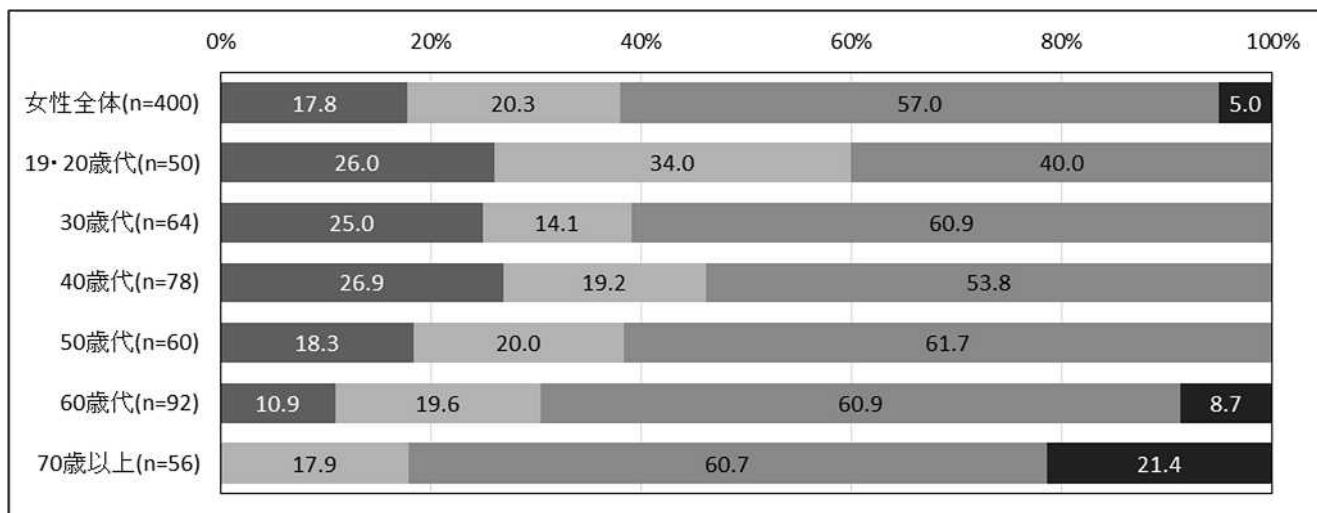
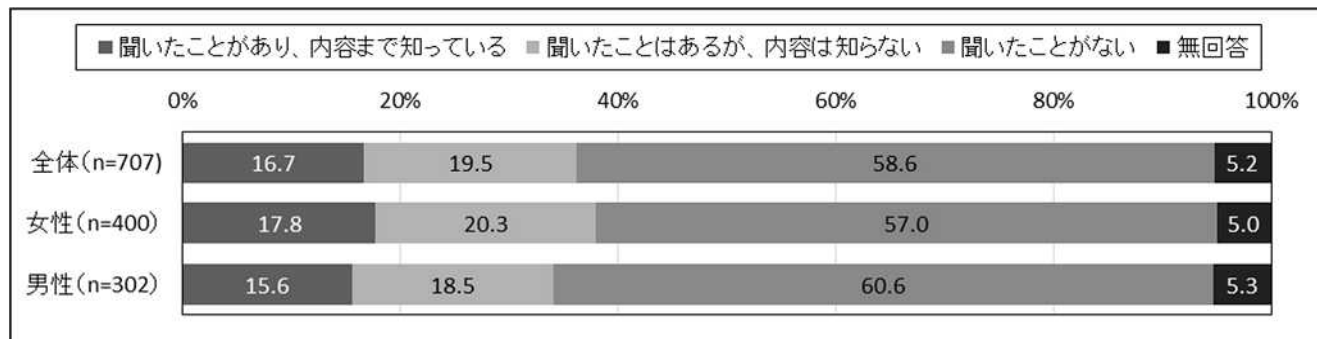


⑧ジェンダー

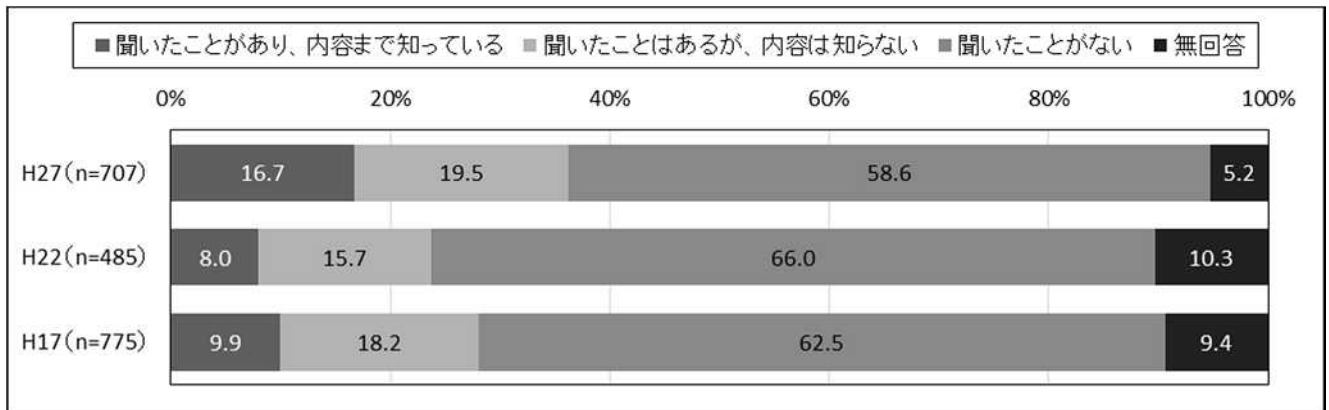
「聞いたことがない」が58.6%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」19.5%、「聞いたことがあり、内容まで知っている」16.7%の順となっています。

性別で見てもそれほど差異はみられませんが、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、女性（17.8%）が男性（15.6%）より2.2ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、女性の「19・20歳代」から「40歳代」、男性の「40歳代」で25%以上と高くなっています。また、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した人は、女性の「70歳以上」ではありません。



H17 と H27 の調査を比較すると、「聞いたことがない」と回答した割合は、H27（58.6%）が H17（62.5%）より 3.9 ポイント低くなり、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、H27（16.7%）が H17（9.9%）より 6.8 ポイント高くなっています。

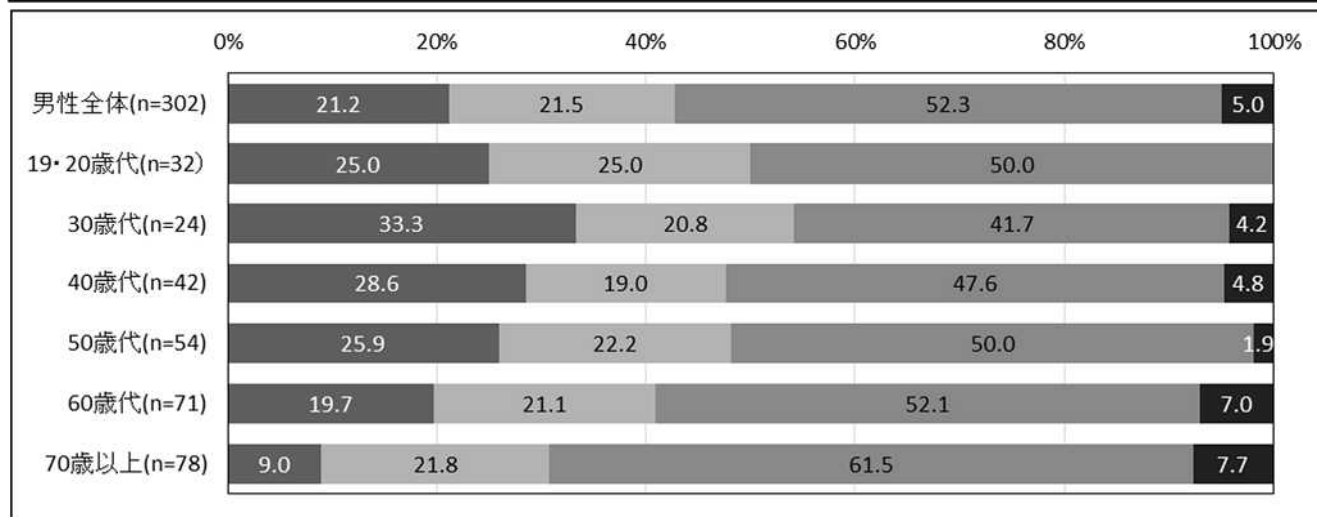
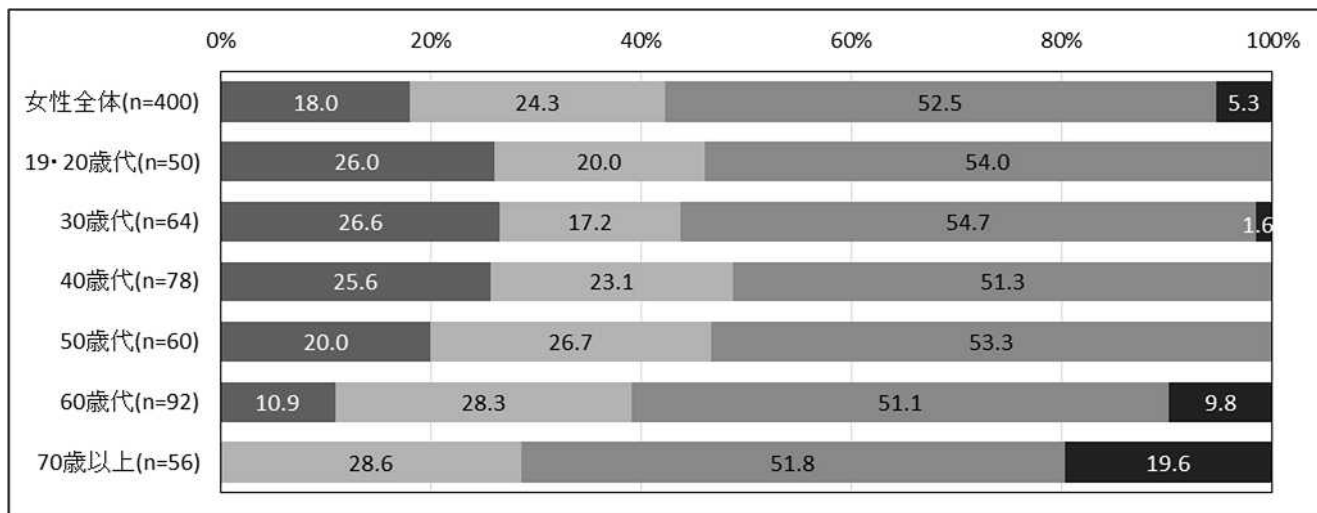
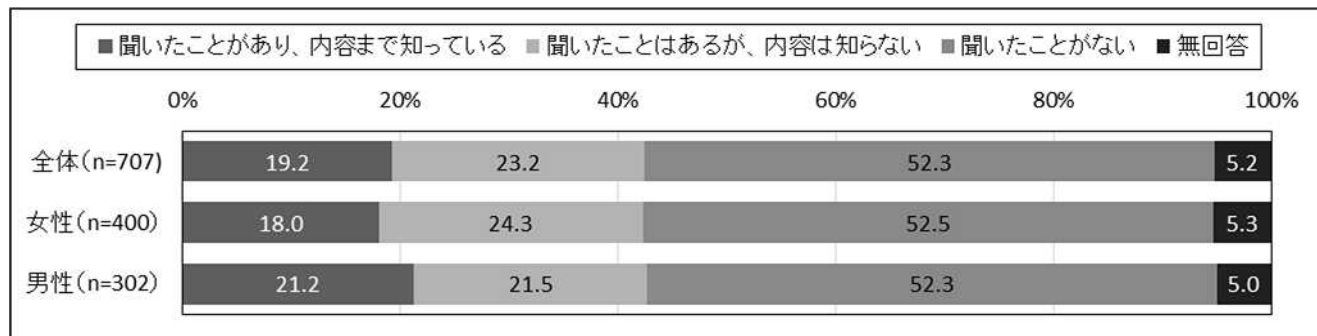


⑨ワーク・ライフ・バランス

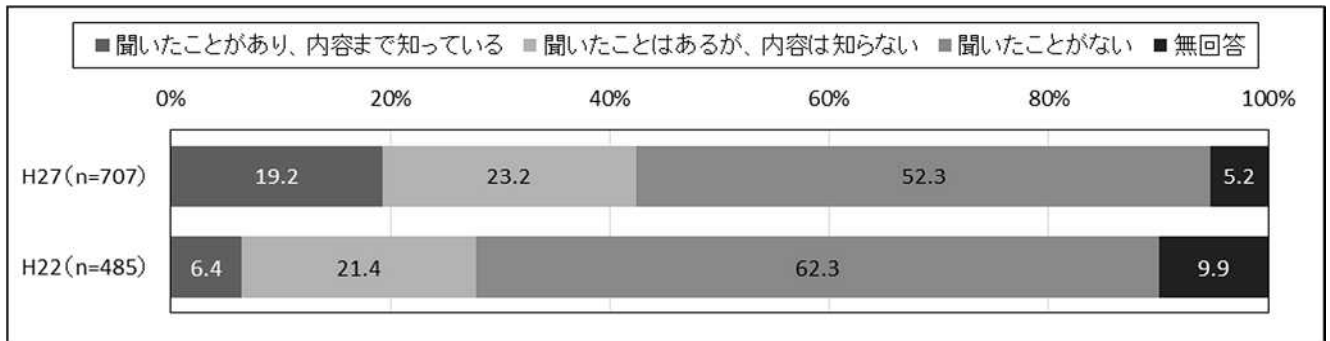
「聞いたことがない」が52.3%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」23.2%、「聞いたことがあり、内容まで知っている」19.2%の順となっています。

性別で見ると、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と回答した割合は、女性（24.3%）が男性（21.5%）より2.8ポイント高く、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、男性（21.2%）が女性（18.0%）より3.2ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、女性の「19・20歳代」から「40歳代」、男性の「19・20歳代」から「50歳代」で25%以上と高くなっています。また、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した人は、女性の「70歳以上」ではありません。



H22 と H27 の調査を比較すると、「聞いたことがない」と回答した割合は、H27（52.3%）が H22（62.3%）より 10 ポイント低くなり、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、H27（19.2%）が H22（6.4%）より 12.8 ポイント高くなっています。

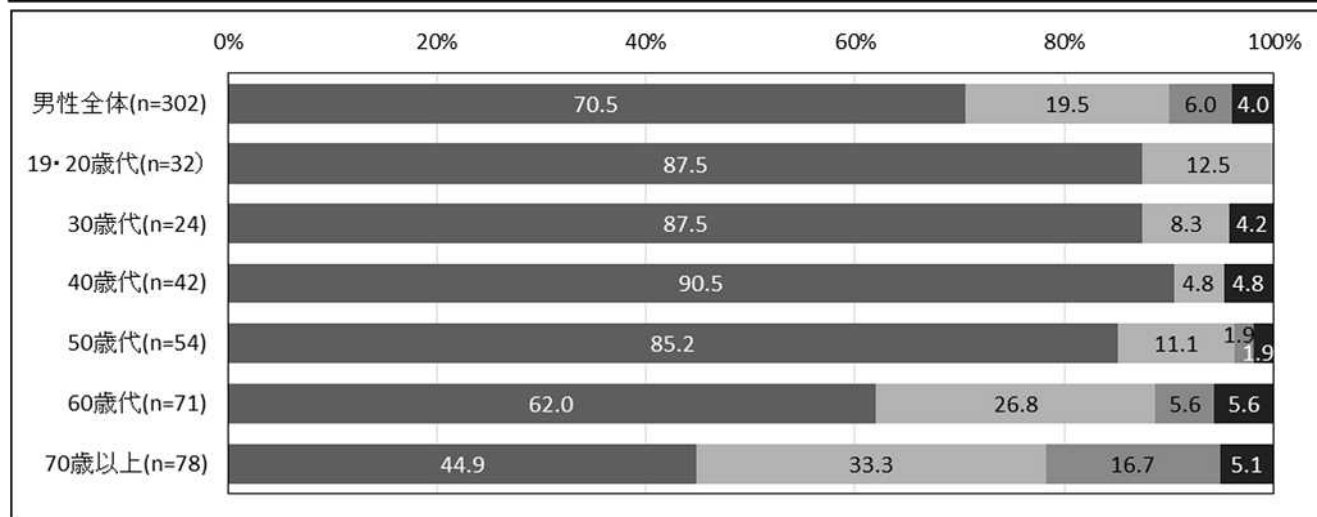
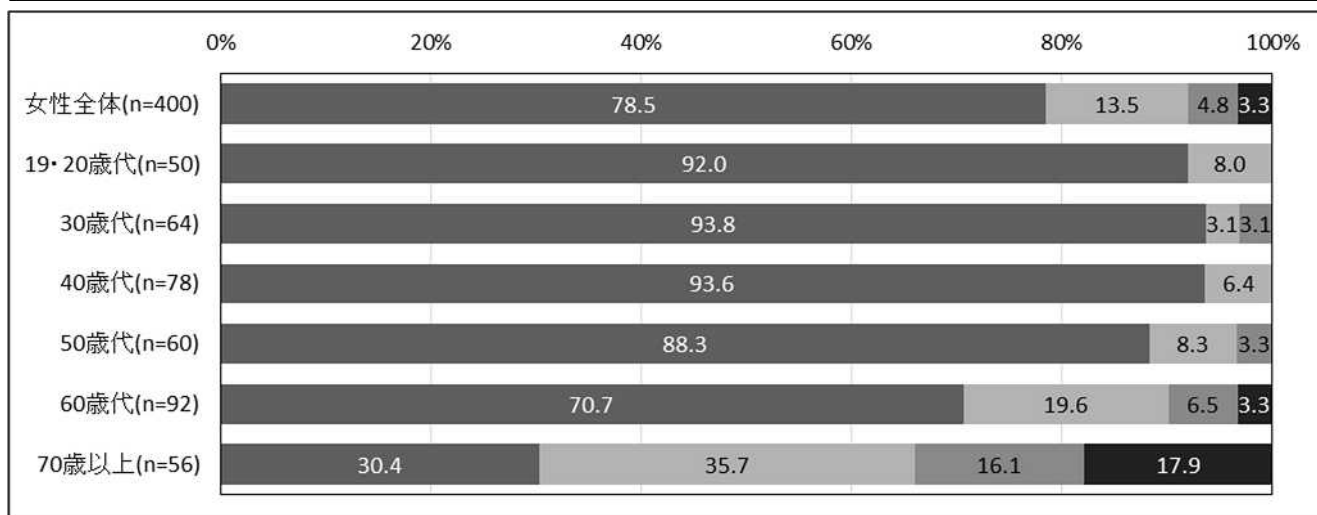
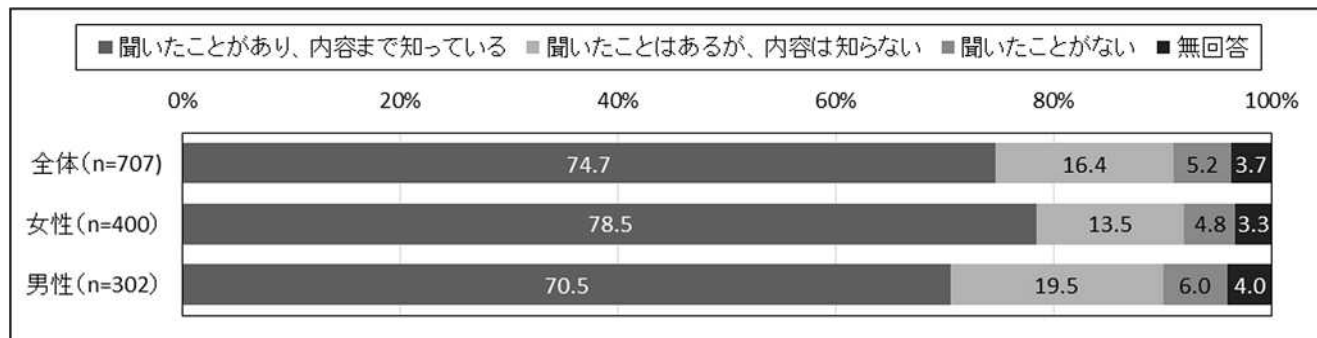


⑩ドメスティック・バイオレンス（DV）

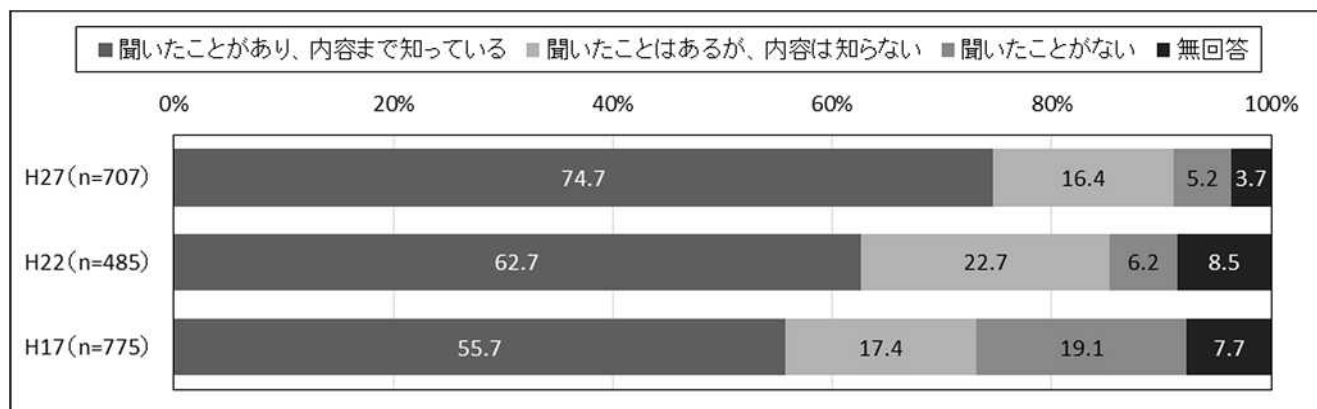
「聞いたことがあり、内容まで知っている」が74.7%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」16.4%、「聞いたことがない」5.2%の順となっています。

性別で見ると、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と回答した割合は、男性（19.5%）が女性（13.5%）より6.0ポイント高く、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、女性（78.5%）が男性（70.5%）より8.0ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、女性・男性ともに「19・20歳代」から「50歳代」で90%程度と非常に高くなっています。しかし、「聞いたことがない」と回答した割合は、女性・男性ともに年代が上がるにつれ高くなり、特に「70歳以上」では16%以上と高くなっています。



H17 と H27 の調査を比較すると、「聞いたことがない」と回答した割合は、H27（5.2%）が H17（19.1%）より 13.9 ポイント低くなり、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、H27（74.7%）が H17（55.7%）より 19.0 ポイント高くなっています。

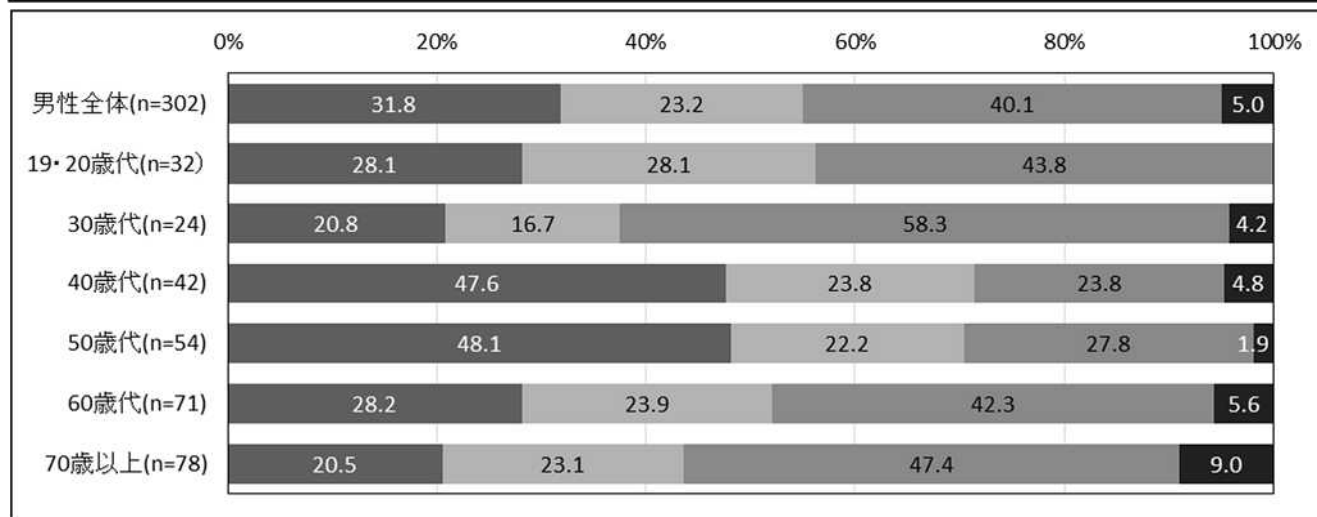
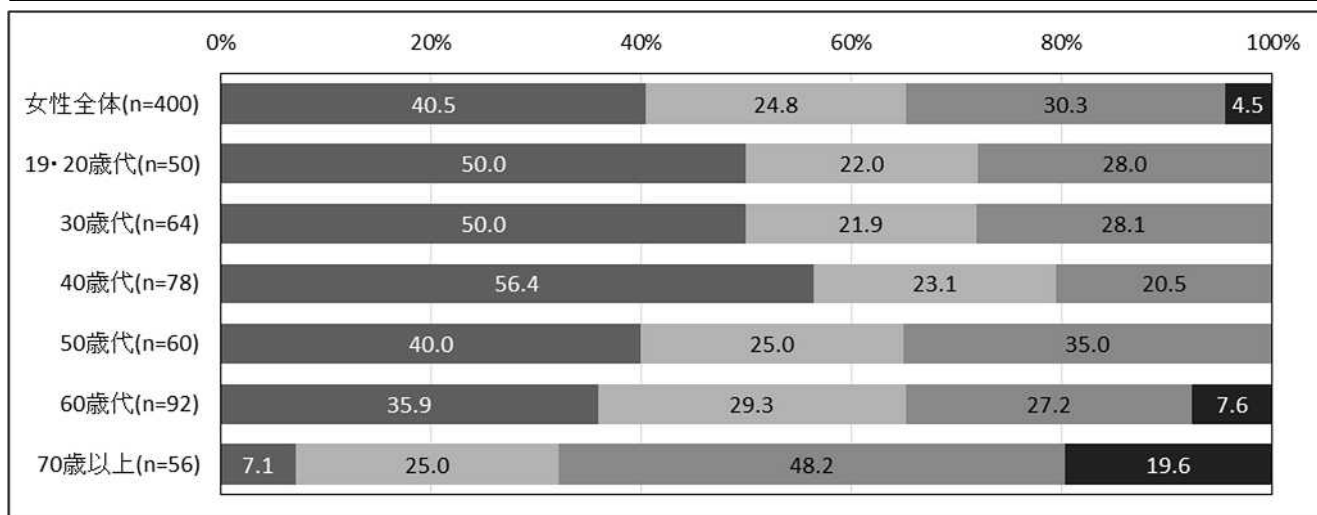
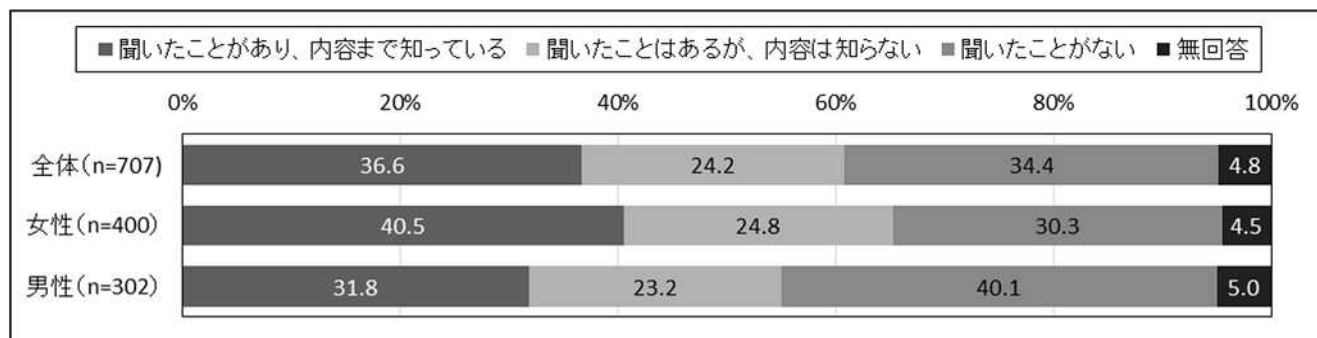


⑪デートDV

「聞いたことがあり、内容まで知っている」が36.6%で最も高く、次いで「聞いたことがない」34.4%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」24.2%の順となっています。

性別で見ると、「聞いたことがない」と回答した割合は、男性（40.1%）が女性（30.3%）より9.8ポイント高く、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、女性（40.5%）が男性（31.8%）より8.7ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、女性の「40歳代」、男性の「40歳代」から「50歳代」で高くなっています。また、「聞いたことがない」と回答した割合は、男性の「19・20歳代」43.8%、「30歳代」58.3%と非常に高くなっています。

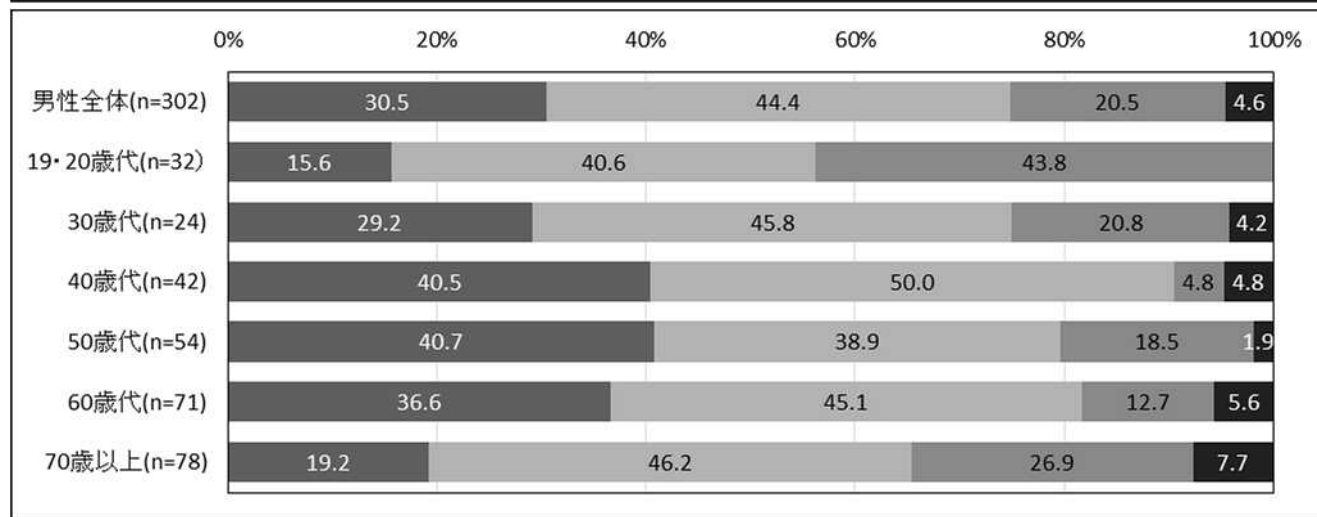
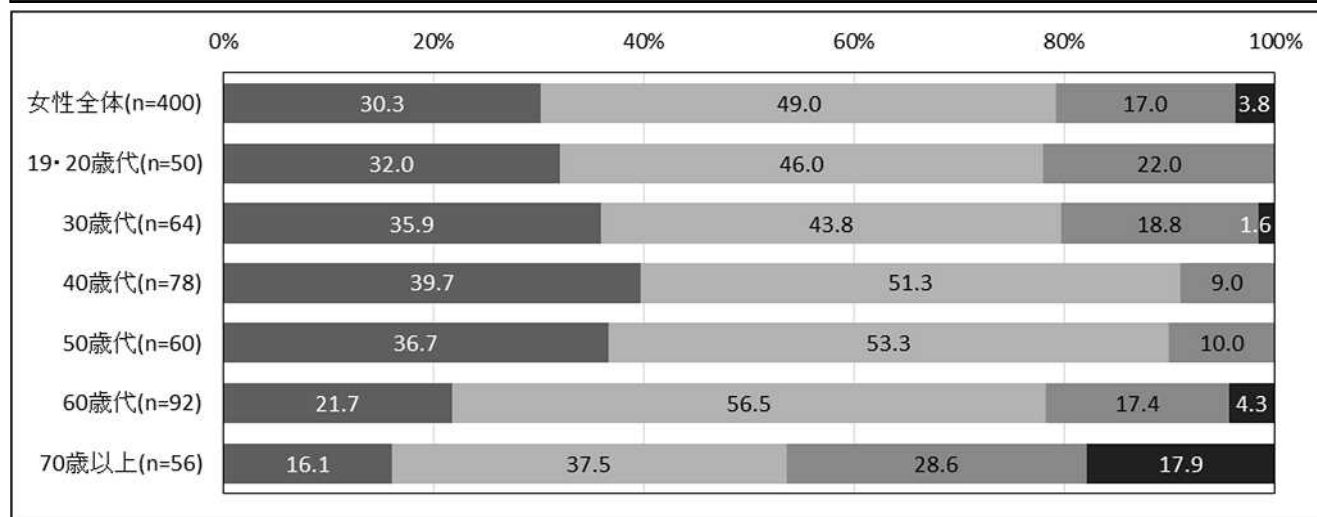
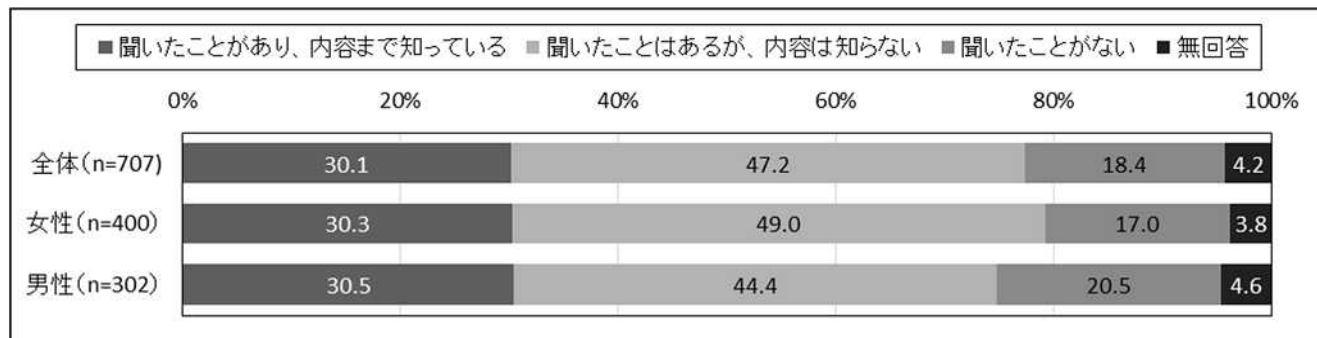


⑫DV防止法

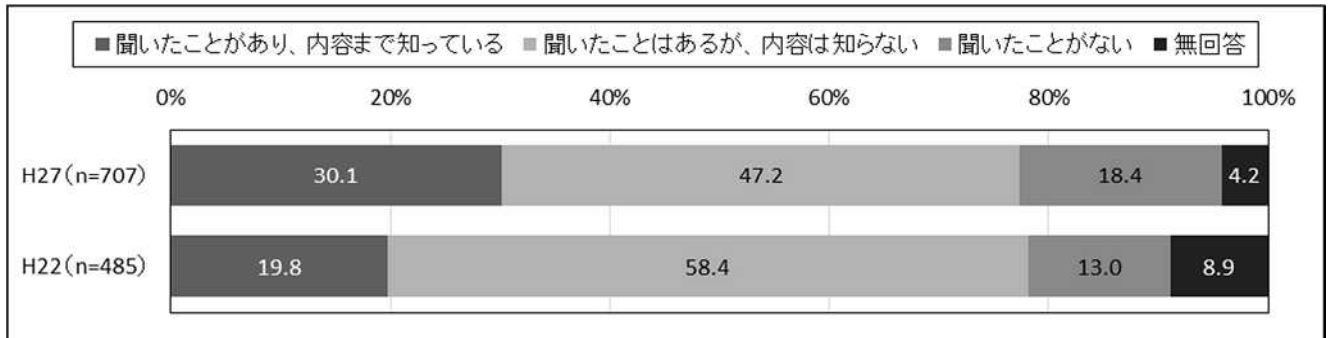
「聞いたことはあるが、内容は知らない」が47.2%で最も高く、次いで「聞いたことがあり、内容まで知っている」30.1%、「聞いたことがない」18.4%の順となっています。

性別で見ると、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と回答した割合は、女性（49.0%）が男性（44.4%）より4.6ポイント高く、「聞いたことがない」と回答した割合は、男性（20.5%）が女性（17.0%）より3.5ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、女性の「30歳代」から「50歳代」、男性の「40歳代」から「60歳代」で35%以上と高くなっています。また、「聞いたことがない」と回答した割合は、男性の「19・20歳代」43.8%と非常に高くなっています。



H22 と H27 の調査を比較すると、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と回答した割合は、H27（47.2%）が H22（58.4%）より 11.2 ポイント低くなり、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、H27（30.1%）が H22（19.8%）より 10.3 ポイント高くなっています。また、「聞いたことがない」と回答した割合も、H27（18.4%）が H22（13.0%）より 5.4 ポイント高くなっています。

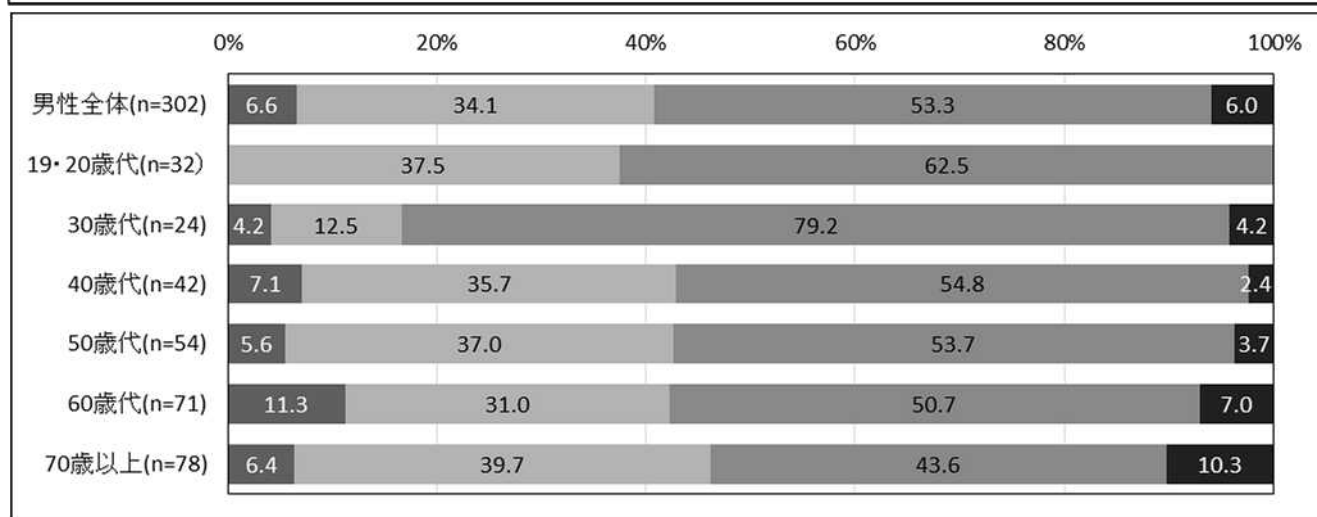
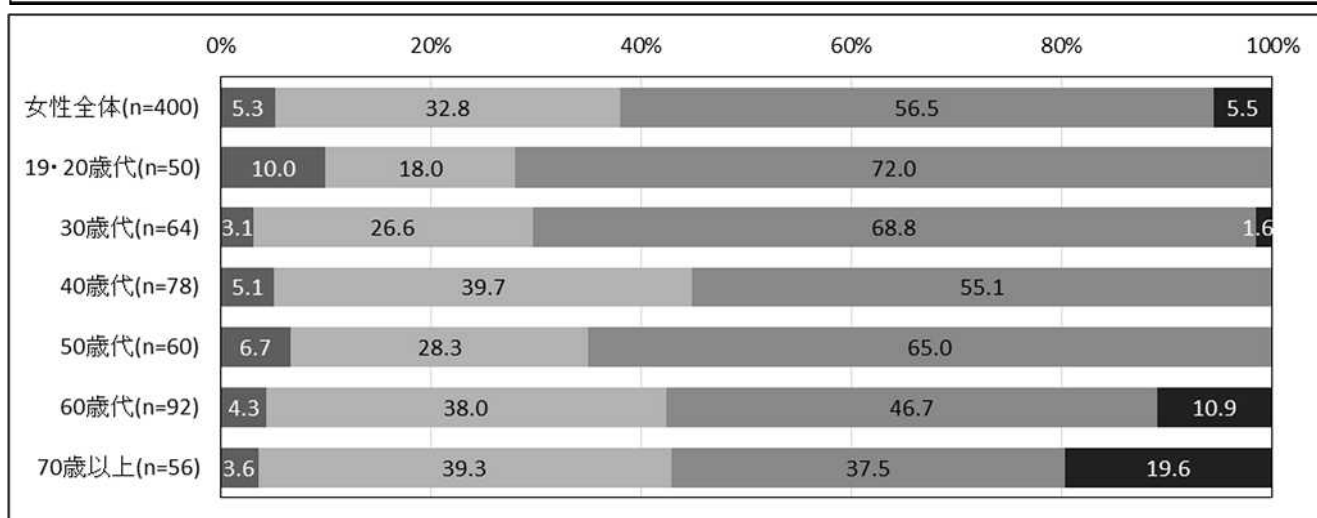
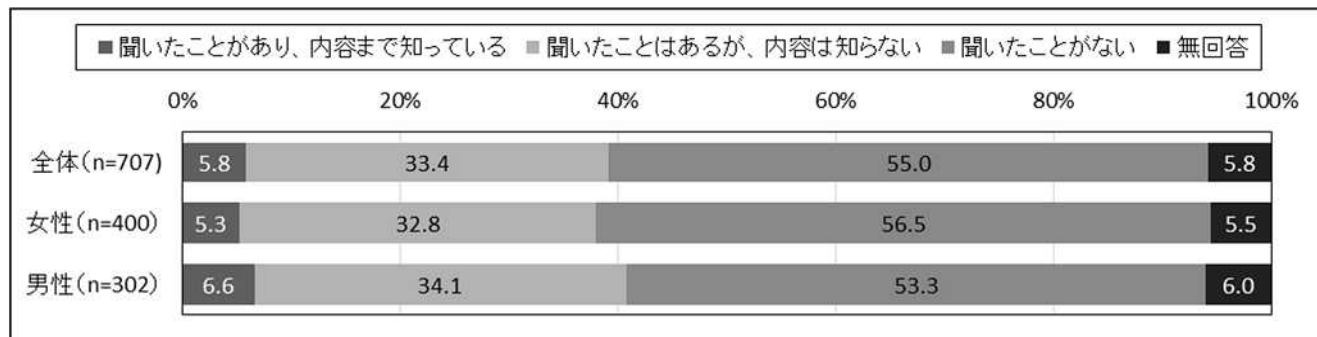


⑬女性活躍推進法

「聞いたことがない」が55.0%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」33.4%、「聞いたことがあり、内容まで知っている」5.8%の順となっています。

性別で見てもそれほど差異はみられませんが、「聞いたことがない」と回答した割合は、女性（56.5%）が男性（53.3%）より3.2ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「聞いたことがない」と回答した割合は、女性の「19・20歳代」72.0%、「30歳代」68.8%、男性の「30歳代」79.2%と高くなっています。また、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した人は、男性の「19・20歳代」ではいせん。

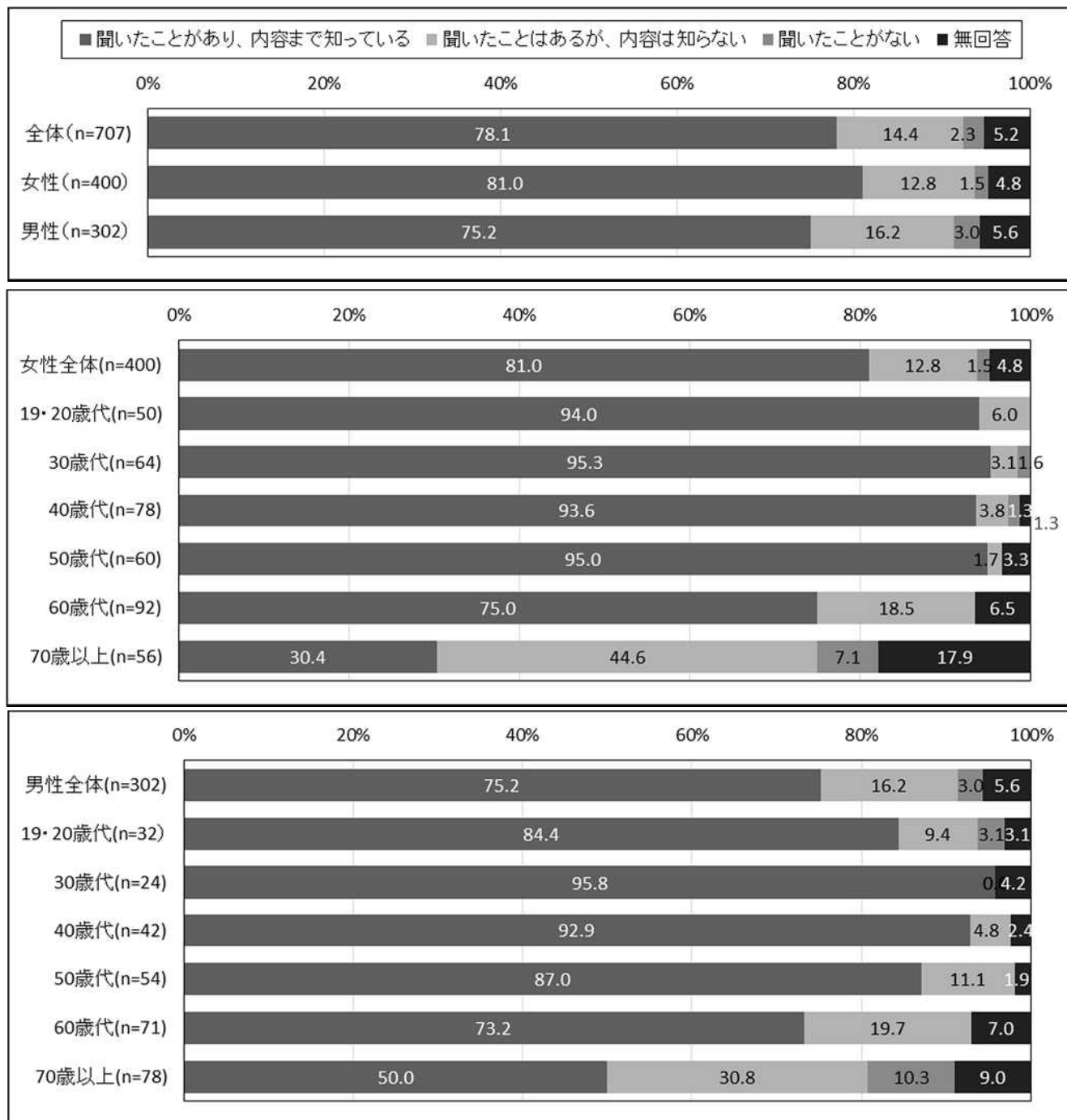


⑭セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）

「聞いたことがあり、内容まで知っている」が78.1%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」14.4%、「聞いたことがない」2.3%の順となっています。

性別で見ると、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と回答した割合は、男性（16.2%）が女性（12.8%）より3.4ポイント高く、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、女性（81.0%）が男性（75.2%）より5.8ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、女性の「19・20歳代」から「50歳代」で90%以上、男性の「30歳代」から「50歳代」で90%前後と非常に高くなっています。

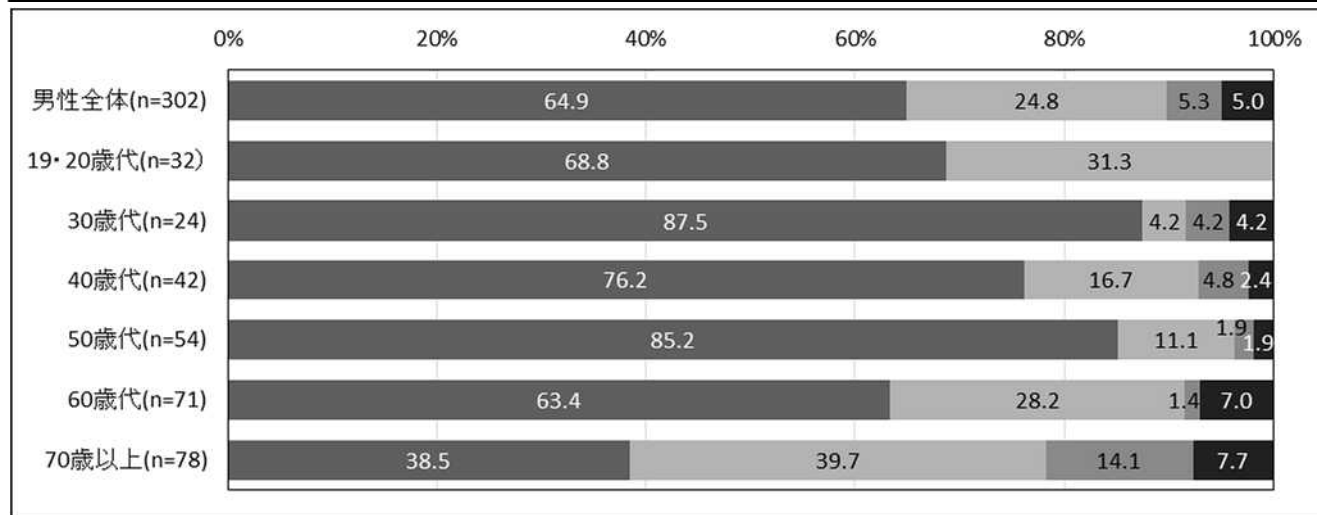
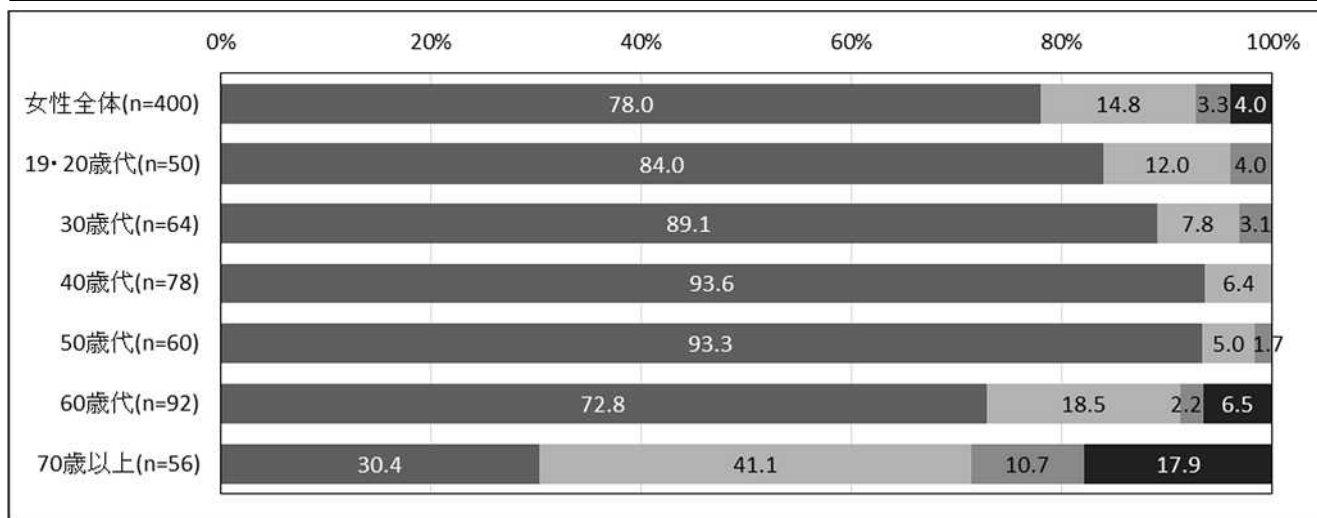
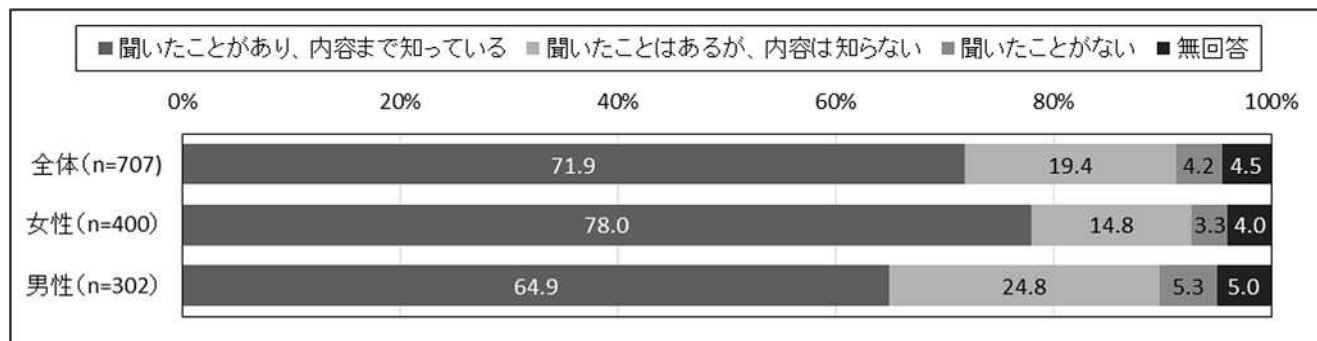


⑮ マタニティ・ハラスメント（マタハラ）

「聞いたことがあり、内容まで知っている」が71.9%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」19.4%、「聞いたことがない」4.2%の順となっています。

性別で見ると、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と回答した割合は、男性（24.8%）が女性（14.8%）より10.0ポイント高く、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、女性（78.0%）が男性（64.9%）より13.1ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、女性の「19・20歳代」から「50歳代」、男性の「30歳代」「50歳代」で80%以上と高くなっています。

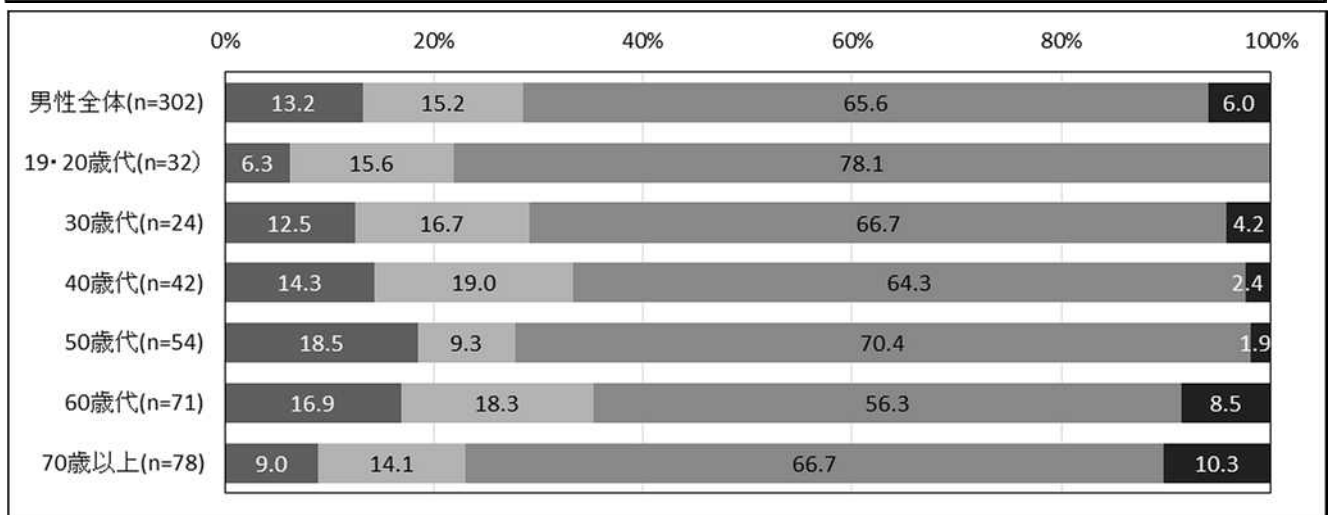
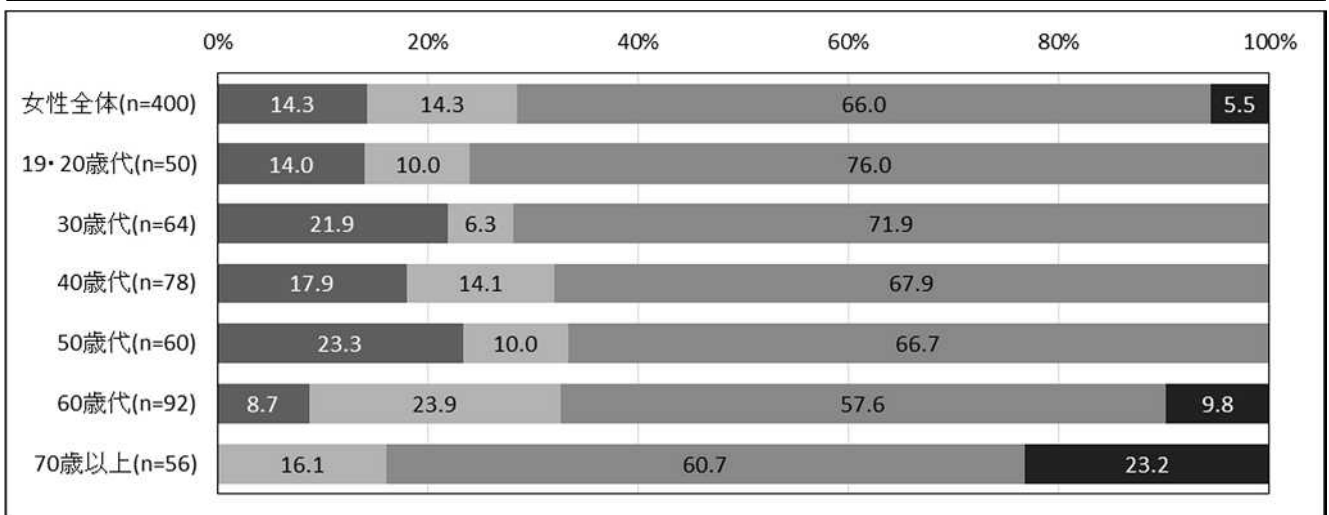
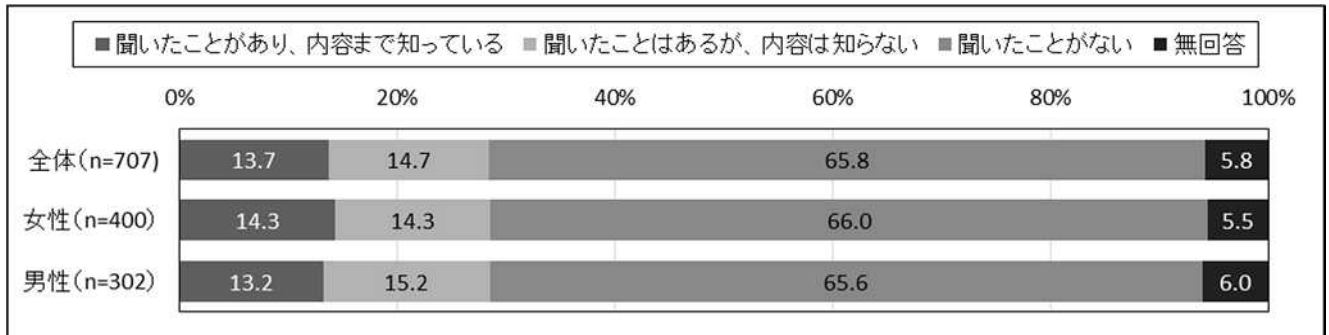


⑩ L G B T

「聞いたことがない」が65.8%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」14.7%、「聞いたことがあり、内容まで知っている」13.7%の順となっています。

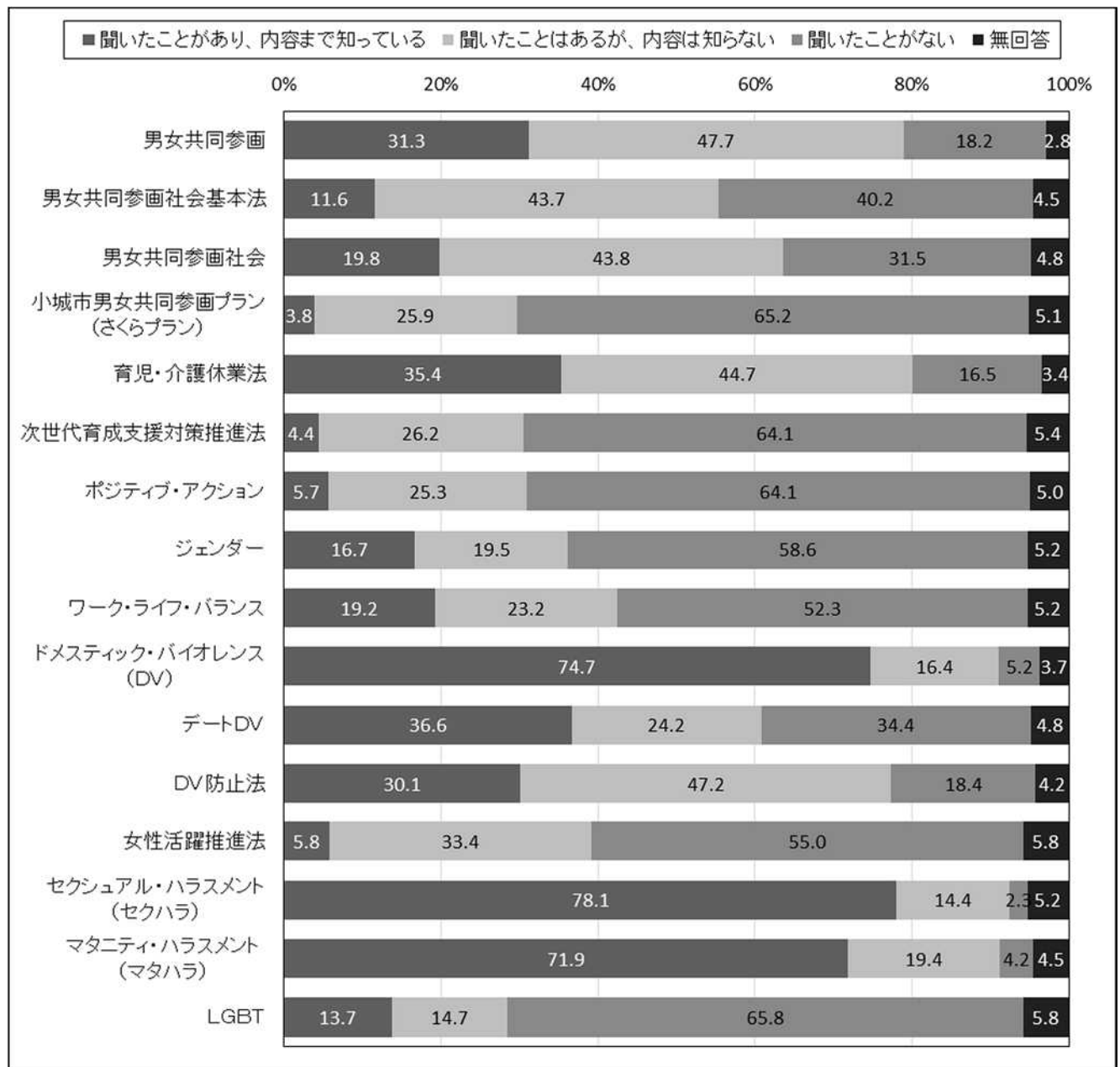
性別による大きな差異は見られません。

性別・年代別で見ると、「聞いたことがあり、内容まで知っている」と回答した割合は、女性の「30歳代」「50歳代」、男性の「50歳代」から「60歳代」で高くなっています。



男女共同参画に関する言葉の周知度では、「小城市男女共同参画プラン」「次世代育成支援対策推進法」「ポジティブ・アクション」「LGBT」については、「聞いたことがない」と回答した割合が、60%を超えています。

一方、「ドメスティック・バイオレンス」「セクシュアル・ハラスメント」「マタニティ・ハラスメント」については、「聞いたことがある」と回答した割合が、90%を超えています。



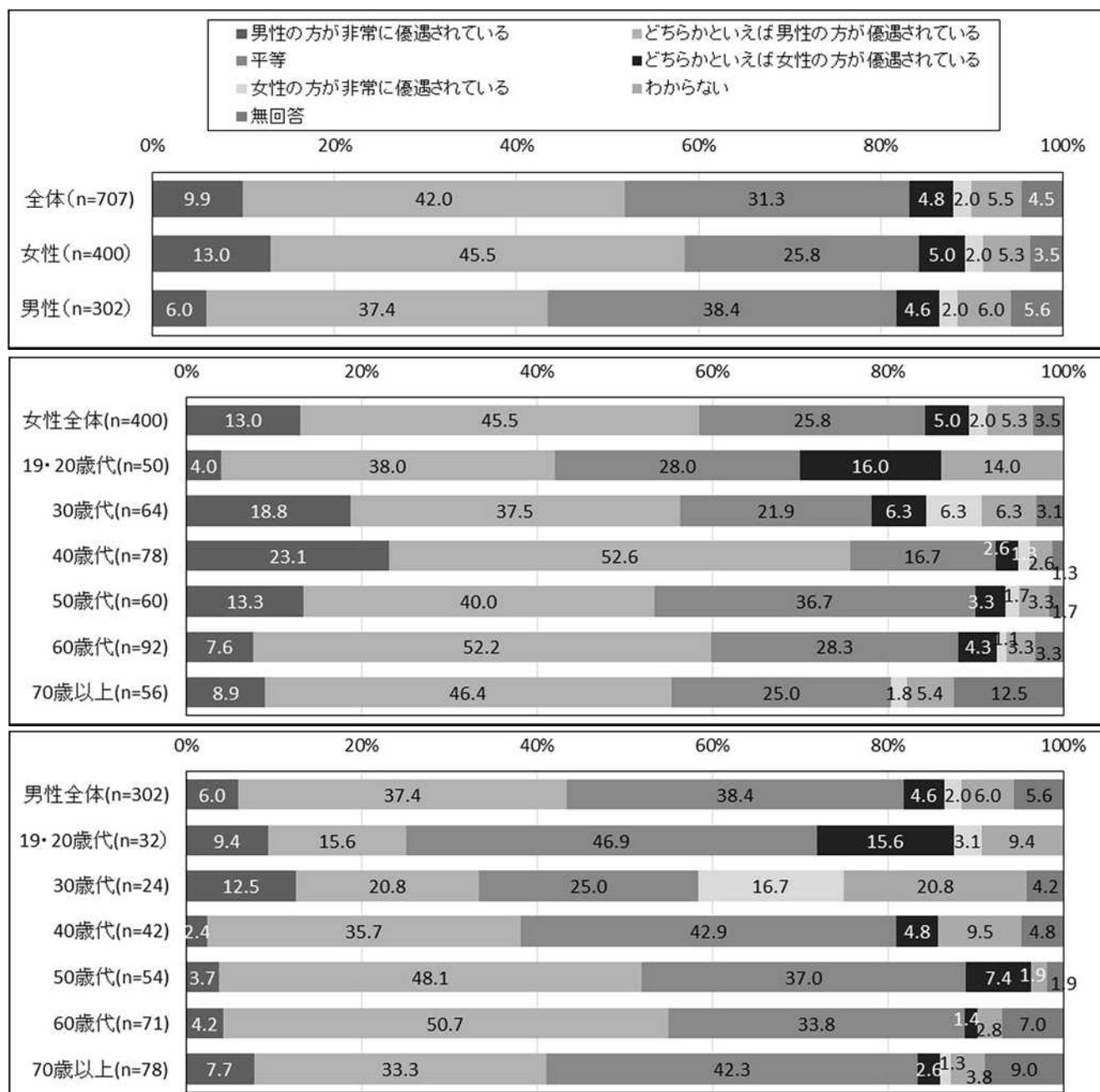
(26) 次にあげる分野で、男女は平等だと思いますか。

① 家庭生活

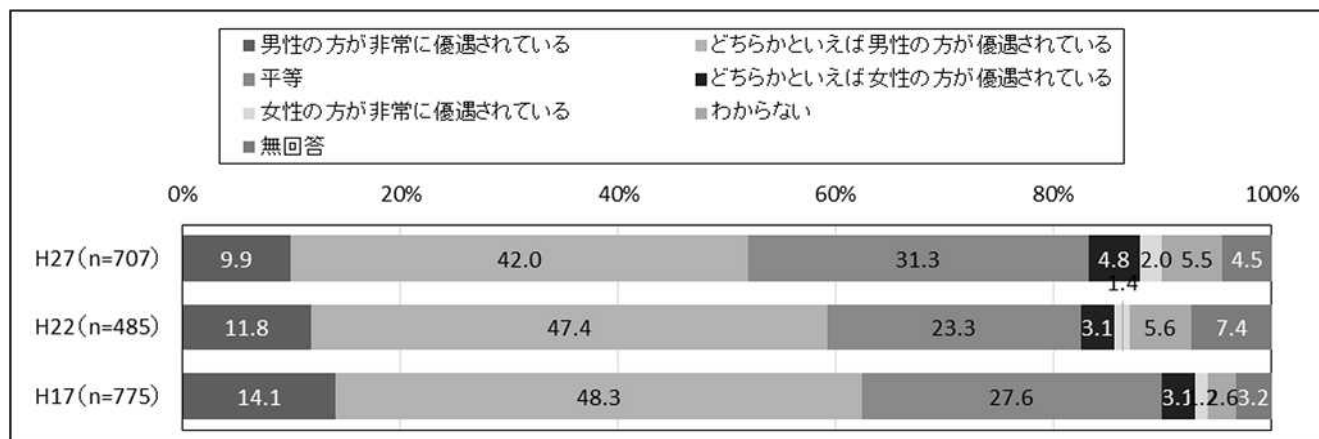
『男性の方が優遇されている』（「男性の方が非常に優遇されている」+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）51.9%、「平等」31.3%、『女性の方が優遇されている』（「女性の方が非常に優遇されている」+「どちらかといえば女性の方が優遇されている」）6.8%となっています。

性別で見ると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、女性（58.5%）が男性（43.4%）より15.1ポイント高く、「平等」と回答した割合は、男性（38.4%）が女性（25.8%）より12.6ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、『男性が優遇されている』と回答した割合は、女性・男性ともに「19・20歳代」が他の年代に比べて低くなっています。「平等」と回答した割合は、女性の「40歳代」（16.7%）が、男性の「40歳代」（42.9%）より26.2ポイント低く、平等感に対する開きがあります。

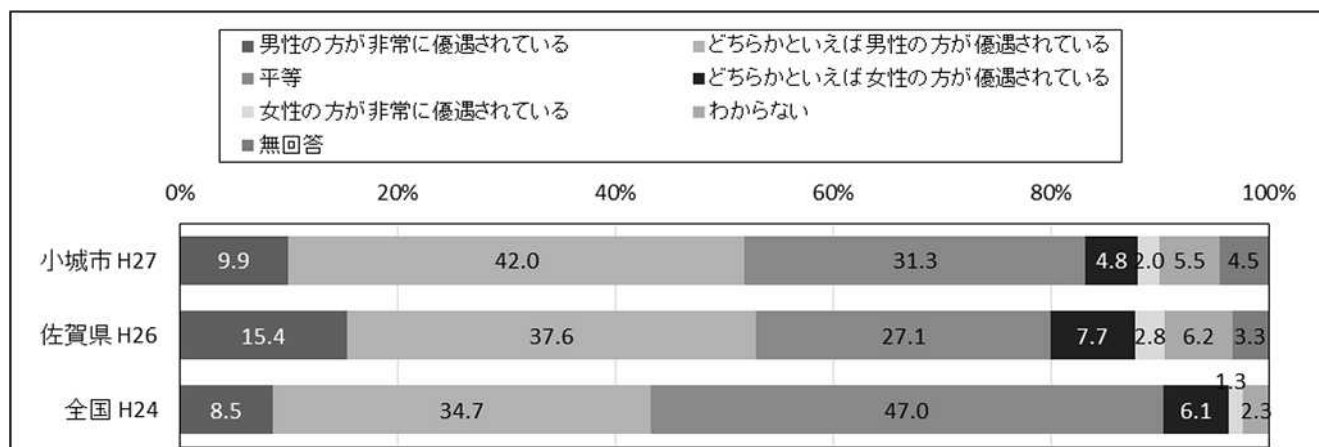


H17 と H27 の調査を比較すると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、H27 (51.9%) が H17 (62.4%) より 10.5 ポイント低くなり、「平等」と回答した割合は、H27 (31.3%) が H17 (27.6%) より 3.7 ポイント高くなっています。



H26 佐賀県の調査と比較すると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合において大差はありませんが、「平等」と回答した割合は、小城市 (31.3%) が、佐賀県 (27.1%) より 4.2 ポイント高くなっています。

また、H24 全国の調査と比較すると、「平等」と回答した割合は、小城市 (31.3%) が全国 (47.0%) より 15.7 ポイント低くなっています。

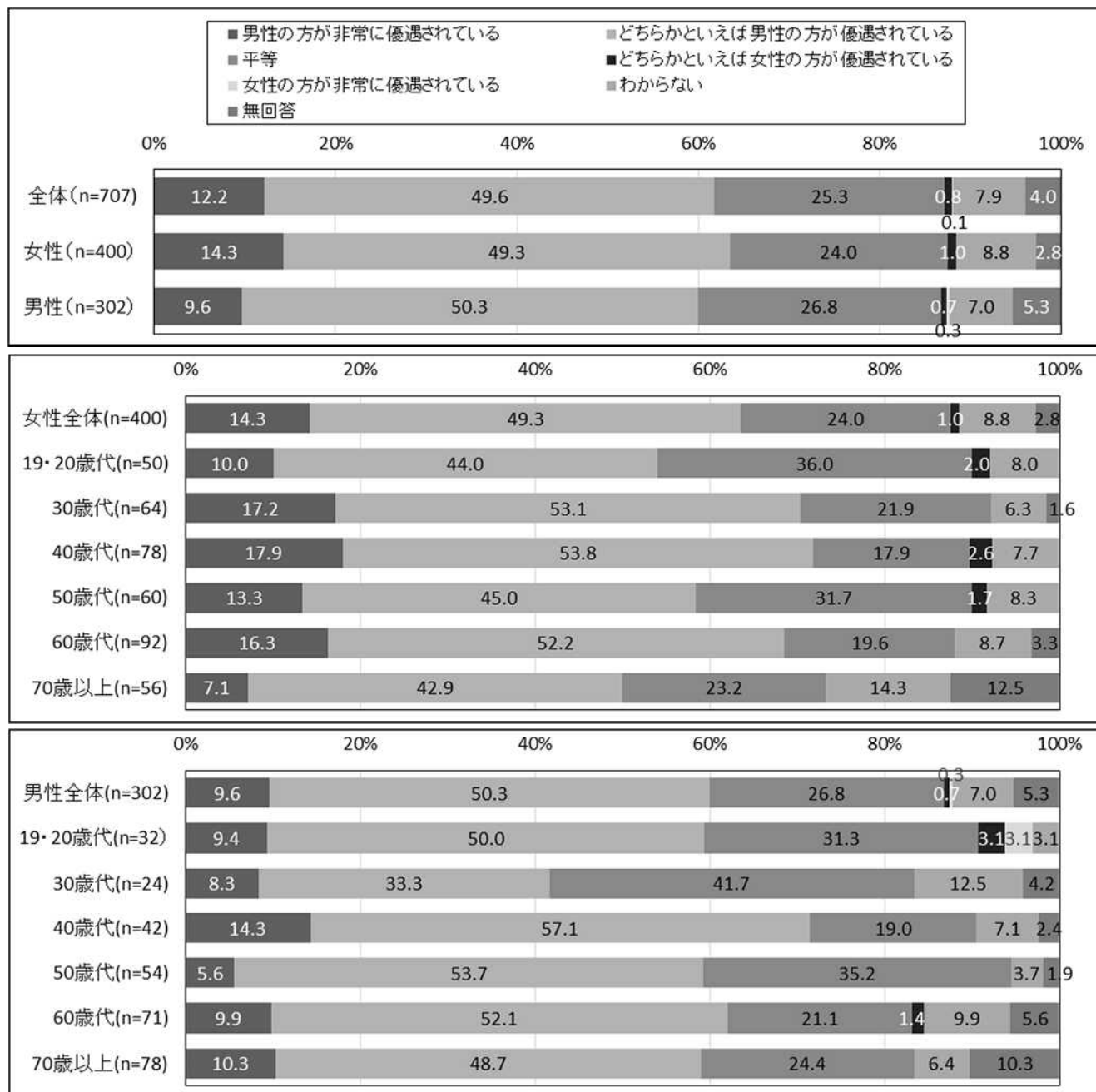


②就職・採用

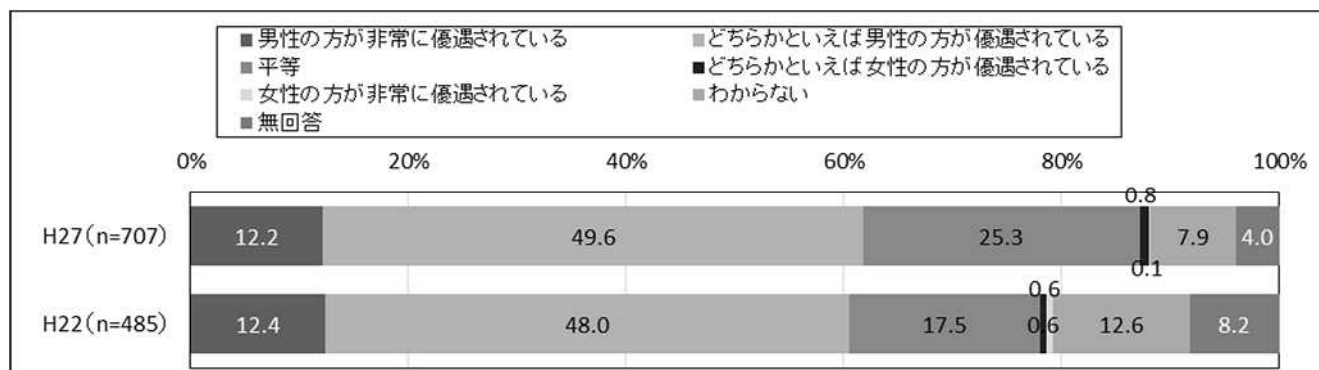
『男性の方が優遇されている』61.8%、「平等」25.3%、『女性の方が優遇されている』0.9%となっています。

性別で見ると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、女性(63.6%)が男性(59.9%)より3.7ポイント高く、「平等」と回答した割合は、男性(26.8%)が女性(24.0%)より2.8ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「平等」と回答した割合は、女性・男性ともに「19・20歳代」、「50歳代」で他の年代に比べて高くなっています。また、「平等」と回答した割合は、女性の「30歳代」(21.9%)が男性の「30歳代」(41.7%)より19.8ポイント低く、平等感に対する開きがあります。



H22 と H27 の調査を比較すると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合に大差はありませんが、「平等」と回答した割合は、H27（25.3%）がH22（17.5%）より 7.8 ポイント高くなっています。

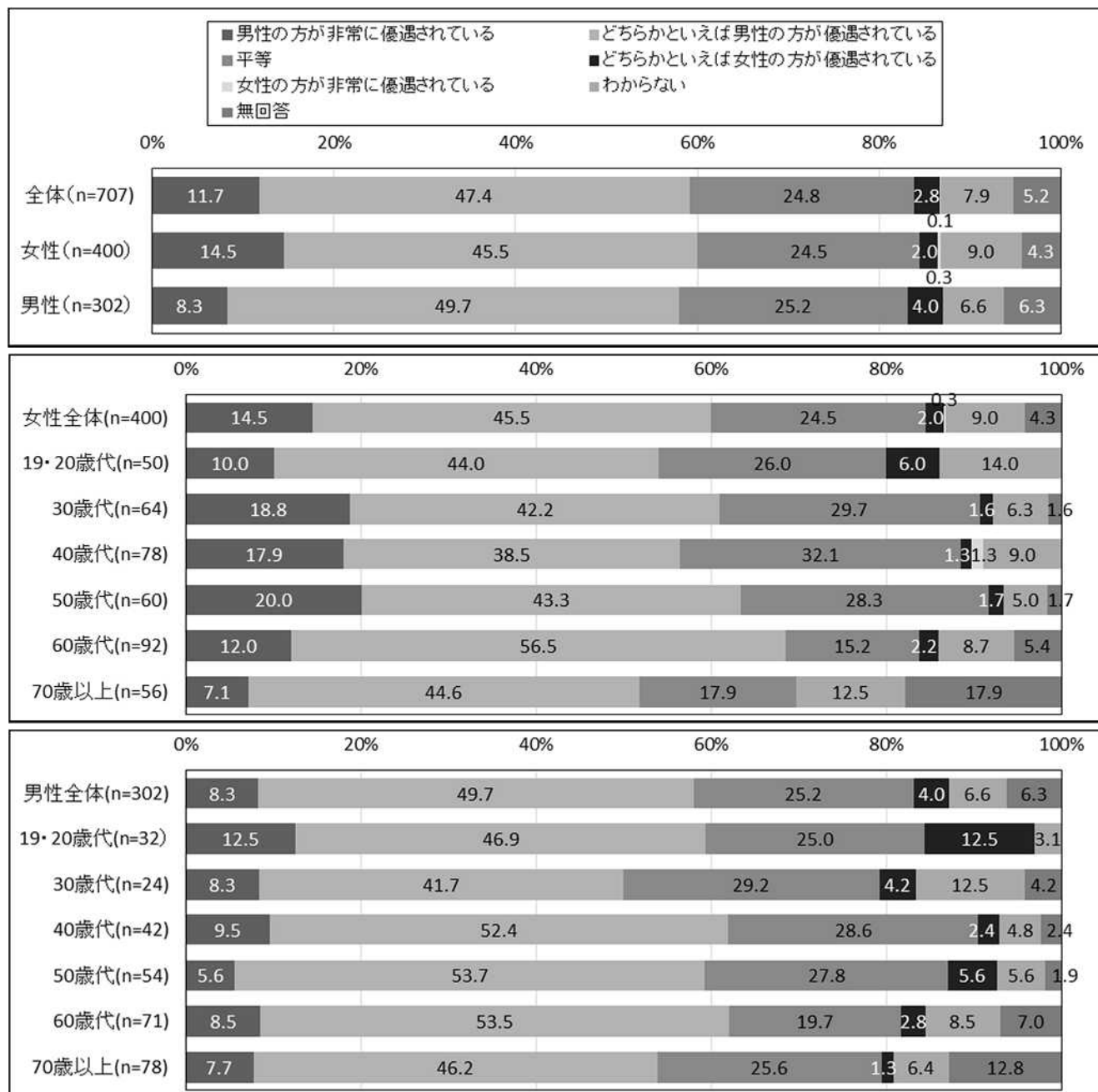


③職場

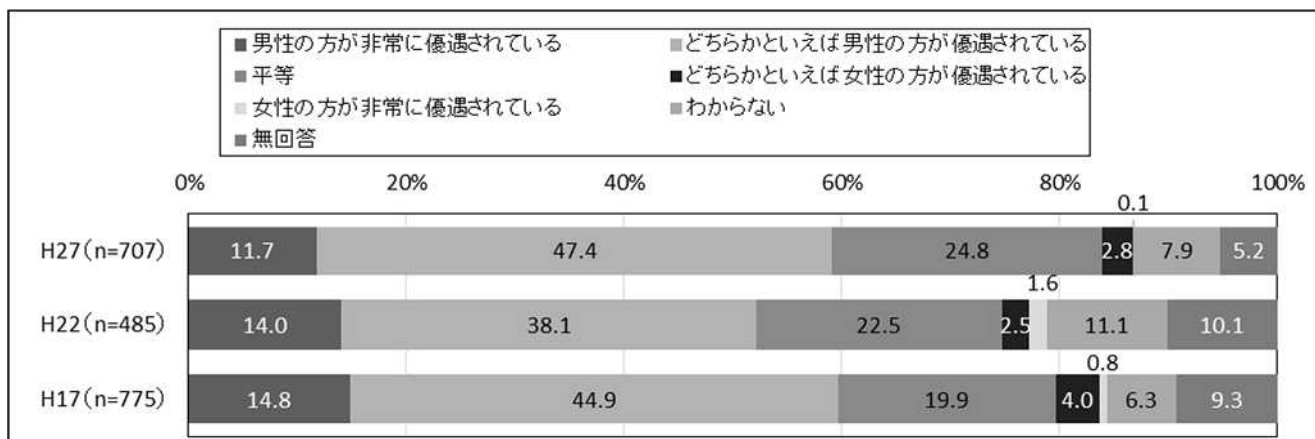
『男性の方が優遇されている』（59.1%、「平等」24.8%、『女性の方が優遇されている』2.9%）となっています。

性別で見ると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、女性（60.0%）が男性（58.0%）より2.0ポイント高く、「平等」と回答した割合は、男性（25.2%）が女性（24.5%）より0.7ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、女性・男性ともに「60歳代」が他の年代に比べて高くなっています。また、『女性の方が優遇されている』と回答した割合は、女性・男性ともに「19・20歳代」が他の年代に比べて高くなっています。特に、「女性の方が優遇されている」と回答した割合は、男性の「19・20歳代」が12.5%と高くなっています。

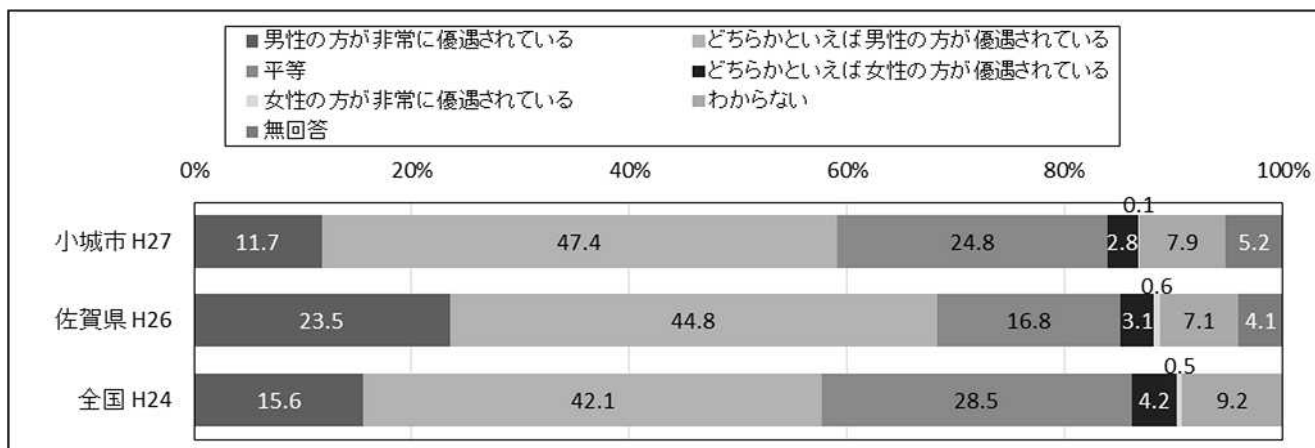


H17 と H27 の調査を比較すると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合に大差はありませんが、「平等」と回答した割合は、H27（24.8%）がH17（19.9%）より 4.9 ポイント高くなっています。



H26 佐賀県の調査と比較すると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、小城市（59.1%）が、佐賀県（68.3%）より 9.2 ポイント低く、「平等」と回答した人の割合は、小城市（24.8%）が、佐賀県（16.8%）より 8.0 ポイント高くなっています。

また、H24 全国の調査と比較すると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合において大差はありませんが、「平等」と回答した割合は、小城市（24.8%）が、全国（28.5%）より 3.7 ポイント低くなっています。

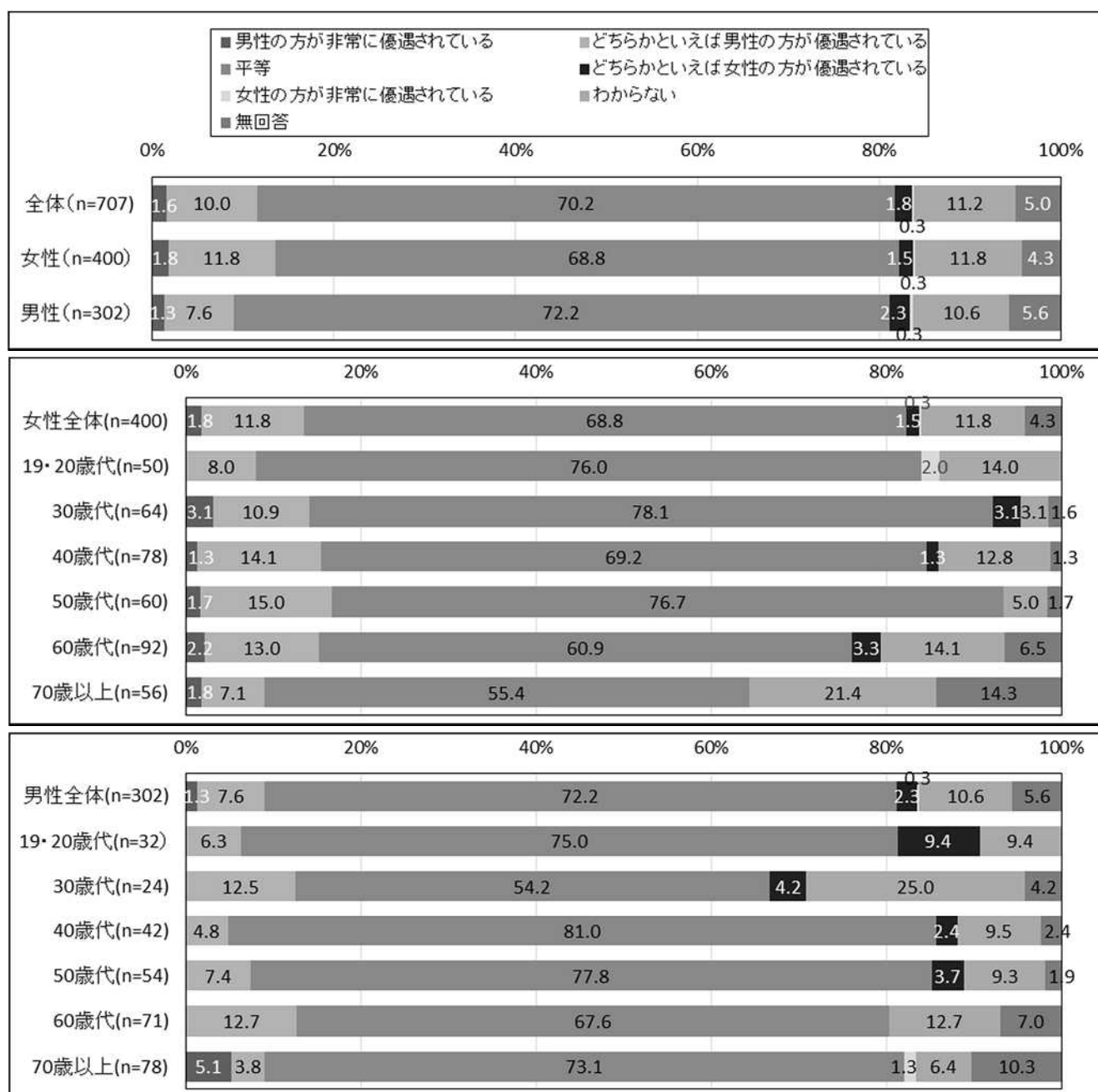


④学校教育の場

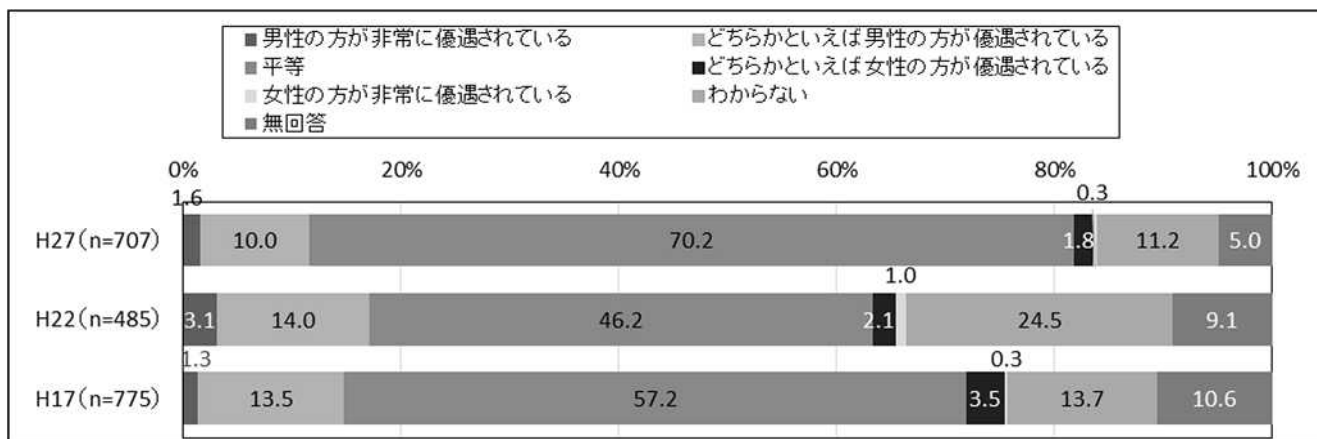
「平等」70.2%、『男性の方が優遇されている』11.6%、『女性の方が優遇されている』2.1%となっています。

性別で見ると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、女性（13.6%）が男性（8.9%）より4.7ポイント高く、「平等」と回答した割合は、男性（72.2%）が女性（68.8%）より3.4ポイント高くなっています。

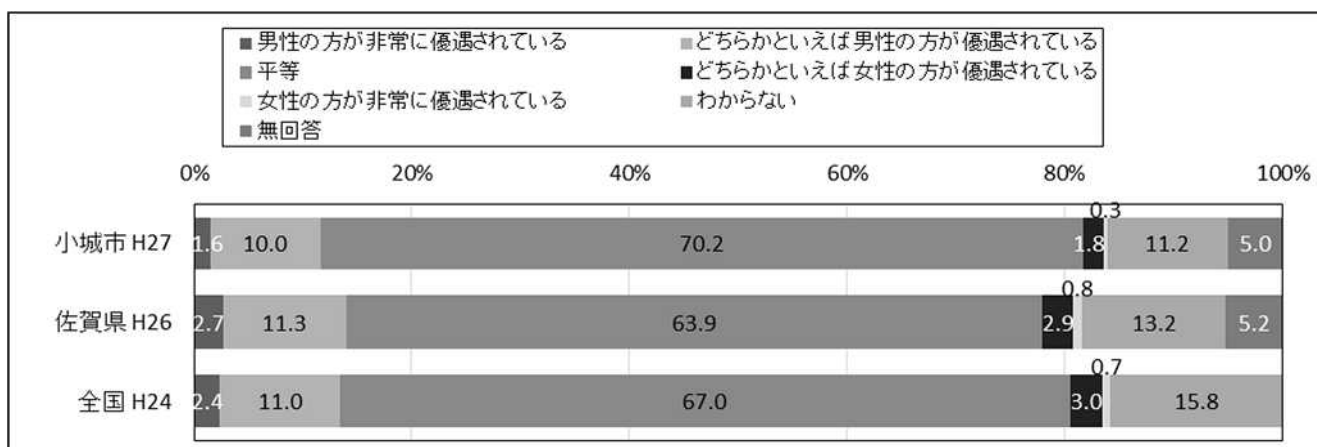
性別・年代別で見ると、ほとんどの年代・性別で『男性の方が優遇されている』と回答した割合が、『女性が優遇されている』と回答した割合より高くなっていますが、男性の「19・20歳代」では、『女性の方が優遇されている』と回答した割合（9.4%）が『男性の方が優遇されている』と回答した割合（6.3%）より3.1ポイント高くなっています。また、「わからない」と回答した割合は、女性の「70歳代」、男性の「30歳代」で20%を超えています。



H17 と H27 の調査を比較すると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合に大差はありませんが、「平等」と回答した割合は、H27（70.2%）がH17（57.2%）より 13.0 ポイント高くなっています。



H26 佐賀県の調査、H24 全国の調査と比較すると、「平等」と回答した割合は、小城市（70.2%）が、佐賀県（63.9%）より 6.3 ポイント、全国（67.0%）より 3.2 ポイント高くなっています

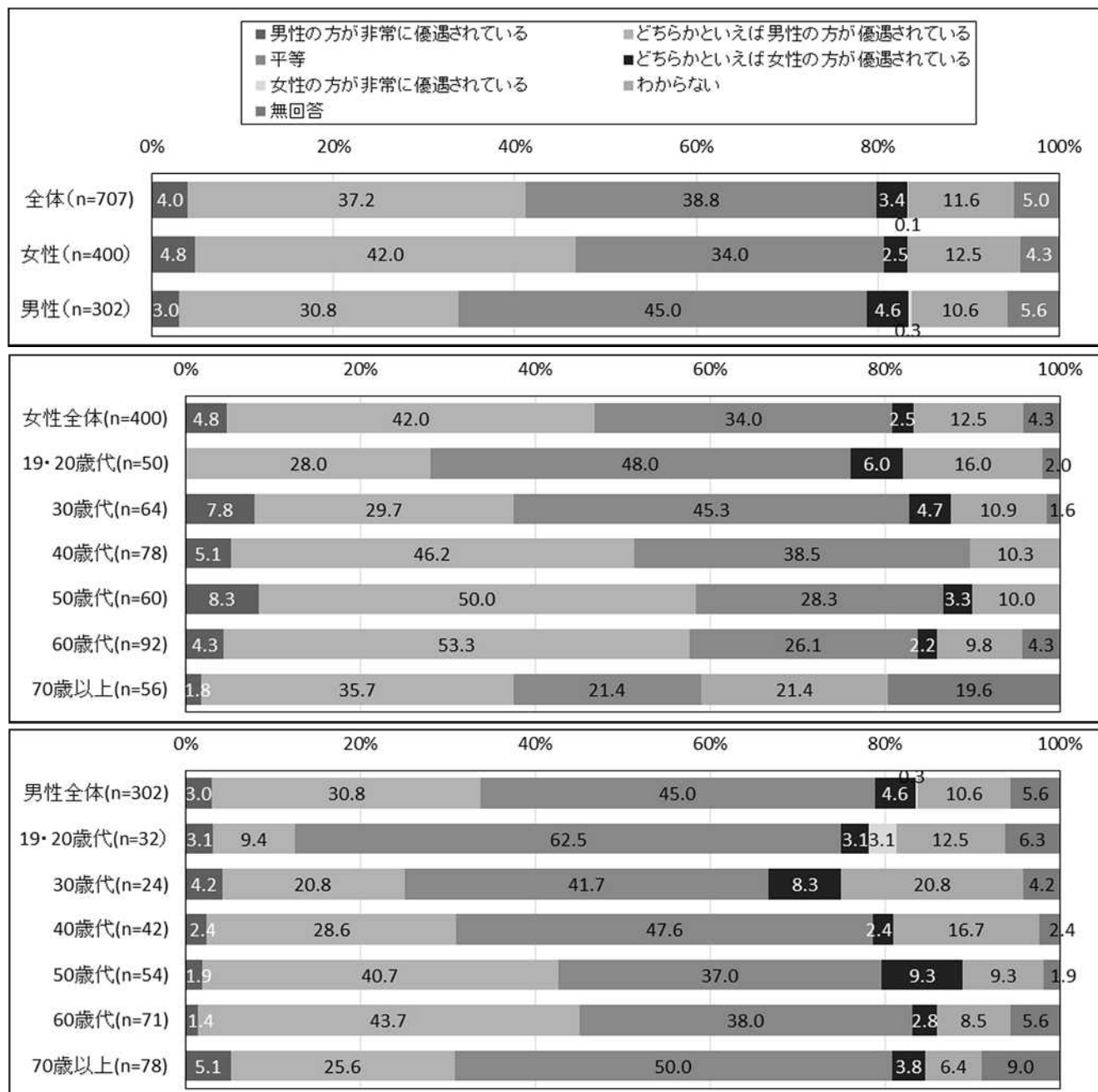


⑤地域や社会活動の場

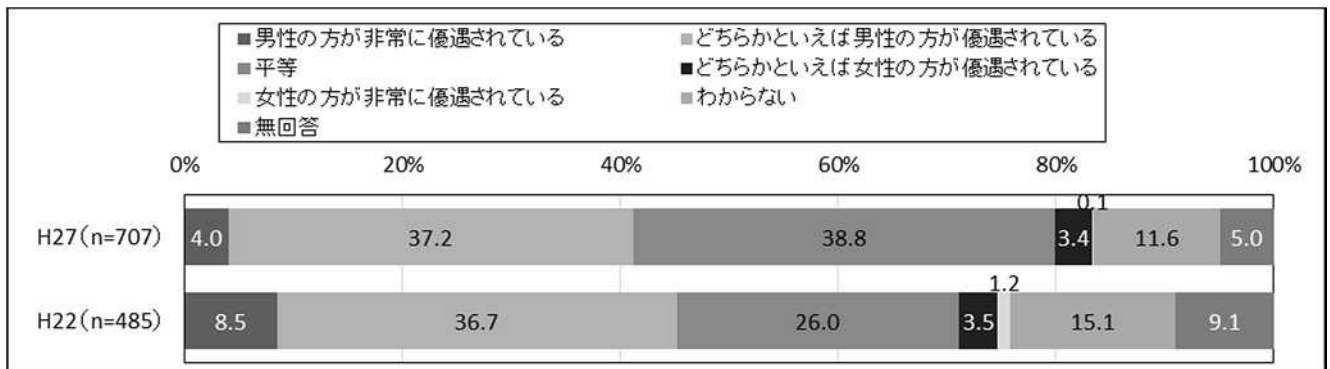
『男性の方が優遇されている』41.2%、「平等」38.8%、『女性の方が優遇されている』3.5%となっています。

性別で見ると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、女性(46.8%)が男性(33.8%)より13.0ポイント高く、「平等」と回答した割合は、男性(45.0%)が女性(34.0%)より11.0ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「平等」と回答した割合は、女性・男性ともに「19・20歳代」で高くなっています。また、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、女性・男性ともに「60歳代」までは、年代が上がるにつれ高くなっていますが、「70歳代以上」ではその割合が低くなり、男性では「平等」が、女性では「わからない」と回答した割合が高くなっています。

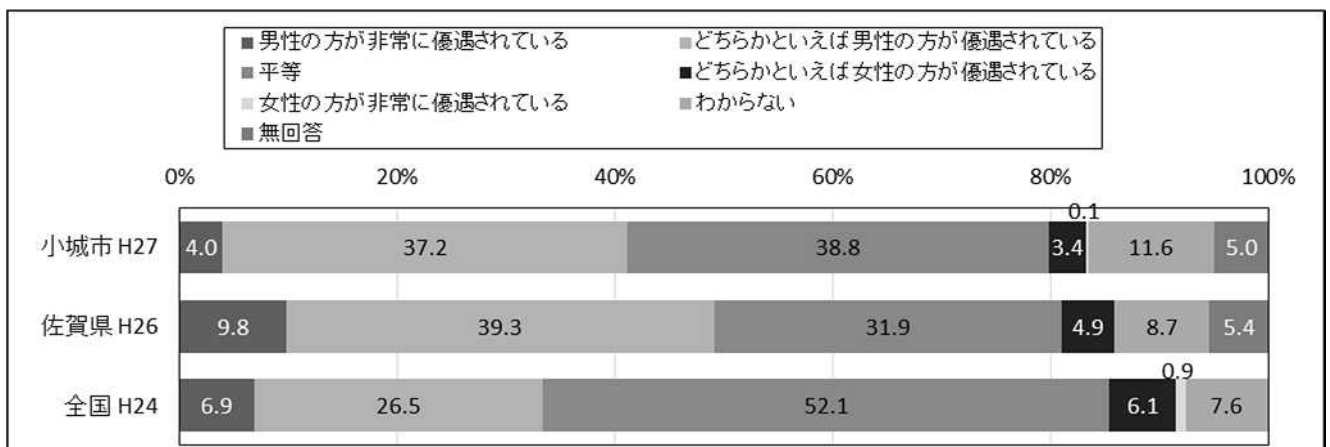


H22 と H27 の調査を比較すると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、H27 (41.2%)がH22(45.2%)より 4.0 ポイント低くなり、『平等』と回答した割合は、H27 (38.8%)がH22 (26.0%) より 12.8 ポイント高くなっています。



H26 佐賀県の調査と比較すると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、小城市 (41.2%)が、佐賀県(49.1%)より 7.9 ポイント低く、『平等』と回答した割合は、小城市(38.8%)が、佐賀県 (31.9%) より 6.9 ポイント高くなっています。

また、H24 全国の調査と比較すると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、小城市 (41.2%) が、全国 (33.4%) より 7.8 ポイント高く、『平等』と回答した割合は、小城市 (38.8%) が、全国 (52.1%) より 13.3 ポイント低くなっています。

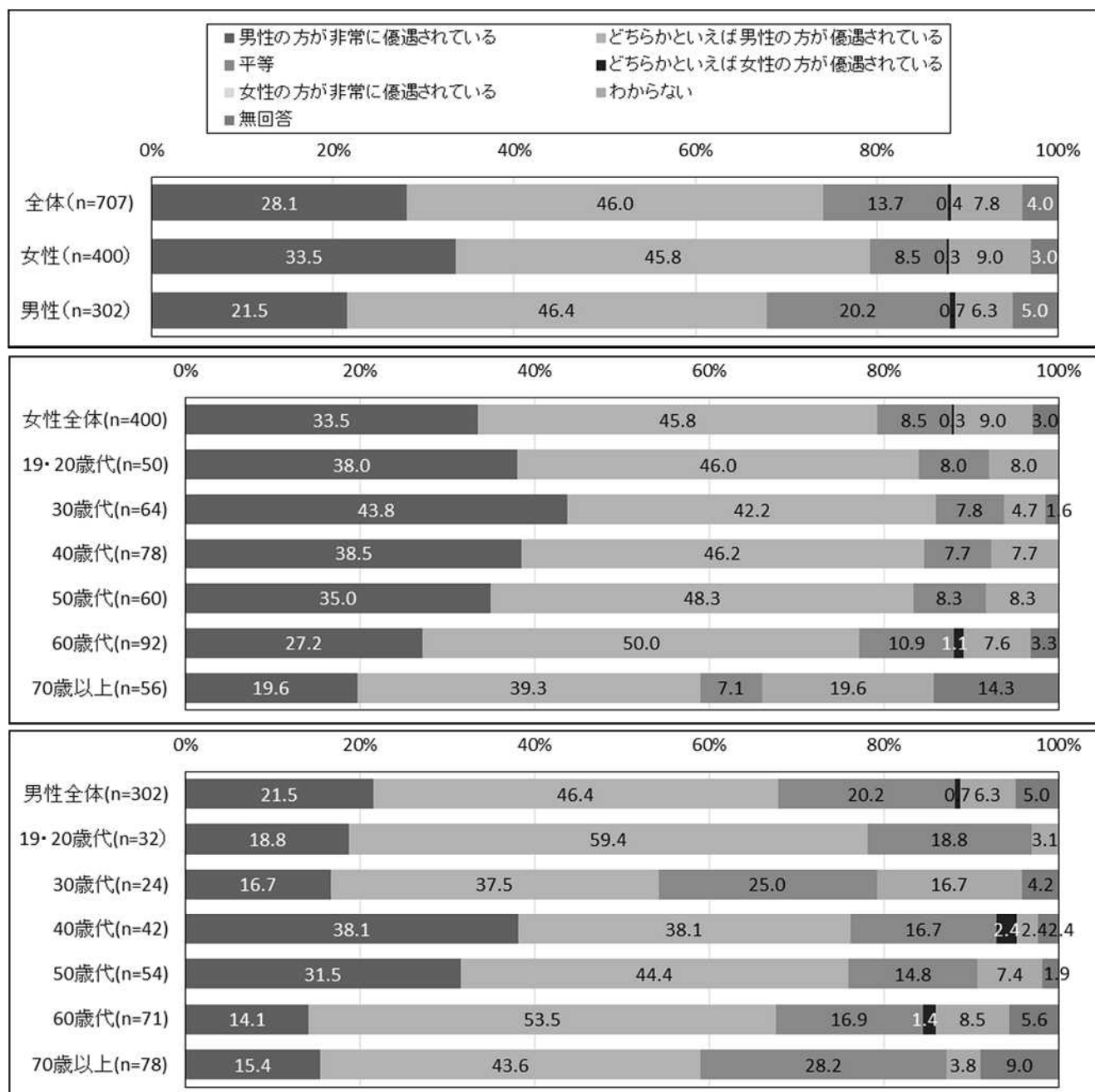


⑥政治の場

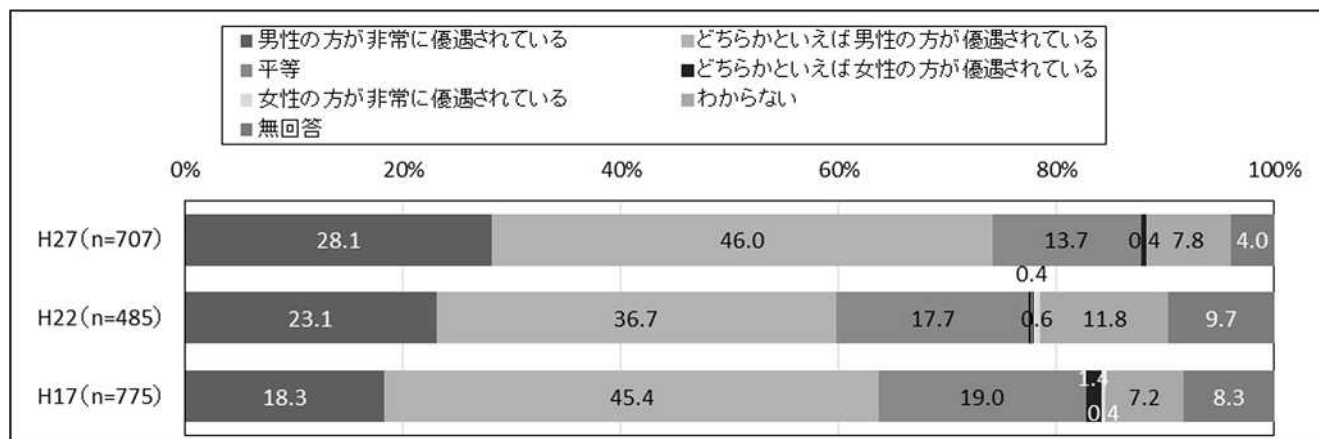
『男性の方が優遇されている』74.1%、「平等」46.0%、『女性の方が優遇されている』0.4%となっています。

性別で見ると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、女性(79.3%)が男性(67.9%)より11.4ポイント高く、「平等」と回答した割合は、男性(20.2%)が女性(8.5%)より11.7ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、年代が上がるほど低くなっていますが、男性の「30歳代」では最も低く、「わからない」と回答した割合が高くなっています。

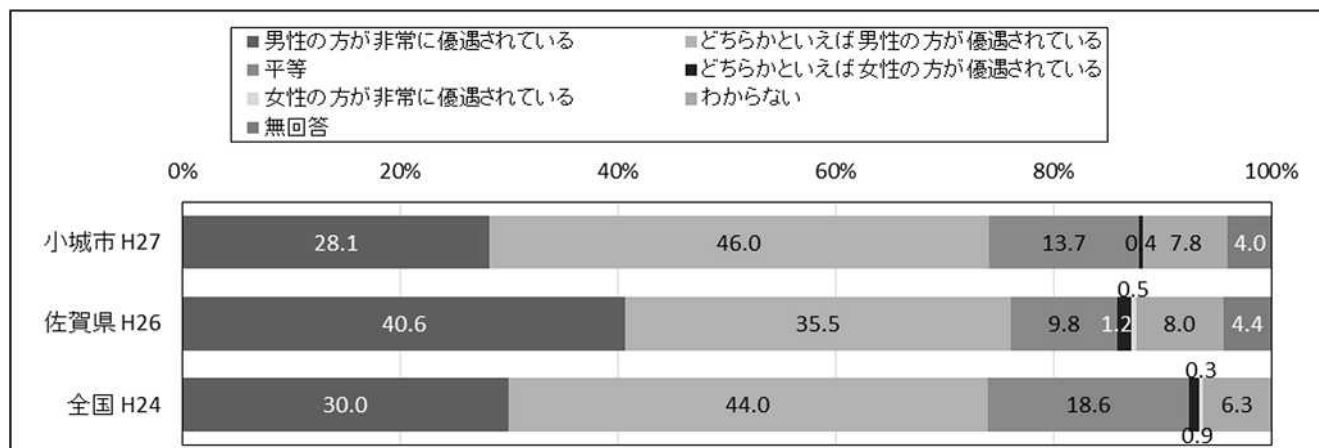


H17 と H27 の調査を比較すると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、H27 (74.1%) が H17 (63.7%) より 10.4 ポイント高くなり、「平等」と回答した割合は、H27 (13.7%) が H17 (19.0%) より 5.3 ポイント低くなっています。



H26 佐賀県の調査と比較すると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、小城市 (74.1%) が、佐賀県 (76.1%) より 2.0 ポイント低く、「平等」と回答した割合は、小城市 (13.7%) が、佐賀県 (9.8%) より 3.9 ポイント高くなっています。

また、H24 全国の調査と比較すると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合に大差はありませんが、「平等」と回答した割合は、小城市 (13.7%) が、全国 (18.6%) より 4.9 ポイント低くなっています。

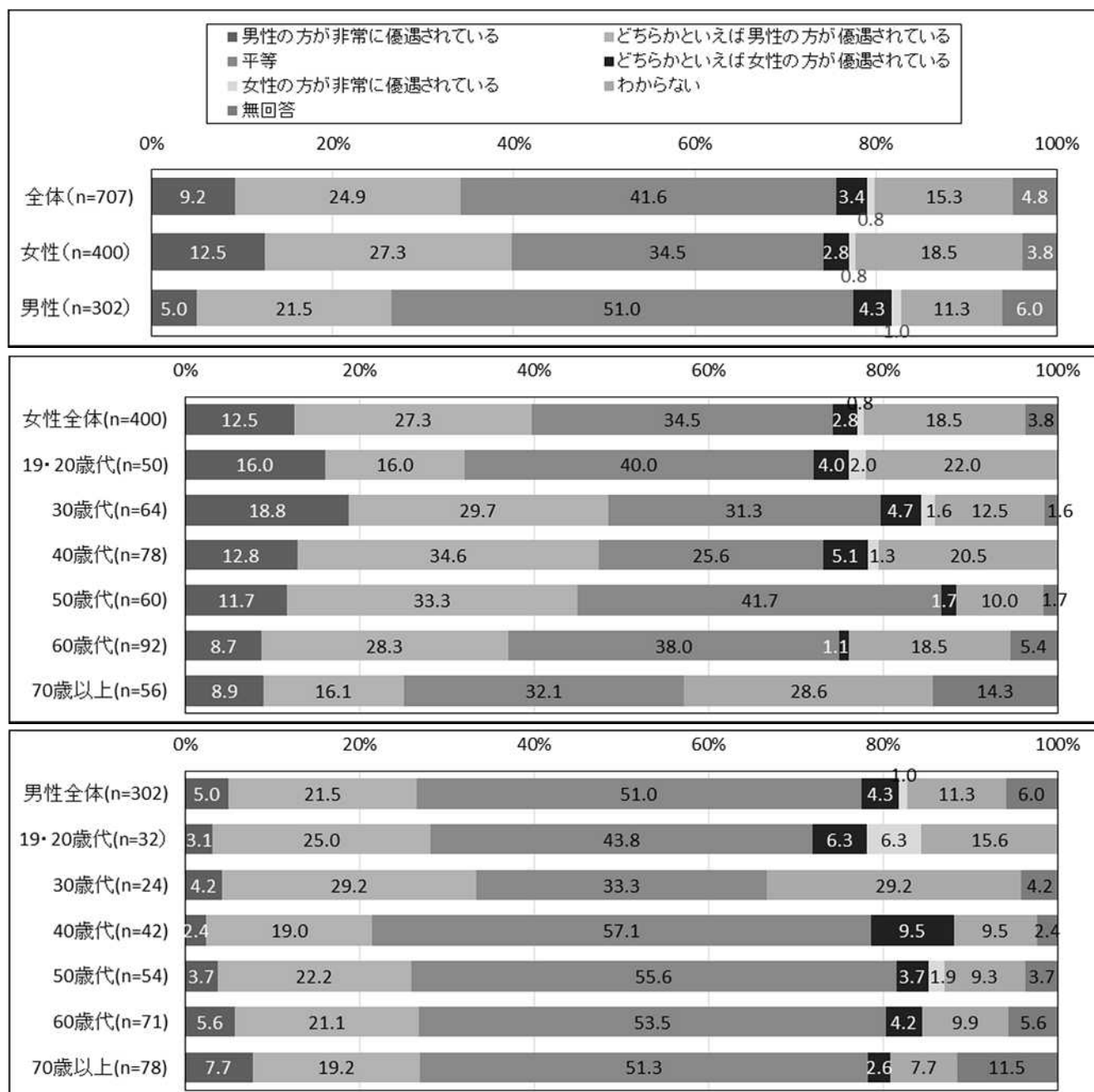


⑦法律・制度上

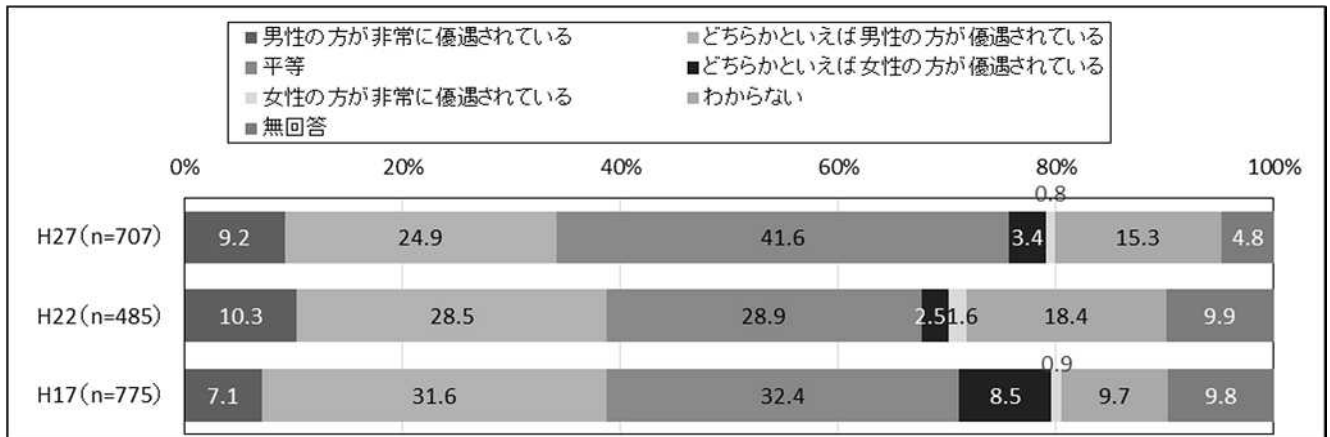
「平等」41.6%、『男性の方が優遇されている』34.1%、『女性の方が優遇されている』4.2%となっています。

性別で見ると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、女性(39.8%)が男性(26.5%)より13.3ポイント高く、「平等」と回答した割合は、男性(51.0%)が女性(34.5%)より16.5ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「平等」と回答した割合は、男性の「40歳代以上」で高く50%を超えています。また、『わからない』と回答した割合は、女性の「70歳以上」、男性の「30歳代」が他の年代に比べて高くなっています。

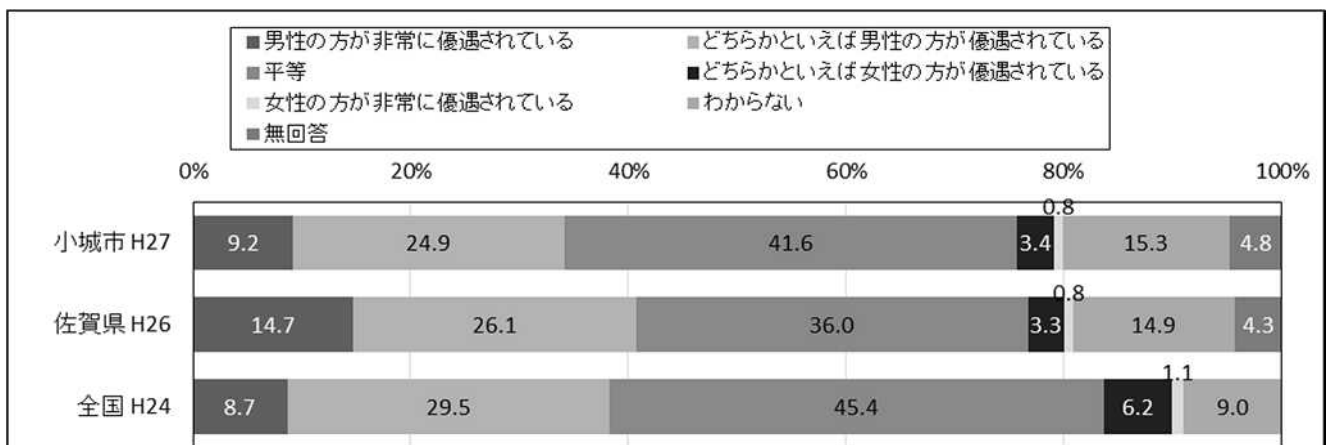


H17 と H27 の調査を比較すると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、H27 (34.1%)がH17(38.7%)より 4.6 ポイント低くなり、「平等」と回答した割合は、H27 (41.6%)がH17 (32.4%) より 9.2 ポイント高くなっています。



H26 佐賀県の調査と比較すると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、小城市 (34.1%)が、佐賀県(40.8%)より 6.7 ポイント低く、「平等」と回答した割合は、小城市(41.6%)が、佐賀県 (36.0%) より 5.6 ポイント高くなっています。

また、H24 全国の調査と比較すると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、小城市 (34.1%)が、全国(38.2%)より 4.1 ポイント低く、「平等」と回答した割合も、小城市(41.6%)が、全国 (45.4%) より 3.8 ポイント低くなっています。

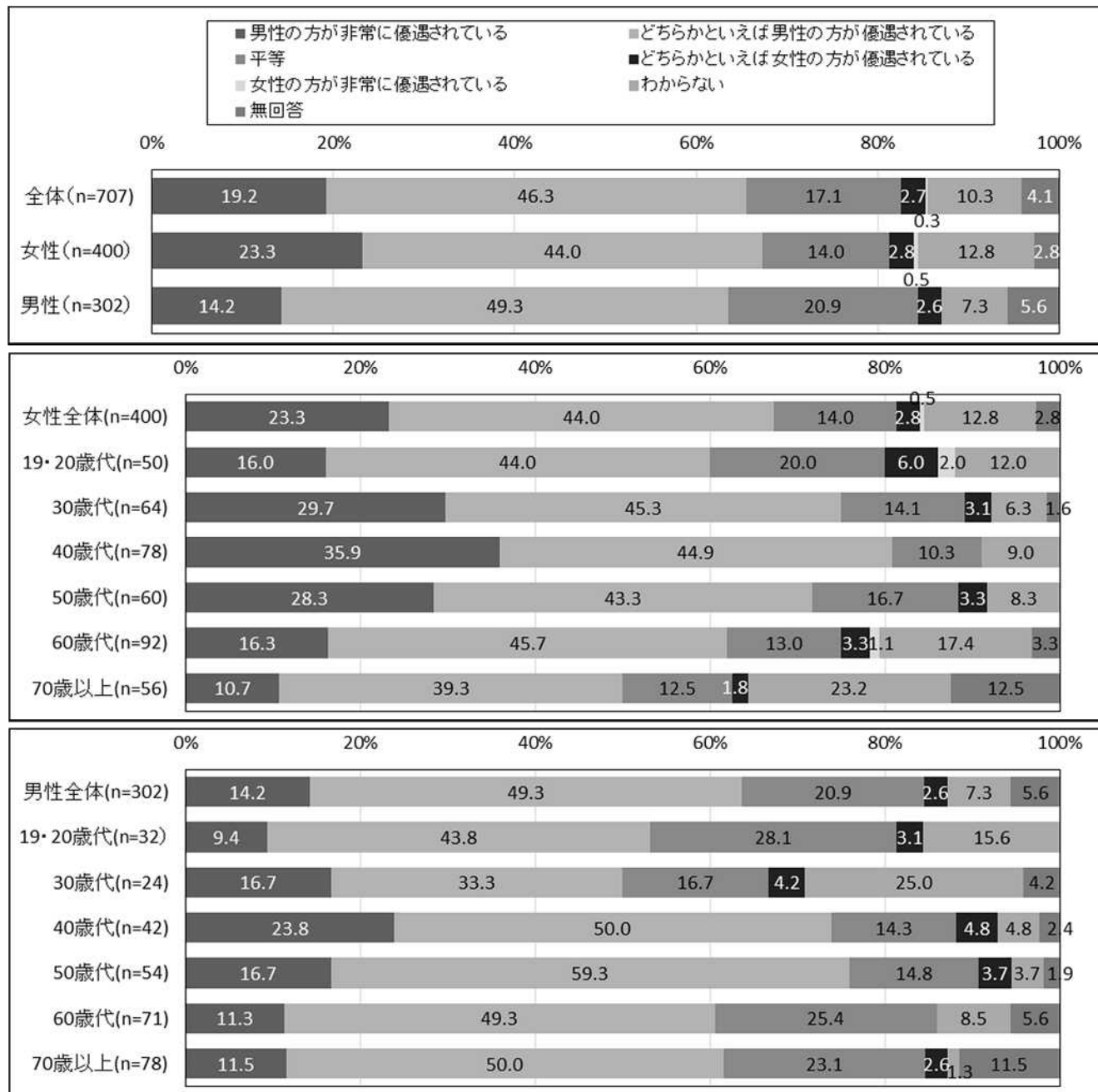


⑧慣習・しきたり

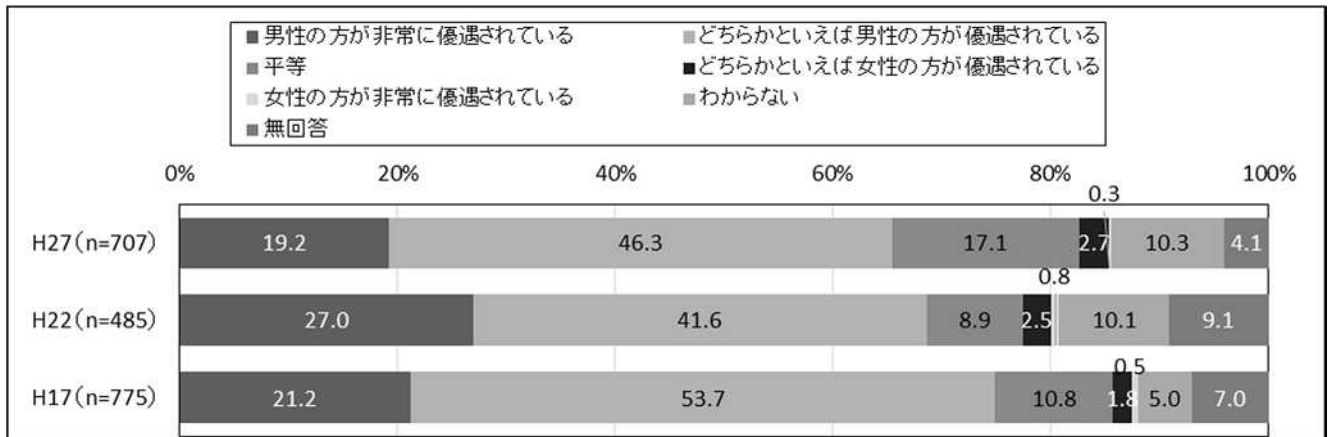
『男性の方が優遇されている』65.5%、「平等」17.1%、『女性の方が優遇されている』3.0%となっています。

性別で見ると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、女性(67.3%)が男性(63.5%)より3.8ポイント高く、「平等」と回答した割合は、男性(20.9%)が女性(14.0%)より6.9ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「平等」と回答した割合は、女性・男性ともに「19・20歳代」で最も高く、女性・男性ともに「40歳代」で最も低くなっています。

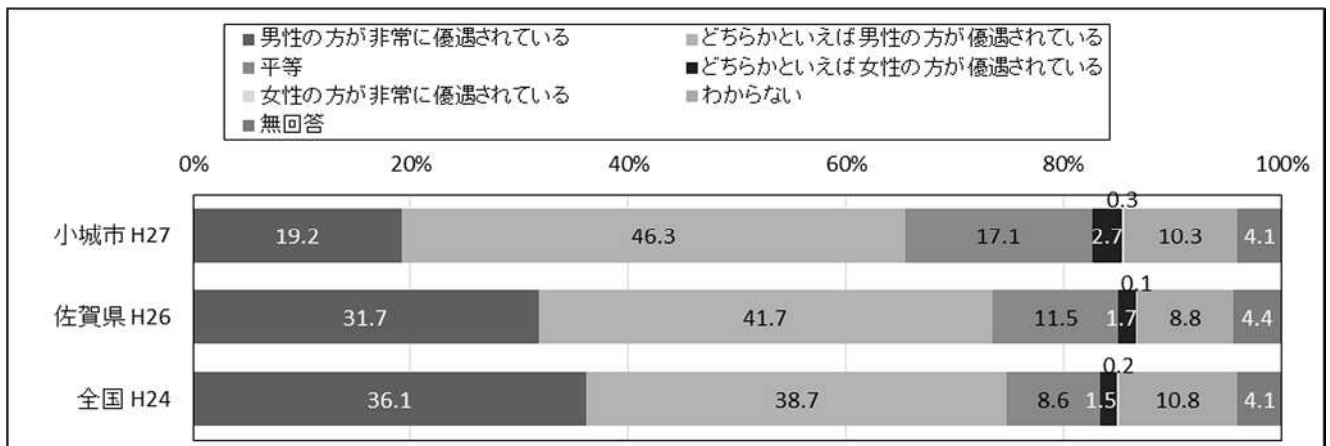


H17 と H27 の調査を比較すると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、H27 (65.5%)がH17(74.9%)より 9.4 ポイント低くなり、「平等」と回答した割合は、H27 (17.1%)がH17 (10.8%) より 6.3 ポイント高くなっています。



H26 佐賀県の調査と比較すると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、小城市 (65.5%)が、佐賀県(73.4%)より 7.9 ポイント低く、「平等」と回答した割合は、小城市(17.1%)が、佐賀県 (11.5%) より 5.6 ポイント高くなっています。

また、H24 全国の調査と比較すると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、小城市 (65.5%)が、全国(74.8%)より 9.3 ポイント低く、「平等」と回答した割合は、小城市(17.1%)が、全国 (8.6%) より 8.5 ポイント高くなっています。

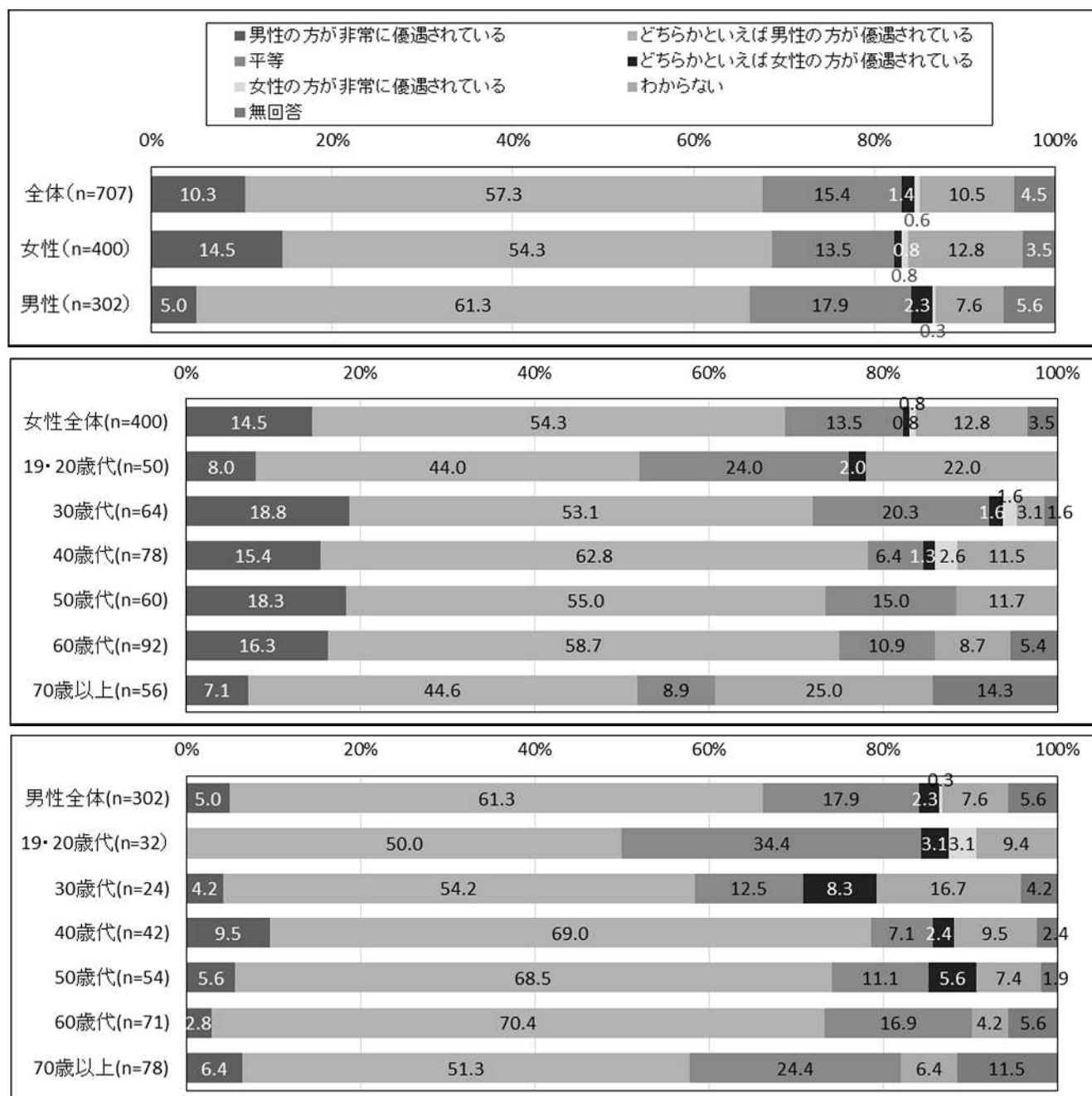


⑨社会全体

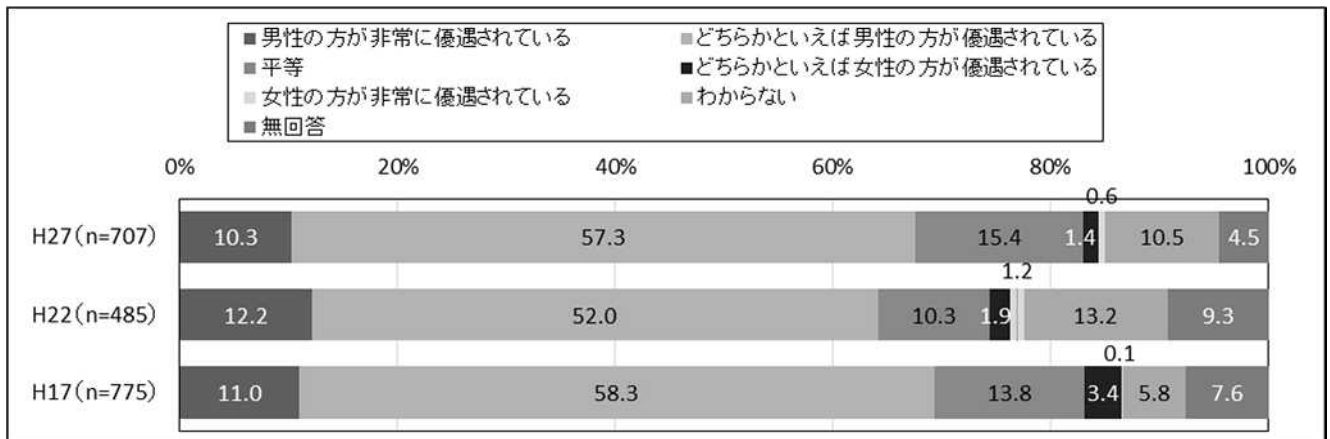
『男性の方が優遇されている』67.6%、「平等」15.4%、『女性の方が優遇されている』2.0%となっています。

性別で見ると、『男性の方が優遇されている』と回答した割合は、女性(68.8%)が男性(66.3%)より2.5ポイント高く、「平等」と回答した割合は、男性(17.9%)が女性(13.5%)より4.4ポイント高くなっています。

性別・年代別で見ると、「平等」と回答した割合は、女性・男性ともに「19・20歳代」で高く、女性・男性ともに「40歳代」で低くなっています。また、女性の「50歳代以上」、男性の「60歳代以上」では、『女性の方が優遇されている』と回答した人はいません。



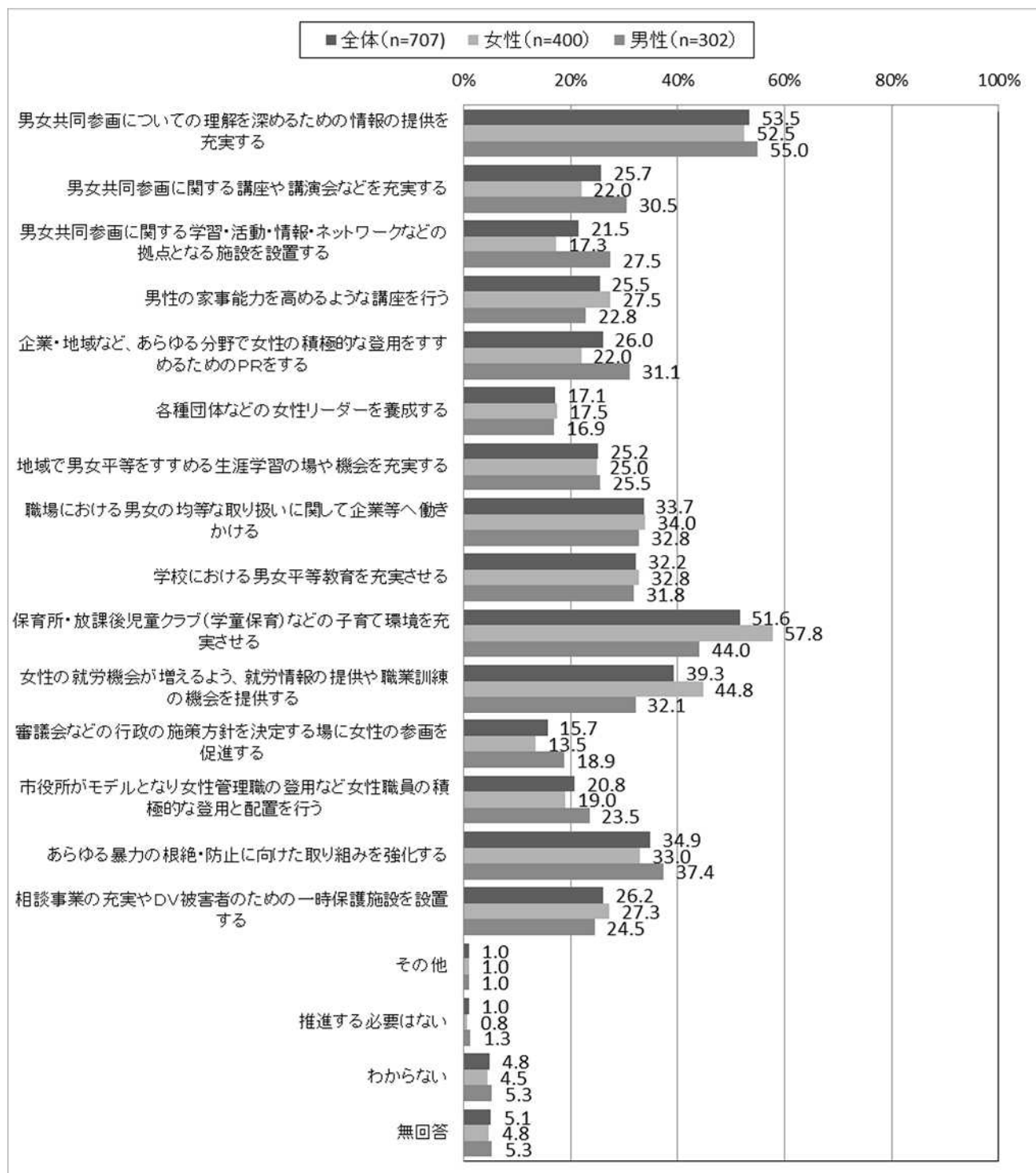
H17 と H22 の調査を比較すると、『男性の方が優遇されている』や『平等』と回答した割合は、H22 が H17 より低くなっていますが、H17 と H27 の調査を比較すると大差はありません。



(27) 男女共同参画社会を進めるために、小城市では、今後どのようなことを推進した方がよいと思いますか。(複数回答)

「男女共同参画についての理解を深めるための情報の提供を充実する」が53.5%で最も高く、次いで「保育所・放課後児童クラブ(学童保育)などの子育て環境を充実させる」51.6%、「女性の就労機会が増えるよう、就労情報の提供や職業訓練の機会を提供する」39.3%の順となっています。

性別で見ると、女性では、「保育所・放課後児童クラブ(学童保育)などの子育て環境を充実させる」、次いで「男女共同参画についての理解を深めるための情報の提供する」の順となっていますが、男性では「男女共同参画についての理解を深めるための情報の提供する」に次いで、「保育所・放課後児童クラブ(学童保育)などの子育て環境を充実させる」の順となっています。



性別	年代	その他
女性	19・20 歳代	女性をではなく、女性もという措置を取ってほしいです
女性	30 歳代	身近な相談窓口の設置。24 時間対応相談できる場所の確保。
女性	40 歳代	女性の議員を増やす。また、地域の役職に女性を起用していく。
男性	19・20 歳代	男性より女性の能力が高くなれば、必然的にそのような社会になるのではないかと思う。
男性	30 歳代	社会全体の労働時間を短縮し、家にいる時間を増やす。
男性	70 歳以上	女性の意識改革

性別・年代別でみると、女性では、「保育所・放課後児童クラブ（学童保育）などの子育て環境を充実する」と回答した割合は、「50 歳代以下」で高く、「男女共同参画についての理解を深めるための情報の提供を充実する」の回答した割合は、「60 歳以上」で高くなっています。

男性では、「男女共同参画についての理解を深めるための情報の提供を充実する」と回答した割合は、「40 歳代」を除くすべての年代で高くなっています。また、「職場における男女の均等な取り扱いに関して企業等へ働きかける」と回答した割合は、男性の「19・20 歳代」、「40 歳代」で高く、「企業・地域などあらゆる分野で女性の積極的な登用をすすめるための PR をする」と回答した割合は、「30 歳代」で高くなっています。

選択項目	女性全体 (n=400)	19・20歳代 (n=50)	30歳代 (n=64)	40歳代 (n=78)	50歳代 (n=60)	60歳代 (n=92)	70歳以上 (n=56)
男女共同参画についての理解を深めるための情報の提供を充実する	52.5	44.0	43.8	55.1	58.3	57.6	51.8
男女共同参画に関する講座や講演会などを充実する	22.0	10.0	17.2	24.4	20.0	26.1	30.4
男女共同参画に関する学習・活動・情報・ネットワークなどの拠点となる施設を設置する	17.3	18.0	12.5	17.9	23.3	15.2	17.9
男性の家事能力を高めるような講座を行う	27.5	28.0	18.8	32.1	25.0	32.6	25.0
企業・地域など、あらゆる分野で女性の積極的な登用をすすめるためのPRをする	22.0	26.0	14.1	26.9	23.3	21.7	19.6
各種団体などの女性リーダーを養成する	17.5	22.0	9.4	19.2	20.0	17.4	17.9
地域で男女平等をすすめる生涯学習の場や機会を充実する	25.0	18.0	20.3	21.8	26.7	33.7	25.0
職場における男女の均等な取り扱いに関して企業等へ働きかける	34.0	40.0	37.5	41.0	33.3	29.3	23.2
学校における男女平等教育を充実させる	32.8	46.0	31.3	26.9	33.3	28.3	37.5
保育所・放課後児童クラブ(学童保育)などの子育て環境を充実させる	57.8	64.0	57.8	62.8	63.3	52.2	48.2
女性の就労機会が増えるよう、就労情報の提供や職業訓練の機会を提供する	44.8	42.0	45.3	47.4	46.7	48.9	33.9
審議会などの行政の施策方針を決定する場に女性の参画を促進する	13.5	8.0	7.8	11.5	15.0	17.4	19.6
市役所がモデルとなり女性管理職の登用など女性職員の積極的な登用と配置を行う	19.0	16.0	14.1	19.2	18.3	22.8	21.4
あらゆる暴力の根絶・防止に向けた取り組みを強化する	33.0	34.0	31.3	42.3	40.0	26.1	25.0
相談事業の充実やDV被害者のための一時保護施設を設置する	27.3	26.0	29.7	33.3	38.3	23.9	10.7
その他	1.0	2.0	1.6	2.6	0.0	0.0	0.0
推進する必要はない	0.8	0.0	1.6	1.3	0.0	1.1	0.0
わからない	4.5	4.0	1.6	2.6	1.7	5.4	12.5
無回答	4.8	0.0	1.6	0.0	1.7	7.6	17.9

選択項目	男性全体 (n=302)	19・20歳 代(n=32)	30歳代 (n=24)	40歳代 (n=42)	50歳代 (n=54)	60歳代 (n=71)	70歳以上 (n=78)
男女共同参画についての理解を深めるための情報の提供を充実する	55.0	43.8	54.2	42.9	64.8	56.3	59.0
男女共同参画に関する講座や講演会などを充実する	30.5	18.8	20.8	28.6	22.2	38.0	38.5
男女共同参画に関する学習・活動・情報・ネットワークなどの拠点となる施設を設置する	27.5	18.8	29.2	19.0	37.0	31.0	25.6
男性の家事能力を高めるような講座を行う	22.8	25.0	29.2	7.1	29.6	22.5	24.4
企業・地域など、あらゆる分野で女性の積極的な登用をすすめるためのPRをする	31.1	12.5	41.7	16.7	42.6	31.0	35.9
各種団体などの女性リーダーを養成する	16.9	21.9	4.2	16.7	24.1	12.7	17.9
地域で男女平等をすすめる生涯学習の場や機会を充実する	25.5	18.8	12.5	19.0	22.2	32.4	32.1
職場における男女の均等な取り扱いに関して企業等へ働きかける	32.8	40.6	29.2	50.0	40.7	22.5	25.6
学校における男女平等教育を充実させる	31.8	31.3	20.8	33.3	31.5	29.6	37.2
保育所・放課後児童クラブ(学童保育)などの子育て環境を充実させる	44.0	40.6	54.2	52.4	51.9	40.8	35.9
女性の就労機会が増えるよう、就労情報の提供や職業訓練の機会を提供する	32.1	21.9	20.8	38.1	37.0	33.8	32.1
審議会などの行政の施策方針を決定する場に女性の参画を促進する	18.9	6.3	8.3	11.9	22.2	18.3	29.5
市役所がモデルとなり女性管理職の登用など女性職員の積極的な登用と配置を行う	23.5	21.9	25.0	21.4	27.8	21.1	24.4
あらゆる暴力の根絶・防止に向けた取り組みを強化する	37.4	28.1	33.3	33.3	46.3	43.7	33.3
相談事業の充実やDV被害者のための一時保護施設を設置する	24.5	18.8	20.8	21.4	29.6	25.4	25.6
その他	1.0	3.1	4.2	0.0	0.0	0.0	1.3
推進する必要はない	1.3	0.0	4.2	0.0	1.9	1.4	1.3
わからない	5.3	9.4	8.3	4.8	9.3	2.8	2.6
無回答	5.3	3.1	4.2	2.4	0.0	7.0	9.0

H22とH27の調査を比較すると、ほとんどの項目で割合が高くなっています。

特に「男女共同参画に関する講座や講演会などを充実する」と回答した割合は、H27（25.7%）がH22（15.3%）より10.4ポイント高く、「あらゆる暴力の根絶・防止に向けた取り組みを強化する」と回答した割合は、H27（34.9%）がH22（24.9%）より10ポイント高くなっています。

